
JD Edwards EnterpriseOne 住所録 8.11 SP1 PeopleBook

2005 年 8 月

JD Edwards EnterpriseOne 住所録 8.11 SP1 PeopleBook
SKU E1_APPS811SP1AAB-B JPN
Copyright © 2005, Oracle. All rights reserved.

本プログラム（ソフトウェアおよび文書）には、知的財産が含まれています。本プログラムは、使用および公開に関する制約が明記されたライセンス契約に従うことを条件として提供され、著作権、特許権などの知的財産権法および産業財産権法により保護されています。本プログラムのリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは、他の独立したソフトウェアとの相互運用性の確保に必要とされる範囲または法的に規定された範囲を除き、禁じます。

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書の内容に問題があった場合は、当社まで書面によりご通知ください。また、当社は、本書の内容に全く誤りがないことを保証するものではありません。ライセンス契約に明示的に規定された場合を除き、形式、手段（電子的、機械的など）、および目的の如何にかかわらず、本プログラムを複写、複製、または転送することを禁じます。

本プログラムが、アメリカ合衆国政府、またはその代理として本プログラムを使用する者に提供される場合には、以下の条項が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software—Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

本プログラムは、原子力、航空、大量輸送、医療などの本質的に危険を伴う用途を目的として作成されていません。危険を伴う用途に本プログラムを使用する場合の障害対策、バックアップ、および冗長構成などの適切な措置を講じた安全性の確保は、ライセンス供与を受けた者の責任とし、これらの用途に使用された場合のいかなる損失や障害について、当社は一切責任を負いません。

本プログラムには、Web サイトへのリンクが含まれており、サードパーティのコンテンツ、製品、およびサービスへのアクセスが発生する場合があります。サードパーティの Web サイトの運用およびそのコンテンツについて、Oracle は一切責任を負いません。これらのコンテンツの使用上の全ての責任は、使用者が負うこととします。サードパーティから製品またはサービスを購入する場合は、その購入者とサードパーティの間の直接取引になります。(a) サードパーティの製品またはサービスに関する品質、(b) サードパーティとの契約におけるいかなる条件の遵守（製品またはサービスの提供、また、購入された製品またはサービスに関する保証義務など）について、Oracle は一切責任を負いません。サードパーティとの取引に伴ういかなる損失や障害について、Oracle は一切責任を負いません。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、Retek は米国 Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。その他の会社名および製品名は所有各社の商標です。

オープンソースの利用について

Oracle は、オープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアの使用または配布について責任を負いません。また、これらのソフトウェアまたはドキュメンテーションの使用によるいかなる損失や障害についても一切責任を負いません。Oracle の PeopleSoft 製品には以下のオープンソースソフトウェアが使用される場合があります、これらには下記の免責条項が適用されます。

この製品には、Apache Software Foundation 社 (<http://www.apache.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 1999-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved. このソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも暗示的にも、一切の保証はありません。Apache Software Foundation 社およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Apache Software Foundation 社は一切責任を負いません。

目次

はじめに

この PeopleBook について	xi
JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識.....	xi
JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎.....	xi
印刷・製本されたドキュメンテーションの入手.....	xii
印刷・製本されたドキュメンテーションの注文.....	xii
追加情報.....	xiii
表記規則.....	xiii
表記規則.....	xiv
注意事項の表示.....	xiv
国、地域、業種の表記.....	xv
通貨コード.....	xv
ご意見・ご要望をお寄せください.....	xvi
全ての PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xvi

まえがき

JD Edwards EnterpriseOne 住所録 - まえがき.....	xxi
対象の製品.....	xxi
アプリケーションの基礎.....	xxi

第 1 章

JD Edwards EnterpriseOne 住所録 - はじめに.....	1
住所録の概要.....	1
住所録の統合.....	2
住所録の導入.....	3
住所録の導入ステップ.....	3

第 2 章

住所録システムの設定.....	5
住所録の設定要件について.....	5
住所録のユーザー定義コードの設定.....	6
住所録カテゴリコードの設定.....	12
固定情報の設定.....	13

住所録固定情報について.....	13
国別固定情報について.....	15
事前設定.....	19
固定情報の設定に使用するフォーム.....	19
住所録固定情報の設定.....	19
国別固定情報の設定.....	20
監査ログの設定.....	22
監査ログについて.....	22
監査ログの設定に使用するフォーム.....	22
住所録監査ログの設定.....	22
自動採番の設定.....	23
自動採番の設定に使用するフォーム.....	23
住所録自動採番の設定.....	23
郵便番号の設定.....	24
郵便番号について.....	24
郵便番号の設定に使用するフォーム.....	25
住所録郵便番号の設定.....	25
補足データの設定.....	25
事前設定.....	25
補足データの設定に使用するフォーム.....	25
住所録に使用する補足データの設定.....	26

第 3 章

基本設定カレンダーの設定.....	27
基本設定カレンダーの設定について.....	27
基本設定カレンダーの UDC の設定.....	29

第 4 章

親/子関係と組織構造の設定.....	33
親/子関係の設定.....	33
親/子関係について.....	33
親/子関係の作成に使用するフォーム.....	34
構造の改訂 (P0150) の処理オプションの設定.....	34
構造の照会 (P02150) の処理オプションの設定.....	34
親/子関係の作成.....	35
親/子関係の検討.....	36
親/子の組織構造の階層の設定.....	37
親/子の組織構造の階層について.....	37

事前設定.....	37
親/子組織構造の階層の設定に使用するフォーム.....	38
階層を使用した組織構造の作成.....	38
組織構造のルート親の指定 (有効日付指定).....	38
組織構造の階層記述の入力.....	39
親/子関係 (上級) の設定.....	39
親/子関係 (上級) について.....	39
事前設定.....	39
親/子関係 (上級) の設定に使用するフォーム.....	40
親/子関係 (上級) の作成.....	40
第 5 章	
住所録レコードの入力.....	41
住所録情報について.....	41
住所録レコードの入力.....	42
住所録レコードについて.....	42
住所録レコードの入力に使用するフォーム.....	44
住所録 MBF (P0100041) の処理オプションの設定.....	44
住所録の改訂 (P01012) の処理オプションの設定.....	45
住所録レコードの追加.....	48
住所録レコードへの電話番号の追加.....	54
住所録レコードへの人名録情報の追加.....	55
人名録情報について.....	55
住所録レコードへの人名録情報の追加に使用するフォーム.....	56
人名録 MBF PO (P0100087) の処理オプションの設定.....	57
人名録レコードの追加.....	57
人名録レコードへの電話番号の追加.....	60
人名録レコードへの電子メール/インターネット アドレス情報の追加.....	61
人名録レコードへの関連先情報の追加.....	61
人名録レコードへの代替住所情報の追加.....	63
(BRA) Entering Tax Information for Address Book Records.....	63
Understanding Tax Information for Address Book Records.....	63
Understanding UDCs for Tax Information.....	64
Prerequisites.....	66
Forms Used to Enter Tax Information for Address Book Records.....	67
Setting Processing Options for Address Book Additional Information – Brazil (P01012BR).....	67
Adding Tax Information for Address Book Records.....	68
(CHL) Entering Additional Address Book Information.....	71
Understanding Additional Address Book Information for Chile.....	72

Prerequisite.....	72
Forms Used to Enter Additional Address Book Information for Chile.....	72
Setting the Processing Option for Address Book Regional Information – CHI – 01(P76H101).....	73
Adding Additional Address Book Information for Chile.....	73
(COL) Entering Additional Address Book Information.....	74
Understanding Additional Address Book Information for Colombia.....	74
Prerequisite.....	74
Forms Used to Enter Additional Address Book Information for Colombia.....	75
Setting Processing Options for Address Book Colombian Additional Information (P76C0101).....	75
Entering Additional Address Book Information for Colombia.....	75
(ECU) Entering Additional Address Book Information.....	77
Understanding Additional Address Book Information for Ecuador.....	77
Prerequisite.....	77
Forms Used to Enter Additional Address Book Information for Ecuador.....	77
Adding Address Book Information for Ecuador.....	77
(PER) Entering Additional Address Book Information.....	78
Understanding Address Book Information for Peru.....	78
Forms Used to Enter Address Book Information for Peru.....	79
Setting the Processing Option for Address Book Regional Information – PER – 01 (P76P101).....	79
Adding Address Book Information for Peru.....	79
(POL) Entering Additional Address Book Information.....	81
Understanding Address Book Information for Poland.....	81
Forms Used to Enter Address Book Information.....	81
Entering Additional Address Book Information.....	81
(RUS) Entering Additional Address Book Information.....	82
Understanding Additional Address Book Information for Russia.....	82
Forms Used to Enter Additional Address Book Information for Russia.....	83
Entering Additional Address Book Information for Russia.....	83
(VEN) Entering Additional Address Book Information.....	84
Understanding Venezuelan Address Book Information.....	84
Prerequisite.....	84
Forms Used to Enter Venezuelan Address Book Information.....	84
Entering Venezuelan Address Book Information.....	85
重複チェック レポートの印刷.....	85
重複チェック レポートについて.....	85
重複チェック レポートの実行.....	86
重複チェック レポートのデータ順序の設定.....	86
住所録 – 重複チェック (R014052) の処理オプションの設定.....	86
住所録検索テーブルの作成.....	86
住所録の検索について.....	87

住所録の検索に使用するフォーム.....	87
住所録検索テーブルの作成プログラムの実行.....	87
住所録検索テーブルの作成 (R01BDWRD) の処理オプションの設定.....	87
住所録の検索の使い方.....	88
第 6 章	
基本設定カレンダーの使い方.....	89
基本設定カレンダーについて.....	89
カレンダーの作成.....	89
カレンダーについて.....	90
カレンダーの作成に使用するフォーム.....	90
カレンダー管理 (P01311) の処理オプションの設定.....	90
カレンダーの追加.....	90
アクティビティとタスクの作成.....	92
アクティビティとタスクについて.....	92
アクティビティとタスクの追加および検索に使用するフォーム.....	95
アクティビティビュー (P01301) の処理オプションの設定.....	95
アクティビティとタスクの追加.....	97
アクティビティとタスクの検索.....	101
アクション プランの作成.....	102
アクション プランについて.....	102
アクション プランの設定およびアクション プランへのアクティビティの追加に使用するフォーム.....	103
アクション プランの設定.....	103
アクション プランへのアクティビティの追加.....	104
第 7 章	
住所録セルフサービスの使い方.....	107
住所録セルフサービスについて.....	107
住所録の改訂プログラムのセルフサービスの使い方.....	107
住所録の改訂プログラムのセルフサービスについて.....	107
住所録の改訂プログラムのセルフサービス機能のアクティブ化.....	108
住所録セルフサービス プログラムの使い方.....	108
住所録セルフサービス プログラムについて.....	108
連絡先セルフサービス プログラムについて.....	109
住所録および連絡先情報の更新に使用するフォーム.....	109
住所録セルフサービス (P01012SS) の処理オプションの設定.....	109
住所録セルフサービス プログラムの使い方.....	110
連絡先セルフサービス プログラムの使い方.....	112

第 8 章

住所録レコードの更新と除去	115
住所録の更新プログラムと除去プログラムについて.....	115
有効日付による住所録レコードの更新.....	115
住所録の更新について.....	115
事前設定.....	116
有効住所の更新プログラムの実行.....	116
カテゴリコードの更新.....	116
カテゴリコードの更新について.....	116
事前設定.....	116
カテゴリコード一括更新プログラムの実行.....	116
カテゴリコード一括更新 (R01490) の処理オプションの設定.....	116
住所録とメッセージ ログ レコードの除去.....	117
住所録とメッセージ ログの除去について.....	118
事前設定.....	118
住所録レコードの除去プログラムの実行.....	118
住所録レコードの除去 (R01800P) の処理オプションの設定.....	118
メッセージ ログの除去プログラムの実行.....	119
メッセージ ログの除去 (R01131P) の処理オプションの設定.....	119
(BRA) Purging Brazilian Address Book Records.....	119
Understanding the Purge Brazilian Address Book Tag Files Program.....	120
Running the Purge Brazilian Address Book Tag Files Program.....	120
Setting Processing Options for Purge Brazilian Address Book Tag Files (R76011P).....	120

第 9 章

住所録レコードのバッチ処理	121
住所録のバッチ処理について.....	121
アップロード用バッチ レコードの追加.....	123
アップロード用バッチ レコードの追加について.....	123
バッチ レコードの追加に使用するフォーム.....	124
新しいバッチの作成およびレコードの追加.....	124
住所録バッチ情報のアップロード.....	125
住所録バッチ アップロード プログラムについて.....	125
事前設定.....	125
住所録バッチ アップロードの実行.....	125
住所録バッチ アップロード (R01010Z) の処理オプションの設定.....	125
顧客マスター バッチ情報のアップロード.....	126
顧客マスター バッチ アップロード プログラムについて.....	126
事前設定.....	126

顧客マスター バッチ アップロード プログラムの実行.....	127
顧客マスター バッチ アップロード (R03010Z) の処理オプションの設定.....	127
仕入先マスター バッチ情報のアップロード.....	127
仕入先マスター バッチ アップロード プログラムについて.....	127
事前設定.....	128
仕入先マスター バッチ アップロード プログラムの実行.....	128
仕入先マスター バッチ アップロード (R04010Z) の処理オプションの設定.....	128
人名録バッチ情報のアップロード.....	128
人名録バッチのアップロード プログラムについて.....	128
事前設定.....	129
人名録バッチのアップロードの実行.....	129
人名録バッチのアップロード (R011110Z) の処理オプションの設定.....	129
未処理バッチの改訂.....	130
正常に処理が行われなかったバッチについて.....	130
未処理バッチの改訂に使用するフォーム.....	131
未処理のバッチ レコードの改訂.....	131
処理済みバッチの改訂.....	132
正常に処理されたバッチについて.....	132
処理済みバッチの改訂に使用するフォーム.....	133
処理済みのバッチ レコードの改訂.....	133
住所録バッチの除去.....	133
住所録バッチ除去プログラムについて.....	133
事前設定.....	134
住所録バッチ除去プログラムの実行.....	134
住所録バッチ除去 (R0101Z1P) の処理オプションの設定.....	134
付録 A	
バッチ処理用のフィールドのマッピング.....	137
住所録 - インタオペラビリティ テーブル (F0101Z2) のフィールドのマッピング.....	137
業種別顧客マスター - バッチ テーブル (F0301Z1) のフィールドのマッピング.....	153
仕入先マスター - バッチ アップロード テーブル (F0401Z1) のフィールドのマッピング.....	198
バッチ - 人名録情報テーブル (F0111Z1) のフィールドのマッピング.....	219
バッチ - 関連先テーブル (F0111Z2) のフィールドのマッピング.....	228
電話番号 - インタオペラビリティ テーブル (F0115Z1) のフィールドのマッピング.....	233
バッチ - 電子メール アドレス テーブル (F01151Z1) のフィールドのマッピング.....	239
バッチ - 代替住所テーブル (F01161Z1) のフィールドのマッピング.....	244

付録 B

住所録システムで使用するテーブル.....	253
住所録テーブル.....	253
バッチ処理用の住所録テーブル.....	255

付録 C

EnterpriseOne 住所録の標準ワークフロー.....	257
EnterpriseOne 住所録の標準ワークフロー.....	257
アクティビティ/タスクの通知.....	257

付録 D

住所録レポート.....	259
住所録レポート.....	259
住所録レポート(ID 順).....	259
主な住所録レポートの詳細説明.....	260
R01050 - カテゴリコードから顧客マスターへのコピー.....	261
カテゴリコードから顧客マスターへのコピーの処理オプション.....	261
R01401 - 宛名ラベルの印刷.....	261
宛名ラベルの印刷 (R01401) の処理オプション.....	261
R01401A - 標準宛名ラベル.....	262
標準宛名ラベル (R01401A) の処理オプション.....	262

EnterpriseOne 用語集.....	263
------------------------	-----

索引.....	275
---------	-----

この PeopleBook について

PeopleBook には、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの導入と使用に必要な情報が提供されています。

ここでは、以下の事項について説明します。

- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識
- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎
- 印刷・製本されたドキュメンテーションの入手
- 追加情報
- 表記規則
- ご意見・ご要望について
- PeopleBook で使用する共通フィールド

注: PeopleBook には、システムで使用されている全てのフィールドについて説明されているわけではありません。アプリケーションで共通して使用される主なフィールドは、共通フィールドとしてまとめて説明しています。全てのアプリケーションで共通するフィールドはこの PeopleBook に、各アプリケーションで共通するフィールドは、それぞれの製品ライン、PeopleBook、またはその章やセクションごとに、共通フィールドとしてまとめて説明されています。それ以外に説明が必要だと思われるものについては、処理や業務を実行する具体的なページの説明と併せて、フィールドやチェック ボックスの説明をそれぞれ記載しています。

JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識

この PeopleBook の内容を十分に理解して活用するには、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基本的な使い方を熟知している必要があります。

また、JD Edwards EnterpriseOne の入門トレーニング コースを少なくとも 1 つ修了していることが推奨されます。

この PeopleBook では、ユーザーが JD Edwards EnterpriseOne システムを操作でき、メニューやページ、フォームなどを使って情報を追加、更新、削除できることを前提としています。また、Web ブラウザと、Microsoft Windows または Microsoft Windows NT の操作に習熟していることも必要です。

ここでは、JD Edwards EnterpriseOne システムを操作できることを前提としているため、操作手順についての説明は省略しています。この PeopleBook では、JD Edwards EnterpriseOne システムを効果的に使用するために必要な情報や、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを導入するために必要な情報を提供します。

JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎

各アプリケーションの PeopleBook では、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを導入して使用するための情報を提供しています。

また、システムを設定したり設計するときに必要な情報が、製品ラインで共通する『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている場合もあります。ほとんどの製品ラインについて『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』が用意されています。それぞれの PeopleBook のまえがきに、関連する『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』の情報が記載されています。

『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』で取り上げている項目は、製品ラインのどのアプリケーションにも当てはまる、あるいはその多くに共通する重要なものばかりです。JD Edwards EnterpriseOne システムを導入する場合、製品ラインの中から 1 つのアプリケーションだけを導入する、いくつかのアプリケーションを組み合わせて導入する、または製品ライン全体を導入する、といういずれの場合でも、この『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている内容を十分に理解しておくことが必要です。基礎的な内容を理解することが、導入タスクに着手する出発点となります。

印刷・製本されたドキュメンテーションの入手

このセクションでは、印刷・製本されたドキュメンテーションの注文について説明します。

印刷・製本されたドキュメンテーションの注文

PeopleBooks CD-ROM に収録されているドキュメンテーションは、印刷・製本された形のものも用意されています。印刷・製本されたドキュメンテーションは、以下のいずれかの方法でご注文いただけます。

- Web サイト
- 電話（米国およびカナダのみ）
- 電子メール

Web サイト

PeopleSoft の Web サイトである Customer Connection から注文できます。Ordering PeopleBooks リンクをクリックすると、PeopleBooks Press の Web サイトにアクセスすることができます。このサイトは、PeopleSoft と印刷会社 MMA Partners 社が共同で運営しています。ご注文の際、クレジットカード、郵便為替、銀行小切手、または注文書をご利用いただけます。

電話（米国およびカナダのみ）

877 588 2525 (MMA Partners 社) までご連絡ください。

電子メール

peoplebookspress@mmapartner.com (MMA Partners 社) までご連絡ください。

関連項目:

PeopleSoft Customer Connection
<https://www.peoplesoft.com/corp/en/login.jsp>

追加情報

PeopleSoft Customer Connection Web サイトから、以下の情報を入手できます。

情報	ナビゲーション
アプリケーションのメンテナンス情報	[Updates + Fixes]
ビジネスプロセス マップ	[Support]、[Documentation]、[Business Process Maps]
データモデル	[Support]、[Documentation]、[Data Models]
エンタープライズ インテグレーション ポイント (EIP) のカタログ	[Support]、[Documentation]、[Enterprise Integration Point (EIP) Catalog]
ハードウェア要件とソフトウェア要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Hardware and Software Requirements]
インストール ガイド	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Installation Guides and Notes]
PeopleBook ドキュメンテーションのアップデート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]
サポートポリシー	[Support]、[Support Policy]
製品出荷予定	[Support]、[Roadmaps + Schedules]
リリースノート	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Upgrade Guide]、[Upgrade Documentation and Software]、[Release Notes]
テーブルのロード順序	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Table Loading Sequences]
トラブルシューティング情報	[Support]、[Troubleshooting]
アップグレード関連のドキュメンテーション	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Upgrade Guide]

表記規則

このセクションでは、以下の事項について説明します。

- 表記規則
- 注意事項の表示
- 国、地域、業種の表記
- 通貨コード

表記規則

PeopleBook は、次の表記規則に従って記述されています。

表記規則	説明
太字	PeopleCode の関数名、メソッド名、言語要素や、関数呼び出しで、そのまま記述すべき PeopleCode の予約語は太字で記述しています。
斜体	PeopleCode の構文で、プレースホルダとなる引数部分は斜体になっています。
キー+キー	キーを組み合わせる操作を示しています。キー名とキー名の間にプラス記号がある場合は、最初のキーを押しながら2番目のキーを押すという意味です。たとえば、Alt+W は、Alt キーを押しながら W キーを押すことを表します。
Monospace font (固定幅のフォント)	PeopleCode のプログラムや、その他のコードの例の表記には、この固定幅のフォントを使用しています。
...(省略記号)	PeopleCode の構文で、先行要素の任意の繰り返しを示します。
{ }(中かっこ)	PeopleCode の構文で、2つの選択肢のうちいずれか一方を選択することを示します。選択肢は縦棒 () で区切られています。
[](角かっこ)	PeopleCode の構文で、省略できる要素を示します。
&(アンパサンド)	PeopleCode の構文で、アンパサンドが頭に付いたパラメータはインスタンス化されたオブジェクトであることを示します。 また、PeopleCode の変数は必ずアンパサンドが頭に付きます。

注意事項の表示

PeopleBook では、注意事項が以下のような形式で示されています。

注

JD Edwards EnterpriseOne システムを使って作業するときに注意すべき事項が書かれています。

注: 注意事項は、このような形式で示しています。

システムが正しく機能するために必ず守るべき大切な事柄は、“重要:”と示されています。

重要: 重要な注意事項は、このような形式で示しています。

警告

JD Edwards EnterpriseOne システムの導入にあたって、特に注意しなければならない重要な事柄は、“警告:”と示されています。“警告:”と書かれた部分には十分な注意を払ってください。

警告: 警告は、このような形式で示しています。

相互参照

相互参照は、“参照:”、または“関連項目:”という形で示しています。すぐ前で説明した情報に関連する他のドキュメンテーションが相互参照として示されています。

国、地域、業種の表記

特定の国、地域、業種にのみ関連する情報については、国や地域名などをかっこ書きで付記して示しています。このような国や地域の表示は、通常はセクションの見出しに付記されますが、注意事項などに付記されることもあります。日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています。

特定の国を対象とした見出しの例: 「従業員の採用 (FRA)」

特定の地域を対象とした見出しの例: 「減価償却の設定 (中南米)」

国の表記

国際標準化機構 (ISO) が定める国コードを使って表記しています。

地域の表記

地域を表す名称で表記しています。以下に例を示します。

- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 中南米
- 北米

業種の表記

業種を表す名称か略称を使って表記しています。以下に例を示します。

- USF (米国連邦政府)
- E&G (教育/公的機関)

通貨コード

金額は、ISO が定める通貨コードを使って表記しています。

ご意見・ご要望をお寄せください

PeopleBook についてのご意見、ご要望を下記にお寄せください。

〒154-0005
東京都世田谷区三宿 1-13-1
東映三宿ビル 5 階

日本オラクル インフォメーション システムズ株式会社
エンタープライズ ランゲージ サービス マネジャー宛

TEL : 03-5251-8768

または、ETSJPN_US@ORACLE.COM へ電子メールでご連絡ください。

いただいた電子メール全てにご返答のできない場合もありますが、弊社では皆様のご意見やご要望に留意し、貴重な情報として今後の参考にさせていただきます。

全ての PeopleBook で使用する共通フィールド

以下 Enterprise の用語です。

指定日	どの日付までのデータが、レポートまたはプロセスの対象となるかを指定します。
ビジネスユニット	業務上、区分された上位レベルの組織の ID です。ビジネスユニットを利用して、1 つの大きな組織の中に地域別または部門別に複数のユニットを定義することができます。
名称	30 文字までのテキストを入力できます。
有効日	テーブル行が有効になる日付、またはアクションが開始される日付です。たとえば、元帳を 6 月 30 日に締める場合、元帳締めの有効日は 7 月 1 日となります。データを表示、変更できる時期も有効日により管理されます。この情報を使用するページやバッチ処理では、現在行が使用されます。
1 回限り、常時、実行しない	“1 回限り” を選択すると、次のバッチ処理実行時にリクエストが実行されます。バッチ処理が実行されると、処理頻度は自動的に “実行しない” に設定されます。 “常時” を選択すると、バッチ処理が実行されるたびに毎回リクエストが実行されます。 “実行しない” を選択すると、バッチ処理が実行されてもこのリクエストは実行されません。
プロセス モニター	このリンクをクリックすると、プロセス リスト ページに移動して、送信したプロセス リクエストのステータスを確認できます。
レポート マネージャ	このリンクをクリックすると、レポート リスト ページに移動して、レポート内容の表示、レポート ステータスの確認、レポートと配信リストの詳細を表示する内容詳細メッセージの照会を行うことができます。

リクエスト ID	レポートまたはプロセスの選択条件のセットを表す ID です。
実行	このボタンをクリックしてプロセス リクエスト ページにアクセスすると、プロセスまたはジョブの実行場所、およびプロセスの出力フォーマットを指定できます。
セットID	コントロール テーブル情報のセット、つまり、テーブルセットを表す ID です。テーブルセットを使用すると、コントロール テーブル情報や処理オプションをビジネス ユニット間で共有できます。これにより、データの重複やシステムのメンテナンス作業を減らすことができます。ビジネスユニット内のレコード グループにセットID を割り当てると、レコード グループ内の全てのテーブルは、そのビジネスユニットと、そのレコード グループに同じセットID を割り当てているその他のビジネス ユニットとの間で共有されます。たとえば、複数のビジネスユニットで共通する職務コードのグループを定義して共有することができます。職務コードを共有する各ビジネス ユニットには、そのレコードについて同じセットID が割り当てられます。
略称	15 文字までのテキストを入力できます。
ユーザー ID	トランザクションを実行するユーザーを表す ID です。
以下 EnterpriseOne の用語です。	
住所番号	エンティティのマスター レコードを識別する固有の番号です。住所番号は、顧客、仕入先、会社、従業員、応募者、加入者、テナント、などの ID として使用できます。アプリケーションによっては、ページ上の住所番号フィールドが、顧客番号、仕入先番号、会社番号、従業員番号、応募者番号、加入者番号、などに相当する場合があります。
仮定通貨コード	取引金額を表示する際に使用する通貨を指定する 3 文字のコードです。このコードを指定することにより、取引の入力時に実際に使用された通貨ではなく、指定した通貨に基づいて取引金額を参照することができます。
バッチ番号	システムによって処理される取引のグループを識別する番号です。入力ページでは、ユーザーが手動でバッチ番号を割り当てるか、自動採番プログラム (P0002) によって自動的に割り当てることもできます。
バッチ日付	バッチが作成された日付です。このフィールドを空白のままにすると、自動的にシステム日付がバッチ日付として指定されます。
バッチ状況	<p>バッチの転記状況を示すユーザー定義コード (UDC) 98/IC の値を表示します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白: バッチが転記されていないか、承認待ちです。</p> <p>A: バッチの転記が承認され、貸借も一致していますが、まだ転記されていません。</p> <p>D: バッチが正常に転記されました。</p> <p>E: バッチにエラーが発生しました。転記の前にエラーを修正する必要があります。</p> <p>P: バッチの転記処理中です。転記処理が完了するまで、バッチにアクセスすることはできません。転記中にエラーが発生した場合は、バッチ状況コードが E に変更されます。</p>

U: ほかのユーザーがこのバッチを使用しているか、バッチが開かれている間に電源障害が発生したために、バッチが一時的に使用できなくなっています。

事業所	倉庫、作業、プロジェクト、作業所、支店、工場など、配送業務や製造業務が行われる場所や単位を表すコードです。システムによっては、ビジネスユニットと呼ばれる場合もあります。
ビジネスユニット	個別に費用がトラッキングされる各エンティティを表すコードです。システムによっては、事業所とも呼ばれます。
カテゴリコード	各カテゴリを表すコードです。カテゴリコードは、ユーザー定義コードで、トラッキングや申告など、組織の業務要件に合わせてカスタマイズできます。
会社	組織、資金、報告主体などを識別するコードです。会社コードは、F0010に定義済みである必要があり、このコードで表される単位ごとに、完全な貸借対照表を備えている必要があります。
通貨コード	取引の通貨を表す3文字のコードです。EnterpriseOneでは、国際標準化機構 (ISO) に準拠した通貨コードを提供しています。通貨コードは F0013 テーブルに格納されています。
伝票会社	伝票に関連付けられた会社番号です。この番号は、伝票番号、伝票タイプ、元帳日付と併せて使用され、当初伝票を一意に識別します。 会社と会計年度によって次の番号を割り当てる場合、この会社番号に基づいて、その会社の次の番号が自動的に抽出されます。 同じ伝票番号と伝票タイプが複数の当初伝票に割り当てられていても、伝票会社番号を使用すれば、目的の当初伝票を表示することができます。
伝票番号	伝票、請求書、仕訳入力、タイムシートなどの当初伝票を識別する番号です。入力ページでは、ユーザーが当初伝票番号を割り当てるか、自動採番プログラムによって自動的に割り当てることもできます。
伝票タイプ	取引のソースおよび目的を表すユーザー定義コード 00/DT の値 (2文字) です。伝票、請求書、仕訳入力、タイムシートなどがあります。EnterpriseOneでは、伝票タイプに以下のプレフィックスが予約されています。 P: 買掛伝票 R: 売掛伝票 T: 時間/給与伝票 I: 在庫伝票 O: 購買伝票 S: 受注伝票
有効日付	住所、品目、取引、レコードなどがアクティブになる日付です。このフィールドは、プログラムによって意味が変わります。たとえば、以下のような日付を表すことがあります。 <ul style="list-style-type: none">• 住所変更が有効になる日付• 賃貸契約が有効になる日付• 価格が有効になる日付• 為替換算レートが有効になる日付

- 税率が有効になる日付

会計期間、会計年度

元帳の期間、年度を表す番号です。多くのプログラムでは、このフィールドを空白のままにできます。その場合、会社固定情報プログラム (P0010) で定義された現在の会計期間と会計年度が自動的に使用されます。

元帳日付

取引の転記先の会計期間を示すための日付です。取引に対してこの日付が入力されると、その会社に割り当てられている会計期間パターンと比較して、適切な会計期間および会計年度が抽出されます。日付の検証も併せて行われます。

JD Edwards EnterpriseOne 住所録 - まえがき

この章では、以下の内容について説明します。

- 対象の製品
- アプリケーションの基礎

対象の製品

この PeopleBook では、以下の製品についての情報も記載されています。

- JD Edwards EnterpriseOne 買掛管理
- JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理
- JD Edwards EnterpriseOne セールス フォース オートメーション

アプリケーションの基礎

システムの設定や設計に必要な基本情報は、この PeopleBook の姉妹編とも言える『PeopleSoft EnterpriseOne FMS 8.11 SP1 Application Fundamentals PeopleBook』に記載されています。

第 1 章

JD Edwards EnterpriseOne 住所録 - はじめに

この章では、以下の内容について説明します。

- 住所録の概要
- 住所録の統合
- 住所録の導入

住所録の概要

住所録システムは、EnterpriseOne の各システムの基盤となります。住所録システムには、顧客、仕入先、企業などの名称、住所、電話番号が保管されます。この情報は複数のテーブルに保管され、情報の中央リポジトリとして機能します。住所録システムに登録されている名前や住所の最新情報は、EnterpriseOne の他のシステムからも利用できます。たとえば、買掛管理システムでは仕入先への支払を生成する際に、売掛管理システムでは顧客への請求書や計算書を生成する際に住所録の情報が使用されます。

EnterpriseOne の他のシステムと統合されている住所録リポジトリを使用して、住所録の情報を効率的に管理することができます。住所録システムには、以下の機能が備わっています。

- 従業員、顧客、仕入先などの情報一式の管理
- 与信の警告、保留メッセージ、その他重要な売掛情報など、特別な状況に関する該当ユーザーへの通知
- 照会およびレポート用の、検索タイプ別の住所レコードの分類
- 名前、住所、電話番号、検索タイプを使った情報検索機能
- 税情報の管理
- 1 つの住所録レコードに複数の住所を関連付ける機能
- 住所変更の有効日付
- 標準マスター テーブルに含まれていない情報の管理、照会用の補足データ

住所録レポート

住所録システムでは、情報のソート順序や分類方法を定義してレポートを作成することができます。ユーザー定義情報を作成したり構成して、住所録レコードにその情報を加えることにより、ニーズに合わせてレポートをカスタマイズすることができます。ユーザー定義情報では、以下の定義ができます。

- 住所録カテゴリコード (最大 30 個)。住所情報の照会や、レポート出力時に使用します。たとえば、あるレポートでは仕入先を販売担当者別にソートして、別のレポートでは地域別にソートすることができます。
- 人名録カテゴリコード (最大 10 個)。特定の会社の住所録レコードに関連付けられている請求先担当者、管理者、販売担当者などの識別に使用できます。
- 連絡先情報カテゴリコード (最大 10 個)。人名録レコードをさらに詳しく分類できます。

- 関連先カテゴリコード (最大 5 個)。関連先情報を分類できます。
- また、レポートをカスタマイズして、郵送宛名リストやラベルなどを作成することもできます。

住所録の統合

EnterpriseOne の各システムでは、住所録システムと統合することにより、以下の設定を行うことができます。

システム	設定
買掛管理	仕入先と税務当局の設定
売掛管理	顧客と税務当局の設定
一般会計	会社とビジネスユニットの設定
作業原価	作業の設定、および仕入先、外注業者、プロジェクト管理者、責任者への作業の割り当て
固定資産管理	固定資産の担当者と仕入先の設定
調達管理	仕入先、購買担当者、運送業者、事業所、出荷先住所、輸入業者 (通関業者) の設定
受注管理	出荷先住所、販売先住所、運送業者、販売担当者、事業所、顧客請求指示の設定
在庫管理	品目マスターレコードに登録する計画担当者、購買担当者、事業所の設定
契約管理	出来高払い処理用の仕入先および契約ログの設定
契約請求管理	建築士、顧客、所有者、送金先、代替請求先、連絡先の設定
サービス請求管理	作業オーダーに割り当てる従業員および顧客の設定
価格管理	価格調整を適用する際に使用する顧客カテゴリコードの設定
所要量計画	事業所および計画担当者 (資材計画担当者や製品ライン監督者) の設定
予測管理	予測階層の設定
工場および設備管理	設備管理者、設備納入会社、メンテナンス担当者の設定
作業オーダー管理	顧客、管理者、入力者、監督者の設定

システム	設定
サービス管理	顧客とサービス業者の設定
Payroll (給与計算)	従業員の氏名および住所の設定
Human Capital Management (人事管理)	従業員、扶養家族、応募者の設定
システム ユーザー プロファイル	ユーザー名に対する住所録レコードの設定および各ユーザー名に対する電子メールアドレスの追加
ワークフロー ツール	ワークフロー メッセージの宛先および住所録レコードの電子メールアドレスの設定

住所録の導入

このセクションでは、住所録システムを導入するために必要なステップの概要を説明します。

導入の計画段階では、インストール ガイドやトラブルシューティング情報など、提供されているさまざまな情報を活用してください。これらのリソースの一覧は、まえがきの『この PeopleBook について』セクションに、各リソースの最新バージョンの入手方法と共に掲載されています。

住所録の導入ステップ

次の表は、EnterpriseOne 住所録システムのアプリケーション別推奨導入ステップを示しています。

手順	参照
1. ユーザー定義コード、カテゴリコード、固定情報、自動採番、郵便番号、セルフサービス、補足データ、監査ログの設定	第 2 章、「住所録システムの設定」、5 ページ
2. 基本設定カレンダーのユーザー定義コードの設定	第 3 章、「基本設定カレンダーの設定」、27 ページ
3. 親/子関係および組織構造の設定	第 4 章、「親/子関係と組織構造の設定」、33 ページ

第 2 章

住所録システムの設定

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、住所録システムの設定要件および住所録システムで使用されるユーザー定義コードとカテゴリコードの概要と以下の設定方法について説明します。

- ユーザー定義コード
- カテゴリコード
- 固定情報
- 監査ログ
- 自動採番
- 郵便番号
- 補足データ

住所録の設定要件について

住所録システムを使用する前に、処理に使用される情報を設定しておく必要があります。システムは、この情報を基にビジネス ニーズに合わせてカスタマイズされます。住所録システムの使用開始後に設定情報を変更する場合は、既存のレコードに影響が及ばないことを確認する必要があります。システム設定機能の 1 つに固定情報があります。固定情報を設定すると、その情報は全ての住所録レコードに適用されます。そのため、固定情報を変更する場合は、既存の住所録レコードに影響が及ばないことを確認する必要があります。

次の表は、住所録システムの設定機能を示しています。

機能	設定
ユーザー定義コード	データの分類とデータ入力の標準化に使用します。
カテゴリコード	業務に固有な情報のトラッキングおよびレポートに使用します。
固定情報	以下のようなシステムの基本設定に使用します。 住所番号の形式を識別する記号 他のユーザーの電子メールの表示制限 住所録レコードへの有効日付住所の設定の可/不可 住所録データセキュリティの有効化/無効化

機能	設定
国別固定情報	宛名ラベルのフォーマットの決定に使用します。
住所録監査ログ	住所録レコードの追加と変更の記録に使用します。
自動採番	自動採番システムに基づいて、住所録レコードに番号を割り当てる場合、および自動採番の形式にチェックディジットを指定するかどうかを指定する場合に使用します。
郵便番号検証	住所録レコードの郵便番号の検証に使用します。

住所録のユーザー定義コードの設定

住所録システムのプログラムの多くや他の EnterpriseOne システムでは、ユーザー定義コード (UDC) を使用して情報を処理します。住所録システムのほとんどの UDC には、事前に定義されたデータが標準で用意されています。定義済みのデータは、ハードコード化されていない場合には、変更や削除が可能です。また、必要に応じて、独自の UDC を追加することも可能です。ただし、住所録システムの UDC のシステムコード、コードタイプ、および記述名は変更しないでください。

次の表では、住所録システムで使用される UDC について説明します。

ユーザー定義コード	説明
検索タイプコード (01/ST)	検索タイプコードにより、住所録レコードを分類し、住所録レコードの検索時に表示されるレコードの数を制限します。たとえば、以下のコードがあります。 A: 応募者 C: 顧客 E: 従業員
標準産業分類 (01/SC)	住所録レコードには、標準産業分類 (SIC) コードを追加できます。SIC システムは、提供している製品やサービスの種類に従って企業を分類する一連の番号コードです。同じ事業に従事する企業には、同じ SIC コードが割り当てられます。この SIC システムは、米国商務省および米国企業により共同開発されたものです。たとえば、以下のコードがあります。 0700: 農業サービス 1000: 鉄鋼業

ユーザー定義コード	説明
与信メッセージ (00/CM)	<p>与信メッセージにより、特定の住所録レコードの与信状況が通知されます。たとえば、以下のコードがあります。</p> <p>B:不良債権の恐れあり</p> <p>1: 与信限度額超過</p> <p>2: 購買オーダー必要</p>
都道府県コード(州) (00/S)	<p>州や都道府県を表すコードで、最大 3 文字まで使用できます。たとえば、以下のコードがあります。</p> <p>BC:ブリティッシュコロンビア州</p> <p>CO:コロラド州</p> <p>DC:コロンビア特別区</p> <p>IL:イリノイ州</p>
検索特殊語句 (H95/SC)	<p>特殊文字を UDC テーブル H95/SC に追加して、住所の名称(語句)検索時に特殊文字を無視するよう指示できます。語句検索機能を使用して住所録レコードを検索する場合、このテーブルに登録されている全ての特殊文字は常に無視されます。ただし、語句検索機能では、無視の対象に語句を設定することはできません。</p> <p>UDC テーブル H95/SC の特殊文字を含むレコードを検索する場合は、まずその特殊文字を UDC から削除してください。次に、語句検索機能以外の方法を使用して各レコードを検索して開き、変更を一切加えずに保存します。名称に含まれた特殊文字が住所録マスター (F0101) に反映されます。これで、語句検索機能使用時に、その特殊文字を検索対象に含めて、住所録レコードを検索できるようになります。</p>
国コード (00/CN)	<p>国コードは最大 3 文字まで可能です。たとえば、以下のコードがあります。</p> <p>AU:オーストラリア</p> <p>BE:ベルギー</p> <p>CN:中国</p>
敬称コード (01/SL)	<p>敬称コードは、個人の役職を表します。敬称は、レポート、宛名ラベルなどに使用できます。たとえば、以下のコードがあります。</p> <p>A:Mr.</p> <p>B:Mrs.</p> <p>C:Ms.</p> <p>D:Dr.</p>

ユーザー定義コード	説明
電子メール メッセージタイプコード (01/MT)	<p>メッセージタイプコードは、別のユーザーへのスピードメッセージの送信に使用されます。たとえば、以下のコードがあります。</p> <p>1 折り返し電話をください。 2: 後でもう一度電話します。 3: 折り返し電話しました。</p>
使用言語コード (01/LP)	<p>使用言語コードにより、請求書、計算書などの文書やレポートに使用する言語を指定します。トランザクションを入力する前に必ず、システムレベルまたはユーザー環境設定のいずれかで言語コードを設定する必要があります。</p> <p>このコードにより、ユーザー定義用語(用語一時変更)の言語が指定され、希望の言語でデータが表示されます。たとえば、以下のコードがあります。</p> <p>DU:オランダ語 E:英語 F:フランス語</p> <p>(JPN) 日本の場合、住所録レコードのフリガナフィールドにカタカナを入力できるようにするために、UDCテーブル 01/LP の特殊取扱コードフィールドに 3 を設定する必要があります。特殊取扱コードフィールドに 3 を設定すると、ビジネスユニットフォームの記述フィールドの検索も可能になります。</p>
Dun & Bradstreet 格付コード (01/DB)	<p>Dun & Bradstreet 社が提供する信用格付けコードです。たとえば、以下のコードがあります。</p> <p>BA1:優良 BA2:良 BA3:可</p>
Experian 格付けコード (01/TR)	<p>Experian 社が提供する信用格付けコードです。たとえば、以下のコードがあります。</p> <p>AAA:優良 BBB:良 CCC:可</p>
タイプコード (01/W0)	<p>タイプコードにより、住所録レコードの人名録データを識別します。たとえば、以下のコードがあります。</p> <p>A:宛名 B:請求先 C:連絡先</p>

ユーザー定義コード	説明
連絡先タイプコード(01/CT)	<p>連絡先タイプコードにより、人名録に入力された連絡先データを、役割または機能別に分類します。たとえば、以下のコードがあります。</p> <p>C:競合他社</p> <p>D:意思決定者</p> <p>I:影響者</p>
関係タイプコード(01/RT)	<p>関係タイプコードは、人名録レコードと関連先テーブル(F01112)の名前の間の関係を示します。また、関係タイプコードを使って、各個人の役割または役職を示すこともできます。</p>
電子メール アドレス タイプコード(01/ET)	<p>電子メール アドレス タイプコードは、電子メール アドレスが個人のアドレス(電子メール アドレスなど)であるか、またはインターネット アドレス(URL など)であるかを指定します。</p>
(CHL) Tax Unique Register (Registro Unico Tributarios [R.U.T]) Number Validation (76H/DA)	<p>R.U.T number validation values specify whether the system performs validation on the tax identification number. Values are:</p> <p>1: Validate the R.U.T number. You must also enter 1 in the special handling code for this UDC value for the system to perform validation.</p> <p>2: Do not validate the R.U.T number.</p>
(CHL and PER) V.A.T Registration Status (76H/02)	<p>V.A.T registration status values specify whether a customer or supplier has registered for V.A.T tax. Values are:</p> <p>N: Not registered.</p> <p>Y: Registered.</p>
(CHL) Address Book Search Types (76H/ST)	<p>Address book search types indicate for which search types the system should perform R.U.T number validation. Examples include:</p> <p>C: Customer</p> <p>S: Supplier</p>

ユーザー定義コード	説明
(COL) Ranges to validate the tax identification (ID) number (76C/PR)	<p>Ranges of tax ID indicate the ranges of numbers for tax IDs that require validation by the system. Set up the codes as follows:</p> <p>Code: For the first character, enter a valid person/corporation code from UDC 76C/TC. For the second two characters, enter either 01 to indicate a beginning number for the range, or 02 to indicate the ending number.</p> <p>Description 01: Enter the beginning number for the range.</p> <p>Description 02: Enter the ending number for the range.</p>
(COL) Tax payer type (76C/TC)	<p>Tax payer types indicate whether VAT and withholding taxes apply to the third-party for which you are creating an address book record. The system uses this field when creating tax settlements during voucher entry. Values are:</p> <p>G: Large self-withholding tax payer</p> <p>H: Large non self-withholding tax payer</p> <p>A: Common non self-withholding regime</p> <p>C: Common self-withholding regime</p> <p>S: Simplified regime</p>
(COL) Person or Corporation Code (76C/PC)	<p>The person or corporation codes indicate the class of the third-party for which you are entering the address book record. Values are:</p> <p>C: Natural person</p> <p>A: Legal person</p> <p>E: Natural person with foreign nationality</p> <p>In the Special Handling field on the Work With User Defined Codes form, specify whether the system must calculate the verification digit for the user-defined code by entering:</p> <p>Y or 1: Edit the tax ID number and calculate the verification digit.</p> <p>2: Edit the tax ID number, but do not calculate the verification digit.</p> <p>N or Blank: Do not edit the tax ID number and do not calculate the verification digit.</p>
(COL) City/Economic Activity (01/07)	<p>City/Economic activity codes identify the supplier's economic activity.</p>
(COL) CIIU (Unified Industrial Information Code) Code	<p>Ciiu codes are reported to the District using magnetic media.</p>

ユーザー定義コード	説明
(ECU) Record Identification Type Codes (H00/TA)	<p>Record identification type codes specify the entity for which you are creating an address book record. Values are:</p> <p>Blank: Corporate entity</p> <p>0: No validation</p> <p>1: Individual</p> <p>2: Corporate entity</p> <p>3: Both an individual and a corporate entity</p> <p>4: Non-corporate entity</p> <p>5: Customs authority</p> <p>C: Corporate entity</p> <p>N: Non-corporate entity</p> <p>P: Individual</p> <p>Enter the number of characters for the tax identification number in the Special Handling field.</p>
(ECU) Tax Person Code 76C/PC	<p>The tax person code specifies the type of tax payer. Examples include:</p> <p>E: Special</p> <p>N: Non-special</p> <p>P: Person</p> <p>Z: Foreigner</p>
(PER) IGV Withholding Concept (76/P01)	<p>These values specify the type of IGV withholding. Values are:</p> <p>IG1: Prueba</p> <p>IG2: Prueba</p> <p>IG3: Prueba 3</p> <p>IGV: Generic IGV Concept</p>
(PER) SPOT Concept	<p>These values specify the type of SPOT withholding. Values are:</p> <p>01: SPOT 1 CONCEPT</p> <p>02: SPOT 2 CONCEPT</p> <p>03: SPOT 3 CONCEPT</p>

関連項目:

EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Foundation

住所録カテゴリコードの設定

カテゴリコードはユーザー定義コード (UDC) の 1 種で、各業務の情報追跡 (トラッキング) やレポートの要件に合わせてカスタマイズすることができます。カテゴリコードを使用して、住所録情報を整理し、データ入力を標準化します。

住所録システムには、事前定義されたカテゴリコードが標準で用意されています。ハードコード化されていない場合は、事前定義済みデータを変更、削除できます。また、独自のカテゴリコードを追加することも可能です。カテゴリコードは、ユーザー定義コード フォームを使用して設定します。

カテゴリコードの記述は変更できますが、システムコードとタイプコードは変更できません。たとえば、UDC テーブル 01/23 の記述を “住所録選択コード 23” から “仕入先製品” に変更することができます。また、カテゴリコードの特性を変更することもできます。たとえば、桁数 (最大 10 文字) と文字 (英字または数字) を変更できます。カテゴリコードの記述や特性を変更した場合は、システム管理者は、データ辞書の編集ルールとマッピング方法を変更して、データ入力フォームに変更が反映されるように再設定する必要があります。

住所録の改訂プログラム (P01012) を使用して、住所録レコードにカテゴリコードを割り当てます。住所録レコードにカテゴリコードを割り当てた後で、レコードのカテゴリコードの記述や特性を変更する場合は、既存の住所録レコードを手作業で変更する必要があります。

使用している住所録カテゴリコード (01/01-30) について、ユーザー定義テーブルの値を変更する場合は、ユーザー定義コード フォームを使用して値を変更してから、カテゴリコード一括更新プログラム (R01490) を実行して既存の全ての住所録レコードを更新します。

注: 住所録カテゴリコードを設定する際には、ユーザー定義コード フォームで必ず空白のレコードを作成してください。この空白は、住所録レコードにカテゴリコードを割り当てる必要がない場合のデフォルトに使用します。

カテゴリコード	説明
住所録カテゴリコード (01/01-30)	<p>UDC テーブル 01/01-30 に住所録カテゴリコード (最大 30 種類) を定義することにより、住所録の情報を整理することができます。</p> <p>複数の住所録レコードを特定の情報に基づいてトラッキングやレポート作成できるよう、住所録カテゴリコードを設定できます。住所録システムには、仕入先のレコードを追跡するために、仕入先の住所録レコードの入力または改訂時に使用できる検索タイプ V があらかじめ提供されています。カテゴリコードを設定することで、製品の種類によって仕入先をさらに細かく分類することができます。たとえば、住所録カテゴリコード 23 を設定して、仕入先の製品情報を保存すると仮定します。ユーザー定義コードフォームを使用して、HDW (ハードウェア)、SFT (ソフトウェア)、ELC (電気製品) などのカテゴリコードを設定します。次から、住所録レコードにカテゴリコードを割り当てる場合に、カテゴリコード 23 の HDW、SFT、ELC を割り当てることができます。</p> <p>買掛管理システムでは、1099 レポート用にカテゴリコード 07 が予約されています。1099 レポートを使用しない場合は、カテゴリコード 07 は他の用途に使用できます。</p>

カテゴリコード	説明
人名録カテゴリコード (01/W0-WT)	UDC テーブル 01/W0-WT に最大 10 種類の人名録カテゴリコードを定義できます。 人名録とは、住所録レコードに関連付ける個人のリストのことです。たとえば、取引会社の住所録レコードを入力する場合、通常はその会社の従業員を設定します。これらの従業員には住所番号は直接割り当てず、人名録リストを介して、会社の住所番号に関連付けます。人名録カテゴリコードを設定する場合、必要に応じて、各人名録レコードにカテゴリコードを割り当てることができます。
連絡先情報カテゴリコード (01/N1-NA)	UDC テーブル 01/N1-NA に最大 10 種類の連絡先情報のカテゴリコードを定義できます。 連絡先情報は、追加情報として人名録レコードに割り当てることができます。連絡先情報カテゴリコードを設定する場合、必要に応じて各連絡先レコードにカテゴリコードを割り当てることができます。
関連先カテゴリコード (01/P1-P5)	UDC テーブル 01/P1-P5 に最大 5 種類の関連先情報のカテゴリコードを定義できます。 関連先とは、人名録リスト中の個人に関連付けられた個人のことです。たとえば、関連先として、人名録レコードに登録した人物の配偶者を登録する場合などが考えられます。関連先カテゴリコードを設定する場合、必要に応じて各関連先レコードにカテゴリコードを割り当てることができます。

固定情報の設定

このセクションでは、住所録固定情報と国別固定情報の概要、および以下の方法について説明します。

- 住所録固定情報の設定
- 国別固定情報の設定

住所録固定情報について

住所録システムに固定情報を設定する場合、住所録固定情報プログラム (P0000) で以下の固定情報を指定します。

- 住所番号の検索に使用する形式の識別記号
- 同じ住所録レコードに対して有効日付を持つ複数の郵送先住所を許可するかどうか
- システムを経由する電子メールに対してセキュリティを有効にするかどうか
- 個人データセキュリティを有効にするかどうか

固定情報はキャッシュされます。固定情報の設定を変更した場合は、システム管理者に連絡して、変更を有効にするために必要な追加設定を確認してください。

重要: 固定情報を変更した場合は、その固定情報を使用する全ての住所録レコードが変更されます。したがって権限を付与されたユーザーのみ住所録固定情報を変更するようにしてください。

住所録レコードの識別記号

買掛管理、売掛管理など他の EnterpriseOne システムでは、住所録レコードの検索にデフォルト識別番号や代替識別番号を使用します。他のシステムからデータを変換した場合は、代替識別番号を入力することによって、会社または個人の住所録レコードを検索することができます。

固定情報の設定で代替識別番号を定義するには、[住所録固定情報] フォームの以下のフィールドに固有の識別記号 (* や / など) を入力します。

- [住所録略式 No. 識別記号]
- [住所録代替キー識別記号]
- [住所録税 ID 識別記号]

これらの識別番号フィールドの 1 つをデフォルトに指定するには、そのフィールドを空白にします。デフォルトに指定できるのは 1 つだけです。

たとえば、住所録システムによって割り当てられた番号を、住所検索時のデフォルト番号として使用します。この場合、[住所録固定情報] フォームで、[住所録略式 No. 識別記号] フィールドを空白にします。EnterpriseOne の全てのシステムで、住所録システムによって割り当てられた 8 桁の番号を入力すると、住所録レコードを検索することができます。

また、名前または住所録システムによって割り当てられた番号以外の住所番号を入力して、住所録レコードを検索することもできます。この場合は、[住所録固定情報] フォームで、[住所録代替キー識別記号] フィールドにアスタリスク (*) などの一意の記号を入力します。住所録の改訂プログラム (P01012) を使用して住所録レコードを入力または更新する際に、[詳細住所 No.] フィールドに住所録代替キー (UNIVERSAL など) を入力することができます。別の EnterpriseOne システムを使用する場合は、住所録代替キーに識別記号を付けて (*UNIVERSAL など) 入力すると、レコードには 8 桁の住所番号に変換されて表示されます。

有効日付別住所

住所録固定情報プログラムを使用して、住所録レコードに複数の住所を設定できるかどうかを指定します。個人や会社が特定の日付に別の住所に移動する場合に、住所録レコードに複数の住所を設定できると便利です。前の住所情報を残したまま、書類や、請求書、支払、その他の関連情報を最新の住所に送付することができます。[有効日付別住所の設定] チェック ボックスをオンにすると、住所録の改訂プログラムを使用して住所録レコードを入力または改訂する際に、有効日付が表示されます。この住所は日付別住所 (F0116) テーブルに保管されます。この固定情報を有効にした場合、全ての住所録レコードに複数の住所を設定することができます。この固定情報を無効にした場合、住所録レコードに割り当てられる住所は 1 つだけです。

有効日付別住所を有効にした場合は、有効住所更新プログラム (R01840) を定期的に行って、全ての住所録レコード現在の日付に対応する住所が使用されているかを確認する必要があります。有効住所更新プログラムを実行しない限り、住所録レコードは新しい住所に更新されません。

電子メール セキュリティ

住所録固定情報プログラムを使用して、他のユーザーの電子メールを表示しないよう設定できます。電子メール セキュリティを設定するには、[電子メール・セキュリティ] チェック ボックスをオンにします。

個人データ セキュリティ

住所録固定情報プログラムを使用して、住所録レコードの検討時に個人データを表示しないように設定できます。住所録データ セキュリティに必要な設定を実行した後は、不許可ユーザーは、住所録レコードの検討または更新時に保護対象全てのフィールドに情報を表示できなくなります。各保護フィールドには、フィールド全体にアスタリスクが自動的に割り当てられ、更新は一切できません。

住所録データのプライバシー保護機能では、さらに例示照会プログラム (QBE) 行のセキュリティが設定されます。セキュリティが設定されている場合、ユーザーが保護フィールドに対して QBE で有効な値を入力しても、一致した住所録レコードは表示されません。たとえば、電話番号フィールドが保護対象に設定されていて、有効な従業員を検索するために、QBE 行に電話番号を入力したとします。その番号が偶然正しい番号であっても、その番号を持つレコードは表示されません。QBE セキュリティ保護により、従業員情報の表示が制限されているためです。

住所録データのプライバシー保護を設定するには、以下の設定を行う必要があります。

- 住所録固定情報の個人データ セキュリティの有効化
- 許可リストの定義
- 許可リストのリレーションシップ

参照: EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook:Security Administration

国別固定情報について

国別固定情報では、住所録情報のレポート作成や宛名ラベル印刷に使用するフォーマットを定義します。郵送先住所の表記方法は、国によって異なります。複数の国でビジネスを行っている場合、国別に宛名フォーマットを定義する必要があります。国別固定情報を設定する際は、国別の宛名フォーマットとデフォルトの国のフォーマットを指定します。

国別固定情報は、国別固定情報マスター ファイル テーブル (F0070) に保存されます。

宛名フォーマット

住所録システムには、16 種類の宛名フォーマットが用意されています。住所録の改訂プログラム (P01012) を使用して住所録レコードを入力または改訂する際には、住所録レコードに国コードを指定します。レポートまたはラベルの印刷時に、住所録レコードに割り当てられている国コードと、F0070 テーブルに保存されている国コードが照合され、住所フォーマット ID で指定されたフォーマットで住所が印刷されます。住所フォーマット ID は、国別固定情報を設定する際に国コードに割り当てます。

デフォルトの国別フォーマット

国別固定情報を設定する際に、各住所フォーマット ID に以下の項目を含めることができます。

- 宛名と宛名の位置
- 敬称と敬称の位置
- 郵便番号記号
- 国コード

設定する各国コードには、同じフォーマット番号が使われている場合でも、上記の項目を自由に組み合わせ設定できます。たとえば、ブラジルとメキシコの両方に住所フォーマット ID 08 を割り当てると仮定します。ブラジルの住所録レコードに、宛名行を追加するとします。[国別固定情報の設定] フォームで住所フォーマット ID 08 を設定して、省略型宛名、宛名の挿入位置、肩書きの位置などの宛名行の情報を指定します。ブラジルの住所のレポートとラベルを印刷すると、宛名情報が印刷されます。他の国に対しては、[国別固定情報の設定] フォームでその国に対して宛名情報を指定しない限り、住所フォーマット ID 08 を使用していても宛名情報は印刷されません。

国別固定情報を設定する際は、国コードを空白にした固定情報を 1 つ設定します。住所フォーマット ID 番号など、その国の固定情報の他の情報は全て入力します。

フォーマットは、国ごとに 1 つしか設定できません。

重要: 特定の国の住所フォーマット ID を変更すると、その国に関連付けされた全ての住所録レコードが影響を受けます。権限を付与されたユーザーのみが国別固定情報を変更するようにしてください。

事前定義済みの宛名フォーマット

以下の表に、住所録システムに標準で用意されている宛名フォーマットと各フォーマットに含まれる項目を示します。フォーマットが 16 種類以上必要な場合や提供されているフォーマットでは業務上のニーズに対応できない場合は、システムをカスタマイズして新しいフォーマットを設定する必要があります。

この表で任意となっている国コードは、国別固定情報の改訂プログラム (P0070) を使用して設定してください。

宛名フォーマット	含まれる項目
形式 01	郵送宛名 住所 郵便番号/市 国(任意)
形式 02	郵送宛名 住所 市 都道府県(州) 郵便番号 国(任意)
形式 03	郵送宛名 住所 市/郵便番号 都道府県(州) 国(任意)

宛名フォーマット	含まれる項目
形式 04	郵送宛名 住所 市/都道府県(州)/郵便番号 国(任意)
形式 05	郵送宛名 住所 市 都道府県(州) 国(任意)
形式 06	郵送宛名 住所 郵便番号/都道府県(州)/市 国(任意)
形式 07	郵送宛名 住所 市 国(任意)
形式 08	郵送宛名 住所 郵便番号/市/都道府県(州) 国(任意)
形式 09	郵送宛名 住所部分 市/都道府県(州) 郵便番号 国(任意)
形式 10	郵送宛名 住所 市/郵便番号 国(任意)

宛名フォーマット	含まれる項目
形式 11	郵送宛名 郵便番号/市 住所 国(任意)
形式 12	郵送宛名 住所 市/都道府県(州) 郵便番号 国(任意)
形式 13	郵便番号 郵送宛名 住所 市 国(任意)
形式 14	郵送宛名 住所 市 郡 郵便番号 国(任意)
形式 15	郵便番号 住所 市 郵送宛名 国(任意)
形式 16	郵送宛名 住所 郵便番号/市 国(任意)

事前設定

国コードは UDC コード 00/CN で定義します。1 つの国に対し複数の住所フォーマット ID を割り当てる場合は、国コードを別に定義します。

固定情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[住所録固定情報]	W0000F	[住所録のセットアップ] (G0141)、[住所録固定情報] [システム・セットアップ] フォームの [住所録固定情報] をクリックします。	住所録システムの固定情報を設定します。
[国別固定情報の設定]	W0070B	[住所録のセットアップ] (G0141)、[国別固定情報の改訂] [国別固定情報の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	国の宛名フォーマットとデフォルトの国のフォーマットを指定します。

住所録固定情報の設定

[住所録固定情報] フォームにアクセスします。

[住所録固定情報] フォーム

[住所録略式 No. 識別記号] 略式住所番号の前に指定する記号（ブランク、*、/ など）を入力します。

この記号を略式番号の前に付けて入力することにより、住所録レコードを検索することができます。

住所録略式番号は、通常、新しい住所録レコードを作成するときに住所録システムによって割り当てられます。略式番号は 8 桁の番号です。この番号を住所録レコードの検索時に使用する標準形式とする場合は、このフィールドをブランクにします。

ブランクにできるのは、3 つの入力形式のうち 1 つのみです。他の 2 つには、それぞれ一意の記号を指定する必要があります。指定した記号（*、/、# など）が、システム内で別の目的に使用されていないことを確認してください。

- [住所録代替キー識別記号]** 住所録代替キーの前に指定する記号（ブランク、*、/ など）を入力します。この記号を住所録代替キーの前に付けて入力することにより、住所録レコードを検索することができます。
- 住所録代替キーには、別のシステムの住所番号を使用することができます。この番号を住所録レコード検索時の標準形式とする場合は、このフィールドをブランクにします。ブランクにできるのは、3 つの入力形式のうち 1 つのみです。他の 2 つには、それぞれ一意の記号を指定する必要があります。指定した記号（*、/、# など）が、システム内で別の目的に使用されていないことを確認してください。
- [住所録税 ID 識別記号]** 社会保障番号、連邦または州の法人税 ID、売上税番号など、税 ID の前に指定する記号（ブランク、*、/ など）を入力します。この記号を住所録税 ID の前に付けて入力することにより、住所録レコードを検索することができます。
- 税 ID を住所録レコード検索時の標準形式とする場合は、このフィールドをブランクにします。ブランクにできるのは、3 つの入力形式のうち 1 つのみです。他の 2 つには、それぞれ一意の記号を指定する必要があります。指定した記号（*、/、# など）が、システム内で別の目的に使用されていないことを確認してください。
- [有効日付別住所の設定]** 1 つの住所録レコードに対して有効日付別の住所を複数使用する場合に、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにすると、各住所録レコードに対して複数の住所が保存され、各住所に対して有効日付が指定されます。
- [電子メール・セキュリティ]** 他のユーザーのワークセンター メッセージが表示されないようにする場合に、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにすると、従業員ワークセンター プログラムの [従業員待ち行列マネージャ] フォームの [ロー] エグジットに [メールの表示] が表示されます。
- [個人データ セキュリティ]** 住所録個人データのセキュリティ機能を有効にする場合に、このチェック ボックスをオンにします。この機能は、個人データが特定のユーザーに対して表示されないように保護します。このチェック ボックスで有効にできるのは、住所録個人データのセキュリティ保護のみです。この機能を最大限に活用するには、さらに住所録データ保護アプリケーションでアクセス権限を設定する必要があります。

参照: EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook:Security Administration

国別固定情報の設定

[国別固定情報の設定] フォームにアクセスします。

国別固定情報の改訂 - 国別固定情報の設定		
OK(O) キャンセル(L) ツール(T)		
国	US	米国
住所フォーマットID	04	1行に市州郵便番号
省略型宛名		
宛名の挿入位置		
<input type="checkbox"/> 宛名の前に肩書きを付ける		
標準敬称		
標準敬称記述の位置指定		
郵便番号記号		
<input type="checkbox"/> 国コードの印刷		

[国別固定情報の設定] フォーム

[国] 国を識別するユーザー定義コード (00/CN) を入力します。国コードは、通貨換算には影響しません。

国コードは、住所録システムでのデータ選択および住所フォーマット設定に使用されます。

[住所フォーマット ID] 伝票、レポート、および宛名ラベルに住所を印刷するフォーマットを指定します。

国コード フィールド

以下のフィールドは、国コードに関連付けられているフィールドです。これらのフィールドに入力した値が、その国コードを使用する全ての住所録レコードに表示されます。

[省略型宛名] 宛名ラベルに印刷される宛先の省略語を入力します。

[宛名の挿入位置] 郵便住所フォーマット内の宛名行の位置を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランクまたは 0:住所行 1 の後に挿入

1: 住所行 2 の後に挿入

2: ブランクでない最終の住所行後に挿入

3: 番地の前の先頭行に挿入

[宛名の前に肩書きを付ける] 人名録の宛名の前に肩書きを付ける場合に、このチェック ボックスをオンにします。

[標準敬称] 住所に使用する個人の敬称を入力します。このフィールドの値は、[住所フォーマット ID] フィールドの値に関連付けられます。

標準敬称を設定すると、この住所フォーマット ID を使用する全ての住所レコード上に敬称が表示されます。

[標準敬称記述の位置指定] 氏名に対する敬称の位置を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランクまたは 0:氏名の前に標準敬称を印刷する。

1: 氏名の後ろに標準敬称を印刷する。

2: 標準敬称の位置を次のいずれかにする。

宛名がない場合、ブランクでない最終の宛名行の末尾。

宛名がある場合、宛名の末尾。

[郵便番号記号]

郵便番号の前に付けるプレフィックスを入力します。国によって、このプレフィックスが必要になります。英数字を 4 文字まで入力できます。プレフィックスを入力する場合は、プレフィックスの後に、ブランクスペースやハイフンなどの区切りを付けます。プレフィックスと区切りは、郵便番号の前に印刷されます。たとえば、プレフィックス "CH-" と郵便番号 "88023" を入力すると、"CH-88023" と印刷されます。このフィールドをブランクにすると、郵便番号のみが印刷されます。

注: 日本の郵便システムの場合、このフィールドは必須で、住所の 1 行目に出力する必要があります。

[国コードの印刷]

郵便住所に国コードを印刷する場合に、このチェック ボックスをオンにします。

監査ログの設定

このセクションでは、監査ログの概要と住所録監査ログの設定方法について説明します。

監査ログについて

既存の住所録レコードの変更や新しく入力した住所録レコードを記録する場合、住所録監査ログを作成することができます。監査ログを作成するには、住所録の改訂プログラム (P01012) の [住所録 MBF(P0100041) バージョン] 処理オプションに送信インタオペラビリティが有効なバージョンを入力します。監査ログ情報は、住所録 - インタオペラビリティ テーブル (F0101Z2) に保存されます。

既存レコードの変更のみ、または新規レコードの入力と既存レコードの変更の両方を記録するように、住所録監査ログ機能を設定できます。

監査ログの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[対話型バージョンの処理]	W9830511	[システム・アドミニストレーション・ツール] (GH9011)、[対話型バージョン]	新しく追加された住所録レコードと既存レコードの変更をトラッキングします。

住所録監査ログの設定

[対話型バージョンの処理] フォームにアクセスします。

住所録監査ログ機能を設定するには、以下の手順に従います。

1. [対話型プログラム ID] フィールドに「P0100041」を入力して、[検索] をクリックします。
2. 使用可能なバージョンのリストから、バージョンを選択します。
3. [ロー] メニューから [処理オプション] を選択します。
4. [送信] タブで、次の操作を行います。
 - [トランザクションタイプ] 処理オプションに、「JDEAB」と入力します。
 - [変更トランザクションの書込み] 処理オプションに、次のいずれかの値を指定します。
 - 1. ブランク - 変更後のレコードを書き込む。
 - 2. 1 - 変更前と変更後の両方のレコードを書き込む。
5. [OK] をクリックします。
6. [対話型バージョンの処理] で [閉じる] をクリックして終了します。
7. [日次処理] メニュー (G01) にアクセスします。
8. 住所録の改訂 (P01012) の [処理オプション] を表示します。
9. [バージョン] タブで、ステップ 2 で選択した住所録 MBF バージョン名を入力して、[OK] をクリックします。

自動採番の設定

このセクションでは、住所録自動採番の設定方法について説明します。

自動採番の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[システム別自動採番の設定]	W0002C	略式コマンドに「NN」と入力します。 “住所録”を選択し、[自動採番の処理]で[選択]をクリックします。	住所録システムの自動採番を設定します。

住所録自動採番の設定

[システム別自動採番の設定] フォームにアクセスします。

システム別自動採番の設定

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

システム 01 住所録

用途	次の番号	チェック・ディジット
Address Number	157147	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>

注意:この画面で番号を変更すると、入力済みレコードが検索できなくなったり、採番が重複する可能性があります。

[システム別自動採番の設定] フォーム

[チェック・ディジット]

自動採番された各番号の後ろに数字を追加するかどうかを指定します。たとえば、次の番号が“2”で、チェック・ディジットが有効に設定されている場合、7などのチェック・ディジットが追加され、最後の2つの番号が“27”になります。チェック・ディジットを使うと、番号が無作為に増分され、転置された番号の割り当てを防ぐことができます。この例では、チェック・ディジットが有効な限り、“72”という番号が自動採番で割り当てられることはありません。チェック・ディジットを追加する場合に、このチェックボックスをオンにします。

郵便番号の設定

このセクションでは、郵便番号の概要と、住所録郵便番号の設定方法について説明します。

郵便番号について

郵便番号プログラム (P0117) を使用して、郵便番号を設定することができます。郵便番号は、郵便番号テーブル (F0017) と郵便番号別住所テーブル (F0118) に保存されます。これらのテーブルのデータにアクセスすることにより、住所録の改訂プログラム (P01012) で郵便番号を入力すると、自動的に市、都道府県、郡がロードされます。

郵便番号を改訂するには、[郵便番号の処理] フォームでその郵便番号を削除してから郵便番号を再度追加します。

住所録レコードに郵便番号を入力するには、まず住所録の改訂プログラムの処理オプションを設定する必要があります。

郵便番号の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[郵便番号の改訂]	W0117B	[住所録のセットアップ] (G0141)、[郵便番号] [郵便番号の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	住所録システムに郵便番号を追加します。

住所録郵便番号の設定

[郵便番号の改訂] フォームにアクセスします。

[郵便番号] 郵便物の郵送先を指定します。郵送先が米国の場合は ZIP コード、その他の国の場合はその国の形式で郵便番号を入力します。この番号は、郵便番号検索時の範囲の下限値として使用されます。

[第 2 郵便番号] 郵送先がいずれの国の場合も、宛先に追加する郵便番号を入力します。この番号は、郵便番号検索時の範囲の上限値として使用されます。

補足データの設定

標準マスター テーブルに含まれていない情報をトラッキング、保存するために、補足データを設定することができます。住所録システムでは、必ずしも補足データを設定、使用する必要はありません。

この章では、事前設定、および住所録に補足データを設定する方法について説明します。

事前設定

このセクションの操作を実行する前に、以下の項目について確認してください。

- 住所録システムのデータタイプを [CIF 補足データ] メニュー (G01312) に表示するには、補足データプログラム (P00092) の補足データベース コードの処理オプションに「AB」を入力します。
- 補足データプログラムの処理オプションで有効日付を使用するかどうかを指定します。

補足データの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[補足データベース設定の処理]	W00091B	[CIF 補足データ] (G01312)、[補足データの設定]	補足データベースコードのリストを検討します。
[補足データベースのセットアップ]	W00091A	[補足データベース設定の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	補足データベースコードを追加します。
[補足データの処理]	W00092D	[CIF 補足データ] (G01312)、[補足データ]	特定の住所録レコード用の補足データベースコードを処理します。

住所録に使用する補足データの設定

[補足データベースのセットアップ] フォームにアクセスします。

補足DBコード	AB	住所録
キー・フィールドの選択	DDのエイリアス	ロー記述
<input type="checkbox"/> ビジネスユニット		
<input type="checkbox"/> 会社		
<input type="checkbox"/> 汎用英数字キー 1		
<input type="checkbox"/> 汎用英数字キー 2		
<input checked="" type="checkbox"/> 汎用数字キー 1	AN8	住所番号
<input type="checkbox"/> 汎用数字キー 2		
<input type="checkbox"/> データ選択の実行	関数名	

[補足データベースのセットアップ] フォーム

第 3 章

基本設定カレンダーの設定

この章では、基本設定カレンダーの設定要件の概要、および基本設定カレンダーに必要なユーザー定義コード (UDC) の設定方法について説明します。

基本設定カレンダーの設定について

以下の表は、基本設定カレンダーに必要な設定を示しています。

設定	記述
UDC	<p>基本設定カレンダーには、以下の UDC が必要です。</p> <p>01/CY</p> <p>01/TM</p> <p>01/AC</p> <p>01/PL</p> <p>01/AD</p> <p>01/AE</p> <p>01/AF</p> <p>01/AG</p> <p>01/AH</p> <p>01/C1</p> <p>01/C2</p> <p>01/C3</p> <p>01/C4</p> <p>01/C5</p> <p>01/DV</p> <p>01/PT</p> <p>01/IT</p> <p>01/LT</p> <p>01/WD</p> <p>01/DY</p> <p>01/WK</p> <p>01/MN</p> <p>01/CG</p>
CRM 固定情報	<p>CRM 用に基本設定カレンダーを使用する場合、基本設定カレンダーの CRM 固定情報を設定する必要があります。この固定情報でデフォルトのカレンダータイプを指定することで、CRM プログラムからカレンダーにアクセスする際に、指定したデフォルトのカレンダータイプが自動的に表示されるようになります。</p>

基本設定カレンダーの UDC の設定

以下のサブセクションでは、基本設定カレンダーに設定する必要がある UDC テーブルについて説明します。

01/CY

この UDC テーブルでは、有効なカレンダー タイプを定義します。ビジネス ニーズに合わせて値を作成するか、既存の値を使用します。

- 銀行
- 運送業者
- CRM
- 顧客
- 個人
- リソース
- 経路
- 仕入先

01/TM

この UDC テーブルでは、作業日の有効な開始時刻と終了時刻を定義します。提供されている 1 時間単位を使用するか、または 30 分単位で独自の時刻を作成します。時刻は “hh:mm” の形式で入力してください。hh は時間、mm は分を表します。時間の入力には、2 桁を使用してください。たとえば、午前 8 時 30 分は「08:30」と入力します。

01/AC

この UDC テーブルでは、有効なアクティビティ タイプとタスク タイプを定義します。タスクとアクティビティを区別するために、タスクの各タイプには、特殊取扱フィールドに「1」を入力します。タスクは時間には依存しないため、タスクには開始時刻と終了時刻を入力することはできません。カレンダーにはアクティビティのみ表示されます。タスク タイプとアクティビティ タイプは、標準で提供されているタイプを使用するか、または独自に作成します。

01/PL

この UDC テーブルでは、アクション プランからアクティビティー式を作成する際に使用するプラン タイプを定義します。プラン タイプは、標準で提供されているタイプを使用するか、または独自に作成します。

01/AD、01/AE、01/AF、01/AG、01/AH

これらの UDC テーブルを設定して、カレンダーを分類するためのカテゴリ コードを作成します。

01/C1、01/C2、01/C3、01/C4、01/C5

これらの UDC テーブルを設定して、アクティビティとタスクを分類するためのカテゴリ コードを作成します。

ハードコード化された UDC

以下の UDC はハードコード化されています。テーブルが設定済みであることを確認してください。値は変更できません。

- 01/DV

このテーブルはカレンダー用のデフォルトビューを定義します。有効値は以下のとおりです。

- D

日

- W

週

- M

月

• 01/PT

この UDC テーブルは、アクティビティに有効な優先レベルとコミットメントレベルを定義します。有効値は以下のとおりです。

- 1

優先度 - 低

- 2

優先度 - 中

- 3

優先度 - 高

• 01/IT

この UDC テーブルは、基本設定カレンダー システム内でカレンダーを作成する事業体のタイプを定義します。有効値は以下のとおりです。

- AN8 (住所番号)

- MCU (事業所)

• 01/LT

この UDC テーブルは、アクティビティおよびタスクの通知メッセージの有効なリードタイム単位を定義します。有効値は以下のとおりです。

- D

日数

- H

時間

- M

分

• 01/WD

この UDC テーブルは、作業週の有効な開始日と終了日を定義します。有効値は以下のとおりです。

- 1

日曜日

- 2

月曜日

- 3
 - 火曜日
- 4
 - 水曜日
- 5
 - 木曜日
- 6
 - 金曜日
- 7
 - 土曜日
- 01/MD
 - この UDC テーブルは、午前と午後を示す有効値を定義します。有効値は以下のとおりです。
 - AM
 - PM
- 01/DY
 - この UDC テーブルは、アクティビティおよびタスクの定期処理パターン用の曜日を定義します。有効値は以下のとおりです。
 - 月曜日
 - 火曜日
 - 水曜日
 - 木曜日
 - 金曜日
 - 土曜日
 - 日曜日
- 01/WK
 - この UDC テーブルは、アクティビティおよびタスクの定期処理パターン用の週を定義します。有効値は以下のとおりです。
 - 第 1 週
 - 第 2 週
 - 第 3 週
 - 第 4 週
 - 最終週
- 01/MN
 - この UDC テーブルは、アクティビティおよびタスクの定期処理パターン用の月を定義します。有効値は以下のとおりです。
 - 1 月
 - 2 月

- 3 月
- 4 月
- 5 月
- 6 月
- 7 月
- 8 月
- 9 月
- 10 月
- 11 月
- 12 月

第 4 章

親/子関係と組織構造の設定

この章では、以下の方法について説明します。

- 親/子関係の設定
- 親/子組織構造の階層の設定
- 親/子関係（上級）の設定

親/子関係の設定

このセクションでは、親/子関係の概要と、以下の方法について説明します。

- 構造の改訂プログラムの処理オプションの設定
- 構造の照会プログラムの処理オプションの設定
- 親/子関係の作成
- 親/子関係の検討

親/子関係について

仕入先、顧客、見込客の住所録レコードの間の親/子関係は、家族関係に似ています。1つの住所録レコードが親になり、1つまたは複数の住所録レコードがその親の子になります。親/子関係を作成することで、業務の効率を高めることができます。たとえば、親/子関係を作成すると、現地オフィスや子会社（子）に対する請求書を本社（親）に送ることができます。

住所録システムでは、まず住所録レコードを作成してから、作成したレコード間に親/子関係を作成します。以下の構造に対して親/子関係を作成することができます。

- 売掛管理構造
- 買掛管理構造
- 組織報告構造

親/子関係の作成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[親住所/子住所の改訂]	W0150A	[住所録組織構造] (G01311)、[構造の改訂] [親/子構造の処理] フォームの [追加] をク リックします。	仕入先、顧客などの住所 録レコード間に親/子関係 を作成します。
[配布リストの処理]	W02150A	[住所録組織構造] (G01311)、[構造の照会]	子の親、または親の全て の子の関係を検討します。

構造の改訂 (P0150) の処理オプションの設定

処理オプションで、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

処理

- ワークフロー情報**

ワークフロー処理情報を表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:表示しない。
 1: 表示する。
- 階層記述**

ルート親住所の有効日付に基づいて階層構造の定義を許可するかどうかを指定します。構造のルート親とは親/子構造の最上位レベルを意味し、親を持つことはできません。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:定義不可
 1: 定義可能

デフォルト

- 日付のデフォルト**

有効開始日付と有効終了日付がblankの場合、P0150 の親住所/子住所の改訂フォームにデフォルトの日付をロードするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:デフォルトの日付をロードしない。
 1: デフォルトの日付をロードする。
- デフォルト組織構造タイプ**

住所録組織構造を表示するプログラム (P0150) にアクセスするときに、組織構造タイプ フィールドに表示される値を指定します。この処理オプションをblankにすると、組織構造タイプのデフォルト値は設定されません。

構造の照会 (P02150) の処理オプションの設定

処理オプションで、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

デフォルト

- デフォルトの構造タイプ**

を入力してください。UDC (01/TS) から有効な構造タイプを指定します。構造タイプによって、住所録システムに独自の階層が設定されている組織構造のタイプ (電子メールなど) が決まります。

売掛管理システムに親/子関係を作成する場合は、この構造タイプをブランクにしてください。

2. 組織構造改訂のバージョンを入力してください。ブランクの場合、ZJDE0001が使用されます。

使用する組織構造の改訂プログラムのバージョンを指定します。このバージョンにより、アプリケーションに使用するデータ選択とデータ順序の設定の組み合わせが決まります。バージョンには、英数字を組み合わせで名前を付けることができます。

親/子関係の作成

[親住所/子住所の改訂] フォームにアクセスします。

親住所No. * 3001 Global Enterprises 初回答
 構造タイプ ORG 組織構造 高レベル時変更
 関連データ項目 権限必須

レコード 1-3 グリッドのカスタマイズ

グループ	住所 No.	名称	規定値	エスカレーション時間(時)	エスカレーション時間(分)	備考	開始日付
1.00	3002	Atlantic Corporation					2005/06/05
2.00	3003	CSC Corporation					2005/06/05
3.00							

[親住所/子住所の改訂] フォーム

注: [エスカレーション時間 (時)] と [エスカレーション時間 (分)] フィールドは、住所録システムでは使用しません。

[親住所 No.]

親組織 (親会社など) の住所番号を入力します。この番号は、親会社または所在地に特定の住所を関連付けるために使用されます。このフィールドに入力した値は全て、指定した構造タイプの住所組織構造マスター (F0150) に反映されます。この住所番号は、住所録マスター (F0101) に設定されている必要があります。親番号のある住所録レコードの例は次のとおりです。

親会社を持つ子会社

本社を持つ支店

請負業者の作業現場

親住所/子住所の改訂フォームで、階層の第 1 レベルまたは報告系統の上位レベルの住所番号を入力します。ある階層の親は、別の階層では子になることができます。また、階層は、ビジネスユニット、従業員、職種に基づいて構成することができます。たとえば、従業員と監督者の間の報告系統を示す階層を作成することができます。

[構造タイプ]

ユーザー定義コード (01/TS) を入力し、住所録システムに独自の階層を持つ組織構造のタイプ (電子メールなど) を指定します。

売掛管理システムの親/子関係を作成する場合、この構造タイプはブランクにしてください。

たとえば、ワークフロー (WFS)、組織構造 (ORG)、電子メール配布 (EML) などがあります。構造タイプには、配布リストのタイプを指定します。

- [住所No.]** 有効な住所番号を入力します。この番号によって、従業員、応募者、加入者、顧客、仕入先、テナント、所在地など、住所録システムのレコードが特定されます。
- [グループ]** グループにおける番号を入力します。この番号によって、フォームに表示されるレコードの順番が決定されます。
- [有効開始日付]** 有効な日付を入力します。この日付に基づいて住所番号が構造に表示されます。有効開始日付が当日となるまで、その住所番号は構造に表示されません。
- 構造の改訂プログラム (P0150) で [階層記述] 処理オプションを設定した場合は、このフィールドに値を入力する必要があります。
- ブランクにした場合は、有効終了日付がある場合を除いて、住所番号は常に構造に表示されます。
- [有効終了日付]** 構造に表示する住所録レコードの表示期限を入力します。

親/子関係の検討

[配布リストの処理] フォームにアクセスします。

[配布リストの処理] フォーム

親/子関係を検討するには、以下の手順に従います。

1. 必要に応じて、[構造タイプ] フィールドの値を変更します。
デフォルトの組織構造タイプは、処理オプションで指定します。
2. 全ての子関係を表示するには、詳細グリッドの名称の左に "+" が表示されているフォルダをクリックします。
3. 子の親を表示するには、以下のステップを実行します。
4. [親] チェック ボックスをオンにします。
5. [親住所No.] フィールドに子住所番号を入力し、[検索] をクリックします。

親/子の組織構造の階層の設定

このセクションでは、親/子の組織構造の階層の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

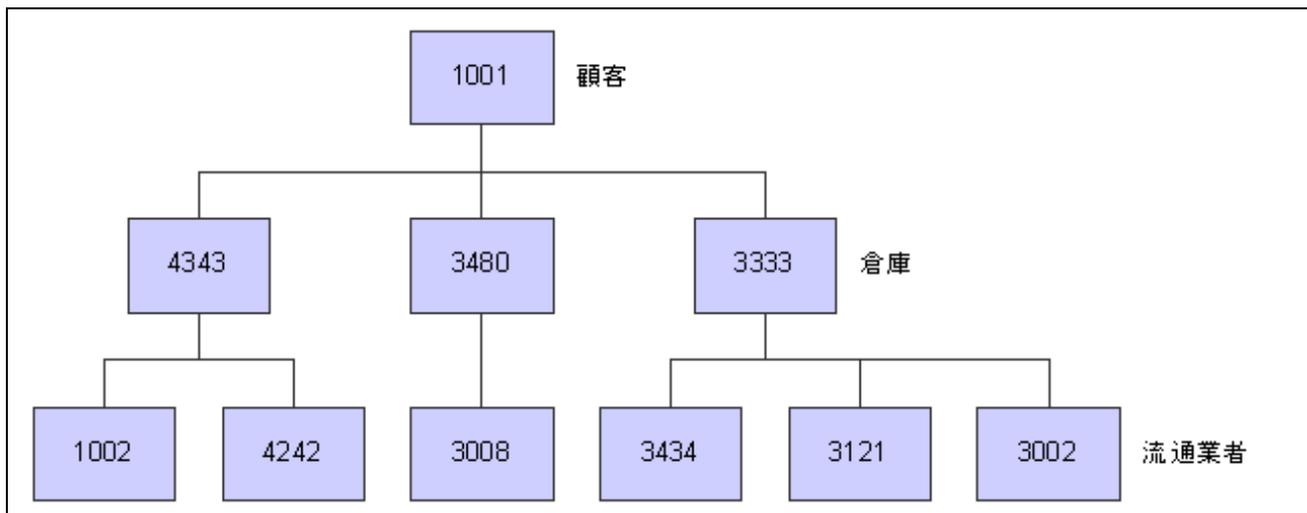
- 階層を使用した組織構造の作成
- 組織構造のルート親の指定
- 組織構造の階層記述の入力

親/子の組織構造の階層について

住所録システムでは、親/子関係の構造を管理する方法として“階層”を使用します。階層を設定する際に、以下の情報を指定します。

- 子に対して親を 1 件のみ (常時 1 件のみ)
- 親と子の関係の有効日付の開始日および終了日
- 組織構造の階層記述 (たとえば、CEO はレベル 1、副社長はレベル 2、マネージャはレベル 3 などと指定します。各階層には、有効日付の開始日および終了日を設定することができます。)

以下の図では、階層を使用して組織構造が設定されています。親 (1001) には 3 つの子 (4343、3480、3333) が設定されています。これらの子はそれぞれ、他の子の親になっています。親 4343 には子が 2 つ (1002、4242)、親 3480 には子が 1 つ (3008)、親 3333 には子が 3 つ (3434、3121、3002) 設定されています。階層では、それぞれの子に対して親は 1 つしか設定できません。



親/子階層

重要: 階層の処理オプションを有効にし、階層を使用して親/子の組織構造を作成した後で、処理オプションを無効にすると、潜在的なリスクを伴うことに留意してください。この操作を行った場合、誤って 1 つの子に複数の親を設定したり、親/子関係または階層構造に対して重複する有効日付が入力される可能性があります。

組織構造タイプは、UDC テーブル 01/TS (構造タイプ) で定義します。

事前設定

UDC テーブル 01/TS に組織構造タイプを定義します。

親/子組織構造の階層の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[親/子構造の処理]	W0150D	[住所録組織構造] (G01311)、[構造の改訂]	仕入先、顧客などの住所録レコード間に親/子関係を作成します。
[親住所/子住所の改訂]	W0150A	[親/子構造の処理] フォームで[追加]をクリックします。	仕入先、顧客などの住所録レコード間に親/子関係を作成します。
[有効日付親住所レコードの検索]	W0150F	[親/子構造の処理] フォームでレコードを選択し、[ロー]メニューの[階層記述]をクリックします。	組織構造を設定します。ある階層の親に子を設定し、その子(親)に対してさらに子を設定する操作を繰り返します。
[階層記述の改訂]	W0150E	[ロー]メニューの[階層記述]をクリックします。[親住所No.の検索]オプションを選択し、[親/子構造の処理] フォームで[OK]をクリックします。	階層構造の各階層記述に対して階層を作成します。

階層を使用した組織構造の作成

[親住所/子住所の改訂] フォームにアクセスします。

[親住所No.]

階層の第 1 レベルまたは報告系統の上位レベルの住所番号を入力します。ある階層の親は、別の階層では子になることができます。階層は、ビジネスユニット、従業員、職種に基づいて構成することができます。たとえば、従業員と監督者間の報告系統を示す階層を作成することができます。

このフィールドに指定した親に対する子についてそれぞれ、[住所番号]、[有効開始日付]、[有効終了日付] の各フィールドに値を入力します。

[住所No.]

住所番号を入力します。この番号によって、従業員、応募者、加入者、顧客、仕入先、テナント、所在地など、住所録システムのレコードが特定されます。

組織構造の作成を続ける場合は、このフィールドに指定した子を親として子を設定し、さらにその子(親)に子を設定する操作を繰り返します。

[有効開始日付]

住所番号を構造に表示する日付を入力します。有効開始日付が当日となるまで、その住所番号は構造に表示されません。

ブランクにした場合は、有効終了日付がある場合を除いて、住所番号は常に構造に表示されます。

[有効終了日付]

構造に表示する住所録レコードの表示期限を入力します。

組織構造のルート親の指定 (有効日付指定)

[有効日付親住所レコードの検索] フォームにアクセスします。

[有効開始日付]

親の検索時に使用する有効開始日付を入力します。現在の日付がデフォルト値として使用されます。日付を確認し、必要に応じて変更します。

[親住所No.] このフィールドに親住所番号を表示するには、[親住所No.の検索] ボタンをクリックします。
表示される住所番号は、その日付の親組織の番号です。

組織構造の階層記述の入力

[階層記述の改訂] フォームにアクセスします。

以下のフィールドに値を入力します。これらの値は、全てのルート親ではなく、選択したルート親に対してのみ、適用されます。

[階層No.] 階層の番号を入力します。この番号は、構造の階層レベルを表しています。このレベル以下の階層に調整が適用されます。この番号は、集計階層レベル フィールドに指定した値以下である必要があります。購買構造では、階層レベル 1 が最上位のレベルを表します。1 より大きい数値はそれより低い階層レベルを表します。

[有効開始日付] トランザクション、契約、制約、優先情報、ポリシー規則が有効になる日付を入力します。

[有効終了日付] トランザクション、テキスト メッセージ、契約、制約、優先情報が失効または完了する日付を入力します。

親/子関係（上級）の設定

このセクションでは、親/子関係（上級）の概要、事前設定、および親/子関係（上級）の作成方法について説明します。

親/子関係（上級）について

親/子関係（上級）プログラム (P01501) を使用して、住所番号と 1 つまたは複数の人名録レコードの間に組織構造を作成します。この組織構造では、住所番号 1 つを親として指定し、人名録レコードに関連付けられている 1 つまたは複数の住所番号を子として指定します。たとえば、親/子関係（上級）の組織構造を作成して、プロジェクトを設定することができます。1 つの住所番号を親として指定し、個人（人名録レコード）をプロジェクトメンバーとして指定します。人名録レコードは、親の住所番号や他の住所番号に関連付けることができます。

親/子関係（上級）は、親/子関係（上級）テーブル (F01501) に保存されます。

事前設定

UDC テーブル 01/TS に、親/子関係（上級）の構造タイプのコードを設定します。

親/子関係（上級）の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[親/子住所の改訂(上級)]	W01501B	<p>[日次処理](G0110)、[住所録の改訂]</p> <p>[住所の処理]フォームでレコードを選択し、[ロー]メニューの[人名録]をクリックします。</p> <p>[人名録]フォームで[フォーム]メニューの[親/子住所(上級)]をクリックします。</p> <p>[親/子住所の処理(上級)]フォームで[追加]をクリックします。</p>	住所録レコードと1つまたは複数の人名録レコードの間に組織構造関係を作成します。

親/子関係（上級）の作成

[親/子住所の改訂(上級)] フォームにアクセスします。

住所録の改訂 - 親/子住所の改訂(上級)

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

構造タイプ: 組織構造

親住所No.:

レコード 1-2

住所 No.	人名録行	郵便宛名	関連タイプ	備考	開始日付	終了日付
1001	0	PeopleSoft, Inc.				

[親/子住所の改訂(上級)] フォーム

- [親住所 No.]** 親/子関係（上級）の組織構造を作成するために、親会社の住所番号を入力します。
- [住所 No.]** 住所番号を入力します。この番号によって、従業員、応募者、加入者、顧客、仕入先、テナント、所在地など、住所録システムのレコードが特定されます。
- [人名録行]** 行番号を入力します。このフィールドは、人名録レコードの行 ID 番号の識別に使用されます。
- [関連タイプ]** 2 つの組織（実体）間に作成する関連タイプを指定します。ロールを UDC 01/RT に定義する必要があります。
- 有効値の例は以下のとおりです。
- A:秘書
 - B:重要な取引先
 - C:子
 - D:プロジェクト リード
 - E:調査担当者

第 5 章

住所録レコードの入力

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

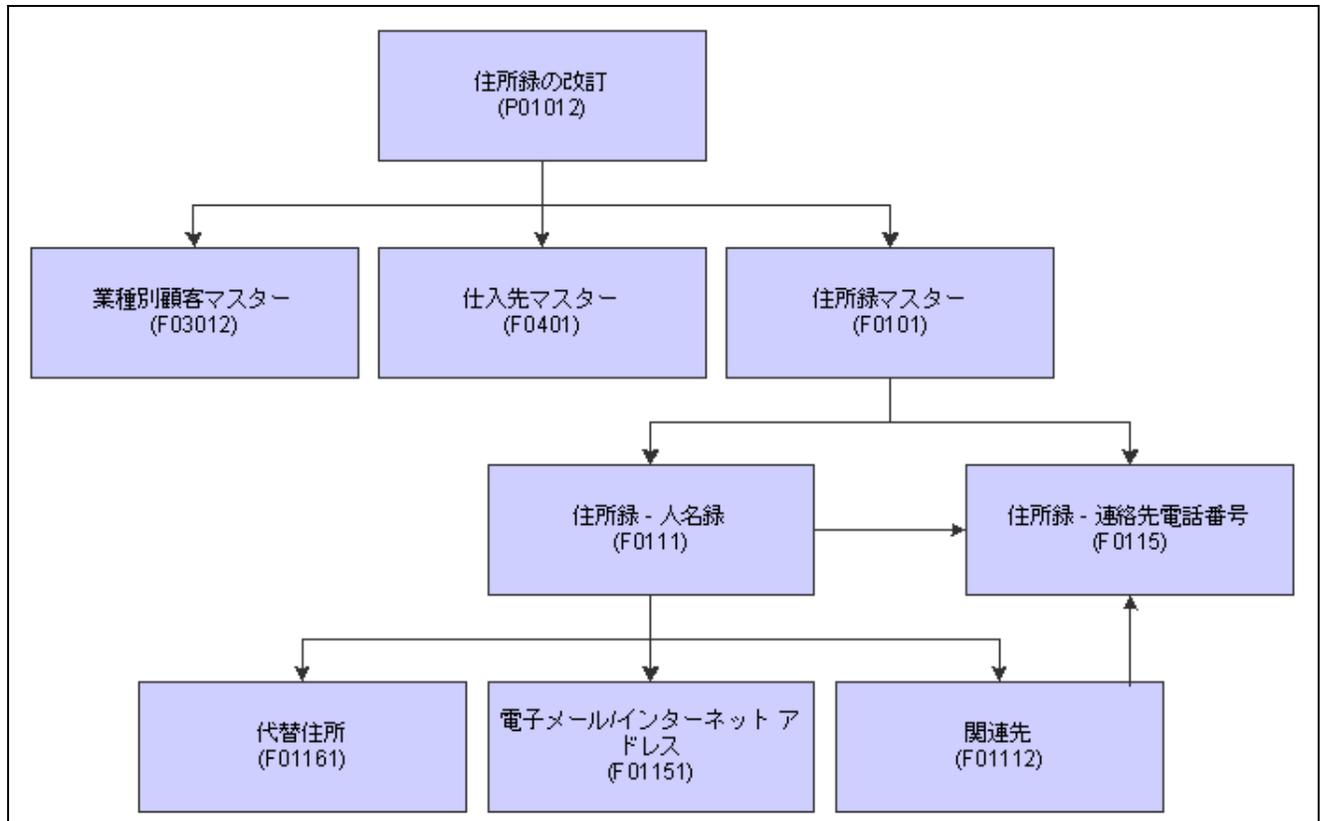
この章では、住所録情報の概要と、以下の方法について説明します。

- 住所録レコードの入力
- 住所録レコードへの人名録情報の追加
- (BRA) Enter tax information for address book records
- (CHL) Enter additional address book information
- (COL) Enter additional address book information
- (ECU) Enter additional address book information
- (PER) Enter additional address book information
- (POL) Enter additional address book information
- (RUS) Enter additional address book information
- (VEN) Enter additional address book information
- 重複チェック レポートの印刷
- 住所録検索テーブルの作成

住所録情報について

住所録システムでは、取引先の企業や個人に関する情報を管理します。住所録には、会社名や連絡先名、住所、電話番号、注記、その他の関連情報が保存され、これらの情報は EnterpriseOne システム全体で共有されます。

次の図は、住所録の改訂プログラム (P01012) で住所録情報の保管とアクセスのために使用されるテーブルを示しています。これらのテーブルは、住所録システムの他のプログラムにも使用されます。



住所録システムで使用されるテーブル

住所録レコードの入力

このセクションでは、住所録レコードの概要と、以下の方法について説明します。

- 住所録マスター ビジネス関数 (MBF) の処理オプションの設定
- 住所録の改訂の処理オプションの設定
- 住所録レコードの追加
- 住所録レコードへの電話番号の追加

住所録レコードについて

EnterpriseOne システムを使用するには、事前に顧客や仕入先などの住所録情報を住所録システムに入力する必要があります。EnterpriseOne システムでは、住所録システムで設定した住所録の最新の名前や住所情報を取得して使用します。住所録レコードの入力には、住所録の改訂プログラム (P01012) を使用します。住所録レコードの情報は、住所録マスター (F0101) に保管されます。

基本情報である住所に加え、各住所録レコードには必要な数だけ電話番号を入力することができます。また、各電話番号を会社、携帯電話、ファックスなどと識別して保管できます。電話番号は、住所録 - 連絡先電話番号テーブル (F0115) に保管されます。

[住所の処理] フォームで住所録レコードを検索するには、名前や名称またはそれらの一部、住所番号などを入力します。名前や名称の一部を入力する場合は、入力する語句の前か末尾に * (アスタリスク) を付ける必要があります。一部入力の場合、名称の最初の単語のみが検索対象になります。たとえば、Corporate Center、Continental Services、および Services Continental という名称の住所番号がある場合、「*CO」または「CO*」と入力して検索すると Corporate Center と Continental Services が検出されます。

重複入力の検証

住所録レコードの入力、改訂またはアップロード時に起こり得る重複入力を避けるために、住所録システムで重複入力の検証機能を有効にします。また、表記が重複する名前、市町村、郵便番号、税 ID が検出された場合に警告またはエラー メッセージを表示するかどうかを指定します。

住所録 MBF (P0100041) には、重複するレコードの検索を実行するかどうかを指定する 2 つの処理オプションがあります。

- 入力データの重複チェック

表記が同一の名前、市町村、郵便番号が検出されます。略語を含むレコードは検出されません。たとえば、Saint Petersburg と St. Petersburg は重複とは見なされません。

- 税 ID の重複チェック

所在国が同じで、同一の税 ID を持つレコードが検出されます。税 ID がブランクのレコードは検出されません。

これらの処理オプションの一方または両方について、それぞれ表示するメッセージのタイプ (警告またはエラー) を指定できます。警告メッセージの場合はデータを入力して保存できますが、エラー メッセージが表示された場合はデータの保存はできません。

入力データの重複チェックでは、F0101 テーブルと F0116 テーブルで、表記が一致する名前、市町村、および郵便番号が検索されます。税 ID の重複チェックでは、F0101 テーブルで同一の税 ID が検索され、所在国は F0116 テーブルで検証されます。

モバイル セールスでの住所録の利用

EnterpriseOne のセールス フォース オートメーション システムを使用している場合、EnterpriseOne システムに接続していないときでも、顧客の住所録レコードの入力と修正ができます。EnterpriseOne のモバイル セールスは、販売担当者向けに、会社のサーバーから切断されているときに顧客情報や受注オーダーをラップトップ コンピュータで作成できるよう設計された製品です。たとえば、飛行機内や滞在先、あるいは取引先の現場で、オーダー情報や顧客情報、引合情報、契約情報を入力または更新し、サーバーに接続できる状態になったときにこれらの入力したデータを同期化することができます。

データの転送は双方向で行われます。つまり、同期化を実行すると、作業を行ったラップトップ コンピュータでは、サーバーに変更情報を送信し、サーバーから更新情報を受信します。

(ESP) Foreign C.I.F. and N.I.F. Validation for Spain

Foreign companies and individuals in Spain are assigned national fiscal identification (ID) numbers. These numbers are used on legal and fiscal documents, such as invoices, vouchers, and fiscal reports. The fiscal ID number for companies is called the Código de Identificación Fiscal (C.I.F.), and the number for individuals is called the Número de Identificación Fiscal (N.I.F.).

When you enter address book records for Spain, you enter the N.I.F. and C.I.F. numbers in the Tax ID field on the Address Book Revision form, and the system validates the number against the required format.

For foreign C.I.F. numbers, the system validates that the number is nine digits and contains the following attributes:

- The first character is N.

N represents the type of company.

- Characters two through seven contain a numeric string.
- The last character is a check digit that the system assigns using an algorithm that is applied to the numeric string.

For foreign N.I.F. numbers, the system validates that the number is nine digits and contains the following attributes:

- The first character is K, L, M, or X.

This value represents the type of foreign individual (for example: resident, nonresident, less than 14 years old, and so on).

- Characters two through seven contain a numeric string.
- The last character is a check digit that the system assigns using an algorithm that is applied to the numeric string.

If you enter a number in the Tax ID field that does not follow the required format, the system generates an error message.

When you run the Address Book Batch Upload program to upload records for Spain, the system validates numbers against the required format and generates an error message in the Work Center if any numbers are invalid.

住所録レコードの入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[住所の処理]	W01012B	[日次処理](G0110)、[住所録の改訂]	既存の住所録レコードの検索と検討を行います。
[住所録の改訂]	W01012A	[住所の処理]フォームで、[追加]をクリックします。	住所録レコードの基本情報である住所(郵送情報を含む)を追加または変更します。
[電話番号]	W0115A	[住所の処理]フォームでレコードを選び、[ロー]メニューの[電話番号]をクリックします。	電話番号を追加し、電話の種類を指定します。
[住所フォーマット]	W01012C	[住所の処理]フォームでレコードを選び、[ロー]メニューの[住所録の改訂]をクリックします。[住所録の改訂]フォームで[フォーム]メニューの[住所フォーマット]をクリックします。	宛名ラベルの作成前に郵送先住所を確認します。住所フォーマットは、国別固定情報マスターファイルテーブル(F0070)の住所フォーマットIDに相応します。

住所録 MBF (P0100041) の処理オプションの設定

処理オプションを選択して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

送信

送信トランザクションの作成時のトランザクション タイプとトランザクション イメージを指定します。インタオペラビリティ機能を使用する場合は、この処理オプションでトランザクション タイプを指定します。この処理オプションを空白にすると、送信インタオペラビリティ処理は実行されません。トランザクション タイプ コードを検索するには、検索ボタンをクリックします。

1. **トランザクション タイプ** インタオペラビリティ機能を使用する際のトランザクション タイプを指定します。このフィールドを空白にすると、送信インタオペラビリティ処理は実行されません。トランザクション タイプ コードを検索するには、ビジュアル アシストを使用します。
2. **変更トランザクションの書込み** レコード変更前後のトランザクションを書き込むかどうかを指定します。変更前トランザクションとは変更前のレコードのことです。変更後トランザクションとは変更後のレコードのことです。有効値は以下のとおりです。
 空白:変更後のレコードを書き込む。
 1: 変更前後両方のトランザクションを書き込む。

デフォルト

住所録レコード作成時のデフォルトのビジネスユニットを指定します。

1. **デフォルトのビジネスユニット** 住所録の改訂プログラム (P01012) でビジネスユニットが指定されていない場合に使用するビジネスユニットを指定します。この処理オプションでビジネスユニットを指定せず、住所録の改訂プログラムでも指定されていない場合、住所録レコードのビジネスユニット フィールドには 1 が自動入力されます。

検証

重複する住所録レコードを検索するかどうかを指定します。

1. **税 ID の重複チェック** 税 ID フィールドと国フィールドの重複する値を検索するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 空白:重複するレコードを検索しない。
 1: 重複するレコードを検索し、検出された場合には警告メッセージを表示する。
 2: 重複するレコードを検索し、検出された場合にはエラー メッセージを表示する。
2. **入力データの重複チェック** 名前、郵便番号、および市町村フィールドに入力された値について重複するレコードを検索するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 空白:重複するレコードを検索しない。
 1: 重複するレコードを検索し、検出された場合には警告メッセージを表示する。
 2: 重複するレコードを検索し、検出された場合にはエラー メッセージを表示する。

住所録の改訂 (P01012) の処理オプションの設定

処理オプションを選択して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

入力

以下の処理オプションを使用して、住所録の改訂プログラムの使用時に表示するフォームとフィールドを指定します。税 ID フィールドを表示することで、住所録レコードに税 ID を入力できるようになります。

1. **仕入先マスター フォーム** 住所録レコードの追加時に、仕入先マスター情報のフォームを表示するかどうかを指定します。仕入先マスターのフォームを表示するにはこの処理オプションを有効にして、[仕入先] フィールドに「Y」を入力します。[仕入先] フィールドは、[住所録の改訂] フォームの [追加情報1] タブに表示されません。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:仕入先マスター フォームを表示しない。
 1: 仕入先マスター フォームを表示する。
2. **顧客マスター フォーム** 住所録レコードの追加時に、顧客マスター情報のフォームを表示するかどうかを指定します。顧客マスターのフォームを表示するにはこの処理オプションを有効にして、[住所録の改訂] フォームの [追加情報1] タブをクリックし、[売掛金] チェック ボックスをオンにします。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:顧客マスター フォームを表示しない。
 1: 顧客マスター フォームを表示する。
3. **サービス/ワランティ管理 フォーム** 住所録レコードの追加時に、カスタマ サービス管理 (CSMS) のフォームを表示するかどうかを指定します。CSMS フォームを表示するには、この処理オプションを有効にし、サービス/保証固定情報テーブル (F17001) の CSF フラグを有効にする必要があります。
 ブランク:CSMS フォームを表示しない。
 1: CSMS フォームを表示する。
4. **税 ID フィールド** [住所録の改訂] フォームに税 ID フィールドを表示するかどうか、または使用不可にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:税 ID フィールドを表示する。
 1: 税 ID フィールドを表示しない。
 2: 税 ID フィールドをグレー表示する (入力不可)。

デフォルト

以下の処理オプションを使用して、住所録レコードにロードされるデフォルトの検索タイプとタイプ コードを指定します。

1. **検索タイプ** [住所の処理] フォームで検索タイプ フィールドに使用されるデフォルト値を指定します。ビジュアル アシストを使用して有効な検索タイプを一覧表示します。この処理オプションをブランクにすると、“* (アスタリスク)” がデフォルト値として使用されます。“*” を使用すると、全ての住所録レコードを対象に検索が実行されます。
2. **タイプ コード** 住所録 - 人名録テーブル (F0111) への入力時に使用されるデフォルトのコードをユーザー定義コード (UDC) 01/W0 から指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:郵送先住所に宛名行を表示しない。
 A: 他のタイプ コードを使用している箇所を除き、郵送先住所の宛名行に“宛名”を表示する。

- B: 請求書の送付時に住所の宛名行に“請求先”を表示する。
- C: 1099 連絡先。1099 処理で使用する IRS 連絡先の名前 (米国)。
- E: 緊急連絡先。住所録レコードに登録されている個人または会社の緊急時に連絡を受ける担当者。
- O: その他。その他、全ての場合に使用するコード。
- T: 1099 用会社名 (米国)。正式名が F0101 テーブルの郵送宛名と異なる場合に、1099 還付処理に使用する名称。

バージョン

以下の処理オプションを使用して、住所録レコードの入力時に使用する住所録 MBF、仕入先マスター、および顧客マスターのデフォルトのバージョンを指定します。

1. **住所録 MBF (P0100041) バージョン** 使用する住所録 MBF (P0100041) のバージョンを指定します。このフィールドを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
2. **顧客マスター (P03013) バージョン** 住所録情報を追加または変更する際に使用する顧客マスター プログラム (P03013) のバージョンを指定します。このフィールドを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
3. **仕入先マスター (P04012) バージョン** 住所録情報を追加または改訂する際に使用する仕入先マスター プログラム (P04012) のバージョンを指定します。空白の場合、デフォルトバージョン ZJDE0001 が使用されます。

処理

以下の処理オプションを使用して、[住所録の改訂] フォームで有効にする機能を指定します。

1. **セルフサービス** JAVA/HTML 形式によるセルフサービス機能を有効化するかどうかを指定します。これは、顧客と仕入先がインターネットを使用して本人/本社の住所や郵送先住所を変更することができる機能です。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:セルフサービス機能を有効化しない。
 1: 顧客に対しセルフサービス機能を有効にする。
 2: 仕入先に対しセルフサービス機能を有効にする。
2. **郵便番号チェック** 郵便番号チェック機能を有効化するかどうかを指定します。郵便番号チェックでは、入力した郵便番号が F0117 テーブルに存在するかどうかを検証します。郵便番号が F0117 テーブルに存在し、市町村、郡、国、および都道府県フィールドが空白の場合、F0117 テーブルの情報が使用されません。郵便番号が F0117 テーブルに存在しない場合、警告メッセージが表示されます。有効値は以下のとおりです。
 ブランクまたは 0:郵便番号チェックを行わない。
 1: 郵便番号チェックを行う。
3. **郵便番号による住所の自動取込み** 入力した郵便番号から住所情報を自動的に取り込むかどうかを指定します。有効な郵便番号を入力して住所行 1 から 4 を空白にした場合、F0118 テーブルから住所情報が自動的に取り込まれます。この機能を有効にする場合、[郵便番号チェック] 処理オプションを 1 に設定して郵便番号チェックを有効にする必要があります。有効値は以下のとおりです。

ブランクまたは 0:郵便番号から住所を自動的に取り込まない。

1: 郵便番号から住所を自動的に取り込み、複数の住所がある場合は郵便番号の検索/選択ウィンドウを表示する(入力した郵便番号に該当する全ての住所が表示されます)。

2: 郵便番号からの住所の自動取り込みを有効化し、1 件の住所情報を自動的に取り込む。

住所録レコードの追加

[住所録の改訂] フォームにアクセスします。

[住所録の改訂] フォーム

[住所No.]

住所録システムで、従業員、応募者、加入者、顧客、仕入先、テナント、所在地などの項目を識別する番号を入力します。このフィールドをブランクにすると、自動採番により住所番号が割り当てられます。

住所録

[住所録] タブをクリックします。

[名前]

名前または住所を表す文字列を入力します。この 40 文字 (半角英数字) まで入力可能なフィールドは、さまざまなフォームやレポートに表示されます。入力にはダッシュ、カンマ、およびその他の特殊文字を使用できますが、このフィールドを使用して名前を検索する際は、これらの特殊文字は検索対象に含まれません。

このフィールドを空白にすると、[郵送宛名] フィールドに入力した値が自動入力されます。

入力データの重複チェックを有効にし、同一の名前、市町村、および郵便番号を持つ別のレコードが検出された場合、この名前フィールドがハイライトされ、エラーまたは警告メッセージが表示されます。

注: 入力データの重複チェックは、人名録レコード 0 に対してのみ実行されます。

[詳細住所No.]

住所録レコードを識別するユーザー定義の名前または番号を入力します。住所録レコードに関する情報の検索および入力にこの番号を使用できます。住所番号 (AN8) 以外の詳細住所や税 ID などの値を入力する場合は、住所録固定情報で定義した識別記号を先頭に付ける必要があります。検索時にレコードが検出されると、そのレコードの住所番号が [住所No.] フィールドに表示されます。

たとえば、住所番号 4100 (Total Solutions) に TOTAL という詳細住所番号を入力する場合、TOTAL に住所録固定情報で識別記号として定義した * (アスタリスク) を付けて入力することで、他の住所番号から詳細住所番号が区別されます。このフィールドに「*TOTAL」と入力すると、住所番号 4100 が表示されます。

[税 ID]

各種の納税先により指定されている識別コードを入力します。社会保障番号、連邦または州の法人税 ID、売上税番号などがこれに該当します。TAXC (個人/法人コード) の値に応じて、入力したコードが検証され、区切り文字が適切なフォーマットで印刷されます。TAXC の値が存在しない場合は、“法人” が使用されます。

税 ID の重複チェックを有効にし、同一の税 ID および国を持つ別のレコードが検出された場合、この [税 ID] フィールドがハイライトされ、エラーまたは警告メッセージが表示されます。

[検索タイプ]

ユーザー定義コード テーブル 01/ST で、検索する住所録レコードの種類を指定するコードを選択します。使用対象となるコードの例は以下のとおりです。

C: 顧客

E: 従業員

O: 会社

TAX: 納税先

V 仕入先

[ビジネスユニット]

原価のトラッキング用の事業単位を表す英数字のコードを入力します。たとえば、倉庫保管場所、作業、プロジェクト、作業場、事業所、工場などをビジネスユニットとして設定できます。

ビジネスユニットを伝票、部署/部門、または個人に割り当てて、管轄別のレポートを作成することができます。たとえば、ビジネスユニット別の未決

済買掛金/売掛金レポートを作成して、管轄部門ごとの設備をトラッキングすることができます。

ビジネスユニットにセキュリティを設定すると、権限のないユーザーにはビジネスユニットに関する情報は表示されません。

[ビジネスユニット] フィールドを空白にすると、住所録 MBF (P0100041) でデフォルトとして設定したビジネスユニットが使用されます。MBF の処理オプションでデフォルトのビジネスユニットを入力していない場合は、デフォルト値として 1 が使用されます。入力するビジネスユニットは、デフォルト値 1 も含め、ビジネスユニット マスター (F0006) で設定しておく必要があります。

郵送

[郵送] タブをクリックします。

[住所行1]

従業員、顧客または仕入先の郵送先住所の第 1 行目を入力します。米国内国歳入庁 (IRS) では、従業員の年度末確定申告フォームに印刷する住所の長さを規定しています。IRS 規定に対応するため、システムでは以下のような制限が設けられています。

W-2 フォームには、空白ではない住所行の最後の 3 行および市町村、都道府県 (州)、郵便番号のみ印刷されます。

1099 フォームには、空白ではない最後の住所行および市町村、都道府県 (州)、郵便番号のみ印刷されます。

他の米国連邦政府指定の磁気メディアには、空白ではない最後の住所行および市町村、都道府県 (州)、郵便番号のみ印刷されます。

[市町村]

住所の市町村名を入力します。

[都道府県]

ユーザー定義コード (00/S) から都道府県 (州) を選択します。米国では郵便で通常使用される略語がこのコードになります。

[郵便番号]

米国の ZIP コード、または郵送先を示す郵便コードを入力します。このコードは、国外の郵送宛先に添付されます。郵便番号の照会時に、このコードが終了値として使用されます。

郵便番号の自動取得機能を使用する場合は、住所行と郵便番号のみを入力します。市町村、都道府県 (州)、国、および郡は、F0117 テーブルと F0118 テーブルから自動的に読み込まれます。

[国]

ユーザー定義コード (00/CN) から国を選択します。国コードは、通貨換算には影響しません。

住所録システムでのデータ選択および住所形式の設定に、このコードが使用されます。

[郡]

住所や税処理に必要な郡や行政区、地方行政区の名前を入力します。

追加情報 1

[追加情報1] タブをクリックします。

[仕入先 (Y/N/M)]

住所録レコードが仕入先かどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

Y: 仕入先 :住所の追加後に仕入先マスター レコードを自動的に表示するかどうかは、処理オプションで指定します。

N: 仕入先ではない :このコードを指定しても、住所の伝票入力には影響しません。

M: その他、単発取引の仕入先 :このコードを指定しても、住所の複数伝票入力には影響しません。

F: 国外の住所を持つ仕入先 :IRS の既定により、1099 レポートでは、米国の会社は国外の住所を持つ仕入先を識別する必要があります。

納税先は仕入先として割り当ててください。納税先に対して、税の支払処理を行うためです。

コード N は、処理オプションを設定しない限り、参考用のコードと見なされます。[仕入先] フィールドと [売掛金] フィールドの両方に N を入力すると、警告メッセージが表示されます。

[従業員グループ承認]

従業員を割り当てるグループを入力します。この値はワークフローの承認プロセスに使用されます。

[売掛金/買掛金相殺]

顧客や仕入先が売掛金/買掛金相殺の対象かどうかを決定します。このフィールドに「Y」を入力すると、この住所番号の請求書や伝票に表示される相殺状況フィールドに「1 (相殺処理済み)」が設定されます。「N」を入力した場合は、相殺状況フィールドに「0 (相殺無効)」が設定されます。

[税申告者 ID (個人)]

基本の税 ID 番号 (TX1) の他に納税先から個人納税者に割り当てられた ID 番号を入力します。

[免税証書]

免税対象の個人または法人に対して課税当局が発行した、免税状況を識別する番号を入力します。

[個人/法人コード]

納税者のタイプを指定します。米国やその他の国外の仕入先の 1099 レポートについては、コードが P または N に指定されているレコードのみが選択されます。米国の事業体に指定できる値は、以下のとおりです。

ブランクまたは C: 法人 (税 ID が "12-3456789" の形式で印刷されます。)

P: 個人 (税 ID が "123-45-6789" の形式で印刷されます。)

N: 自営業 (税 ID が "12-3456789" の形式で印刷されます。)

米国以外の事業体に指定できる値は、以下のとおりです。

- 1: 個人
- 2: 法人
- 3: 個人と法人の両方
- 4: 自営業
- 5: 税務署

[与信メッセージ]

ユーザー定義コード テーブル 00/CM で、顧客または組織体の与信状況を表すコードを選択します。使用対象コードの例は以下のとおりです。

- 1: 与信限度額超過
- 2: 購買オーダー必要
- 3: メンテナンス契約上に記載なし

与信メッセージは、買掛管理、受注管理、調達管理の各システムの照会フォームや取引入力フォームに表示されます。売掛管理システムでは一時与信メッセージが表示されます。

- [言語]** ユーザー定義コード テーブル 01/LP から、フォームの表示とレポートの出力時に使用する言語を指定します。言語を指定する前に、選択する言語コードが、システム レベルとユーザー設定のどちらか一方で定義済みである必要があります。
- [産業分類コード]** 商品やサービスを分類するコードを指定します。このコードには、以下の分類体系のいずれかの形式を適用できます。
- 標準産業分類 (SIC) または北米産業分類 (NAICS): 米国で商品やサービスの分類に使用される数値による分類体系です。SIC は 4 桁で NAICS は 6 桁のコードです。
- 国際統一商品分類 (HS): 国際的な商品分類の方法で、50 か国以上がこのコードを使用しています。最大桁数は 10 桁です。
- 標準国際貿易分類 (SITC): 国連が開発した数値によるコード体系で、国際貿易で使用される商品の分類法です。国際機関などで使用される、最大 6 桁のコードです。
- [売掛金 (Y/N)]** 住所録レコードの会社/個人が顧客であるかどうかを指定します。住所の追加後に仕入先マスター レコードを自動的に表示するかどうかは、処理オプションで指定します。
- [ユーザー・コード]** ユーザーの業務の関連情報を識別するオプションです。このオプションに対する既存の定義はありません。
- [補助元帳非アクティブ・コード]** 一般会計システムの補助元帳として住所録レコードを使用する場合に指定します。オンにすると、補助元帳が非アクティブであることを示します。
- たとえば、完了した作業、退職した従業員、処分した資産などに対して非アクティブに設定します。補助元帳が再度使用可能になった場合は、このチェック ボックスをオフ (アクティブ) に戻してください。
- テーブル内の補助元帳の情報をレポートに使用する一方で、取引を勘定残高テーブル (F0902) のレコードへ転記されないようにするには、このチェック ボックスをオンにしてください。
- [従業員 (Y/N)]** 従業員の住所録レコードの場合は、このチェック ボックスをオンにします。このフィールドは参照専用です。

追加情報 2

[追加情報2] タブをクリックします。

- [分類コード 01] ~ [分類コード 05]** これらのフィールドを使用して、住所録レコードを細分類します。たとえば、ビジネスを分類するのであれば、マイノリティ経営、女性経営、または小規模ビジネス運営などと分類することができます。各分類コードの値は、ユーザー定義コード テーブル 01/CA から 01/CE で設定します。
- [ティッカー]** 顧客または仕入先のティッカーシンボル (銘柄コード) を入力します。
- [株式取引]** 顧客や仕入先の証券取引所を入力します。
- [開始年度]** 取引先会社が顧客となった年度を入力します。

[収益範囲] ユーザー定義コード テーブル 01/RR で、顧客または仕入先の収益高を指定するコードを選択します。

[増加率] 顧客または仕入先の収益伸び率を最大 10 桁の数字で入力します。

[従業員数] 顧客または仕入先の従業員数を入力します。

[D-U-N-S No.] 顧客または仕入先の DUNS ナンバーを入力します。

関連住所

[関連住所] タブをクリックします。

[親住所 No.] 親会社の住所番号を入力します。この番号は、特定の住所を親会社または所在地と関連付けるために使用されます。このフィールドに入力した値は、住所組織構造マスター (F0150) で構造タイプがブランクのレコードを更新します。この住所番号は F0101 テーブルに対して検証されます。したがって、ここに入力する番号は、F0101 テーブルに存在する必要があります。以下は、親番号のある住所録レコードの例です。

親会社を持つ子会社

本社を持つ支店

請負業者の作業現場

基本住所とその他の関連住所の関係を指定するには、このフィールドに親会社の住所番号を入力します。

[第 1 住所 No.] 住所録システムに代替住所番号を入力します。このフィールドには、基本住所に関連する業者や個人の住所を補足的な住所として入力できます。以下のような個人や法人の住所を入力します。

販売担当者

法律事務所

会計士

証券会社

担保会社

入力フォームでこのフィールドをブランクにすると、住所番号フィールドに指定されている基本住所が使用されます。

基本住所とその他の関連住所の関係を指定するには、このフィールドに住所番号を入力します。

[ファクター/代替受取人] 買掛金元帳で使用する代替支払先の住所番号を入力します。

この住所番号は F0101 テーブルに対して検証されます。したがって、ここに入力する番号は、F0101 テーブルに存在する必要があります。入力フォームでこのフィールドをブランクにすると、住所番号フィールドに指定されている基本住所が使用されます。

カテゴリコード 1 - 10、カテゴリコード 11 - 30

[カテゴリ・コード 01-10]、または [カテゴリ・コード 11-30] タブをクリックします。

[カテゴリ・コード 01] これらのコードは、各種レポートや宛名ラベルの作成用などに住所録レコードをグループ化するために使用します。カテゴリコードは、ユーザー定義

コード (システム 01、タイプ 01 ~ 30) です。カテゴリ コードは、以下のよう
に使用します。

[カテゴリ・コード01]

: 保管場所または支店

[カテゴリ・コード02]

: 販売担当者

[カテゴリ・コード03]

: 製品

[カテゴリ・コード04]

: 信用調査官

これらのフィールドに入力する値は、対応する UDC テーブルに存在して
いる必要があります。

住所録レコードへの電話番号の追加

[電話番号] フォームにアクセスします。

住所録の改訂 - 電話番号

OK(O) 検索(D) 削除(D) キャンセル(L) ツール(T)

住所No. 3480 Digger Enterprises

人名録行 0 Digger Enterprises

レコード 1-2 グリッドのカスタマイズ

	市外局番	電話番号	電話タイプ	電話タイプ記述	行 No.
<input checked="" type="radio"/>	916	484-4055		職場	1
<input type="radio"/>					

[電話番号] フォーム

[市外局番]

電話番号の最初の部分を入力します。米国の場合、市外局番は 3 桁のエ
リアコードです。

[電話番号]

市外局番およびハイフンやピリオドなどの特殊文字を含めずに、登録する
連絡先の電話番号を入力します。どの国の電話番号形式でも入力できま
す。このフィールドは、電話番号の最初の部分 (米国ではエリアコード) を
入力する市外局番フィールド (AR1) と組み合わせて使用されます。

電話番号から住所を検索するには、住所録システムの登録時に使用した
特殊文字も含め、登録時と完全に一致する形で番号を入力する必要があります。

[電話タイプ]

ユーザー定義コード テーブル (01/PH) で、電話番号のタイプまたは使用
目的を示すコードを選択します。使用するコードには、職場、ファックス、携
帯電話などがあります。

住所録レコードへの人名録情報の追加

このセクションでは、人名録情報の概要と以下の方法について説明します。

- 人名録 MBF PO の処理オプションの設定
- 人名録レコードの追加
- 人名録レコードへの電話番号の追加
- 人名録レコードへの電子メール/インターネット アドレスの追加
- 人名録レコードへの関連先情報の追加
- 人名録レコードへの代替住所情報の追加

人名録情報について

住所録レコードの入力後、そのレコードの住所番号に関連する個人の名前を人名録に入力することができます。各人名録レコードには、業務関係や個人情報、郵送先の情報、およびレコードの種類を区別するためのタイプ コードを登録することができます。これらの情報は、住所録 - 人名録テーブル (F0111) に保管されます。

人名録レコードごとに、当人と住所の関係を示すタイプ コードを指定します。たとえば、請求に関する担当者を入力する場合は、タイプ コードに「B」(請求先)を入力します。タイプ コードを使用して、人名録のどの項目をラベル印刷に使用するか、また郵送先住所に表示するかを指定できます。

人名録レコードに情報を入力する際には、住所番号と人名録レコードの関係を示す組織構造を作成することもできます。

人名録レコードの作成後に、以下の追加情報を各レコードに設定することができます。

- 電話番号
- 電子メール/インターネット アドレス
- 関連先情報
- 代替住所情報

注: EnterpriseOne では、サードパーティのスケジュール管理 (PIM) システムと EnterpriseOne システム間でユーザーのデータを同期化することができます。この同期化機能により、IBM Domino や Microsoft Exchange の PIM システムに保管されている連絡先などの個人情報を共有し、管理することができます。たとえば、住所録システムに人名録レコードを作成すると、PIM システムのデータベースにも該当するオブジェクトが作成されます。住所録システムか PIM システムのいずれか一方で項目を更新または削除した場合、この変更内容はもう一方のシステムで同期化されます。

EnterpriseOne システムと PIM システムのデータの同期化を実行するには、サードパーティのソフトウェア製品である Intellisync Server を使用します。Intellisync Server では、PIM データの同期をとる際に CSV ファイルと同期化テンプレートが使用されます。CSV ファイルには、PIM の同期化用に登録した EnterpriseOne の各ユーザーの PIM サーバー レコードが保管されます。PIM 同期化のユーザーの設定後、EnterpriseOne システムで CSV ファイルを生成します。同期化テンプレートは、EnterpriseOne システムと PIM システム間で同期をとる情報の種類を決定します。

参照: EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: System Administration

人名録レコード用の電話番号

各人名録レコードに、1 つまたは複数の電話番号を入力することができます。電話情報を入力すると、人名録の行 ID が該当する住所番号に割り当てられます。人名録レコードの電話情報は、住所録 - 連絡先電話番号テーブル (F0115) に保管されます。

人名録レコード用の電子メール/インターネット アドレス

各人名録レコードに、1 つまたは複数の電子メール アドレスおよびインターネット アドレスを登録することができます。電子メール/インターネット アドレスは、ワークフロー管理システムやサービス管理システムなどの他の EnterpriseOne システムでも使用されます。人名録レコードの電子メール情報は、電子メール/インターネット アドレス テーブル (F01151) に保存されます。

人名録レコード用の関連先情報

各人名録レコードに、担当者の一覧を作成することができます。たとえば、人名録レコードに秘書の名前を入力できます。各関連先レコードに連絡先の電話番号を入力することもできます。関連先情報は、関連先テーブル (F01112) に保管されます。

連絡先情報を入力する際に、住所録番号と人名録レコードの関係を示す組織構造を作成することもできます。

人名録レコード用の代替住所情報

各人名録レコードに、複数の住所を入力することができます。代替住所の一覧で、基本住所の指定もできます。代替住所情報は、代替住所テーブル (F01161) に保管されます。

住所録レコードへの人名録情報の追加に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[住所の処理]	W01012B	[日次処理] (G0110)、[住所録の改訂]	既存の住所録レコードの検索と検討を行います。
[人名録]	W0111A	[住所の処理] フォームでレコードを選び、[ロー]メニューの [人名録] をクリックします。	登録した住所に関係する個人の名前を入力します。
[人名録詳細]	W0111B	[住所の処理] フォームでレコードを選び、[ロー]メニューの [人名録] をクリックします。[人名録] フォームの詳細グリッドでレコードを選択して、[ロー]メニューの [詳細] をクリックします。	人名録レコードの特定の行について、住所の詳細情報を追加します。
[電話番号]	W0115A	<ul style="list-style-type: none"> [人名録] フォームの詳細グリッドでレコードを選択して、[ロー]メニューの [電話番号] をクリックします。 [関連先] フォームでレコードを選択して、[ロー]メニューの [電話番号] をクリックします。 	人名録レコードまたは関連先レコードに電話番号を追加します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[電子メール/インターネットの改訂]	W01111I	[人名録] フォームでレコードを選択して、[ロー]メニューの[電子メール/インターネット]をクリックします。	人名録レコードに電子メール/インターネットアドレスを追加します。
[関連先]	W01111F	[人名録] フォームでレコードを選択して、[ロー]メニューの[関連先]をクリックします。	人名録レコードに関連先情報を追加します。
[関連先詳細]	W01111H	[関連先] フォームで関連先レコードを選択して、[ロー]メニューの[詳細]をクリックします。	関連先レコードに詳細情報を入力します。
[代替住所]	W01111E	[人名録] フォームでレコードを選択して、[ロー]メニューの[代替住所]をクリックします。	人名録レコードに代替住所を追加します。 住所情報の入力に[代替住所詳細] フォームを使用する前に、[開始日付]および[住所タイプ]フィールドを入力します。
[代替住所詳細]	W01111D	[代替住所] フォームでレコードを選択して、[ロー]メニューの[詳細]をクリックします。	代替住所の詳細情報を入力します。

人名録 MBF PO (P0100087) の処理オプションの設定

人名録 MBF PO の処理オプションにアクセスするには、対話型バージョン プログラムを使用します。

インタオペラビリティ

1. **トランザクション タイプ** 人名録情報のトランザクション タイプを指定します。
2. **イメージ処理 (送信のみ)** 変更後のレコードの書き込みに加えて、変更前の人名録情報レコードを書き込むかどうかを指定します。これらのレコードは、送信インタオペラビリティ処理を有効にした場合にバッチ - 人名録情報テーブル (F0111Z1) に書き込まれます。有効値は以下のとおりです。
 ブランク: 変更後のみのトランザクションを書き込む。(変更後の人名録レコードのみが書き込まれ、変更前のレコードは書き込まれません。)
 1: 変更前後両方のトランザクションを書き込む。(情報の変更前のレコードと変更後のレコードの計 2 件の人名録レコードが書き込まれます。)

人名録レコードの追加

[人名録詳細] フォームにアクセスします。

住所録の改訂 - 人名録詳細 i ? ?

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

住所No. Doe, John

人名録行

詳細 | 追加情報 | カテゴリ・コード1 - 10 | カテゴリ・コード 11 - 20

郵送宛名

第2郵送宛名

名前

フリガナ

役職

タイプ・コード

連絡先タイプ

職務コード

指定連絡方法

主連絡先

[人名録詳細] フォーム

詳細

[詳細] タブをクリックします。住所録システムでは、各人名録レコードに行 ID が割り当てられます。住所番号の最初の人名録レコードには、行 ID "0" (ゼロ) が割り当てられます。

[郵送宛名]

連絡先との通信文に印刷する名前を入力します。

[名前]

名前または住所を表す文字列を入力します。この英字で 40 文字まで入力可能なフィールドは、複数のフォームおよびレポートに表示されます。入力にはダッシュ、カンマ、およびその他の特殊文字を使用できますが、このフィールドを使用して名前を検索する際は、これらの記号や特殊文字は検索対象にはなりません。

このフィールドを空白にすると、[郵送宛名] フィールドに入力した値が自動入力されます。

入力データの重複チェックを有効にし、同一の名前、市町村、および郵便番号が検出された場合は、重複するフィールドがハイライトされ、エラーまたは警告メッセージが表示されます。

[役職]

人名録の個人の肩書きを入力します。

- [タイプ・コード]** ユーザー定義コード テーブル 01/W0 で、人名録レコードを識別するコードを選択します。使用対象コードの例は以下のとおりです。
- A: 宛名
 - B: 請求先
 - C: 1099 連絡先
 - E: 緊急連絡先
 - O: その他
 - T: 1099 用会社名 (米国)
- [連絡先タイプ]** ユーザー定義コード テーブル 01/CT で、人名録レコードに登録する個人を表すコードを選択します。使用対象コードの例は以下のとおりです。
- C: 競合他社
 - D: 意思決定者
 - I: 有力者
 - R: 推薦者
- [職務コード]** ユーザー定義コードテーブル 01/FC で、人名録レコードに登録する個人の会社での役割を表すコードを選択します。使用対象コードの例は以下のとおりです。
- CO: 最高責任者
 - CON: コンサルタント
 - DIR: ディレクタ
 - MGR: 管理者
 - STA: 担当者
 - SUP: スーパーバイザ
- [指定連絡方法]** ユーザー定義コード テーブル 01/CQ で、先方が指定する連絡方法を表すコードを選択します。使用対象コードの例は以下のとおりです。
- E: 電子メール
 - F: ファックス
 - C: 電話
 - W: 住所
 - P: ポケベル
- [主連絡先]** 登録する個人が主要連絡先であることを示すには、このチェック ボックスをオンにします。主要連絡先は、連絡先タイプあたり 1 件のみです。
- 追加情報**
- [追加情報] タブをクリックします。
- [名前]、[ミドル・ネーム]、および [名字]** 登録する個人の名前、ミドル ネーム、および名字を入力します。これらのフィールドは参照用であり、どのレポートにも表示されません。ミドル ネームのフィールドに名前やイニシャルを入力することもできます。

- [敬称]** 書面で連絡をとる際に、送付先として指定する名前と敬称を入力します。たとえば、Ms. Green、Dr. Strasheim、Herr Obermeyer などのように入力します。このフィールドは参照用であり、どのレポートにも使用されません。
- [ニックネーム]** 登録する個人のニックネームを入力します。このフィールドは、住所番号の人名録行に設定されます。
- [性別]** 登録する個人の性別を指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク
 1: 男
 2: 女
 3: 不明
- [備考]** 人名録レコードに追加する補足情報がある場合、半角英数 40 文字以内で入力します。
- [表示順序]** フォーム上での表示順序を指定する数字を入力します。
- [生年月日]** 登録する個人の生年月日を入力します。
- カテゴリコード**
 [カテゴリ・コード 1 -10] または [カテゴリ・コード 1 -10] をクリックします。
- [カテゴリ・コード 01] ~ [カテゴリ・コード 20]** 最大で 20 件登録できるカテゴリコードの中から、1 つまたは複数のコードを人名録リストの名前に割り当てます。これらのコードを使用して、特定の送付先リストや電話番号リストなどに人名録レコードを含められます。カテゴリコードはユーザー定義コードです。以下は定義するコードの例です。
 01: 新規連絡先または従業員
 02: グリーティング カード送付リスト
 03: 同窓会リスト
 04: 信用調査官

人名録レコードへの電話番号の追加

[電話番号] フォームにアクセスします。

- [市外局番]** 電話番号の最初の部分を入力します。米国の場合、市外局番は 3 桁のエリアコードです。
- [電話番号]** 市外局番およびハイフンやピリオドなどの特殊文字を含めずに、登録する連絡先の電話番号を入力します。どの国の電話番号形式でも入力できます。このフィールドは、電話番号の最初の部分（米国ではエリアコード）を入力する市外局番フィールド (AR1) と組み合わせて使用されます。
 電話番号から住所を検索するには、住所録への登録時に使用した特殊文字も含め、登録時と完全に一致する形で番号を入力する必要があります。
- [電話タイプ]** ユーザー定義コード テーブル (01/PH) で、電話番号のタイプまたは使用目的を示す電話タイプのコードを選択します。使用対象コードの例は以下のとおりです。
 ブランク: 職場の電話番号

FAX: ファックス番号

HOM: 自宅の電話番号

人名録レコードへの電子メール/インターネット アドレス情報の追加

[電子メール/インターネットの改訂] フォームにアクセスします。

住所録の改訂 - 電子メール/インターネットの改訂

住所No. 3480 Digger Enterprises

人名録行 1 John Smith

行 No.	電子メール アドレス・タイプ	電子メール アドレス	メッセージ処理 インジケータ	電子メール・アドレス・カテゴリ
1	電子メール・アドレス	john.smith@digger.com	0	

[電子メール/インターネットの改訂] フォーム

[電子メール アドレス・タイプ]

有効な電子メール/インターネット アドレスのタイプを選択します。有効値には、電子メール アドレス、インターネット アドレス、内部アドレスがあります。

電子メール アドレス タイプの有効コードはハードコード化されており、ユーザー定義コード テーブル 01/ET に保管されています。

[電子メール アドレス]

個人または部署/部門の電子メール アドレスまたは URL を入力します。

[メッセージ処理インジケータ]

ユーザー定義コード テーブル 01/HI からコードを選択します。メッセージ システムでは、ここで選択するコードが使用され、指定した電子メール アドレスにメッセージを送信するかどうかが決まります。有効値は以下のとおりです。

00: 指定した電子メール アドレスに電子メールを送信しない。

01: 指定した電子メール アドレスに電子メールを送信する。

[電子メール・アドレス・カテゴリ]

電子メール/インターネット アドレスの使用目的を指定します。このフィールドは、将来使用予定のフィールドです。

人名録レコードへの関連先情報の追加

[関連先詳細] フォームにアクセスします。

住所録の改訂 - 関連先詳細

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

住所No. 1001 Doe, John
 人名録行 3 Alexander, Caryn

個人 カテゴリ・コード

担当者ID 1
 関連先 *
 関係タイプ
 生年月日 - 日 0
 生年月日 - 月 0
 生年月日 - 年 0

[関連先詳細] フォーム

個人

[個人] タブをクリックします。

[関連先]

関連先テーブル (F01112) に登録する個人の名前を入力します。このテーブルは人名録レコードに関連付けられています。

[関係タイプ]

ユーザー定義コード テーブル 01/RT で、連絡先と F01112 テーブルの名前の関係を表すコードを選択します。有効なコードの例は以下のとおりです。

- A: 秘書
- B: 重要取引先
- C: 子
- D: プロジェクト リーダー
- E: 調査担当者

[生年月日 - 日]

生年月日の“日”に当たる数字を入力します。たとえば、誕生日が 1973 年 2 月 5 日の場合、このフィールドには「05」と入力します。

[生年月日 - 月]

生年月日の“月”に当たる数字を入力します。たとえば、誕生日が 1973 年 2 月 5 日の場合、このフィールドには「02」と入力します。

[生年月日 - 年]

生年月日の“年”に当たる数字を入力します。たとえば、誕生日が 1973 年 2 月 5 日の場合、このフィールドには「1973」と入力します。

カテゴリコード

[カテゴリ・コード] タブをクリックします。

[カテゴリ・コード 1] ~ [カテゴリ・コード 5]

ユーザー定義コード テーブル 01/P1 から 01/P5 で、レポート作成用のコードを選択して入力します。たとえば、関連先カテゴリコードで、販売部門や地域などを設定できます。

人名録レコードへの代替住所情報の追加

[代替住所] フォームにアクセスします。

The screenshot shows a software window titled "住所録の改訂 - 代替住所". At the top, there are menu options: OK(O), 削除(D), キャンセル(L), ロー(R), ツール(T). Below the menu is a toolbar with icons for save, delete, cancel, and refresh. The main form area contains several input fields: "住所No." with the value "3480", "人名録行" with "1", and "住所タイプ" with "32". To the right of these fields, the text "Digger Enterprises" and "John Smith" is displayed. Below the form fields is a table with the following structure:

開始日付	住所タイプ	住所行1	住所行2	住所行3
2005/06/06	32	One Technology Way		

[代替住所] フォーム

[開始日付] および [住所タイプ]

各フィールドに開始日付と住所タイプを入力します。これらのフィールドへの値の入力は必須ではありません。

[主住所フラグ]

住所が連絡先の主住所であることを示す場合は、このチェック ボックスをオンにします。このオプションは、1 つの住所に対してのみ設定できます。

[住所行1] ~ [住所行4]

連絡先の関連住所を入力します。

(BRA) Entering Tax Information for Address Book Records

This section provides overviews of Brazil tax information and user-defined codes and discusses how to:

- Set processing options for Address Book Additional Information – Brazil.
- Add tax information for address book records.

Understanding Tax Information for Address Book Records

To process business transactions accurately in Brazil, the government requires companies to maintain detailed tax information and specifications for all customers, suppliers, and tax authorities. To maintain this information, you access the Address Book Additional Information – Brazil program (P01012BR) when you add a new address book record or when you change the information for an existing record.

The system uses the value in the Person/Corporation Code field of an address book record to determine the tabs to activate on the Address Book Additional Information – Brazil form. The Person/Corporation Code field must contain one of the following hard-coded values (UDC table H00/TA):

- 1: Individual
- 2: Corporate entity
- 3: Both an individual and a corporate entity

State Tax ID Numbers

The Address Book Additional Information – Brazil program validates state tax ID numbers if you set the processing options to do so.

If you set the processing options accordingly, the system runs the validation routine when you click OK on the Address Book Additional Information – Brazil form. The system validates the data in the State Tax ID field (TX2) when all of the following conditions are met:

- You set the processing options as follows:
- The processing option for Duplicate State Tax ID Numbers is set to blank.
- The processing option for Duplicate State Tax ID Error or Warning is set to a valid value.
- A valid state is entered in the State field in the address book record and the value of the Country Codes UDC (00/CN) for the address book record is set to BR (Brazil).
- A valid state code exists in the State field (ADDS) in the address book record.

The validation routine does the following:

- To validate, the system strips out alpha and special characters (!, @, #, @, \$, %, ^, &, *, (,), _, +, .., /) but displays the ID number in the State Tax ID field with the characters. For example, if you enter 011-445-22.5, the validation routine changes the ID number to 011445225.

If the ID number in the State Tax ID number is an Agricultural Producer Tax ID for São Paulo, the system allows the letter P in the first position of the ID number. For example, if you enter P100-444-8, the system changes the ID number to P1004448.

注: If an address book record does not have a tax ID number, you can enter the word INSENTO (uppercase) in the State Tax ID field and the system will not validate the tax ID number.

- Stores the ID number with the special characters so that the ID number appears in reports with the special characters.
- Recognizes that the special characters are a value that makes the number unique. For example, the system recognizes that these numbers are different:
 - 12345
 - 123.45
 - 12/345

Understanding UDCs for Tax Information

Several localization programs use UDCs to process tax information for Brazil.

UDC 76/CC (Code – Taxpayer)

In Brazil, different tax rules apply to different types of taxpayers . To identify the types of taxpayers in your system, you use the codes in UDC table 76/CC. These codes are hard coded for Brazil localization:

Codes	Description 01
1	Taxpayer
2	Consumer
3	Taxpayer and Consumer

UDC 76/CN (Category Code Name/Code BR)

You can set up address book and item category codes for use in Brazilian tax calculations. Brazilian localization reserves seven category codes in the address book and the item tables. To avoid conflicting with the category codes that are already in use, localization dynamically allocates the category codes that it requires.

Brazilian localization requires that seven category codes be set up. In UDC table 76/CN, each category code has a hard-coded name that the program uses to establish a relationship with the category code variable in the tables.

You set up UDCs for:

- Address Book category codes
- Item Nature and Item Branch/Plant category codes
- Identification of category codes that store information which is specific to Brazil

These category codes in UDC table 76/CN are hard-coded for Brazil localization.

User-Defined Code	Description
MARKUP – AC30 (Address Book) XE Notas fiscais:address book print ICMS substitution markup level indicator	Address Book ICMS Substitution Markup Level Indicator Set up to indicate the ICMS Substitution Markup level of a customer or supplier. N: Do not print markup. Y: Print free-zone markup.
NATUR – SRP6 (Item/Branch) XE Notas fiscais:item nature indicator	Item Nature Indicator Set up to link the item category code that is selected to represent the item nature in the Brazilian localization. 1: Manufactured product (Brazil) 2: Purchased product (Brazil)
AZONE – SRP8 (Item/Branch) XE Notas fiscais:free zone discount indicator	Free-Zone Discount Indicator Set up to indicate whether free-zone discounts apply to an item. *: Default Markup (Brazil) 111: Supermarket (BR)

UDC H00/TA (Person Corporation Code)

These values in H00/TA are valid for Brazil localizations only. These value represent the nature of an address book entity and are hard coded in UDC table H00/TA.

- 1: Individual
- 2: Corporate Entity
- 3: Both an Individual and Corporate Entity

Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Verify that you have selected Brazil (BR) in your user display preferences.
- Verify that you have set up matching versions of the Address Book program (P01012) and the Address Book Additional Information – Brazil program (P01012BR).
- Verify that you have set up these UDCs:
 - Code – Taxpayer (76/CC).
 - Category Code Name/Code BR (76/CN).
 - Person Corporation Code (H00/TA).
 - State & Province Codes (00/S).
 - Flag – Free Port Zone (76/FR).
 - ICMS Code – Fiscal Value (76/II).
 - IPI Code – Fiscal Value (76/IP).
- Set these processing options:
 - Duplicate State Tax ID Numbers.
 - Duplicate State Tax ID Error or Warning.

Forms Used to Enter Tax Information for Address Book Records

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Addresses	W01012B	Address Book – Brazil (G76B01), Address Book Revisions	Review a list of address book records.
Address Book Revision	W01012A	Click the Add button on the Work With Addresses form or select a record and click Select.	Add or revise an address book record.
Address Book Additional Information – Brazil	W01012BRA	Select Regional Info from the Form men on the Address Book Revision form.	Add tax information specific to Brazil for address book records.
Work With Customer Master	W03013A	Customer Invoice Entry (G03B11), Customer Master Information	Review a list of customer records.
Customer Master Revision	W03013B	Click the Add button on the Work With Customer Master form or select a record and click Select.	Add or revise a customer master record.
Work With Supplier Master	W04012D	Supplier & Voucher Entry (G0411), Supplier Master Information	Review a list of supplier records.
Supplier Master Revision	W04012A	Click the Add button on the Work With Supplier Master form or select a record and click Select.	Add or revise a supplier master record.

Setting Processing Options for Address Book Additional Information – Brazil (P01012BR)

These processing options specify whether the system validates, allows duplicates for, and displays error or warning messages for CGC and CPF numbers. You can also specify whether the system validates the state tax ID in address book records.

Edits

1. CGC (Cadastro Geral de Contribuintes) Error or Warning

Specify whether the system displays a warning or an error message when you enter a duplicate or erroneous CGC number. Values are:

Blank: Display a warning message.

1: Display an error message.

2. CPF (Cadastro de Pessoas Físicas) Error or Warning

Specify whether the system displays a warning or an error message when an erroneous or duplicate CPF number is entered. Values are:

Blank: Display a warning message.

1: Display an error message.

- 3. Duplicate CGC (Cadastro Geral de Contribuintes) Number** Specify whether the system allows duplicate CGC numbers. Values are:
Blank: Do not allow duplicate CGC numbers.
1: Allows duplicate CGC numbers.
- 4. Duplicate CGC (Cadastro Geral de Contribuintes) Error or Warning** Specify whether the system checks for duplicate or erroneous CGC numbers. If the Duplicate CGC Numbers processing option has a value of blank, the system does not allow duplicate CGC numbers. Values are:
Blank: The system generates an error for duplicate CGC numbers.
1: The system allows duplicate CGC numbers.
- 5. Duplicate CPF (Cadastro de Pessoas Físicas) Numbers** Specify whether the system allows duplicate CPF numbers. Values are:
Blank: Allow duplicate CPF numbers.
1: Do not allow duplicate CPF numbers.
- 6. Duplicate CPF (Cadastro de Pessoas Físicas) Error or Warning** Specify whether the system checks for duplicate or erroneous CPF numbers. If the Duplicate CPF Numbers processing option has a value of blank, the system does not allow duplicate CPF numbers. Values are:
Blank: The system generates an error for duplicate CPF numbers.
1:
The system does not allow duplicate CPF numbers.
- 7. Duplicate State Tax ID Numbers** Specify whether the system allows duplicate State Tax ID numbers. Values are:
Blank: The system does not allow duplicate State Tax ID numbers.
1: The system does allow duplicate State Tax ID numbers.
- 8. Duplicate State Tax ID Error or Warning** Specify whether the system displays an error or warning message when you enter a duplicate State Tax ID. Values are:
Blank: The system displays an error message when a duplicate State Tax ID is entered.
1: The system displays a warning message when you enter a duplicate State Tax ID. This processing option applies when you enter Blank for the Duplicate State Tax ID Numbers processing option.

Adding Tax Information for Address Book Records

Access the Address Book Additional Information – Brazil form.

Address Book Additional Information – Brazil form

Person

Select the Person tab.

Federal Tax ID

Enter the unique tax identification number that the federal tax authorities use to identify individuals. Use this convention: XXX.XXX.XXX-YY. In this convention, XXX.XXX.XXX is the tax identification number and YY is the check digit.

Individual ID

Enter the unique number that the state police department uses to identify the person. The system stores the identification number in the Address Book ABTX2 tables. For the system to edit the number, you must enter identification numbers using this convention: XX.XXX.XXX-Y. In this convention, XX.XXX.XXX is the identification number and Y is the check digit.

Issuer Code

Enter the short name for the issuer of the ID card.

Issuer State

Select a value from user-defined code table 00/S to specify the state or province. This code is usually a postal service abbreviation.

Issue Date

Enter the date of issue of the document.

Taxpayer Number

Enter the County Contractor Taxpayer Number (ID). This field is required if the address book record is for a contractor.

City

Enter the name that indicates the city associated with the address. This field is required if the address book record is for a contractor.

State

Enter the two-character abbreviation of the state name. This field is required if the address book record is for a contractor.

Corporation

Select the Corporation tab.

CGC (Cadastro Geral de Contribuintes) Tax ID	<p>Enter the Corporation CGC Tax Number. The field is formatted using this convention: XXX.XXX.XXX/YYYY-WW.</p> <p>The definitions of the variables for this convention are as follows:</p> <p>XXX.XXX.XXX = Corporation code</p> <p>YYYY = Headquarters or branch code</p> <p>WW = Check digits</p>
State Tax ID	<p>Enter the additional identification number that is issued by the state where the corporation is located. If you set the Duplicate CGC Number processing option to Blank, the system validates the CGC number to verify that the number does not exist in another record for the same state.</p>
City Tax ID	<p>Enter the identification number that is used by the county to identify a taxpayer. In Brazil, this information is mandatory on notas fiscais and all legal reports.</p>
Fiscal Information	
Select the Fiscal Information tab.	
Taxpayer Class	<p>Select a code from user-defined code table 76/CC to indicate the tax status of the entity with which you are dealing. Values are:</p> <p>1: Taxpayer</p> <p>2: Consumer</p> <p>3: Taxpayer/Consumer</p>
ICMS (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços) Repasse	<p>Enter the code that indicates whether a supplier provides a repasse discount. Values are:</p> <p>N: No. This is the default value.</p> <p>Y: Yes.</p>
IPI (Imposto sobre Produtos Industrializados) Code	<p>Select a value from user-defined code table 76/IP to indicate how IPI tax is assessed. This code determines in which column of the Inbound/Outbound Fiscal Book the system prints the IPI tax amount. Values are:</p> <p>1: Taxable</p> <p>2: Exempt or not taxable</p> <p>3: Other</p>
Free Port Zone	<p>Select a value from user-defined code table 76/FR to indicate whether a company is located in a free port zone.</p>
Complementary ID	<p>Enter the alternate identification number. You complete this field when you use an ID number other than the federal or state tax ID number. This alternate identification number must be printed on the nota fiscal for fiscal purposes.</p> <p>Enter theCodigo Brasileiro de Operações (CBO) code in the Complementary ID field. The system prints this code on the INSS Report (R76B04001).</p>

ICMS (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços) Substitution

Enter a code to specify whether a client or product is subject to tax substitution. Values are:

Y: Use list price.

Z: Use net price.

N: No.

ICMS (Imposto sobre Circulação de Mercadorias e Serviços) Code

Enter a code to indicate how ICMS tax is applied. You set up the codes that you need in the ICMS Code – Fiscal Value UDC (76/II). The system uses the code when it calculates ICMS tax, and when printing fiscal books.

Tax Information

Select the Tax Information tab.

Brazil Tax Information 1

Enter the type of tax that applies to the employee, supplier, or customer. The value that you enter must exist in the Tax Code table (F76B0401). Specify the code that the system uses to look up the tax rates for these taxes:

IR

ISS

INSS

FUNRURAL

PIS/PASEP withholding

PIS/PASEP credit

COFINS withholding

COFINS credit

CSLL withholding

PIS/PASEP credit

If a supplier is subject to both retention and aggregation for INSS taxes, you must enter a code for each.

Registration INSS (Imposto Nacional Seguro Social)

Enter the supplier's registration number for INSS.

(CHL) Entering Additional Address Book Information

This section provides an overview of the additional address book information required for Chile and discusses how to:

- Set the processing option for Address Book Regional Information – CHI – 01.
- Add additional address book information for Chile.

Understanding Additional Address Book Information for Chile

Address book records for Chile require additional tax information. The system stores the additional information in the F76H101 table. The following subsections discuss the additional information required for Chile:

R.U.T Validation

The Tax Unique Register (Registro Unico Tributarios [R.U.T]) number is the tax identification number. In addition to entering the tax identification number, you specify a legal document type that specifies whether the system must validate the R.U.T number. The system performs the following validations:

- The number cannot have more than 10 digits and the last number corresponds to the verifier digit.
- The verifier digit must be correct.
- The number cannot already exist within the system.

Duplicate R.U.T numbers are not allowed.

Withholding

For suppliers, you must specify whether a tax exemption certificate was entered and if so, enter the due date. If a supplier has a tax exemption certificate, the system does not require you to enter withholding amounts during voucher entry.

VAT Status

Specify whether the supplier or customer is registered for taxes using the Registered for Taxes field. Enter N to indicate that the supplier or customer is not registered, and Y to indicate that they are registered.

Address Book Category Codes

To process sales orders and invoices correctly, you must select values from the associated user-defined code tables for Category Codes 05, 06, 09, and 10 on the Address Book Revision form. If you leave these fields blank, the system generates an error message when you attempt to process sales orders and invoices.

Prerequisite

Set up address book user-defined codes for Chile.

参照: [第 2 章、「住所録システムの設定」](#)、「住所録のユーザー定義コードの設定」、6ページ

Forms Used to Enter Additional Address Book Information for Chile

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
A/B Regional Information Revision	W76H101B	Select an address book record on the Work With Addresses form and select Regional Info from the Row menu. If you are entering a new address book record, click OK on the Address Book Revision form.	Enter additional address book information for Chile.

Setting the Processing Option for Address Book Regional Information – CHI – 01(P76H101)

Access the processing option for this program using the Interactive Versions program.

- 1. Enter “1” to allow duplicate tax identification.** Specify whether to allow users to enter duplicate tax identification numbers. Values are:
- Blank: Do not allow duplicate tax identification numbers.
- 1: Allow duplicate tax identification numbers.

Adding Additional Address Book Information for Chile

Access the A/B Regional Information Revision form.

A/B Regional Information Revision form

General

- AB Legal Document Type** Select a valid document type to classify the address tax identification number from UDC 76H/DA.
- Tax ID** Enter the tax identification number.
- Check – Pay to Order** Enter the name that you want to appear on payments that are made to the supplier.

Withholding Information

- Professional Fee Constance** Select this option to indicate that a professional services supplier presented the non-withholding certificate. This certificate is issued by the fiscal authority and applies only to the professional fees withholding.
- Professional Fee Due Date** Enter the due date for the non-withholding certificate that is presented by the supplier. This applies only for professional fees withholding. If you leave this field blank, the exemption will remain in effect.

Category Codes**Category Code 01,
Category Codes 3–10**

Enter any additional information for the address book record. These fields are optional.

Registered for Taxes

Specify whether the customer or supplier is registered for taxes. Select a value from UDC 76H/02.

(COL) Entering Additional Address Book Information

This section provides an overview of address book information for Colombia, lists a prerequisite, and discusses how to:

- Set processing options for Address Book Colombian Additional Information.
- Enter additional address book information for Colombia.

Understanding Additional Address Book Information for Colombia

PeopleSoft EnterpriseOne software provides a Colombia-specific form for address book information for Colombia. In addition to completing the fields on the Colombian Additional Information Revisions form, you must complete these fields on the Address Book Revision form in the base software:

Field	Description
Address Line 3 and Address Line 4 (Mailing tab)	The system uses the values in these fields when you report account activity electronically.
Person/Corporation (Additional 1 tab)	Complete this field for tax reporting purposes.
Add'l Tax ID (Additional 1 tab)	Complete this field for tax reporting. You must complete the first four characters with the economic activity of the company, the fifth and sixth characters with the informant entity type, and the seventh and eighth characters with the economic group entity type.

Prerequisite

Set up Address Book user-defined codes for Colombia.

参照: [第 2 章、「住所録システムの設定」、「住所録のユーザー定義コードの設定」、6 ページ](#)

Forms Used to Enter Additional Address Book Information for Colombia

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Colombian Additional Information Revisions	W76C0101B	Click Regional Info on the Work With Addresses form, and then click Add on the Colombian Additional Information form. When you add a new address book record, click OK on the Address Book Revisions form.	Enter additional address book information required for Colombia.

Setting Processing Options for Address Book Colombian Additional Information (P76C0101)

You must access the processing options for this program using the Interactive Versions program.

General

Enter “1” to allow NIT’s Duplicity

Specify whether the system allows duplicate tax identification numbers (Número de Identificación Tributaria [NIT]). Values are:

Blank: Do not allow duplicate NIT numbers. You must leave this field blank, as the duplicity of NIT numbers is controlled by parent-child relationships.

1: Allow duplicate NIT numbers.

Display

Enter “1” to call the Colombian Tax Information

Specify whether to automatically display the Colombian Additional Information Revisions form when you enter a new address book record. Values are:

Blank: Do not automatically display the form.

1: Automatically display the screen.

Entering Additional Address Book Information for Colombia

Access the Colombian Additional Information Revisions form.

Colombian Additional Information Revisions			
OK Cancel Tools   			
General Information			
Address Number	<input type="text" value="1462469"/>	Effective Date	<input type="text"/>
Supplier for Colombia		Expiration Date	<input type="text"/>
Tax Information			
Tax Payer Type - Colombia	<input type="text"/>		
Economic Activity Colombia	<input type="text"/>		
Ciiu Code Colombia	<input type="text"/>		<i>No aplica</i>
Person/Corporation Code Colombia	<input type="text"/>		
Tax ID - Colombia	<input type="text"/>		

Colombian Additional Information Revisions form

Effective Date	Enter the date that the Address Book information for this record becomes effective.
Expiration Date	Enter the date that the Address Book information for this record expires.
Tax Payer Type– Colombia	Enter a valid type from UDC 76C/TC. This code indicates whether VAT and withholding must be settled by a third-party. The system uses this field when you create automatic tax settlements during voucher entry.
Economic Activity Colombia	Enter a valid code from UDC 01/07. This code identifies a supplier's economic activity.
Ciiu (Unified Industrial Information Code) Code Colombia	Enter a valid code from UDC76C/CI. The system uses this code when reporting to the District using magnetic media.
Person/Corporation Code Colombia	<p>Enter a valid code from the Person/Corporation Code (76C/PC) UDC to describe the third-party class for the type of address book record that you are entering. Codes are:</p> <p>A: Legal person</p> <p>C: Natural person</p> <p>E: Natural person with foreign nationality</p> <p>This code identifies and allows the tax identification number (NIT) validation and specifies whether to print the NIT, CC, or EXT abbreviations for the identification type on legal reports.</p>
Tax ID–Colombia	Enter the tax identification number for the entity for which you are entering an address book record. The system edits this number based on the value that you specify in the Person/Corporation Code Colombia field and

calculates the verification digit. The system stores this information in the A/B Tag File – COL – 76C table (F76C0101).

You can enter the tax ID number when searching for address book numbers in any of the programs within PeopleSoft EnterpriseOne that use the address book number field. For example, you can enter the tax ID number in the Supplier Number field on the Supplier Ledger Inquiry form. You can use this feature when you know the tax ID number of the address book record, but the form that you are using does not contain a Tax ID Number field.

If the tax identification number is a N.I.T number(Número de Identificación Tributaria [NIT]), enter–at the end of the number. If the system locates duplicate N.I.T. numbers, the system displays the Address Number by NIT Inquire form and lists all address numbers with the associated tax ID number.

(ECU) Entering Additional Address Book Information

This section provides an overview of the additional information required in the Address Book for Ecuador discusses how to enter additional address book information for Ecuador.

Understanding Additional Address Book Information for Ecuador

When entering address book records for Ecuador , you must also enter the Tax Person Code. This code indicates the type of tax payer, such as Special, Foreigner, or Person.

You must also indicate for each address book record whether duplicate tax identification numbers are allowed, by using the Parent Number field on the Address Book Revision form. Leave the Parent Number field blank to indicate that duplicate tax identification numbers are not allowed, or enter an address book number to indicate an address book record with duplicate tax identification information.

Prerequisite

Set up Address Book user-defined codes for Ecuador.

参照: [第 2 章、「住所録システムの設定」、「住所録のユーザー定義コードの設定」、6ページ](#)

Forms Used to Enter Additional Address Book Information for Ecuador

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Tax Person Code	W76E0001A	Select an address book record on the Work With Addresses form and select Regional Info from the Row menu. When you add a new address book record, click OK on the Address Book Revisions form	Enter required information for Ecuador.

Adding Address Book Information for Ecuador

Access the Tax Person Code form.

Tax Person Code

OK Cancel Tools

Person Code

Address Number 146253

Tax ID

Tax Person Code

Tax Person Code form

Tax Person Code

Select a valid person code from UDC 76C/PC.

(PER) Entering Additional Address Book Information

This section provides an overview of address book information for Peru and discusses how:

- Set the processing option for Address Book Regional Information – PER – 01.
- Add additional address book information for Peru.

Understanding Address Book Information for Peru

Address book records for Peru require additional tax information. The system stores the additional information in the Address Book Tag File – PER – 01 table (F76P101T). The following subsections discuss the additional information required for Peru.

N.I.T Validation

The N.I.T number (Número de Identificación Tributaria [NIT]) is the tax identification number. In addition to entering the tax identification number, you specify a legal document type that specifies whether the system must validate the N.I.T. number. The system performs the following validations:

- The number cannot have more than 11 digits and the last number must correspond to the verifier digit.
- The verifier digit must be correct.
- The number cannot already exist within the system.

Duplicate N.I.T. numbers are not allowed.

Withholding

For suppliers, you must specify whether a tax exemption certificate was entered and if so, you must enter the due date. If a supplier has a tax exemption certificate, the system does not require you to enter withholding amounts during voucher entry.

You must also specify whether the supplier has a Solidaridad withholding exemption, and if so, you must enter the due date.

VAT Status

Specify whether the supplier or customer is registered for taxes using the Registered for Taxes field. Enter N to indicate that the supplier or customer is not registered, and Y to indicate that they are registered.

Forms Used to Enter Address Book Information for Peru

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
A/B Regional Information Revision	W76P101B	Daily Processing (G0110), Address Book Revisions. Select an address book record on the Work With Addresses form and select Regional Info from the Row menu. When adding a new address book record, click OK on the Address Book Revisions form.	Enter required address book information for Peru.

Setting the Processing Option for Address Book Regional Information – PER – 01 (P76P101)

Access the processing option for this program using the Interactive Versions program.

- 1. Enter '1' to allow duplicate tax identification.** Specify whether the system allows the entry of duplicate tax identification numbers. Values are:
- Blank: Do not allow duplicate tax identification numbers.
 - 1: Do not allow duplicate tax identification numbers.

Adding Address Book Information for Peru

Access the A/B Regional Information Revision form.

A/B Regional Information Revision

OK Cancel Tools

Address Number 146256 *Supplier for Peru*

General Withholding Information Category Codes

AB Legal Document Type

Tax ID

Check - Pay to Order

A/B Regional Information Revision form

General

- AB Legal Document Type** Select a value from UDC 76H/DA to specify whether the system validates the N.I.T number.
- Tax ID** Enter the tax identification number.
- Check – Pay to Order** Enter the name that you want to appear on payments that are made to the supplier.

Withholding Information

- Professional Fee Constance** Select this option to indicate that a professional services supplier presented the non-withholding certificate. This certificate is issued by the fiscal authority and applies only to the professional fees withholding.
- Professional Fee Due Date** Enter the due date for the non-withholding certificate that a supplier presented. This applies only for professional fees withholding. If you leave this field blank, the exemption will remain in effect.
- Presented Sol Exemption Constance** Select this option to indicate that a supplier has presented a Solidaridad withholding exemption.
- Sol Exemption Constance Due Date** Enter the due date for the Solidaridad withholding exemption.

Category Codes

IGV Withholding Concept	Select a value from UDC 76P/01. This is the General Sales Tax (IGV) withholding concept. This concept is associated with a withholding percentage. When you pay a voucher for this supplier, the system computes the withholding amount according to this withholding concept and its corresponding percentage.
SPOT Concept	Select a value from UDC 76P/02. This value determines the SPOT concept.
Registered for Taxes	Specify whether the customer or supplier is registered for taxes. Select a value from UDC 76H/02.
Category Codes 3–5 and Category Codes 6–10	Enter additional information for the address book record. These fields are optional and are used for reports.

(POL) Entering Additional Address Book Information

This section provides an overview of address book information for Poland and discusses how to add additional address book information for Poland.

Understanding Address Book Information for Poland

When you set up address book records for customers and suppliers in Poland, you must add information about the VAT applicability. When you enter address book records for Poland, the system displays the Address Book Localization Data form. The system saves the information that you enter in the Address Book Localization Data form in the Address Book Tag File – COMM – 01 table (F741001T).

Forms Used to Enter Address Book Information

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Address Book Revisions	W01012A	Daily Processing (G0110), Address Book Revisions Click Add on the Work With Addresses form.	Set up address book records.
Address Book Localization Data	W7411012A	Click OK on the Address Book Revisions form to add information to a new record. Select a record, and then select Regional Info from the Row menu on the Address Book Revisions form.	Add or revise additional address book information for Poland.

Entering Additional Address Book Information

Access the Address Book Localization Data form.

Address Book Localization Data form

VAT Condition Enter a value from the VAT Condition (74/VC) UDC table to specify whether the entity in the address book record is subject to VAT.

(RUS) Entering Additional Address Book Information

Russian regulations require the reporting of certain information that is not stored in the standard PeopleSoft EnterpriseOne software. This section provides an overview of address book additional information for Russia, lists prerequisites, and discusses how to enter additional information for address book records.

Understanding Additional Address Book Information for Russia

You enter address book records to create a database of information about your employees, customers, suppliers and tax authorities. In addition to entering the standard address book information, you enter specific information for Russia for reporting purposes. For example, the system uses the information that you enter in the Address Book Localization Data program (P74R0102) for the information that it prints in the footer of the Goods Dispatch Note.

You use the Address Book Localization Data program to enter information that is specific to Russia. When you add an address book record for Russia, the system displays the Address Book Localization Data form after you click OK on the Address Book Revision form. Or, you can access the Address Book Localization Data form by selecting Regional Info from the Row menu on the Address Book Revisions form.

The system saves the data that you enter in the Address Book Tag File – RUS – 01 table (F74R101T).

Forms Used to Enter Additional Address Book Information for Russia

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Address Book Revisions	W01012A	Daily Processing (G0110), Address Book Revisions	Add or select an address book record.
Address Book Localization Data	W74R1012A	Select an existing record and select Row, Regional Info on the Address Book Revisions form. When adding a new address book record, click OK on the Address Book Revisions form.	Add Russia-specific information.

Entering Additional Address Book Information for Russia

Access the Address Book Localization Data form.

Address Book Localization Data form

Russian Long Address

Enter a long address number to search for the address book record. For example, you might enter a tax ID number or other number that is unique to the address book record. You can enter up to 100 characters.

The system uses the value that you enter as the name on legal reports.

Long Mailing Name

Enter the name of the person to whom billing or correspondence information is addressed. You can enter up to 100 characters.

	The system uses the value that you enter as the mailing address on legal reports.
Long Address Line 1	Enter an alternate mailing address. You can enter up to 100 characters for each of four lines. The system uses the value that you enter as the mailing address on legal reports.
KPP Code	Enter the code that identifies a tax condition.
OKDP Code	Enter the code that identifies a tax condition.
OKPO Code	Enter the code that identifies a tax condition.
VAT (value-added tax) Condition	Enter the code that identifies whether VAT applies to the address book entity. The code that you enter must exist in the VAT Condition (74/VC) UDC table.

(VEN) Entering Additional Address Book Information

This section provides an overview of address book information for Venezuela and discusses how to enter additional information.

Understanding Venezuelan Address Book Information

When entering address book records for Venezuela, you must enter the R.I.F number in the Tax ID field on the Address Book Revision form and enter the N.I.T number in the Add'l Ind Tax ID field on the same form. When you enter the R.I.F number, do not enter any spaces or special characters.

When you click OK on the Address Book Revision form, the system displays the A/B Additional Information form. Use this form to enter the ISLR (Impuesto sobre la Renta), IM (municipal taxes), and VAT (value added tax) concepts for suppliers. The system uses the values that you enter when calculating supplier withholding taxes.

Prerequisite

Verify that the localization country code in the User Profiles Revision program is set to VE (Venezuela).

Forms Used to Enter Venezuelan Address Book Information

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
A/B – Additional Information	W76V1001A	Click OK on the Address Book Revisions form. Alternatively, select Regional Info from the Form menu on the Address Book Revisions form.	Enter codes for ISLR, IM, VAT, and supplier fees types.

Entering Venezuelan Address Book Information

Access the A/B – Additional Information form.

A/B Regional Information Revision

OK Cancel Tools

Address Number

ISLR Withholding Concept

IM Concept

VAT Concept

Fee Code Type

A/B Regional Information Revision form

ISLR Concept (Impuesto sobre la Renta concept)	Enter a value that exists in the ISLR Withholding Concept (76V/IS) UDC table to describe the type of income tax.
IM Concept (municipal tax concept)	Enter a value that exists in the I.M. Withholding Concept (76V/IM) UDC table to describe the type of municipal tax.
VAT Concept (value added tax concept)	Enter a value that exists in the VAT Legal Concept (76V/LC) UDC table to describe the type of value added tax.
Fee Code Type	Enter a value that exists in the Fee Codes (76V/CT) UDC table to specify the fee code for ISLR withholding.

重複チェック レポートの印刷

このセクションでは、重複チェック レポートの概要と以下の方法について説明します。

- 重複チェック レポートの実行
- 重複チェック レポートのデータ選択の設定
- 重複チェック レポートの処理オプションの設定

重複チェック レポートについて

住所録システムに重複する情報がないことを検証するには、重複チェック レポート (R014052) を出力します。EnterpriseOne システムを最近導入した場合は、このレポートを印刷して、住所録システムの初期設定時に重複レコードが作成されていないかどうかを検証します。このレポートを確認して、重複する住所録レコードがあれば削除します。ただし、取引明細のあるレコードは削除できません。

処理オプションを設定して、重複する名称のみ、または同一の名前で重複する郵便番号を印刷できます。

このレポートでは、以下のテーブルの情報が使用されます。

- 住所録マスター (F0101)
- 日付別住所 (F0116)

重複チェック レポートの実行

[定期処理] (G0121) で [重複チェック] をクリックします。

重複チェック レポートのデータ順序の設定

名称によるデータの順序設定では、大文字と小文字が区別されます。重複がないかどうか確認するには、次のいずれかの順序で比較してください。

順序	カラムの記述
名称のみの場合	圧縮記述
名称と郵便番号の場合	圧縮記述 郵便番号

重複チェックレポート (R014052) のデータ順序の設定機能は、EnterpriseOne の Windows 環境でのみ提供されています。

住所録 - 重複チェック (R014052) の処理オプションの設定

処理オプションの選択により、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

処理

- 1. 重複する名称**

重複する名称の検索に使用する文字数 (最大 25 文字) を指定します。このフィールドを空白にすると、最初の 5 文字がデフォルト値として使用されます。
- 2. 重複する郵便番号**

同一の名称に対し、重複する郵便番号を検索するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク: 重複する郵便番号を検索しない。
 1: 重複する郵便番号を検索する。
- 3. 連絡先情報**

人名録の連絡先の肩書きをレポートに印刷するかどうか指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク: 連絡先の肩書きを印刷しない。
 1: 連絡先の肩書きを印刷する。

住所録検索テーブルの作成

このセクションでは、住所録の検索テーブルの概要と以下の方法について説明します。

- 住所録検索テーブルの作成プログラムの実行
- 住所録検索テーブルの作成プログラムの処理オプションの設定
- 住所録検索テーブルの使用

住所録の検索について

住所録検索マスター (F01815) の作成後、住所録の検索プログラム (P01BDWRD) を使用して住所録レコードを検索することができます。F01815 テーブルを作成することで、名前、市町村、都道府県 (州)、または郵便番号などの文字列を使用して住所録レコードや人名録情報を検索できます。

この住所録検索の機能は、EnterpriseOne のその他のシステムで住所録レコード内の特定のフィールドを検索することにより住所番号を検出する際に便利です。たとえば、“Capital” の住所番号を検索する場合、検索文字列として “C”、“Capital”、または “Cap*” のように文字列の一部にワイルドカードとして * (アスタリスク) を付けて入力し検索することができます。

住所録の検索に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[住所録の検索]	W01BDWRDA	[日次処理] (G0110)、[名称の検索]	文字列を使用して、住所録と人名録情報を検索します。

住所録検索テーブルの作成プログラムの実行

[住所録上級/技術的操作] (G0131) で [住所録検索テーブルの作成] をクリックします。

住所録検索テーブルの作成 (R01BDWRD) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

処理

- 1. カテゴリコード**

F01815 テーブルを作成する際に、住所録カテゴリコード 1 から 30 を検索可能な項目として含めるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:住所録カテゴリコード 1 から 30 を含めない。

1: 住所録カテゴリコード 1 から 30 を含める。
- 2. 人名録と電話番号**

F01815 テーブルを作成する際に、人名録と電話番号の情報を検索可能な項目として含めるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:人名録と電話番号の情報を含めない。

1: 人名録と電話番号の情報を含める。
- 3. 親/子**

F01815 テーブルを作成する際に、親/子情報を検索可能な項目として含めるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:親/子情報を含めない。

1: 親/子情報を含める。

住所録の検索の使い方

[住所録の検索] フォームにアクセスします。

名称の検索 - 住所録の検索

選択(S) 検索(O) 閉じる(L) ロー(B) ツール(T)

検索する語句: ENTERPRISE*

人名録情報の表示

住所 No.	名称	市外局番	電話番号	住所行1	市町村	都道府県	郵便番号
3334	Lewis Enterpri	303	555-4100	505 Main Avenue	Vermillion	SD	57069

[住所録の検索] フォーム

[検索する語句]

検索に使用する 1 つまたは複数の語句を入力します。語句全体を入力する必要があります。連語を使用する場合は、検出する語句の語順どおりに入力する必要があります。住所録の検索ではワイルドカードは使用できません。

[人名録情報の表示]

人名録情報を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。

第 6 章

基本設定カレンダーの使い方

この章では、基本設定カレンダーの概要と以下の方法について説明します。

- カレンダーの作成
- アクティビティとタスクの作成
- アクション プランの作成

基本設定カレンダーについて

基本設定カレンダーは、個人、顧客、リソースなど、さまざまな形式の事業体に関するカレンダーを作成できるシステムです。ミーティングや顧客への電話連絡などをアクティビティとして作成し、カレンダーに追加入力できます。また、ミーティングの準備や潜在顧客のリサーチなどをタスクとして作成することもできます。アクティビティは、複数のカレンダーに割り当てることができます。たとえば、1つのミーティングを複数の従業員に割り当てることができます。

基本設定カレンダーでは世界標準時が適用されているため、異なる地域で活動するユーザーも、各自のローカル時間でカレンダーを確認できます。

注: EnterpriseOne では、サードパーティのスケジュール管理 (PIM) システムと EnterpriseOne システム間でユーザーのデータを同期化できる機能が提供されています。この同期化機能により、IBM Domino や Microsoft Exchange の PIM システムに保管されている連絡先などの個人情報共有し、管理することができます。たとえば、基本設定カレンダー システムにアクティビティやタスクを作成すると、サードパーティの PIM システムのデータベースにも対応するオブジェクトが作成されます。基本設定カレンダーか PIM システムのどちらか一方で項目を更新または削除すると、この変更はもう一方のシステム内で同期化されます。

EnterpriseOne システムと PIM システムのデータの同期化を実行するには、サードパーティのソフトウェア製品である Intellisync Server を使用します。Intellisync Server では、PIM データの同期をとる際に CSV ファイルと同期化テンプレートが使用されます。CSV ファイルには、PIM の同期化用に登録した EnterpriseOne の各ユーザーの PIM サーバー レコードが保管されます。CSV ファイルは、PIM 同期化のユーザーの設定後に EnterpriseOne システムで生成します。同期化テンプレートは、EnterpriseOne システムと PIM システム間で同期をとる情報の種類を決定します。

参照: EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: System Administration

カレンダーの作成

このセクションでは、カレンダー作成の概要と、以下の方法について説明します。

- カレンダー管理の処理オプションの設定
- カレンダーの追加

カレンダーについて

カレンダー管理プログラム (P01311) を使用して、従業員、顧客、仕入先やリソースなど、さまざまな事業体に対するカレンダーを作成します。カレンダー作成時に、カレンダービューやデフォルトの表示モード、作業日の開始および終了時刻や、作業週の開始および終了する曜日などの情報を特定します。

また、カレンダーにカテゴリコードを割り当てることもできます。各カテゴリコードは、ユーザー定義コード (UDC) テーブルに関連付けられており、それぞれの UDC テーブルにカレンダーを細分化するコードの値を複数追加できます。

カレンダーの作成に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[カレンダーの検索]	W01311A	[基本設定カレンダー] (G01A)、[カレンダー管理]	既存のカレンダーを検索します。
[カレンダー]	W01311D	[基本設定カレンダー] フォームで [追加] ボタンをクリックします。	新規のカレンダーを作成、または既存カレンダーを確認したり変更したりします。

カレンダー管理 (P01311) の処理オプションの設定

以下の処理オプションで、カレンダー作成時のデフォルト情報を設定します。

バージョン

アクティビティのバージョン カレンダーにアクティビティレコードを追加したり既存レコードを更新をする際にアクセスするアクティビティプログラム (P01301) のバージョンを指定します。

カレンダービュー

カレンダータイプ カレンダービューのデフォルト値として使用するカレンダータイプを入力します。この値は、メニューからカレンダービュー (P01311) を直接起動する場合にのみ使用されます。

カレンダーの追加

[カレンダー] フォームにアクセスします。

カレンダー管理 - カレンダー

新規カレンダーの追加

カレンダー名 * 1

カレンダー・タイプ * 個人カレンダー

識別IDタイプ * 住所番号

ID *

可視カレンダー・ビュー

日 週 月 デフォルトの表示モード * -- 1つ選択 --

作業スケジュール

開始作業日 -- 1つ選択 -- 終了作業日 -- 1つ選択 -- 開始勤務週 -- 1つ選択 -- 終了勤務週 -- 1つ選択 --

カテゴリ・コード

カレンダー分類コード 1 -- 1つ選択 --

カレンダー分類コード 2 -- 1つ選択 --

カレンダー分類コード 3 -- 1つ選択 --

カレンダー分類コード 4 -- 1つ選択 --

カレンダー分類コード 5 -- 1つ選択 --

保存して閉じる(O) 変更を元に戻す キャンセル(L)

[カレンダー] フォーム

[カレンダー名]

半角の英数字 30 文字以内でカレンダー名を入力します。

[カレンダー・タイプ]

有効なカレンダー タイプの値を選択します。値は UDC 01/CY に保存されています。

[識別 ID タイプ]

有効な識別タイプの値を選択します。値は UDC 01/IT に保存されています。これらの値はハードコード化されています。

[ID]

[識別 ID タイプ] フィールドで選択したタイプの有効な ID を選択します。住所番号を選択した場合は、有効な住所番号を入力する必要があります。事業所を選択した場合は、有効なビジネスユニットまたは事業所を入力する必要があります。

住所番号が不明な場合は、住所録レコードにある名前を入力すると、該当する番号が自動的に入力されます。たとえば、「Global Enterprises」と入力すると、Global Enterprises の住所番号が [ID] フィールドに自動的に入力されます。

語句を入力して検索した結果、住所録に複数のレコードが検出された場合は、[詳細住所番号の検索] フォームが表示され、そのフォームで該当する住所録レコードを選択します。

[日]

カレンダーを日次フォーマットで表示するには、このチェック ボックスをオンにします。

[週]

カレンダーを週次フォーマットで表示するには、このチェック ボックスをオンにします。

[月]

カレンダーを月次フォーマットで表示するには、このチェック ボックスをオンにします。

[デフォルトの表示モード]	カレンダーのデフォルトの表示形式を選択します。デフォルトの表示形式は UDC 01/DV に保管されます。
[開始作業日]	作業日の開始時刻を選択します。開始時刻の有効値は、UDC 01/TM に保管されています。
[終了作業日]	作業日の終了作業時刻を選択します。終了時刻の有効値は、UDC 01/TM に保管されています。
[開始勤務週]	作業週の勤務開始日を選択します。勤務開始日の有効値は、UDC 01/WD に保管されています。これらの値はハードコード化されています。
[終了勤務週]	作業週の勤務終了日を選択します。勤務終了日の有効な値は、UDC 01/WD に保管されています。
[カレンダー分類コード 1] ~ [カレンダー分類コード 5]	UDC 01/C1、01/C2、01/C3、01/C4、01/C5 からカテゴリコードを選択します。

アクティビティとタスクの作成

このセクションでは、アクティビティおよびタスクの概要と、以下の方法について説明します。

- アクティビティビューの処理オプションの設定
- アクティビティとタスクの追加
- アクティビティとタスクの検索

アクティビティとタスクについて

アクティビティとタスクを作成することで、日常の業務を管理します。アクティビティは、ミーティングや顧客への電話連絡、アポイントメントなどの予定を記録するために使用します。リサーチやミーティングの準備など、実行時間が特定されない業務を記録する際はタスクを使用します。アクティビティもタスクもアクティビティビュー プログラム (P01301) を使用して入力しますが、それぞれの処理は異なる形で行われます。アクティビティとタスクは、UDC テーブル 01/AC の特殊取扱フィールドの設定に基づいて識別されます。UDC 01/AC の特殊取扱フィールドに値 1 が入力されている項目は、タスクと認識されます。

アクティビティを作成するには、開始および終了日、開始および終了時刻、アクティビティの内容やタイプ、また優先順位などの情報を入力します。作成したアクティビティは、指定したカレンダーに表示されます。タスクの作成には、アクティビティ作成時とほぼ同様の情報を入力しますが、開始時刻と終了時刻は入力しません。また、タスクはカレンダーには表示されず、[アクティビティの検索] フォームにのみ表示されます。

割り当て

作成するアクティビティやタスクには、所属外の事業体を割り当てることができます。たとえば、所属外の事業体をミーティングに招集できます。アクティビティを他の事業体に割り当てた場合、アクティビティはその事業体のカレンダーにも表示されます。アクティビティ割り当ての入力時に割り当て先のカレンダーが未作成の場合、自動的にカレンダーが作成されます。

所属外の参加者に割り当てたアクティビティを更新する際には、以下の規則が適用されます。

- 作成者のアクティビティレコードを変更または削除すると、割り当て先全員のカレンダーも同様に変更されます。

- 割り当て先のアクティビティレコードを変更または削除する場合は、変更する割り当て先のカレンダーにのみ変更が反映されます。アクティビティの作成者や他の割り当て先のカレンダーには反映されません。
- 1 つの割り当て先のアクティビティレコードの照会中は、そのアクティビティに別の割り当て先を追加することはできません。

定期アクティビティとタスク

アクティビティとタスクはどちらも定期的に行う業務として入力できます。定期処理設定する場合は、表示頻度や定期パターンの終了日を指定します。

他者に割り当てた定期アクティビティやタスクを更新または削除する際には、以下のとおり複数の規則が適用されます。

- 作成者の定期アクティビティのレコードの全てのインスタンスを更新または削除すると、割り当て先全員のレコードも同様に更新されます。
- 作成者のレコードのインスタンス 1 つのみを更新する場合は、作成者および割り当て先全員に対し、変則レコードが作成されます。変則レコードは、定期アクティビティ実行の変更を示します。
- 1 つの割り当て先レコードの全インスタンスを更新する場合は、その割り当て先のレコードのみ（変則レコードを含む）が更新されます。変更するインスタンスが変則レコードでない限り、割り当て先側でインスタンスを更新することはできません。
- 作成者のレコードのインスタンス 1 つを削除する場合は、作成者および割り当て先全員に対し、除外レコードが作成されます。除外レコードは、定期アクティビティの実行中止のインスタンスを示します。
- 1 つの割り当て先のレコードの全インスタンスを削除する場合は、削除対象である割り当て先のレコードのみが削除されます。1 つの割り当て先のレコードのインスタンス 1 つを削除できるのは、対象が変則レコードの場合のみです。

以下は、定期処理設定の情報の保管に使用されるテーブルを説明した表です。

テーブル名	説明
アクティビティマスター (F01301)	<p>全てのアクティビティとタスクの情報を保管します。保管内容の例は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 識別 ID と識別 ID タイプ • カレンダータイプ • アクティビティタイプ • 件名 • 場所 • 開始および終了時刻 • 開始および終了日付 • 定期 ID (定期設定にのみ適用)

テーブル名	説明
定期マスター (F01321)	定期アクティビティとタスクの情報を保管します。保管内容の例は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 定期 ID (F01301 テーブルから複製) • 定期頻度 • 開始および終了日付 • 定期項目を設定する曜日 • 定期項目を設定する週
定期除外 (F01331)	定期アクティビティとタスクの除外情報を保管します。保管内容の例は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 定期除外 ID • 定期 ID (F01301 テーブルから複製) • 除外日付
アクティビティマスターワークテーブル (F01301W)	定期アクティビティとタスクの各インスタンスを一時的に保管します。定期アクティビティとタスクの全てのインスタンスは保管されません。カレンダービューで表示するインスタンスが一時的に保管されます。

通知

アクティビティやタスクの通知メッセージを自動表示するように設定できます。通知チェックボックスをオンにすると、通知メッセージを送信するタイミングを指定するフィールドが表示されます。アクティビティやタスクが複数人に割り当てられている場合、各割り当て先で自身のアクティビティを更新して、自身宛ての通知メッセージの送信設定をすることができます。割り当て先で自身のアクティビティレコードを更新しない場合は、作成者のアクティビティレコードの通知設定が適用されます。

また、「割り当てのアラームを送信」ボタンをクリックすると、アクティビティの期日予告アラートを割り当て先全員に送信できます。このボタンをクリックすると、即座に割り当て先全員にアクティビティの期日が通知されます。たとえば、ミーティングの開始時刻まで間もないことを出席者全員に通知できます。住所録レコードで設定した電子メール/インターネット アドレス情報の定義に基づき、ワークセンターまたは電子メールを使って割り当て先に通知メッセージが送信されます。

割り当て先への通知に使用されるメッセージ テンプレートには以下の項目が含まれています。

- 住所録 1
- 住所録 1 連絡先
- 住所録 1 連絡先電話番号
- 住所録 2
- 住所録 2 連絡先
- 住所録 2 連絡先電話番号
- アクティビティ件名
- アクティビティ タイプ
- 開始および終了時刻

- 開始および終了日付

通知メッセージとアラームの送信には、ワークフロー プロセス K0130040 が適用されます。

参照: EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook:Workflow Tools

参照: [付録 C, 「EnterpriseOne 住所録の標準ワークフロー」](#) 257ページ

アクティビティとタスクの追加および検索に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[アクティビティ・ビュー]	W01301E	[基本設定カレンダー] (G01A)、[アクティビティ・ ビュー]	アクティビティやタスクを 検索します。
[アクティビティの追加]	W01301B	[アクティビティの検索] フォームで[追加]をク リックします。	アクティビティやタスクを 追加します。

アクティビティ ビュー (P01301) の処理オプションの設定

これらの処理オプションで、アクティビティやタスクの処理に使用するデフォルト値を指定します。

フィルタ

- 1. ユーザー住所録番号別のフィルタ** システムにサインオンしているユーザーのアクティビティのみ表示するかどうかをデフォルト設定します。サインオンしているユーザーのアクティビティのみを表示するよう定義するには、「1」を入力します。
- 2. カレンダー タイプ別のフィルタ** 特定のカレンダー タイプのアクティビティのみを表示するかどうかをデフォルト設定します。UDC 01/CY から有効なカレンダー タイプを選択するか、この処理オプションを空白にして全てのカレンダー タイプのアクティビティを表示します。
- 3. アクティビティ タイプ別のフィルタ** 特定のアクティビティ タイプのアクティビティのみを表示するかどうかをデフォルト設定します。UDC 01/AC から有効なアクティビティ タイプを選択するか、この処理オプションを空白にして全てのアクティビティ タイプを表示します。
- 4. 完了済みアクティビティ別のフィルタ** 完了済み、または未完了のアクティビティのみを表示するかどうかをデフォルト設定します。有効値は以下のとおりです。
空白:完了、未完了にかかわらず、全てのアクティビティを表示する。
1: 完了済みのアクティビティのみを表示する。
2: 未完了のアクティビティのみを表示する。

表示

- 1. 識別子を表示する** [アクティビティの追加] フォームに [ID] フィールドを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
空白:表示しない。
1: 表示する。

- 2. フォームに識別子タイプを表示する** [アクティビティの追加] フォームに [ID タイプ] フィールドを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:表示しない。
 1: 表示する。
- 3. 割当てリストに識別子タイプを表示する** [アクティビティ割当ての追加] サブフォームに [識別子タイプ] フィールドを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:表示しない。
 1: 表示する。
- 4. フォームにカレンダー タイプを表示する** [アクティビティの追加] フォームに [カレンダー・タイプ] フィールドを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:表示しない。
 1: 表示する。
- 5. 割当てリストにカレンダー タイプを表示する** [アクティビティ割当ての追加] サブフォームに [カレンダー タイプ] フィールドを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:表示しない。
 1: 表示する。
- 6. アクティビティ タイプを表示する** [アクティビティの追加] フォームに [アクティビティ・タイプ] フィールドを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:表示しない。
 1: 表示する。

デフォルト

- 1. 識別子タイプ** [アクティビティの追加] フォームの [ID タイプ] フィールドに使用するデフォルト値を指定します。
- 2. 割当てリストに識別子タイプのデフォルトを設定する** [識別子タイプ] 処理オプションで設定した値を、[アクティビティ割当ての追加] サブフォームの [識別子タイプ] フィールドのデフォルト値として使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:使用しない。
 1: 使用する。
- 3. カレンダー タイプ** [アクティビティの追加] フォームの [カレンダー・タイプ] フィールドに使用するデフォルト値を指定します。
- 4. 割当てリストにカレンダー タイプのデフォルトを設定する** [カレンダー・タイプ] 処理オプションで設定した値を、[アクティビティ割当ての追加] サブフォームの [カレンダー タイプ] フィールドのデフォルト値として使用するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク:使用しない。
 1: 使用する。
- 5. アクティビティのプラン タイプ** [アクティビティの追加] フォームに表示するアクティビティの [プラン タイプ] のデフォルト値を指定します。

6. アクティビティタイプ [アクティビティの追加] フォームの [アクティビティ・タイプ] フィールドに使用するデフォルト値を指定します。

7. 今日の日付をデフォルトとして使用する 現在の日付を、[アクティビティの追加] フォームの [日付] フィールドおよび [終了日付] フィールドのデフォルト日付として使用するかどうか指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 現在日付をデフォルト値として使用しない。

1: 現在日付をデフォルト値として使用する。

注: カレンダー ビュー プログラムからアクティビティビュー プログラムにアクセスする場合は、この処理オプションで設定した日付ではなく、カレンダー ビュー プログラムの日付および終了日付が使用されます。カレンダー ビュー プログラムの日付および終了日付をブランクにすると、現在の日付が使用されます。

8. 割当てのアラームで使用するデフォルトの電話番号タイプ [割当てのアラームを送信] 機能を使用する際に適用する電話番号タイプのデフォルト値を指定します。指定した電話タイプを使用して、ワークセンターにメッセージがパブリッシュされます。

処理

1. アクティビティ アプリケーションの表示設定の入力 アクティビティ プログラム (P01301) の表示設定を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 標準フォーマットで表示する。

CRM: アクティビティ プログラムを CRM フォーマットで表示する。

アクティビティとタスクの追加

[アクティビティの追加] フォームにアクセスします。

アクティビティビュー - アクティビティの追加

保存して閉じる(O) 変更を元に戻す(L) キャンセル(L)

アクティビティ詳細 定期処理 添付 上級 カテゴリ・コード

件名 *	Team Meeting	場所	Room450
アクティビティタイプ *	ミーティング		
日付 *	2006/12/01	開始時刻	1:00 午後 <input type="checkbox"/> 終日
終了日付	2006/12/01	終了時刻	2 午後
優先度	2 - 中	入力者	0
住所No.1		連絡先1	
住所No.2		連絡先2	

完了
 通知

記述

[アクティビティの追加] フォーム (1/2)

アクティビティ割当ての追加

割当ての削除(D) 割当てのアラームを送信(A)

レコード 1-2

	識別子 タイプ	識別子 *	識別子 記述	カレンダー タイプ	完了済 アクティビティ
<input checked="" type="radio"/>	住所番号			個人カレンダー	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>					<input type="checkbox"/>

保存して閉じる(O) 変更を元に戻す(L) キャンセル(L)

[アクティビティの追加] フォーム (2/2)

アクティビティ詳細

[アクティビティ詳細] タブをクリックします。

[件名]	アクティビティについての説明を入力します。半角の英数字で 31 文字まで入力できます。
[アクティビティ・タイプ]	アクティビティのタイプを入力します。UDC 01/AC でアクティビティタイプの有効な値を設定します。
[場所]	アクティビティを実施する場所を入力します。たとえば、ミーティングを行う会議室の部屋番号などを入力します。
[日付]	アクティビティの開始日を入力します。
[開始時刻]	開始時刻を入力し、午前/午後を選択します。24 時間表記の入力もできます。たとえば、「14:30」と入力した場合、照会時には“午後 2:30”と再フォーマットされた形で表示されます。タスクや終日継続するアクティビティを入力する際は、このフィールドへの入力はありません。
[終日]	終日継続するアクティビティであることを示すには、このチェック ボックスをオンにします。
[終了日付]	アクティビティの終了日付を入力します。
[終了時刻]	アクティビティの終了時刻を入力し、午前/午後を選択します。24 時間表記の入力もできます。タスクや終日継続するアクティビティを入力する際は、このフィールドへの入力はありません。
[優先度]	<p>アクティビティの優先度を入力します。優先度はハードコード化され、UDC 01/PT に保管されています。有効値は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: 優先度 - 低 2: 優先度 - 中 3: 優先度 - 高
[住所 No.1] または [顧客]	<p>アクティビティを割り当てた事業体の住所番号を入力します。[アクティビティ・アプリケーションの表示設定の入力] 処理オプションをブランクにすると、[住所 No.1] フィールドが表示されます。入力する住所番号は、住所録マスター (F0101) に存在する番号である必要があります。この処理オプションの設定時に「CRM」を入力すると、[顧客] フィールドが表示されません。入力する番号は、顧客テーブル (F90CA080) に存在する番号である必要があります。</p>
[連絡先 1] または [顧客連絡先]	<p>アクティビティを割り当てた連絡先の名録番号を入力します。ここに指定するのは [住所 No.1] または [顧客] フィールドに指定した値に登録されている有効な連絡先番号である必要があります。名録番号 0 は、有効な連絡先として認識されません。[アクティビティ・アプリケーションの表示設定の入力] 処理オプションをブランクにすると、[連絡先 1] フィールドが表示されます。この処理オプションの設定時に「CRM」を入力すると、[顧客連絡先] フィールドが表示されます。</p>
[住所 No.2] または [パートナー]	<p>アクティビティを割り当てた追加の事業体の住所番号を入力します。[アクティビティ・アプリケーションの表示設定の入力] 処理オプションをブランクにすると、[住所 No.2] フィールドが表示されます。この処理オプションの設定時に「CRM」を入力すると、[パートナー] フィールドが表示されます。</p>
[連絡先 2] または [パートナー連絡先]	<p>アクティビティを割り当てた連絡先の名録番号を入力します。名録レコード番号 0 は、有効な連絡先として認識されません。ここに入力するのは、[住所 No.2] または [パートナー] フィールドに入力した値に登録された有効な連絡先番号である必要があります。[アクティビティ・アプリケーション</p>

の表示設定の入力] 処理オプションを空白にすると、[連絡先 2] フィールドが表示されます。この処理オプションの設定時に「CRM」を入力すると、[パートナー連絡先] フィールドが表示されます。

- [完了] アクティビティを完了したことを示すには、このチェック ボックスをオンにします。
- [通知] アクティビティについての通知を送信するには、このチェック ボックスをオンします。次に、通知を送る日時を指定する関連フィールドに値を入力します。
- [記述] アクティビティを説明する追加テキストを入力します。1,999 文字（半角英数字）まで入力できます。

定期処理

[定期処理] タブをクリックします。

- [定期処理の入力] 定期処理情報を入力するには、このチェック ボックスをオンにします。
- [日次]、[週次]、[月次]、[年次] これらのオプションのうちいずれか 1 つを選択し、アクティビティを実行する頻度を指定します。次に、定期パターンの詳細を定義する関連フィールドに値を入力します。
- [終了日なし]、[終了（以後）]、[終了（以前）] これらのオプションのうちいずれか 1 つを選択し、定期パターンを終了するタイミングを指定します。

添付

[添付] タブをクリックします。

このフォームを使用してアクティビティに関連するテキスト、URL、ファイル、その他の添付書類を追加します。

上級

[上級] タブをクリックします。

- [カレンダーにアクティビティを表示] カレンダーにアクティビティを表示するには、このチェック ボックスをオンにします。カレンダーにはアクティビティのみが表示されます。このチェック ボックスをオンにした場合、サインオンしているユーザーのみが表示されるアクティビティを参照できます。
- [PIM との同期化] PIM サーバーのアクティビティと同期をとるには、このチェック ボックスをオンにします。Microsoft Exchange または Lotus Notes のいずれかのシステムと同期化できます。

カテゴリ コード

[カテゴリ・コード] タブをクリックします。

- [カテゴリ・コード 1] ~ [カテゴリ・コード 5] UDC 01/AD、01/AE、01/AF、01AG、01/AH から有効なカテゴリ コードを入力します。

アクティビティ割り当ての追加

アクティビティを他の事業所に割り当てるには、以下のフィールドを指定します。

- [識別子タイプ]** アクティビティを割り当てる事業体の識別子タイプを選択します。
- [識別子]** アクティビティを割り当てる先の ID を入力します。
- [カレンダー タイプ]** **[識別子]** フィールドで指定した値のカレンダー タイプを入力します。

アクティビティとタスクの検索

[アクティビティの検索] フォームにアクセスします。

[アクティビティの検索] フォーム

[識別 ID] フィールドに従業員を指定せずに、複数人に割り当てたアクティビティを検索する場合は、作成者のアクティビティレコードのみが表示され、割り当て先のレコードは表示されません。

- [識別 ID タイプ]** 住所番号または事業所を選択して、識別 ID タイプでアクティビティをフィルタ検索します。
- [識別 ID]** 識別 ID でアクティビティをフィルタ検索するには、住所番号または事業所を入力します。**[ユーザー住所録番号別のフィルタ]** 処理オプションの設定時に「1」を入力すると、このフィールドは自動的に入力されます。住所番号が不明な場合、名称を入力すると、該当する番号が自動的に入力されます。たとえば、「Capital Systems」と入力すると、Capital Systems の住所番号が自動的に入力されます。

[開始日] および **[終了日]** アクティビティおよびタスクを表示する日付範囲の開始日と終了日を入力します。定期的なアクティビティおよびタスクを表示するには、この 2 つのフィールドに日付を入力する必要があります。入力した開始日、終了日、または日付範囲の期間中にある全てのアクティビティとタスクが表示されます。たとえば、開始日に「2005/10/20」、終了日に「2005/10/22」と入力す

	ると、2005 年 10 月 20 日に開始し、2005 年 10 月 22 日に終了する全ての定期アクティビティが表示されます。
	識別 ID を特定しない場合、日付範囲は最大で 62 日間に制限されます。
[優先度]	優先度を選択して、検索対象を絞り込みます。
[アクティビティ・タイプ]	特定のアクティビティタイプを入力して検索対象を絞り込みます。全てのアクティビティとタスクを検索する場合は、“-- 1 つ選択 --” を選択します。
[カレンダー・タイプ]	カレンダータイプを選択して、検索対象を絞り込みます。
[すべて]、[完了]、および [未完了]	これらのオプションのうちいずれか 1 つを選択し、アクティビティの完了状況別にフィルタ検索します。
[完了日付]	日付を入力して、完了日付別にアクティビティを絞り込みます。

アクションプランの作成

このセクションでは、アクションプランの概要と、以下の方法について説明します。

- アクションプランの設定
- アクションプランへのアクティビティの追加

アクションプランについて

アクションプラン プログラム (P01401) を使用して、関連アクティビティをグループ化したテンプレートを作成することができます。たとえば、新規顧客の取得時に、フォローアップ電話連絡をしたり先方の情報をシステムに入力するなどの一連のアクティビティをアクションプランに設定できます。アクションプランは、同じアクティビティやタスクのセットを使用する場合に何度でも使い回しできます。

アクションプランの作成後、複数の EnterpriseOne CRM プログラムを使用して、住所番号や CRM ケースなどのさまざまな事業体に関連するアクティビティをアクションプランを使用して作成できます。アクションプランを特定の事業体に関連付けると、割り当て先のカレンダーに関連するアクティビティが表示されます。アクションプランの一部として作成したアクティビティやタスクは、アクションプランの関連付けを行うまでは F01301 テーブルには作成されません。

アクション プランの設定およびアクション プランへのアクティビティの追加に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[アクション・プランの検索]	W01401C	[基本設定カレンダー] (G01A)、[アクション・プラン]	既存のアクションプランを検索します。
[アクション・プランの追加]	W01401D	[アクション・プランの検索] フォームで[追加]をクリックします。	新規のアクションプランを作成します。
[アクション・プラン - 編集]	W01401B	<ul style="list-style-type: none"> • [アクション・プランの検索] フォームで[編集]をクリックします。 • [アクション・プランの追加] フォームで[変更の保存]をクリックします。 	<p>既存のアクションプランを編集します。</p> <p>新規のプランにアクティビティを追加します。</p>
[アクティビティ・テンプレートの追加]	W01401E	[アクション・プラン - 編集] フォームで[アクティビティ・テンプレート] タブの [追加] をクリックします。	アクションプランにアクティビティを追加します。

アクション プランの設定

[アクション・プランの追加] フォームにアクセスします。

アクション・プラン - アクション・プランの追加

変更の保存 (S) 変更を元に戻す (R) 閉じる (C)

アクション・プラン名 * New customer

記述
Tasks and activities required for a new customer.

入力者

変更の保存 (S) 変更を元に戻す (R) 閉じる (C)

[アクション・プランの追加] フォーム

[アクション・プラン名] 半角の英数字 80 文字以内のアクション プラン名を入力します。

[記述] 半角の英数字 1,999 文字以内でプランについての説明を入力します。

アクション プランへのアクティビティの追加

[アクティビティ・テンプレートの追加] フォームにアクセスします。

[アクティビティ・テンプレートの追加] フォーム

- [件名]** アクティビティ名を入力します。アクティビティ名を表す 37 文字以内のテキストを半角の英数字で入力します。このアクティビティ名は、アクション プランにアクセスしてアクティビティ テンプレートから実際にアクティビティを生成する際に表示されます。
- [アクティビティ・タイプ]** アクティビティの実行内容を入力します。アクション プランにアクセスしてアクティビティ テンプレートから実際にアクティビティを生成する際に、このアクティビティ タイプが使用されます。
- [担当者]** アクティビティを割り当てる事業体の住所番号を入力します。アクション プランを関連付けると、プランに関連付けしたユーザーおよびこのフィールドで指定した住所番号先にアクティビティが割り当てられます。このフィールドを空白にすると、アクション プランを関連付けたユーザーのみにアクティビティが割り当てられます。
- [優先度]** アクティビティの優先度を入力します。
- [完了までの日数]** アクティビティの開始日を決めるために、アクティビティ完了までの日数を入力します。「0」を入力すると、アクション プランの関連付けを行った日にアクティビティが開始されます。
- [開始時刻] および [終了時刻]** アクティビティの開始時刻と終了時刻を入力します。これらのフィールドへの値の入力は必須ではありません。開始時刻フィールドを空白にすると、ユーザーのカレンダー上の開始時刻がアクティビティのデフォルト開始時刻として使用されます。

注: アクティビティタイプがタスクの場合、これらのフィールドは表示されません。

[記述]

アクティビティに関する追加指示を入力します。

第 7 章

住所録セルフサービスの使い方

この章では、住所録システム内のセルフサービス アプリケーションの概要と、以下の方法について説明します。

- 住所録の改訂 (P01012) プログラムのセルフサービスの使用
- 住所録セルフサービス (P01012SS) プログラムの使用

住所録セルフサービスについて

住所録システムのセルフサービス プログラムを使用することで、顧客および仕入先は、各自の住所録情報をオンラインで検討したり改訂したりすることができます。顧客および仕入先は、以下の 2 つのプログラムの 1 つを使用して、各自の情報を更新することができます。

- 住所録の改訂プログラム
- 住所録セルフサービス プログラム

顧客および仕入先が、住所録の改訂プログラムを使用して更新できるのは、各自の郵送先住所、電話番号、人名録情報、および 11 から 30 までのカテゴリコードの情報のみです。一方、住所録セルフサービス プログラムでは、各自のユーザー プロファイルと、会社分類コード、株式取引、ティッカー記号などの情報を更新できます。

住所録の改訂プログラムのセルフサービスの使い方

このセクションでは、住所録の改訂プログラムのセルフサービスの概要、および住所録の改訂プログラムのセルフサービス機能をアクティブにする方法について説明します。

住所録の改訂プログラムのセルフサービスについて

顧客および仕入先が住所録の改訂プログラムのセルフサービスを使用できるようにするには、このプログラムの [セルフサービス] 処理オプションに「1」または「2」を入力する必要があります。「1」を入力すると、顧客に対してセルフサービス機能がアクティブになります。「2」を入力すると、仕入先に対してセルフサービス機能がアクティブになります。

住所録の改訂プログラムのセルフサービス機能をアクティブにすることで、顧客および仕入先は各自の住所録レコードの以下の情報を更新できます。

- 郵送先住所
- 電話番号
- 連絡先

- 連絡先関連の電話番号、電子メール アドレス、関係先情報、代替住所

住所録の改訂プログラムのセルフサービス機能のアクティブ化

住所録の改訂プログラムの処理オプションを使用して、セルフサービス機能をアクティブにします。

参照: [第 5 章、「住所録レコードの入力」、「住所録の改訂 \(P01012\) の処理オプションの設定」、45 ページ](#)

住所録セルフサービス プログラムの使い方

このセクションでは、住所録セルフサービス プログラムと連絡先セルフサービス プログラムの概要、および以下の方法について説明します。

- 住所録セルフサービス プログラムの使用
- 住所録セルフサービスの処理オプションの設定
- 連絡先セルフサービス プログラムの使用

住所録セルフサービス プログラムについて

顧客や仕入先などの外部ユーザーは、住所録セルフサービス プログラム (P01012SS) を使用して、各自の住所録情報をオンラインで検討したり改訂したりすることができます。住所録セルフサービス プログラムの処理オプションを使用して、外部ユーザーに各自の情報の更新を許可するか、または確認のみ許可するかのいずれかを指定することができます。

住所録セルフサービス プログラムには、タブが 4 つあります。一般情報、連絡先、仕入先情報、顧客情報の 4 つです。住所録レコードに仕入先マスターと顧客マスターのレコードがある場合に、仕入先情報と顧客情報が表示されます。

外部ユーザーは、住所録セルフサービス プログラムを使用して、各自の会社の住所録レコードに対して以下の操作を行うことができます。

- 郵送先住所情報の更新
- 有効住所情報の更新 (住所録固定情報の [有効日付別住所の設定] チェック ボックスをオンにした場合)
- ユーザー プロファイル情報の更新
- 会社情報の更新 (以下の情報を含む)
 - 税 ID 番号
 - 免税
 - 分類コード値
 - 株式取引 (証券取引所)
 - ティッカー記号 (銘柄コード)
 - 従業員数
 - 開始年度
 - 増加率 (収益伸び率)
 - 年間収益

- DUNS 番号

関連項目:

第 2 章、「住所録システムの設定」、「固定情報の設定」、13ページ

第 5 章、「住所録レコードの入力」、「住所録レコードへの人名録情報の追加」、55ページ

JD Edwards EnterpriseOne 買掛管理 8.11 SP1 PeopleBook、「仕入先情報の入力」、「サプライヤ セルフサービス プログラムの使い方」

JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 8.11 SP 1 PeopleBook、「顧客マスター情報の設定」、「カスタマ セルフサービス プログラムの利用」

連絡先セルフサービス プログラムについて

住所録セルフサービス プログラムを使用する際、外部ユーザーは、連絡先セルフサービス プログラム (P0111SS) にアクセスして各自の会社の人名録情報を更新することができます。顧客および仕入先は、連絡先セルフサービス プログラムを使用して、以下の操作を行うことができます。

- 住所録レコードに登録されている電話番号および電子メール アドレスの更新または削除
- 連絡先の更新、追加、削除
- 連絡先の電話番号、電子メール アドレス情報の更新、追加、削除
- 主連絡先の指定

住所録および連絡先情報の更新に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[セルフサービス - 住所録レコードの更新]	W01012SSA	[セルフサービス・アプリケーション] (4/G01101)、[住所録セルフサービス]	住所録情報を更新します。 連絡先情報を更新します。
[連絡先を住所録に変換]	W0111SSB	[セルフサービス - 住所録レコードの更新] フォームで [連絡先] タブの連絡先名をクリックします。	既存の連絡先情報を更新します。 連絡先の電話番号、電子メール アドレスを追加、更新、削除します。
[住所録レコードに連絡先を追加]	W0111SSB	[セルフサービス - 住所録レコードの更新] フォームで [新規連絡先の追加] をクリックします。	新規連絡先を追加します。

住所録セルフサービス (P01012SS) の処理オプションの設定

以下の処理オプションで、デフォルトの会社電話番号タイプ、ユーザーによる情報更新の許可/不許可を設定します。また、住所録、仕入先マスター、顧客マスター、連絡先の各マスター ビジネス関数のデフォルト バージョンを指定します。

タイプ

1. 会社電話番号タイプ

[連絡先] タブに表示するデフォルトの電話番号タイプを指定します。UDC 01/PH から値を選択します。

入力

1. 住所更新の許可 ユーザーによる住所情報の更新を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
 ブランク: 許可する。
 1: 許可しない。

バージョン

1. 住所録マスター ビジネス関数 (P0100041) のバージョン 使用する住所録 MBF プログラムのバージョンを指定します。
2. 仕入先マスター ビジネス関数 (P0100043) のバージョン 使用する仕入先 MBF プログラムのバージョンを指定します。
3. 連絡先マスター ビジネス関数 (P0100087) のバージョン 使用する連絡先 MBF プログラムのバージョンを指定します。
4. 顧客マスター ビジネス関数 (P0100042) のバージョン 将来使用するためのフィールドです。

住所録セルフサービス プログラムの使い方

[セルフサービス - 住所録レコードの更新] フォームにアクセスします。

住所録セルフサービス - セルフサービス - 住所録レコードの更新

保存して閉じる(O) キャンセル(L)

会社名: ABC Company 住所録番号: 5961687

一般情報 連絡先

郵送宛名 ABC Company 第2郵送宛名

Address

住所行1

住所行2

住所行3

住所行4

市町村 州都道府県 郵便番号

郡 国 [View Formatted](#)

[セルフサービス - 住所録レコードの更新] フォーム (1/3)

Company Statistics

税ID	<input type="text"/>	株式取引	<input type="text"/>
免税	<input type="text"/>	ティッカー	<input type="text"/>
分類コード01	<input type="text"/>	従業員数	<input type="text" value="0"/>
分類コード02	<input type="text"/>	開始年度	<input type="text"/>
分類コード03	<input type="text"/>	増加率	<input type="text" value="0"/>
分類コード04	<input type="text"/>	年間収益	<input type="text"/>
分類コード05	<input type="text"/>	D-U-N-S No.	<input type="text" value="12"/> - <input type="text" value="123"/> - <input type="text" value="1231"/>

[セルフサービス - 住所録レコードの更新] フォーム (2/3)

Phones

レコード 1 - 2 グリッドのカスタマイズ

<input type="checkbox"/>	市外局番	電話番号	電話タイプ
<input checked="" type="radio"/>	555	111-1111	職場
<input type="radio"/>			

Electronic Addresses

レコード 1 - 3 グリッドのカスタマイズ

<input type="checkbox"/>	電子メールアドレス	電子メールアドレスタイプ
<input checked="" type="radio"/>	annette.walters@ABC.com	電子メール・アドレス
<input type="radio"/>		内部アドレス
<input type="radio"/>		

[セルフサービス - 住所録レコードの更新] フォーム (3/3)

[セルフサービス - 住所録レコードの更新] フォームで更新可能なフィールドは、[住所録の改訂] フォーム、[電話番号] フォーム、[電子メール/インターネットの改訂] フォームに表示されるフィールドと同じです。

[View Formatted](#)

宛名ラベルおよびレポートに出力される形式で郵送先住所を表示するには、このリンクをクリックします。住所フォーマットは、国別固定情報の改訂プログラム (P0070) で国別に指定します。

参照: [第 2 章、「住所録システムの設定」、「国別固定情報について」、15ページ](#)

参照: [第 5 章、「住所録レコードの入力」、「住所録レコードの追加」、48ページ](#)

参照: [第 5 章、「住所録レコードの入力」、「住所録レコードへの電話番号の追加」、54ページ](#)

参照: [第 5 章、「住所録レコードの入力」、「人名録レコードへの電子メール/インターネットアドレス情報の追加」、61ページ](#)

連絡先セルフサービス プログラムの使い方

[連絡先を住所録に変換] フォームにアクセスします。

住所録 - 連絡先を住所録に変換

会社名 **ABC Company** 住所録No. **5961687**

Contact Information

Name and Title

名前

名

ミドル・ネーム

姓

連絡先タイプ 指定連絡方法

役職 性別

[連絡先を住所録に変換] フォーム (1/2)

Phones

レコード 1-3 グリッドのカスタマイズ

	市外局番	電話番号	電話タイプ
<input type="radio"/>	555	111-1212	職場
<input checked="" type="radio"/>	555	111-1213	ファックス
<input type="radio"/>			

Electronic Addresses

レコード 1-2 グリッドのカスタマイズ

	電子メールアドレス	電子メールアドレスタイプ
<input checked="" type="radio"/>	joe.smith@ABC.com	電子メール・アドレス
<input type="radio"/>		

[連絡先を住所録に変換] フォーム (2/2)

[連絡先を住所録に変換] フォームで更新可能なフィールドは、[人名録] フォーム、[電話番号] フォーム、[電子メール/インターネットの改訂] フォームに表示されるフィールドと同じです。

参照: 第 5 章、「住所録レコードの入力」、「人名録レコードの追加」、57ページ; 第 5 章、「住所録レコードの入力」、「人名録レコードへの電話番号の追加」、60ページ および 第 5 章、「住所録レコードの入力」、「人名録レコードへの電子メール/インターネット アドレス情報の追加」、61ページ

第 8 章

住所録レコードの更新と除去

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、住所録レコードの更新と除去を行うプログラムの概要、および以下の方法について説明します。

- 有効日付による住所録レコードの更新
- カテゴリコードの更新
- 住所録とメッセージ ログ レコードの除去
- (BRA) Purge Brazilian address book records

住所録の更新プログラムと除去プログラムについて

住所録の情報は、定期的に更新または除去する必要があります。住所録レコードの情報を個別に更新するには、住所録の改訂プログラム (P01012) を使用します。複数の住所録レコードを同時に更新する場合は、有効住所の更新プログラム (R01840) またはカテゴリコード一括更新プログラム (R01490) を使用します。

住所録レコードを除去するには、住所録レコードの除去プログラム (R01800P) を使用します。

有効日付による住所録レコードの更新

このセクションでは、有効日付による住所録レコードの更新の概要、および有効住所の更新プログラム (R01840) の実行方法について説明します。

住所録の更新について

住所録固定情報プログラム (P0000) の [有効日付別住所の設定] を有効にした場合は、定期的に有効住所の更新プログラム (R01840) を実行して、通信文、請求書、支払、その他の郵便物の郵送先として、最新の住所が使用されるようにする必要があります。有効住所の更新プログラムを実行しない限り、住所録レコードは有効な住所に更新されません。

有効住所の更新プログラムを実行すると、住所録マスター (F0101) の情報が日付別住所テーブル (F0116) の有効日付を基に現在有効な住所に更新されます。全ての住所を更新する必要がない場合は、データ選択を使用して、更新する住所録レコードを限定することができます。このプログラムには処理オプションはありません。

今日の日付以外の日付を基準日として住所を更新するためのバージョンを設定することもできます。たとえば、郵送日に有効な住所を出力するために、今日以外の日付を基準日とした住所を生成する場合などが挙げられます。

事前設定

住所録固定情報プログラム (P0000) で [有効日付別住所の設定] がオンになっていることを確認します。

参照: 第 2 章、「住所録システムの設定」、「固定情報の設定」、13ページ

有効住所の更新プログラムの実行

[住所録上級/技術的操作] (G0131) から [有効住所更新] (R01840) を選択します。

カテゴリ コードの更新

このセクションでは、カテゴリコード更新の概要、および以下の方法について説明します。

- カテゴリコード一括更新プログラムの実行
- カテゴリコード一括更新プログラムの処理オプションの設定

カテゴリコードの更新について

住所録レコードを入力した後、カテゴリコード情報の変更が必要になることがあります。住所録システム全体に変更を反映させる場合は、カテゴリコード一括更新プログラム (R01490) を使用します。全ての住所録レコードを対象にカテゴリコードの変更を反映させたり、住所録レコードを指定して更新することができます。

特定の住所録レコードだけを更新する場合は、処理オプションを使用してカテゴリコードごとに更新対象レコードを指定するか、処理オプションは空白にして、データ選択を使用して更新対象レコードを指定できます。

処理オプションを設定して、変更されたレコードをレポートに出力します。この処理オプションを設定しない場合は、バッチ完了に関するメッセージがワークフローに送信されます。

事前設定

住所録マスター (F0101) のバックアップを作成してください。

カテゴリコード一括更新プログラムの実行

[住所録上級/技術的操作] (G0131) から [カテゴリ・コード一括更新] を選択します。

カテゴリコード一括更新 (R01490) の処理オプションの設定

処理オプションを選択して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

選択基準

1. 住所番号 特定の住所番号のカテゴリコードを更新する場合に、住所番号を指定し
ず。
2. 従業員 従業員のカテゴリコード値を更新するかどうかを指定します。有効な値は
次のとおりです。

- N:いいえ
Y:はい
- 3. 顧客** 顧客のカテゴリコード値を更新するかどうかを指定します。有効な値は次のとおりです。
N:いいえ
Y:はい
- 4. 仕入先** 仕入先のカテゴリコード値を更新するかどうか、および更新対象となる仕入先タイプを指定します。有効な値は次のとおりです。
F:国外仕入先
M:その他、単発取引の仕入先
N:いいえ
Y:はい
- 5. レポートを作成するには、「1」を入力してください** レポートを印刷するには、「1」を入力します。この処理オプションをブランクにすると、レポートは印刷されません。
- 6. カテゴリコードを更新するには、「1」を入力してください。更新しない場合は、ブランクのままにしてください** ブランクになっているカテゴリコードフィールドをブランク値のまま更新する場合、「1」を入力してください。

住所フィールド

- 5. ビジネスユニット** 将来使用するための処理オプションです。
- 6. 与信メッセージ** 将来使用するための処理オプションです。
- 7. 検索タイプ** 将来使用するための処理オプションです。

カテゴリコード 1-15

- カテゴリコード 1-15 変更するカテゴリコードの値を入力します。
- カテゴリコード 16-30 変更するカテゴリコードの値を入力します。

住所録とメッセージ ログ レコードの除去

このセクションでは、住所録レコードとメッセージ ログの除去の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 住所録レコードの除去プログラムの実行
- 住所録レコードの除去プログラムの処理オプションの設定
- メッセージ ログの除去プログラムの実行
- メッセージ ログの除去プログラムの処理オプションの設定

住所録とメッセージ ログの除去について

住所録レコードの除去プログラム (R01800P) を使って、住所録マスター (F0101) と以下の関連テーブルからレコードを除去します。

- F0030 - 銀行/支店マスター
- F0030W - 銀行口座/仕入先番号ワークテーブル
- F01092 - 補足データベース - コード
- F01093 - 補足データベース - 説明
- F0111 - 住所録 - 人名録
- F0115 - 住所録 - 連絡先電話番号
- F01151 - 電子メール/インターネット アドレス
- F01112 - 関連先
- F0116 - 日付別住所
- F01161 - 代替住所
- F0150 - 住所組織構造マスター
- F03012 - 業種別顧客マスター
- F0401 - 仕入先マスター
- F01815 - 住所録検索マスター

トランザクション テーブルに関連する支払人や住所録レコードが存在する場合、住所録レコードは除去されません。レポートを最終モードで実行する処理オプションを設定すると、他のテーブルに対応するレコードがない場合、レコードはデータベースから削除されます。関連テーブルがあるかどうか不明な場合は、必ずテストモードで実行してから、最終モードで実行するようにしてください。

電子メール システムを使用している場合は、メッセージ ログの除去プログラム (R01131P) を実行することで、メッセージ ログ ファイル (F0113) から定期的にメッセージ ログ レコードを除去する必要があります。処理オプションで、メッセージの状況にかかわらず日付によりメッセージを除去するかどうかを指定し、日付で除去する場合はその日付範囲を指定します。日付範囲を指定しない場合は、削除済みのタスクだけが自動的に対象に指定され、除去されます。

事前設定

この除去プログラムを実行する前に、すべてのユーザーがサインオフしていることを確認してください。

住所録レコードの除去プログラムの実行

[住所録上級/技術的操作] メニュー (G0131) から、[住所録レコードの除去] を選択します。

住所録レコードの除去 (R01800P) の処理オプションの設定

処理オプションを選択して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

デフォルト

1. レポート出力 住所録レコードの除去レポート (R01800P) で、除去されたレコードを表示するかどうかを指定します。除去したレコードを出力しないように指定した

場合、結果レポートに出力されるのは処理されたレコード数と除去されたレコード数のみです。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 除去したレコード一覧を表示しない。

1: 除去したレコード一覧を表示する。

2. 処理モード

住所録レコードの除去プログラムをテスト モードで実行するか、最終モードで実行するかを指定します。警告: このレポートを最終モードで実行すると、住所録および関連するテーブルのレコードが削除されます。レコードを完全に削除してもよいか不明の場合は、必ずテスト モードで実行してください。

このプログラムを最終モードで実行すると、住所録マスター (F0101) および関連テーブルからデータが除去されます。除去の対象となるテーブルは、F0030、F0030W、F01092、F01093、F0111、F0115、F01151、F01112、F0116、F01161、F0150、F03012、F0401、F01815 です。またレポートには、処理したレコード数と除去したレコード数が表示されます。

テスト モードで実行すると、処理したレコード数および最終モードで実行した場合に除去されるレコード数を示すレポートが表示されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テスト モードで実行する。

1: 最終モードで実行する。

メッセージ ログの除去プログラムの実行

[住所録上級/技術的操作] (G0131) から [メッセージ・ログの除去] を選択します。

メッセージ ログの除去 (R01131P) の処理オプションの設定

処理オプションを選択して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

処理

1. 状況に関係なく日付によりタスクを除去するには、"1"を入力します。 状況に関係なく日付でタスクを除去するかどうかを指定します。ブランクの場合、削除済みのタスクのみが自動的に除去されます。

開始日付 開始日付を指定します。日付範囲を指定した削除を行う場合に、この開始日付で除去対象のレコードが選択されます。

終了日付 終了日付を指定します。日付範囲を指定した削除を行う場合に、この終了日付で除去対象のレコードが選択されます。

(BRA) Purging Brazilian Address Book Records

This section provides an overview of the Purge Brazilian Address Book Tag Files program (R76011P) and discusses how to:

- Run the Purge Brazilian Address Book Tag Files program.
- Set processing options for Purge Brazilian Address Book Tag Files.

Understanding the Purge Brazilian Address Book Tag Files Program

You run the Purge Brazilian Address Book program after you run the Address Book Purge program (R01800P). When you run the Purge Brazilian Address Book program in final mode, the system purges from the Address Book Brazilian Tag Table (F76011) all records that do not have a corresponding record in the Address Book Master table (F0101). The system then writes a record to the Archive Address Book Brazilian Tag Table (F76011P) for each record that it purges from table F76011. Tables F76011 and F76011P contain identical fields.

Running the Purge Brazilian Address Book Tag Files Program

Select Brazilian Localization Setup (G76B41B), Purge Brazilian Address Book Tag Files.

Setting Processing Options for Purge Brazilian Address Book Tag Files (R76011P)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

Defaults

Use these processing options to specify whether the system runs the program in proof or final mode, and whether the system displays information about the records that are purged.

1. Report Output

Specify whether the report lists the records that are purged when you run the program in final mode. If you specify to list the records and run the program in proof mode, the report lists the records that will be purged when you run the program in final mode. If you do not choose to list the records, the report contains only the number of records purged. Values are:

Blank: Do not list the records.

1: List the records.

2. Processing Mode

Specify whether the report runs in proof or final mode. Values are:

Blank: Proof mode. The program produces a report that lists the total number of records that will be deleted when you run R76011P in final mode. If you set the Report Output processing option in R76011P to 1, the report also lists the records that will be purged when you run R76011P in final mode. The program does not delete or purge any records when you run it in proof mode.

1: Final mode. The system purges records from the Address Book Brazilian Tag Table (F76011), writes to the Archive Address Book Brazilian Tag Table (F76011P) the records that are identical to the ones purged, and produces a report that prints the number of records purged. If you set the Report Output processing option in R76011P to 1, the report also lists the purged records.

第 9 章

住所録レコードのバッチ処理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、バッチ処理の概要と、以下の方法について説明します。

- バッチ住所録レコードの追加
- 住所録バッチ情報のアップロード
- 顧客マスター情報のアップロード
- 仕入先マスターバッチ情報のアップロード
- 人名録バッチ情報のアップロード
- 未処理バッチの改訂
- 処理済みバッチの改訂
- 住所録バッチの除去

住所録のバッチ処理について

バッチ処理を使用すると、外部ソースにある住所録、顧客、仕入先、連絡先（人名録）情報を変換して、EnterpriseOne の住所録システムに転送することができます。外部ソースの住所情報を変換するには、該当するバッチ入力テーブルの指定フィールドに外部システムからのデータを転送するためのカスタムプログラムを作成する必要があります。

カスタムプログラムの作成では、以下のバッチ入力テーブルのフィールドに適切なデータが入力されるようプログラムを設定する必要があります。

- 住所録 - インタオペラビリティ (F0101Z2)
- 業種別顧客マスター - バッチ (F0301Z21)
- 仕入先マスター - バッチ アップロード (F0401Z1)
- バッチ - 人名録情報 (F0111Z1)
- バッチ - 関連先 (F0111Z21)
- 電話番号 - インタオペラビリティ (F0115Z1)
- バッチ - 電子メール アドレス (F01151Z1)
- バッチ - 代替住所 (F01161Z1)

バッチ入力テーブルには、住所録レコードをアップロードするために入力が必要なフィールドと、入力省略可能な補足フィールドがあります。これ以外のフィールドは、無視されるか、ユーザー使用のために予約されているフィールドです。

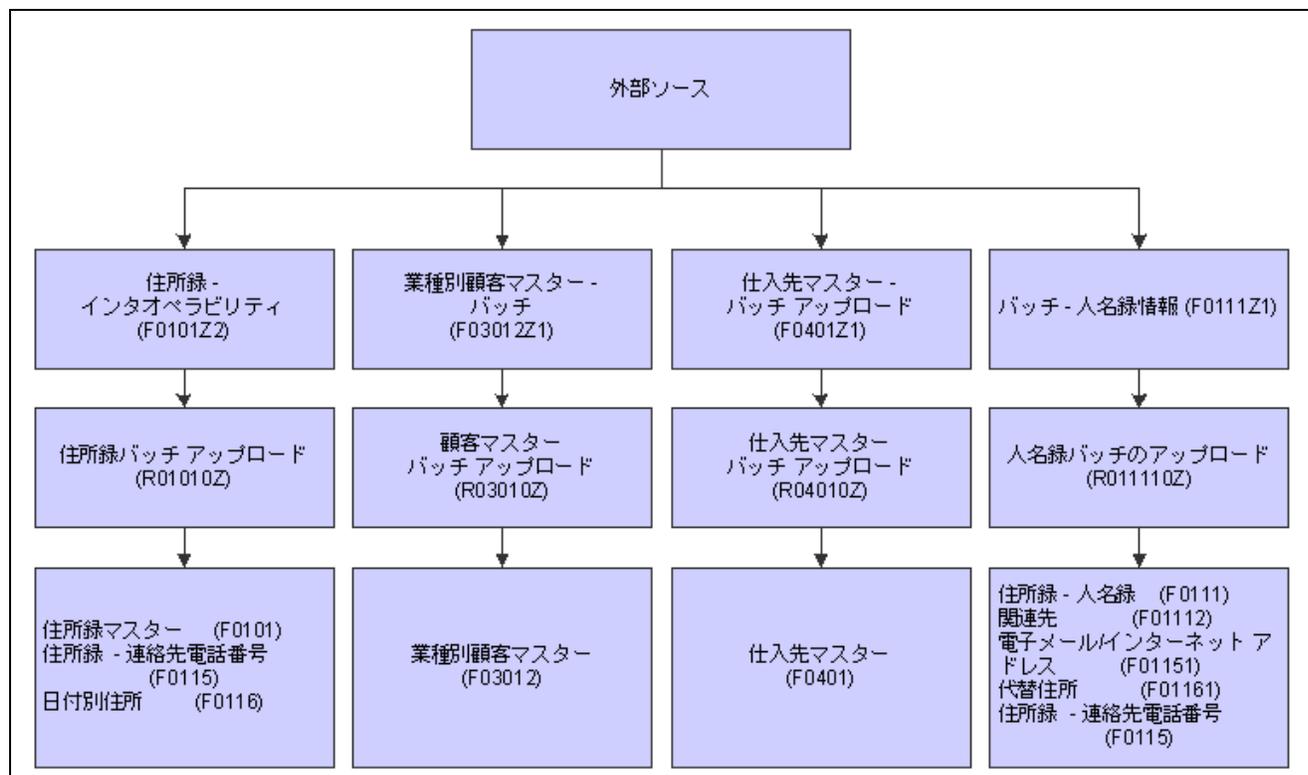
参照: 付録 A, 「バッチ処理用のフィールドのマッピング」, 137ページ

外部ソースの情報をバッチ入力テーブルに転送した後、住所録、顧客マスター、仕入先マスター、連絡先(人名録)情報について、確認や追加、改訂、削除を行うことができます。その後、バッチアップロードプログラムを実行して、EnterpriseOne の該当するマスターテーブルに情報を転送します。バッチアップロードプログラムには以下のような機能があります。

- 住所録マスター (F0101) に住所録レコードを作成する
- 業種別顧客マスター (F03012) に住所録レコードを作成する (該当する場合)
- 仕入先マスター (F0401) に住所録レコードを作成する (該当する場合)
- 住所録 - 人名録テーブル (F0111)
- 関連先テーブル (F01112) にレコードを作成する
- 電子メール/インターネット アドレス テーブル (F01151) にレコードを作成する
- 代替住所テーブル (F01161) にレコードを作成する
- 住所番号を割り当てる (該当する場合)
- ブランクのフィールドのデータを処理する
- レポートを作成する

バッチアップロードプログラムは処理が完了すると、正常にアップロードされたレコード数、正常に処理されたレコード数、および処理されなかったレコードを示すレポートを生成します。処理されなかったレコードは、修正してアップロードプログラムを再度実行できます。処理済みの各バッチは、除去される時点まで、各バッチ入力テーブルに保存されます。

次の図は、住所録システムのバッチ処理を示しています。



住所録のバッチ処理

(CHL) Batch Address Book Processing

To process batch address book records for Chile , you must perform additional steps, including:

- Set processing options for the PO – Address Book Batch Upload program (R76H101Z1).
This program provides a processing option that specifies whether the system should validate the Tax Unique Register number (Registro Unico Tributarios [R.U.T]).
- Provide proper data to the additional address book fields required for Chile in the F76H101ZT table.
- Verify that the version names of the PO – Address Book Batch Upload and the Address Book Batch Upload programs that you want to use are the same.

参照: [第 5 章、「住所録レコードの入力」](#)、「(CHL) Entering Additional Address Book Information」、71 ページ

(PER) Batch Address Book Processing

To process batch address book records for Peru . you must perform additional steps, including:

- Set processing options for the PO – Address Book Batch Upload program (R76P101Z1).
This program provides a processing option that specifies whether the system should validate tax identification numbers(Número de Identificación Tributaria [NIT]).
- Provide proper data to the additional address book fields required for Peru in the F76P101ZT table.
- Verify that the version names of the PO – Address Book Batch Upload and the Address Book Batch Upload programs that you want to use are the same.

参照: [第 5 章、「住所録レコードの入力」](#)、「(PER) Entering Additional Address Book Information」、78 ページ

アップロード用バッチ レコードの追加

このセクションでは、レコード追加の概要、および新しいバッチを作成してレコードを追加する方法について説明します。

アップロード用バッチ レコードの追加について

外部システムから適切なバッチ入力テーブルへのデータの転送後は、バッチ レコードを追加して既存のバッチを変更することはできません。この場合、新しくバッチ レコードを作成して、そこにレコードを追加する必要があります。通常はこの操作は必要とされません。ただし、バッチ レコードで特定のフィールドを改訂できない場合は、そのバッチ レコードを一度削除して、バッチ改訂のプログラムを使って新しくレコードを追加することができます。

バッチ レコードは次のテーブルのうちの 1 つまたは複数に存在します。

- 住所録 – インタオペラビリティ (F0101Z2)
- 業種別顧客マスター – バッチ (F0301Z1)
- 仕入先マスター – バッチ アップロード (F0401Z1)
- バッチ – 人名録情報 (F0111Z1)
- バッチ – 関連先 (F0111Z2)

- バッチ - 電子メール アドレス (F01151Z1)
- 電話番号 - インタオペラビリティ (F0115Z1)
- バッチ - 代替住所 (F01161Z1)

バッチ レコードの追加に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[バッチ住所録の改訂]	W0101Z1A	[住所録上級/技術的操作] (G0131)、[住所録バッチ改訂] [バッチ住所録の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	住所録のバッチレコードを追加します。
[バッチ顧客マスターの改訂]	W0301Z1B	[住所録上級/技術的操作] (G0131)、[顧客マスター・バッチ改訂] [顧客マスターバッチの処理] フォームで [追加] をクリックします。	顧客のバッチレコードを追加します。
[バッチ仕入先マスターの改訂]	W0401Z1A	[住所録上級/技術的操作] (G0131)、[仕入先マスター・バッチ改訂] [バッチ仕入先マスターの処理] フォームで [追加] をクリックします。	仕入先のバッチレコードを追加します。
[人名録 - バッチの改訂]	W01111Z1B	[住所録上級/技術的操作] (G0131)、[人名録バッチの改訂] [人名録バッチ情報の処理] フォームで [追加] をクリックします。	人名録のバッチレコードを追加します。

新しいバッチの作成およびレコードの追加

[バッチ住所録の改訂]、[バッチ顧客マスターの改訂]、[バッチ仕入先マスターの改訂]、または [人名録 - バッチの改訂] フォームにアクセスします。

[トランザクション No.] トランザクション番号を入力します。EDI を使用しない場合は、ユーザーはバッチ内のトランザクションを識別するために、任意の番号を指定することができます。EnterpriseOne の伝票番号と同じにすることもできます。

[アクション] トランザクションで実行する処理を示すコードを入力します。EDI トランザクションでは、トランザクション セット目的コードや変更コードを表します。

[会社] 業種別 (会社別) 処理で使用される会社番号を入力します。デフォルト会社 (00000) に対しては追加レコードが自動的に作成されます。このフィールドを空白にすると、会社 00000 のみが割り当てられます。

住所録バッチ情報のアップロード

このセクションでは、住所録バッチ アップロード プログラムの概要、および以下の方法について説明します。

- 住所録バッチ アップロードの実行
- 住所録バッチ アップロードの処理オプションの設定

住所録バッチ アップロード プログラムについて

外部ソースの住所録情報を変換し、住所録 - インタオペラビリティ テーブル (F0101Z2) に転送した後で、住所録バッチ アップロード プログラム (R01010Z) を使用して情報を処理し、以下のテーブルを更新します。

- 住所録マスター (F0101)
- 住所録 - 人名録 (F0111)
- 住所録 - 連絡先電話番号 (F0115)
- 日付別住所 (F0116)

住所録システムで重複レコードの検証を有効にしている場合、住所録バッチ アップロード プログラムで重複レコードが検出されたときにメッセージが表示されます。メッセージのタイプに応じて、以下のいずれかの処理が行われます。

- エラーの場合、ワーク センターにメッセージが送信され、エラーの詳細情報を確認できます。住所録レコードのバッチは処理されません。
- 警告の場合、住所録レコードのバッチは更新されます。このとき、ワーク センターのメッセージにはエラーが発生した状態でバッチが作成されたことが表示され、レポートのメッセージにはレコードの処理が正常に行われたことが表示されます。住所録レコードのバッチは処理されます。

参照: [第 5 章、「住所録レコードの入力」、41 ページ](#)

事前設定

住所録バッチ アップロード プログラム (R01010Z) を実行する前に、住所録バッチ レコードの確認を行い、必要に応じて改訂をしてください。

参照: [第 9 章、「住所録レコードのバッチ処理」、「未処理バッチの改訂」、130 ページ](#)

住所録バッチ アップロードの実行

[住所録上級/技術的操作] (G0131) から、[住所録バッチ・アップロード] を選択します。

住所録バッチ アップロード (R01010Z) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

バージョン

1. **住所録 MBF (P0100041)** レポートに使用する住所録マスター ビジネス関数プログラム (P0100041) のバージョンを指定します。このフィールドを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

処理

1. 処理モード

このレポートをテスト モードで実行するか、最終モードで実行するかを指定します。テスト モードでは、レポートの出力のみ行われます。最終モードでは、レポートが出力され、住所録マスター (F0101) と以下の該当するテーブルが更新されます。

住所録 - 人名録 (F0111)

電子メール/インターネット アドレス (F01151)

日付別住所 (F0116)

有効値は以下のとおりです。

ブランク: テスト モード

1: 最終モード

顧客マスター バッチ情報のアップロード

このセクションでは、顧客マスター バッチ アップロード プログラム (R03010Z) の概要、および以下の方法について説明します。

- 顧客マスター バッチ アップロード プログラムの実行
- 顧客マスター バッチ アップロード プログラムの処理オプションの設定

顧客マスター バッチ アップロード プログラムについて

顧客情報のアップロードを行う前に、住所録マスター (F0101) に住所番号が定義されている必要があります。顧客マスター バッチ アップロード プログラム (R03010Z) の実行時に、業種別顧客マスター - バッチ テーブル (F03012Z1) の住所録フィールドに住所番号を入力します。

顧客マスター バッチ アップロード プログラムは、処理済みの住所録レコードにアクセスし、F03012Z1 テーブルから該当する顧客情報を取り込んで業種別顧客マスター (F03012) にアップロードします。

顧客レコードに親番号が関連付けられている場合は、親/子関係を個別に入力する必要があります。バッチ処理で親番号を追加することはできません。親番号は住所組織構造マスター (F0150) に保存されます。

注: 住所録マスター ビジネス関数 (P0100041) の独自のバージョンを作成する場合、同じ名前で顧客マスター ビジネス関数を作成する必要があります。これは、顧客マスター バッチ アップロード プログラムの処理オプションに、住所録マスター ビジネス関数を入力するオプションがないためです。

事前設定

このセクションの操作を実行するには、事前に以下の操作を行う必要があります。

住所録バッチ アップロード プログラム (R01010Z) を実行して、住所録情報を処理します。

顧客マスター バッチ アップロード プログラム (R03010Z) を実行する前に、顧客マスター バッチ レコードの確認を行い、必要に応じて改訂してください。

参照: [第 9 章、「住所録レコードのバッチ処理」](#)、[「未処理バッチの改訂」](#)、130 ページ

顧客マスター バッチ アップロード プログラムの実行

[住所録上級/技術的操作] (G0131) から、[顧客マスター・バッチ・アップロード] を選択します。

顧客マスター バッチ アップロード (R03010Z) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

バージョン

1. 顧客マスター MBF (P0100042)

レポートに使用する顧客マスター ビジネス関数プログラム (P0100042) のバージョンを指定します。このフィールドを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

処理

1. 処理モード

このレポートをテスト モードで実行するか、最終モードで実行するかを指定します。テスト モードでは、レポートの出力のみ行われます。最終モードでは、このレポートが出力され、業種別顧客マスター (F03012) が更新されます。有効値は以下のとおりです。

空白: テスト モードで実行する。

1: 最終モードで実行する。

仕入先マスター バッチ情報のアップロード

このセクションでは、仕入先マスター バッチ アップロード プログラム (R04010Z) の概要、および以下の方法について説明します。

- 仕入先マスター バッチ アップロード プログラムの実行
- 仕入先マスター バッチ アップロード プログラムの処理オプションの設定

仕入先マスター バッチ アップロード プログラムについて

変換した外部仕入先情報のアップロードを行う前に、住所録マスター (F0101) に住所番号が定義されている必要があります。仕入先マスター バッチ アップロード プログラム (R04010Z) の実行時に、仕入先マスター - バッチ アップロード テーブル (F0401Z1) の住所録フィールドに住所番号を入力します。

仕入先マスター バッチ アップロード プログラムは、処理済みの住所録レコードにアクセスし、F0401Z1 テーブルから該当する仕入先情報を取り込んで、仕入先マスター (F0401) にアップロードします。

仕入先レコードに親番号が関連付けられている場合は、親/子関係を個別に入力する必要があります。バッチ処理で親番号を追加することはできません。親番号は住所組織構造マスター (F0150) に保存されます。

注: 住所録マスター ビジネス関数 (P0100041) の独自のバージョンを作成する場合、同じ名前です仕入先マスター ビジネス関数を作成する必要があります。これは、仕入先マスター バッチ アップロード プログラムの処理オプションに、住所録マスター ビジネス関数を入力するオプションがないためです。

事前設定

このセクションで説明されている操作を実行するには、事前に以下の操作を行う必要があります。

住所録バッチ アップロード プログラム (R01010Z) を実行して、住所録情報を処理します。

仕入先マスター バッチ アップロード プログラム (R04010Z) を実行する前に、仕入先バッチ レコードの確認を行い、必要に応じて改訂してください。

参照: [第 9 章、「住所録レコードのバッチ処理」、「未処理バッチの改訂」、130ページ](#)

仕入先マスター バッチ アップロード プログラムの実行

[住所録上級/技術的操作] (G0131) から、[仕入先マスター・バッチ・アップロード] を選択します。

仕入先マスター バッチ アップロード (R04010Z) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

バージョン

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 仕入先マスター MBF (P0100043) | レポートに使用する仕入先マスター ビジネス関数プログラム (P0100043) のバージョンを指定します。このフィールドを空白にすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。 |
|---------------------------|---|

処理

- | | |
|----------|--|
| 1. 処理モード | このレポートをテスト モードで実行するか、最終モードで実行するかを指定します。テスト モードでは、レポートの出力のみ行われます。最終モードでは、このレポートが出力され、仕入先マスター (F0401) が更新されます。有効値は以下のとおりです。
空白: テスト モードで実行する。
1: 最終モードで実行する。 |
|----------|--|

人名録バッチ情報のアップロード

このセクションでは、人名録バッチのアップロード プログラム (R01110Z) の概要、および以下の方法について説明します。

- 人名録バッチのアップロード プログラムの実行
- 人名録バッチのアップロード プログラムの処理オプションの設定

人名録バッチのアップロード プログラムについて

変換した外部人名録情報のアップロードを行う前に、住所録マスター (F0101) に住所番号が定義されている必要があります。人名録バッチのアップロード プログラム (R01110Z) を実行時に、バッチ - 人名録情報テーブル (F01111Z1) の住所録フィールドに住所番号を入力します。

人名録バッチのアップロード プログラムは、処理済みの住所録レコードにアクセスし、F01111Z1 テーブルから該当する人名録情報を取り込んで、以下のテーブルにアップロードします。

- 住所録 - 人名録 (F0111)
- 関連先 (F01112)
- 住所録 - 連絡先電話番号 (F0115)
- 電子メール/インターネット アドレス (F01151)
- 代替住所 (F01161)
- 日付別住所 (F0116)

人名録バッチのアップロードで人名録レコードの処理が正常に処理されてから、F01161Z1、F01151Z1、F0115Z1、F0112Z1 にある人名録情報の検索が行われます。この検索では、F0111Z1 テーブルのバッチ番号、トランザクション番号、ユーザー ID が使用されます。バッチ - 人名録情報テーブルで一致する値のレコードが検出されると、正常に処理されていないレコードが次の順番で選択されます。

1. F01161Z1
2. F01151Z1
3. F0112Z1
4. F0115Z1

電話番号情報の処理時には、データの追加選択が行われ、関連先の電話番号の処理が先に行われます。次に、連絡先の電話番号が処理されます。このとき、F0112Z1 の EDLN 行番号 (EDLN) フィールドの値で、電話番号レコードが関連先用か連絡先用かが決定されます。電話番号レコードが連絡先用である場合、EDLN フィールドの値は 0 です。

人名録バッチのアップロード実行時に子レコード (電話番号、電子メール アドレスなど) でエラーが発生した場合、エラーとなった部分を修正後に再処理ができます。正常に処理されたレコードと未処理のレコードは両方とも、人名録バッチのアップロードのレポートに出力されます。

事前設定

このセクションの操作を実行するには、まず以下の操作を行う必要があります。

住所録バッチ アップロード プログラム (R01010Z) を実行して、住所録情報を処理します。

人名録バッチのアップロードを実行する前に、人名録バッチ レコードの確認を行い、必要に応じて改訂を行います。

参照: [第 9 章、「住所録レコードのバッチ処理」、「未処理バッチの改訂」、130ページ](#)

人名録バッチのアップロードの実行

[住所録上級/技術的操作] (G0131) から [人名録バッチのアップロード] を選択します。

人名録バッチのアップロード (R01110Z) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

オプション

1. 子テーブルのアップロード

子テーブルのレコードをアップロードするかどうかを指定します。対象となるのは以下のテーブルです。

バッチ - 代替住所 (F01161Z1)

バッチ - 関連先 (F01112Z1)

バッチ - 電子メール アドレス (F01151Z1)

電話番号 - インタオペラビリティ (F0115Z1)

有効値は以下のとおりです。

ブランク:子テーブルのレコードをアップロードしない。

1: 子テーブルのレコードをアップロードする。

2. 住所の同期化 (将来使用)

住所録マスター (F0101) と代替住所 (F01161) のテーブルについて、連絡先情報の入力時に同期をとるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:同期化しない。

1: 同期化する。

未処理バッチの改訂

このセクションでは、正常に処理が行われなかったバッチの概要、および未処理のバッチレコードを改訂する方法について説明します。

正常に処理が行われなかったバッチについて

アップロードプログラムの実行後は、バッチを確認して、正常に処理されたバッチと処理されなかったバッチを特定します。正常に処理されなかったバッチは、改訂する必要があります。

正常に処理されなかったバッチレコードは、以下のバッチ入力テーブルに保管されます。

- 住所録 - インタオペラビリティ (F0101Z2)
- 業種別顧客マスター - バッチ (F03012Z1)
- 仕入先マスター - バッチ アップロード (F0401Z1)
- バッチ - 人名録情報 (F0111Z1)
- バッチ - 関連先 (F01112Z1)
- 電話番号 - インタオペラビリティ (F0115Z1)
- バッチ - 電子メール アドレス (F01151Z1)
- バッチ - 代替住所 (F01161Z1)

バッチが正常に処理されなかった場合は、適切なフォームを使用してレコードを修正し、アップロードプログラムを再度実行します。これにより、該当するバッチ入力テーブルのレコードが更新されます。

未処理バッチの改訂に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[バッチ住所録の改訂]	W0101Z1A	[住所録上級/技術的操作] (G0131)、[住所録バッチ改訂]を選択し、[バッチ住所録の処理]フォームで[選択]をクリックします。	住所録の未処理のバッチレコードを改訂します。
[バッチ顧客マスターの改訂]	W0301Z1B	[住所録上級/技術的操作] (G0131)、[顧客マスター・バッチ改訂] バッチを選択し、[顧客マスターバッチの処理]フォームで[選択]をクリックします。	顧客の未処理のバッチレコードを改訂します。
[バッチ仕入先マスターの改訂]	W0401Z1A	[住所録上級/技術的操作] (G0131)、[仕入先マスター・バッチ改訂] バッチを選択し、[バッチ仕入先マスターの処理]フォームで[選択]をクリックします。	仕入先の未処理のバッチレコードを改訂します。
[人名録 - バッチの改訂]	W0111Z1B	[住所録上級/技術的操作] (G0131)、[人名録バッチの改訂] [人名録バッチ情報の処理]フォームで[選択]をクリックします。	人名録(連絡先)の未処理のバッチレコードを改訂します。
[電話 - バッチの改訂]	W0111Z1G	バッチを選択して、[人名録バッチ情報の処理]フォームの[ロー]メニューから[電話番号]を選択します。	人名録レコードの電話番号を入力します。

未処理のバッチレコードの改訂

[バッチ住所録の改訂]、[バッチ顧客マスターの改訂]、[バッチ仕入先マスターの改訂]、または [人名録 - バッチの改訂] フォームにアクセスします。

以下の例では、[バッチ住所録の改訂] フォームを示しています。

住所録バッチ改訂 - バッチ住所録の改訂

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

バッチNo. トランザクションNo. ユーザーID

住所No. アクション [追加](#)

タブを選択: 1-住所録 ▼

名前

詳細住所No.

フリガナ

検索タイプ

税ID

ビジネスユニット

[バッチ住所録の改訂] フォーム

処理済みバッチの改訂

このセクションでは、正常に処理されたバッチの概要、および誤りのある処理済みバッチレコードを改訂する方法について説明します。

正常に処理されたバッチについて

アップロードプログラムの実行後は、バッチを確認して、正常に処理されたバッチと処理されなかったバッチを特定します。正常に処理が行われていても、誤りのあるバッチは改訂する必要があります。

正常に処理されたバッチレコードは以下のテーブルに保管されます。

- 住所録マスター (F0101)
- 業種別顧客マスター (F03012)
- 仕入先マスター (F0401)
- 住所録 - 人名録テーブル (F0111)

- 関連先テーブル (F01112)
- 電子メール/インターネット アドレス テーブル (F01151)
- 代替住所テーブル (F01161)
- 住所録 - 連絡先電話番号 (F0115)

バッチ レコードの処理が正常に完了しても誤りがある場合は、該当するフォームを使用してレコードを訂正します。

処理済みバッチの改訂に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[住所録の改訂]	W01012A	[日次処理] (G0110)、[住所録の改訂] [住所の処理] フォームで [選択] をクリックします。	処理済みの住所録レコードを改訂します。
[顧客マスターの改訂] (P03013)	W03013B	[顧客および請求書の入力] (G03B11)、[顧客マスター情報] [顧客マスターの処理] フォームで [選択] をクリックします。	処理済みの顧客マスターレコードを改訂します。
[仕入先マスターの改訂] (P04012)	W04012A	[仕入先および伝票の入力] (G0411)、[仕入先マスター情報] [仕入先マスターの処理] フォームで [選択] をクリックします。	処理済みの仕入先マスターレコードを改訂します。

処理済みのバッチ レコードの改訂

レコードを改訂するには、[住所録の改訂]、[顧客マスターの改訂]、または [仕入先マスターの改訂] にアクセスします。連絡先情報へのアクセス方法については、「住所録レコードの入力」の章にある「住所録レコードへの人名録情報の追加」セクションを参照してください。

住所録バッチの除去

このセクションでは、住所録バッチ除去プログラムの概要、および以下の方法について説明します。

- 住所録バッチ除去プログラムの実行
- 住所録バッチ除去プログラムの処理オプションの設定

住所録バッチ除去プログラムについて

住所録、仕入先マスター、顧客マスター、連絡先情報バッチの正常なアップロードと処理が完了し、レコードが以下のいずれかのマスター テーブルにある場合、バッチを除去できます。

住所録バッチ除去プログラム (R0101Z1P) の処理オプションの設定に応じて、処理済みの全てのバッチが以下の 1 つまたは複数のバッチ入力テーブルから除去されます。

- 住所録 - インタオペラビリティ (F0101Z2)
- 業種別顧客マスター - バッチ (F0301Z21)
- 仕入先マスター - バッチ アップロード (F0401Z1)
- バッチ - 人名録情報 (F0111Z1)
- バッチ - 関連先 (F0111Z21)
- バッチ - 電子メール アドレス (F01151Z1)
- バッチ - 代替住所 (F01161Z1)

各バッチ入力テーブルでは、処理済みバッチの “処理済み” フィールド (EDSP) に 1 または Y が表示され、レコードが正常に処理されたことを示します。

事前設定

バッチ レコードを除去する前に、以下のバッチ入力テーブルのバックアップを作成してください。

- 住所録 - インタオペラビリティ (F0101Z2)
- 業種別顧客マスター - バッチ テーブル (F0301Z21)
- 仕入先マスター - バッチ アップロード (F0401Z1)
- バッチ - 人名録情報 (F0111Z1)
- バッチ - 関連先 (F0111Z21)
- バッチ - 電子メール アドレス (F01151Z1)
- バッチ - 代替住所 (F01161Z1)
- 電話番号 - インタオペラビリティ (F0115Z1)

住所録バッチ除去プログラムの実行

[住所録上級/技術的操作] (G0131) から、[住所録バッチ除去] を選択します。

住所録バッチ除去 (R0101Z1P) の処理オプションの設定

処理オプションの設定によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

選択

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1. 顧客マスター バッチ
テーブルの除去 | 業種別顧客マスター - バッチ テーブル (F0301Z21) で、検索タイプ C (顧客) を持つ全ての処理済みレコードを除去するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 処理済みの顧客レコードを除去しない。

1: 処理済みの顧客レコードを除去する。 |
| 2. 仕入先マスター バッチ
テーブルの除去 | 仕入先マスター - バッチ アップロード テーブル (F0401Z1) で、検索タイプ V (仕入先) を持つ全ての処理済みレコードを除去するかどうか指定します。有効値は以下のとおりです。 |

3. 住所録バッチ テーブル の除去

ブランク:処理済みの仕入先レコードを除去しない。

1: 処理済みの仕入先レコードを除去する。

住所録 - インタオペラビリティ テーブル (F0101Z2) と、該当する場合は以下のテーブルにある全ての処理済みレコードを除去するかどうかを指定します。

バッチ - 人名録情報 (F0111Z1)

バッチ - 関連先 (F0111Z2)

バッチ - 代替住所 (F01161Z1)

バッチ - 電子メール アドレス (F01151Z1)

電話番号 - インタオペラビリティ (F0115Z1)

有効値は以下のとおりです。

ブランク:処理済みレコードを除去しない。

1: 処理済みレコードを除去する。

付録 A

バッチ処理用のフィールドのマッピング

この付録では、以下のバッチ処理テーブルのフィールドのマッピングについて説明します。

- 住所録 - インタオペラビリティ (F0101Z2)
- 業種別顧客マスター - バッチ (F0301Z1)
- 仕入先マスター - バッチ アップロード (F0401Z1)
- バッチ - 人名録情報 (F0111Z1)
- バッチ - 関連先 (F0111Z1)
- 電話番号 - インタオペラビリティ (F0115Z1)
- バッチ - 電子メール アドレス (F0115Z1)
- バッチ - 代替住所 (F0116Z1)

住所録 - インタオペラビリティ テーブル (F0101Z2) のフィールドのマッピング

このセクションでは、F0101Z2 テーブルのフィールドの一覧を記載します。一部のフィールドは住所録バッチ アップロード プログラム (R01010Z) の実行において必須フィールドとなります。その他は省略可能です。全てのフィールドが住所録フォームで表示されたり、住所録システムで使用されるわけではありません。

必須フィールド

この表は F0101Z2 テーブルの必須フィールドの一覧です。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-ユーザーID	SZEDUS	文字	10	ユーザー定義のID番号。R01010Zプログラムの実行者のユーザーIDか、従業員ワークセンターのメッセージ受信者のユーザーIDを入力します。このフィールドと、SZEDTNおよびSZEDBTの各フィールドを組み合わせることにより、トランザクションが一意に識別されます。
EDI-バッチ番号	SZEDBT	文字	15	住所録バッチアップロードプログラムの実行者が各バッチに割り当てる番号。このフィールドが変更されるたびに、新しいバッチ番号が自動的に割り当てられます。処理する各トランザクショングループに1つのバッチ番号を割り当てることで、パフォーマンスを大幅に向上することができます。
EDI-トランザクション番号	SZEDTN	文字	22	各トランザクションを識別する番号。トランザクション番号ごとに、異なる住所録レコードを示します。1つのバッチに、番号の重複したトランザクションが存在することはできません。このフィールドには通常、送信者がトランザクションを簡単に識別できるよう、ソースシステムの伝票番号が入力されます。
EDI-行番号	SZEDLN	数字	7	レコードを個別に識別する番号。各トランザクションには、連続する複数の行番号を含めることができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-処理済み	SZEDSP	文字	1	<p>トランザクションが正常に処理されたかどうかを示す値。このフィールドはブランクにしてください。Nは、トランザクションが処理されなかったか、処理中にエラーが発生したことを示します。</p> <p>トランザクションが正常に終了すると、値がYに変わります。</p>
アクションコード	SZTNAC	文字	1	<p>実行するトランザクションの処理を示す値。Aは新規トランザクションを示します。Dは削除を示します。Aは追加を示し、Cは既存の伝票の変更を示します。変更処理は、追加処理後に行う必要があります。</p> <p>送信処理の場合、このフィールドはUA(変更後トランザクション)またはUB(変更前トランザクション)のいずれかに自動的に更新されます。住所録 MBF (P0100041)の処理オプションがオンになっている場合にのみ、UBが使用されます。</p> <p>送信処理では、追加には「A」を、削除には「D」を入力することもできます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
ビジネスユニット	SZMCU	文字	12	<p>セキュリティの保護のために使用するビジネスユニットを識別する値。このフィールドの値は、トランザクション入力プログラムでも使用されます。特定の AAI(自動仕訳)の主科目と連結して、勘定科目コードを構成することもできます。このフィールドをブランクにすると、自動的に1が割り当てられます。</p> <p>値は、ビジネスユニットマスター(F0006)に存在する必要があります。</p>
税 ID	SZTAX	文字	20	<p>さまざまな納税先で入力が必須の税 ID コード。これは、社会保障番号(米国)、国税、州税、または法人用の税 ID、売上税番号などです。</p> <p>このフィールドは、検索タイプフィールド(SZAT1)が E で、国コードが US または CAN の場合に限り必須になります。</p>
名前	SZALPH	文字	40	<p>検索機能を最適化するため通常は姓、名の形式で入力する名称。住所録の検索プログラム(P01BDWRD)では、このフィールドが使用されます。</p>
検索タイプ	SZAT1	文字	3	<p>レコードの分類を示す値。仕入先、顧客、従業員、会社などの分類項目があります。このフィールドには、UDC テーブル 01/ST(検索タイプ)で定義されている値を入力する必要があります。</p>

任意フィールド

以下の F0101Z2 テーブルのフィールドは、任意のフィールドです。これらのフィールドを使用して、トランザクションに関する追加情報を提供することができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
トランザクションタイプ	SZTYTN	文字	8	トランザクションのタイプを識別する値。このフィールドを空白にすると、住所録 MBF (P0100041) の [トランザクション・タイプ] 処理オプションが指定されている場合はその値が使用されます。 送信処理を使用する場合は、必須フィールドとなります。
送受信インジケータ	SZDRIN	文字	1	バッチジョブが、受信処理、送信処理のどちらであるかを示す番号。 受信処理の場合は、「0」(ゼロ)を入力します。 送信処理の場合は、このフィールドは空白にします。このフィールドは、レコードが“変更前”に指定されている場合は1、“変更後”であれば2に更新されます。住所録 MBF (P0100041) の処理オプションにより、テーブルに変更前トランザクションの書き込みを行うかどうかを指定します。
EDI - 処理済み明細行数	SZEDDL	数字	5	特定のトランザクションに含まれる明細行数の数。これは参照用のフィールドです。
取引先 ID	SZPNID	文字	15	電子データ交換 (EDI) で、取引先を識別するために使用する値。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
住所番号	SZAN8	数字	8	<p>仕入先、顧客、従業員、会社などを識別する固有の値。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、住所録システムの自動採番テーブル (F0002) を基に自動的に番号が割り当てられます。</p> <p>このフィールドに値を入力する場合、SZTNAC フィールドの値が C (既存レコードの変更) に指定されている場合を除き、住所録マスター (F0101) にある値は使用できません。住所録マスターに値が存在する場合は、トランザクションが重複しているとみなされ、処理は実行されません。</p> <p>注: このフィールドは SZTNAC フィールドが C (既存レコードの変更) の場合に必須です。</p>
詳細住所番号	SZALKY	文字	20	<p>システムで割り当てられた形式以外の住所録レコードを識別する値。通常、このフィールドには旧システムの住所番号を入力し、EnterpriseOne システムで割り当てられた住所番号との相互参照に使用します。値をこのフィールドに入力する場合、他の住所録レコードに存在する値は使用できません。他のレコードに同じ値がある場合は、重複レコードとして扱われ、処理されません。</p>
産業分類コード	SZSIC	文字	10	<p>標準産業分類 (SIC) など、商品とサービスを分類するコード。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
言語	SZLNGP	文字	2	<p>フォームおよびレポートで使用する言語を示すコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 01/LP (使用言語) に存在している必要があります。</p> <p>このフィールドをblankにすると、処理を実行しているユーザーのプロファイルに指定された言語が使用されます。言語が指定されていない場合は、システムのデフォルト言語が使用されます。</p>
与信メッセージ	SZCM	文字	2	<p>顧客、または仕入先に関する特定の情報を表示するコード。このフィールドには、UDCテーブル 00/CM (与信メッセージ) で定義されている値を入力する必要があります。</p>
個人/法人コード	SZTAXC	文字	1	<p>納税者のタイプを示すコード。米国ユーザーの場合、SZTAXフィールドと合わせて以下のいずれかのコードを使用します。</p> <p>C: 法人 P: 個人 N: 自営業</p> <p>1099レポートについては、PとNのコードの仕入先が選択されます。</p> <p>米国以外のユーザーの場合、SZTAXフィールドと合わせて以下のいずれかのコードを使用します。</p> <p>1: 個人 2: 法人</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
売掛金/買掛金相殺 インジケータ	SZAT2	文字	1	<p>顧客と仕入先が売掛金/買掛金相殺の対象となるかどうかを示すオプション。有効値は以下のとおりです。</p> <p>Y:売掛金/買掛金相殺の対象です。[相殺状況]フィールドの値が1(相殺承認済み)になっている住所番号について、請求書と伝票が更新されます。</p> <p>N:売掛金/買掛金相殺の対象外です。[相殺状況]フィールドの値が0(相殺無効)になっている住所番号について、請求書と伝票が更新されません。</p>
住所タイプ 3	SZAT3	文字	1	将来使用のために予約されたコード。
住所タイプ 4	SZAT4	文字	1	将来使用のために予約されたコード。
住所タイプ - 売掛金	SZATR	文字	1	住所録レコードが顧客かどうかを示すコード。値には、YとNがあります。
住所タイプ 5	SZAT5	文字	1	将来使用のために予約されたコード。
住所タイプ - 買掛金	SZATP	文字	1	住所録レコードが仕入先かどうかを示すコード。有効値はY(はい)、N(いいえ)、M(その他、単発の仕入先)、F(海外仕入先)です。このフィールドには、UDCテーブル H01/AS(住所タイプ - 買掛金)で定義されている値を入力する必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
住所タイプ-コード、 購買者	SZATPR	文字	1	住所録レコードの参照用としてデータ辞書に定義できるコード。
その他のコード	SZAB3	文字	1	将来使用のために予約されたコード。
住所タイプ-従業員	SZATE	文字	1	住所録レコードが従業員のものかどうかを示すコード。値には、YとNがあります。
補助元帳非アクティブコード	SZSBLI	文字	1	ブランクは住所番号を補助元帳として使えることを示します。
開始有効日	SZEFTB	日付	6	<p>住所録レコードが始めて有効になる日付。データベースで許可されている形式で指定します。データベースによっては、グレゴリオ暦の日付形式 (mmddyy または yymmdd) が入力できる場合と、ユリウス暦の日付形式で入力する必要がある場合があります。</p> <p>ユリウス暦の日付は、cyyddd (c は世紀数下 1 桁) という形式で表します。21 世紀のトランザクションには「1」を入力します。たとえば、6/1/2005 (2005 年 6 月 1 日) はユリウス暦では 105152 になります。6/1/04 (2004 年 6 月 1 日) は 104153 になります (2000 年は 2 月 29 日があるうるう年のためです)。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
住所番号 - 第 1	SZAN81	数字	8	<p>関連住所番号(販売担当者、法律事務所、会計士など)。多くの住所録プログラムでは、関連住所番号を基にレコードを照会できます。</p> <p>このフィールドの入力値は、バッチ処理の実行前にテーブルに値が存在する必要があります。したがって、関連住所番号を入力する場合は、先に関連住所レコードを処理する必要があります。</p>
住所番号 - 第 2	SZAN82	数字	8	SZAN81 フィールドの説明を参照してください。
住所番号 - 第 3	SZAN83	数字	8	SZAN81 フィールドの説明を参照してください。
住所番号 - 第 4	SZAN84	数字	8	SZAN81 フィールドの説明を参照してください。
住所番号 - 第 5	SZAN86	数字	8	SZAN81 フィールドの説明を参照してください。
ファクター/代替支払先	SZAN85	数字	8	<p>買掛金管理で代替支払先の住所を識別する住所番号。</p> <p>このフィールドの入力値は、バッチ処理の実行前に F0101 テーブルに値が存在する必要があります。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
住所録カテゴリコード01-30	SZAC01 - SZAC30	文字	3	<p>カテゴリコード。カテゴリコードフィールドには、対応するUDCテーブル01/01-01/30で定義されている値を入力する必要があります。</p> <p>買掛管理システムでは、カテゴリコード07は1099レポート用に使用されます。</p>
銀行勘定科目	SZGLBA	文字	8	<p>住所録レコードに関連付けられた銀行勘定科目を識別する値。このフィールドは参照情報用で、EnterpriseOneの会計処理で使用されることはありません。会計トランザクションに関連付けられている銀行勘定科目は、AAI(自動仕訳)に基づいて更新されます。</p>
時間-帰社予定	SZPTI	数字	6	<p>ユーザーの帰社予定時間。HH.MMの形で入力します。</p>
日付-帰社予定	SZPDI	日付	6	<p>ユーザーの帰社予定日付。データベースで許可されている形式で指定します。データベースによっては、グレゴリオ暦の日付形式が入力できる場合と、ユリウス暦の日付形式で入力する必要がある場合があります。</p> <p>詳細については、SZEBDTフィールドの説明を参照してください。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
アクション-メッセージ制御	SZMSGGA	文字	1	ワークフローのメッセージを表示するかどうかを示すコード。「Y」を指定すると、クリアまたは処理されたメッセージも含め、全てのメッセージが表示されます。Y以外の値は、現在のメッセージのみが表示されることを意味します。
備考	SZRMK	文字	30	注記、説明、名前などを記述する情報フィールド。住所録システムのフォームには、このフィールドは表示されません。
免税証明	SZTXCT	文字	20	免税される個人と会社に対して納税先が交付する許可証明書または免税証明書を識別する番号。
追加税ID-個人	SZTX2	文字	20	個人に対して納税先が割り当てる追加識別番号。
名称(カナ)	SZALP1	文字	40	ダブルバイトのコーディングに対応する代替名。
郵送宛名	SZMLNM	文字	40	郵送用のレポートやラベルに記載する名前。このフィールドを空白にすると、SZALPHフィールドに入力した値が使用されます。
第2 郵送宛名	SZMLN1	文字	40	ダブルバイトのコーディングに対応する代替名。
住所行 1、住所行 2、住所行 3、住所行 4	SZADD1 SZADD2 SZADD3 SZADD4	文字	40	住所録レコードの郵送先住所を識別する文字、英数字の値。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
郵便番号	SZADDZ	文字	12	郵便物の配達用に各国の郵便機関によって住所に対して割り当てられたコード。
市	SZCTY1	文字	25	住所に使用する市。
国	SZCTR	文字	3	住所に使用する国。このフィールドには、UDC テーブル 00/CN (国コード) で定義されている値を入力する必要があります。
都道府県(州)	SZADDS	文字	3	住所に使用する州または都道府県。このフィールドには、UDC テーブル 00/S (都道府県) で定義されている値を入力する必要があります。
郡	SZCOUN	文字	25	郵便物の配達または税務上の目的で住所の表記に使用する群、地域、行政上の特別区。
市外局番	SZAR1	文字	6	電話番号の市外局番。米国では、カッコで囲んだ3つの文字を使用します。 米国以外の市外局番で別の形式を使用する場合は、項目 AR1 のデータ辞書の表示ルールフィールドを変更する必要があります。
電話番号	SZPH1	文字	20	住所録レコードに関連付けられた電話番号。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
電話番号タイプ 1	SZPHT1	文字	4	SZPH1 フィールドに対応する電話番号タイプを指定するコード。たとえば、FAX、CELL、HOME、WORKなどを指定します。このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 01/PH(電話タイプ)で定義されている必要があります。
電話番号 2	SZPH2	文字	20	住所録レコードに関連付けられている第 2 の電話番号。
電話番号タイプ 2	SZPHT2	文字	4	SZPH2 フィールドに対応する電話番号タイプを指定するコード。たとえば、FAX、CELL、HOME、WORKなどを指定します。このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 01/PH(電話タイプ)で定義されている必要があります。
ティッカー	SZTICKER	文字	10	企業の銘柄コード(ティッカー記号)を指定するコード。
株式取引	SZEXCHG	文字	10	株式を取引する証券取引所を指定するコード。
D-U-N-S No.	SZDUNS	文字	13	企業の DUNS 番号を指定するコード。この番号は Dun And Bradstreet の ID 番号で、企業の与信レポート入手の際に使用します。
CLASS01	SZCLASS01	文字	3	企業分類コード。ユーザー定義コード(01/CA)から有効な値を入力してください。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
CLASS02	SZCLASS02	文字	3	企業分類コード。ユーザー定義コード(01/CB)から有効な値を入力してください。
CLASS03	SZCLASS03	文字	3	企業分類コード。ユーザー定義コード(01/CC)から有効な値を入力してください。
CLASS04	SZCLASS04	文字	3	企業分類コード。ユーザー定義コード(01/CD)から有効な値を入力してください。
CLASS05	SZCLASS05	文字	3	企業分類コード。ユーザー定義コード(01/CE)から有効な値を入力してください。
従業員数	SZNOE	数字	15	顧客または仕入先の従業員数。
増加率	SZGROWTHR	数字	8	企業の収益伸び率を指定するコード。
開始年度	SZYEARSTAR	文字	15	取引開始年を指定するコード。
従業員グループ承認	SZAEMPGP	文字	5	従業員の承認処理グループを指定するコード。このフィールドは購買要求セルフサービスでのみ使用されます。
将来使用インジケータ	SZACTIN	文字	1	このフィールドは、将来使用するために用意されています。
収益範囲	SZREVRNG	文字	5	企業の収益高の範囲を示す値。ユーザー定義コード(01/RR)から有効な値を入力してください。

無視されるフィールド

以下の表は、F0101Z2 テーブルで無視されるフィールドの一覧です。これらのフィールドの値は使用されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
EDI-伝票タイプ	SZEDCT	文字	2
EDI-変換フォーマット	SZEDFT	文字	10
EDI-送信日付	SZEDDT	日付	6
圧縮記述	SZDC	文字	40
トランザクション入力者	SZTORG	文字	10
ユーザーID	SZUSER	文字	10
プログラムID	SZPID	文字	10
ワークステーションID	SZJOBN	文字	10
更新日付	SZUPMJ	日付	6
時刻	SZTDAY	日付	6
最終更新時刻	SZUPMT	数字	6

ユーザー予約フィールド

以下の表は、F0101Z2 テーブルでユーザー使用のため予約されているフィールドの一覧です。これらのフィールドは、EnterpriseOne プログラムでは更新されません。また、住所録システムのフォームにもこれらのフィールドは表示されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
ユーザー予約コード	SZURCD	文字	3	英数字3文字以内のユーザー定義の値。
ユーザー予約日付	SZURDT	日付	6	データベースで使用可能な形式のユーザー定義の日付。
ユーザー予約金額	SZURAT	数字	15	データベースで使用可能な形式のユーザー定義の金額。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
ユーザー予約番号	SZURAB	数字	8	8桁までのユーザー定義の番号。
ユーザー予約参照	SZURRF	文字	15	15文字以内の英数字からなるユーザー定義の値。

業種別顧客マスター – バッチ テーブル (F03012Z1) のフィールドのマッピング

このセクションでは、F03012Z1 テーブルのフィールドの一覧を記載します。フィールドによっては、顧客マスター バッチ アップロード プログラム (R03010Z) を実行する際の必須フィールドとなります。その他は任意のフィールドです。

必須フィールド

以下は、F03012Z1 テーブルの必須フィールドの一覧です。フィールドによっては、空白が有効値となります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-ユーザーID	VOEDUS	文字	10	ユーザー定義のID番号。処理実行者のユーザーID、または従業員ワークセンタープログラム (P012501) でのメッセージの受信者のユーザーIDを入力します。このフィールドと、VOEDTNおよびVOEDBTの各フィールドを組み合わせることにより、トランザクションが個別に識別されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-バッチ番号	VOEDBT	文字	15	VOEDTN および VOEDUS フィールドと組み合わせることにより、指定したバッチ内のトランザクションを個別に特定するコード。このフィールドはレベル区切りとしても使用され、この値が変わるごとに EnterpriseOne のバッチ番号が新しく割り当てられます。各トランザクショングループに1つのバッチ番号を割り当てることで、パフォーマンスを大幅に向上することができます。
EDI-トランザクション番号	VOEDTN	数字	22	各トランザクションを識別するコード。トランザクション番号ごとに、異なる住所録レコードを示します。1つのバッチに、番号の重複したトランザクションが存在することはできません。このフィールドには、トランザクションを簡単に識別できるようにソースシステムの伝票番号が含まれることが多くあります。
EDI-行番号	VOEDLN	数字	7	レコードを個別に識別する番号。各トランザクションには、連続する複数の行番号を入力できます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-処理済み	VOEDSP	文字	1	<p>このフィールドはブランクにしてください。このフィールドには、トランザクションが正常に終了したかどうかを示す値が自動的に入力されます。Nは、トランザクションが処理されなかったか、エラーが発生したことを示します。トランザクションが正常に終了すると、値がYに変わります。</p> <p>送信処理の場合、この値はNに更新されます。</p>
アクションコード	VOTNAC	文字	2	<p>新規のトランザクションを処理する場合は、このフィールドに「A」と入力します。既存レコードの変更を処理する場合は、「C」と入力します。既存レコードの削除を処理する場合は、「D」と入力します。レコードの変更と削除は全て、追加処理の後に行われます。</p> <p>送信処理の場合、このフィールドは変更後トランザクション(UA)または変更前トランザクション(UB)のいずれかに更新されます。顧客マスター MBF (P0100042) の処理オプションがオンになっている場合にのみ、UBに更新されます。</p> <p>送信処理では、追加には「A」を、削除には「D」を入力することもできます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
住所番号	VOAN8	数字	8	顧客を一意に識別する数値。 このフィールドに入力する値は、F0101テーブルに存在している必要があります。テーブルに存在しない場合、レコードは処理されません。
会社番号	VOCO	文字	5	顧客の会社を識別する値。会社番号は業種(会社)別処理で使用します。顧客に対して入力した会社番号だけでなく、会社 00000 のレコードも処理されます。このフィールドを空白にすると、会社 00000 が使用されます。
通貨コード - 住所録金額	VOCRCA	文字	3	このフィールドは、多通貨機能がアクティブになっている場合に限り、表示されます。 VOASTYとVOSPYEフィールドの通貨を識別するコード。このフィールドに入力する値は、通貨コードテーブル(F0013)に存在している必要があります。 このフィールドを空白にすると、顧客マスター(P03013)の処理オプションで入力した値が使用されます。処理オプションが空白の場合は、このフィールドは、F0101テーブルのビジネスユニットの会社に対応する通貨コードで更新されます。

売掛管理システムで使用される任意フィールド

以下の表は、売掛管理システムで使用される F03012Z1 の任意フィールドの一覧です。これらのフィールドを使用して、トランザクションに関する追加情報を提供することができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
トランザクションタイプ	VOTYTN	文字	2	トランザクションのタイプを識別する値。このフィールドをブランクにすると、顧客マスター MBF (P0100042) のトランザクションタイプの処理オプションの値が使用されます。
送受信インジケータ	VODRIN	文字	1	<p>バッチジョブが、受信処理、送信処理のどちらであるかを示す番号。</p> <p>受信処理の場合は、「0」(ゼロ)を入力します。</p> <p>送信処理の場合は、このフィールドはブランクにします。このフィールドは、レコードが“変更前”に指定されている場合は1、“変更後”であれば2に更新されます。顧客マスター MBF (P0100042) の処理オプションにより、テーブルに変更前トランザクションの書き込みを行うかどうかを指定します。</p> <p>このフィールドはバッチアップロードプログラムのデータ選択の際に使用され、送信処理用のレコードをアップロードしないように、値0の検索が行われます。</p>
EDI-処理済み明細行数	VOEDDL	数字	5	特定のトランザクションに含まれる明細行数を示す番号。これは参照用のフィールドです。
取引先 ID	VOPNID	文字	15	電子データ交換 (EDI) で、取引先を識別するために使用する値。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
元帳クラス	VOARC	文字	4	<p>VOCO フィールドと組み合わせることにより、トランザクションを転記する先の売掛金勘定を指定する値。</p> <p>AAI 項目 PCxxxx (xxxx は元帳クラスフィールドの値) で設定した勘定科目が、転記処理で使用されます。</p> <p>取引によって異なる相殺勘定科目を割り当てる場合を除き、このフィールドには値を入力する必要はありません。</p>
ビジネスユニット - 売掛デフォルト値	VOMCUR	文字	12	<p>VOOBAR および VOAIDR フィールドと組み合わせることにより、請求書の入力時に使用される収益勘定を定義する番号。</p> <p>モデル仕訳のフィールド (VOCKOR、VODCAR、VODTAR) に値を入力する場合は、このフィールドには値を入力しないでください。このフィールドの値は、モデル仕訳に割り当てられる収益勘定によって上書きされます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
主科目 - 売掛デフォルト値	VOOBAR	文字	6	<p>VOMCUR および VOaidR フィールドと組み合わせることにより、請求書の入力時に使用されるデフォルトの収益勘定を定義する番号。</p> <p>モデル仕訳のフィールド (VOCKOR、VODCAR、VODTAR) に値を入力する場合は、このフィールドには値を入力しないでください。このフィールドの値は、モデル仕訳に割り当てられる収益勘定によって上書きされます。</p>
補助科目 - 売掛デフォルト値	VOaidR	文字	8	<p>VOOBAR フィールドと組み合わせることにより、請求書の入力時に使用されるデフォルトの収益勘定を定義する番号。</p> <p>モデル仕訳のフィールド (VOCKOR、VODCAR、VODTAR) に値を入力する場合は、このフィールドには値を入力しないでください。このフィールドの値は、モデル仕訳に割り当てられる収益勘定によって上書きされます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
伝票会社 - 売掛モデル	VOKCOR	文字	5	<p>VODCAR および VODTAR フィールドと組み合わせることにより、請求書の入力時に使用されるデフォルトの収益勘定を定義する番号。</p> <p>デフォルトの収益勘定の各フィールド (VOMCUR、VOOBAR、VOAIDR) に値を入力する場合は、モデル仕訳のフィールドは指定しないでください。モデル仕訳を入力すると、デフォルトの収益勘定がモデル仕訳によって上書きされます。</p>
伝票番号 - 売掛モデル	VODCAR	文字	8	<p>VOKCOR および VODTAR フィールドと組み合わせることにより、請求書の入力時に使用されるデフォルトの収益勘定を定義する番号。入力した値は、検証されません。</p> <p>デフォルトの収益勘定の各フィールド (VOMCUR、VOOBAR、VOAIDR) に値を入力する場合は、モデル仕訳のフィールドは指定しないでください。モデル仕訳を入力すると、デフォルトの収益勘定がモデル仕訳によって上書きされます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
伝票タイプ-売掛モデル	VODTAR	文字	2	<p>VOKCOR および VODCAR フィールドと組み合わせることにより、請求書の入力時に使用されるモデル仕訳を示す番号。入力した値は、検証されません。</p> <p>デフォルトの収益勘定の各フィールド (VOMCUR、VOOBAR、VOAIDR) に値を入力する場合は、モデル仕訳のフィールドは指定しないでください。モデル仕訳を入力すると、デフォルトの収益勘定がモデル仕訳によって上書きされます。</p>
通貨コード	VOCRCD	文字	3	<p>このフィールドは、多通貨機能がアクティブになっている場合に限り、表示されます。</p> <p>請求書の入力時にその顧客に対して使用するデフォルトの通貨を示す値。このフィールドには、F0013 テーブルにある値を入力してください。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、請求書に入力された会社に対応する通貨が使用されます。</p>
税率/税域	VOTXAI	文字	10	<p>顧客の請求書に使用するデフォルトの税率/税域を示す値。税率/税域テーブル (F4008) にある値を入力してください。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
税目コード	VOEXR1	文字	2	顧客の請求書に使用するデフォルトの税目コードを示す値。このフィールドには、UDCテーブル00/EX(税目コード)にある値を入力してください。
金額 - 与信限度額	VOACL	数字	15	<p>データベースで使用可能な形式の与信限度額を示す値。データベースによっては小数点以下桁数を使用できます。このフィールドの更新は与信管理者が設定し、ワークフロー処理をオフにする必要があります。</p> <p>ワークフロー処理をオフにしないと、与信限度の承認メッセージがVOCMGフィールドで指定したユーザーに送信され、このフィールドは自動的に更新されません。デフォルトでは、与信限度額の承認がワークフロー処理でオンになっています。</p>
請求書保留	VOHDAR	文字	1	<p>顧客への請求書を全て保留に指定するコード。有効値は以下のとおりです。</p> <p>Y: 請求書を保留する。新規の請求書の入力はできません。受注オーダーと入荷情報は入力できません。</p> <p>N: 請求書を保留しない。新規請求書の入力ができます。</p> <p>ブランクの場合、Nが使用されます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
支払条件	VOTRAR	文字	3	顧客請求書の支払条件を定義する値。このフィールドには、支払条件テーブル(F0014)にある値を入力してください。
計算書送付先	VOSTTO	文字	1	計算書の送付先の住所を示すコード。有効値は以下のとおりです。 C:顧客 P:親住所 1: 第1住所番号 2: 第2住所番号 3: 第3住所番号 4: 第4住所番号 5: 第5住所番号 6: 第6住所番号(ファクター/代替支払先)
支払手段	VORYIN	文字	1	顧客への支払方法を指定するコード。UDCテーブル00/PY(支払手段)にある値を入力してください。
計算書の印刷(Y/N)	VOSTMT	文字	1	顧客が、計算書または請求書の受け取り対象となるかどうかを指定するコード。デフォルトはYで、請求書または計算書が印刷されます。
代替支払人	VOARPY	文字	1	PYRフィールドに割り当てられた顧客以外の個人または会社。このフィールドをブランクにすると、レコードを処理する際に顧客番号で更新されず。このフィールドには、F0101テーブルにある値を入力してください。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
自動入金 (Y/N)	VOATCS	文字	1	この顧客が、自動入金 (ロックボックス) を使用して入金処理できるかどうかを示すコード。このフィールドをブランクにすると、レコードを処理した時点で、Y に更新されます。
請求書送付先	VOSITO	文字	1	請求書の送付先の住所を示すコード。有効値は以下のとおりです。 C: 顧客 P: 親住所 1: 第 1 住所番号 2: 第 2 住所番号 3: 第 3 住所番号 4: 第 4 住所番号 5: 第 5 住所番号 6: 第 6 住所番号 (ファクター/代替支払先)
計算書発行サイクル	VOCYCN	文字	2	顧客の計算書を印刷する期間を識別するコード。このコードを使用して、具体的な請求サイクルを指定することもできます。このフィールドをブランクにすると、レコードを処理した時点で顧客名のイニシャル文字が自動入力されます。
一時与信メッセージ	VOTSTA	文字	2	顧客に対する一時的な与信条件を表すコード。このフィールドには、UDC テーブル 01/CM (与信メッセージ) にある値を入力する必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
最終与信検討日	VODLC	日付	6	<p>顧客の最終与信検討日。データベースで使用可能な形式で指定します。データベースによっては、グレゴリオ暦の日付形式 (mmddyy または yymmdd) が入力できる場合と、ユリウス暦の日付形式で入力する必要がある場合があります。</p> <p>ユリウス暦の日付は、cyyddd (c は世紀数下 1 桁) という形式で表します。21 世紀に発生するトランザクションには、「1」を入力します。たとえば、6/1/2001 (2001 年 6 月 1 日) はユリウス暦では 101152 になります。6/1/00 (2000 年 6 月 1 日) は 100153 になります (2000 年は 2 月 29 日があるうるう年のためです)。</p>
延滞通知 (Y/N)	VODNLT	文字	1	顧客が延滞通知の受け取り対象となるかどうかを指定するコード。ブランクは、顧客が延滞通知の受け取り対象であることを示しています。
最終与信検討の担当者	VOPLCR	文字	10	顧客の最終的な与信検討を行った担当者を示すコード。入力した値とテーブルとの照合は行われません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
与信検討日付	VORVDJ	日付	6	顧客の与信状況を検討する日時を示す日付。 検討要求日付は、データベースで使用可能な形式で指定してください。例については、データ項目 VODLC を参照してください。
与信管理者	VOCMGR	文字	10	ワークフローメッセージの送信先の与信管理者を示すコード。 ワークフローメッセージを受信するには、与信管理者の住所録レコードが F0101 テーブルに存在する必要があります。 また、このフィールドの指定値が、[記述 2] フィールドに割り当てられた住所番号と共に、UDC テーブル 01/CR で定義されている必要があります。
回収管理	VOCLMG	文字	10	ワークフローメッセージの送信先の回収管理者を示すコード。 ワークフローメッセージを受信するには、回収管理者の住所録レコードが F0101 テーブルに存在する必要があります。 また、このフィールドの指定値が、[記述 2] フィールドに割り当てられた住所番号と共に、UDC テーブル 01/CR で定義されている必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
回収レポート(Y/N)	VOCOLL	文字	1	顧客の住所番号が、回収レポートに印刷する対象となるかどうかを指定するコード。このフィールドをブランクにすると、レコードを処理した時点で、Yに更新されます。
延滞利息金の適用(Y/N)	VOAFC	文字	1	延滞利息金を顧客に適用するかどうかを指定するコード。このフィールドに「N」と入力した場合、その顧客は手数料処理の対象外になります。このフィールドをブランクにすると、レコードを処理した時点で、Nに更新されます。
初回請求書日付	VODFIJ	日付	6	最初の請求書をシステムに入力した日付。データベースで使用可能な形式で指定します。例については、データ項目 VODLC を参照してください。 このフィールドをブランクにして、売掛金統計実績のリフレッシュプログラム (R03B16) の実行時に値を自動的に更新することもできます。
前回請求書日付	VODLIJ	日付	6	最後の請求書をシステムに入力した日付。データベースで使用可能な形式で指定します。例については、データ項目 VODLC を参照してください。 このフィールドをブランクにして、売掛金統計実績のリフレッシュプログラムを実行することもできます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
前回支払日付	VODLP	日付	6	<p>前回支払を受け取った日付。データベースで使用可能な形式で指定します。例については、データ項目 VODLC を参照してください。</p> <p>このフィールドをブランクにして、売掛金統計実績のリフレッシュプログラムの実行時に値を自動的に更新することもできます。</p>
Dun & Bradstreet 格付	VODB	文字	3	Dun & Bradstreet による格付を示す値。
Dun & Bradstreet 日付	VODNBJ	日付	6	Dun & Bradstreet 格付が提供された日付。データベースで使用可能な形式で指定します。例については、データ項目 VODLC を参照してください。
TRW 格付	VOTRW	文字	3	TRW (Experian) による格付を示す値。
TRW 日付	VOTWDJ	日付	6	TRW 格付が提供された日付。データベースで使用可能な形式で指定します。例については、データ項目 VODLC を参照してください。
未決済請求額	VOAD	数字	15	将来使用するために用意されています。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
金額 - 前年度延滞金	VOAFCP	数字	15	<p>当年度と過去の年度の延滞利息金。データベースで使用可能な形式で指定します。データベースによって、小数を入力できる場合とできない場合があります。</p> <p>多通貨機能を使用している場合は、顧客マスター情報プログラム (P03013) の [通貨コード - 住所録金額] フィールド (VOCRCA) に対応する通貨で入力する必要があります。</p> <p>このフィールドをブランクにして、売掛金統計実績のリフレッシュプログラムの実行時に値を自動更新することもできます。</p>
金額 - 年累計延滞利息	VOAFCY	数字	15	<p>当年度と過去の年度の延滞利息金を表す数字。データベースで使用可能な形式で指定します。データベースによって、小数を入力できる場合とできない場合があります。</p> <p>多通貨機能を使用している場合は、顧客マスター情報プログラムの [通貨コード - 住所録金額] フィールド (VOCRCA) に対応する通貨で入力する必要があります。</p> <p>このフィールドをブランクにして、売掛金統計実績のリフレッシュプログラムの実行時に値を自動更新することもできます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
今年度請求額	VOASTY	数字	15	<p>当年度と過去の年度の請求済み金額を表す数字。データベースで使用可能な形式で指定します。データベースによって、小数を入力できる場合とできない場合があります。</p> <p>多通貨機能を使用している場合は、P03013プログラムの[通貨コード-住所録金額]フィールド(VOCRCA)に対応する通貨で入力する必要があります。</p> <p>このフィールドをブランクにして、売掛金統計実績のリフレッシュプログラムの実行時に値を自動更新することもできます。</p>
請求済み金額	VOSPYE	数字	15	<p>当年度と過去の年度の請求済み金額を表す数字。データベースで使用可能な形式で指定します。データベースによって、小数を入力できる場合とできない場合があります。</p> <p>多通貨機能を使用している場合は、[通貨コード-住所録金額]フィールド(VOCRCA)の値に対応する通貨で入力する必要があります。</p> <p>このフィールドの自動更新は、実績の年次締めプログラム(R03B161)を実行する際にのみ行われます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
前回支払金額	VOALP	数字	15	<p>この顧客から最後に受領した支払金額を表す数字。データベースで使用可能な形式で指定します。データベースによって、小数を入力できる場合とできない場合があります。</p> <p>このフィールドをブランクにして、売掛金統計実績のリフレッシュプログラムの実行時に値を自動更新することもできます。</p>
顧客情報設定日	VODAOJ	日付	6	<p>顧客レコードをシステムに入力した日付。データベースで使用可能な形式で指定します。例については、データ項目 VODLC を参照してください。このフィールドをブランクにすると、レコードを処理した日付に更新されます。</p>
方針番号(内部用)	VOPLY	数字	5	<p>売掛管理の延滞方針を表す内部コード。このフィールドは、[顧客マスター情報] フォームに方針名が入力された時点で更新されます。売掛金延滞方針が設定されている場合、売掛金延滞処理方針マスター (F03B25) に保存された方針名に関連付けられている方針 ID 番号 (RFPLY) でこのフィールドを更新することができます。このフィールドに入力する値は、このテーブルの項目に対して検証されます。</p>
損金管理者	VOMAN8	文字	1	<p>損金管理の責任者の住所番号。このフィールドには、F0101 テーブルにある値を入力してください。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
自動入金実行リスト	VOARL	文字	10	入金と請求書を特定の順序で照合する自動入金処理のアルゴリズムのリストを表す値。このフィールドに入力する値は、入金消込アルゴリズム実行リストテーブル (F03B50) に存在している必要があります。
住所録カテゴリコード 01 - 30	VOAC01 - VOAC30	文字	3	住所録システムで定義され、売掛管理システムでレポート用に使用されるコード。これらのフィールドに入力する値はいずれも、対応するUDCテーブル 01/01 - 01/30 (住所録カテゴリコード) に存在している必要があります。 住所録マスター (ABAC01 - ABAC30) の各カテゴリコードに入力する値は、これらのフィールドには反映されません。

受注管理システムで使用される任意フィールド

次の表では、受注管理システムで使用される F03012Z1 テーブルの任意フィールドを記載します。これらのフィールドを使用して、トランザクションに関する追加情報を提供することができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
ABCコード - 売上	VOABC1	文字	1	<p>顧客または在庫品目の売上レベルを示すコード。このフィールドは8割2割の法則(利益の80%は全体の20%の製品によって生み出される)を使用していることを示すものです。A(最高)からF(最低)までの等級があります。</p> <p>このフィールドをブランクにしてABC分析プログラム(R4164)を実行することにより、コードを割り当てることもできます。</p>
ABCコード - 在庫	VOABC2	文字	1	<p>平均投資額別に品目のランク付けを表すコード。有効値は以下のとおりです。</p> <p>A:品目を第1の金額ランク(A級)に割り当てます。</p> <p>B:品目を第2の金額ランク(B級)に割り当てます。</p> <p>C:品目を第3の金額ランク(C級)に割り当てます。</p> <p>D:品目をABC分析の対象から除外します。</p> <p>このフィールドをブランクにしてABC分析プログラムを実行することにより、以下のような値に基づいてコードを割り当てることもできます。</p> <p>平均投資総額をビジネスユニットの平均値で除算した値。</p> <p>品目の計算価値の合計と一致する投資額。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
ABCコード平均日数	VOABC3	文字	1	顧客が請求書の支払に要する平均日数を表すコード。このフィールドは8割2割の法則(利益の80%は全体の20%の製品によって生み出される)を使用していることを示すものです。A(最高)からF(最低)までの等級があります。 このフィールドをブランクにしてABC分析プログラムを実行することにより、コードを割り当てることもできます。
受注残額	VOAPRC	数字	15	この顧客で未決済になっているオーダーの合計金額を表す値。データベースで使用可能な形式で指定します。データベースによって、小数を入力できる場合とできない場合があります。
最大オーダー値	VOMAXO	数字	15	入力可能なオーダーの最大金額を示す値。オーダーの金額がこのフィールドの値を上回ると、エラーが返されます。
最小オーダー金額	VOMINO	数字	15	入力可能なオーダーの最小金額を示す値。オーダーの金額がこのフィールドの値を下回ると、エラーが返されます。
年累計オーダー	VOOYTD	数字	3	現行年度のオーダー数。
前年度オーダー	VOOPY	数字	3	前年度のオーダー数。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
関連住所番号	VOAN8R	数字	8	<p>出荷先住所と販売先住所を関連付ける値。たとえば、受注オーダー入力で出荷先住所のみを入力すると、システムではこのフィールドの値を使って、関連住所番号のリストから販売先フィールドの値として使用する住所番号を選択します。</p> <p>このフィールドに入力できる値は1から7までです。このフィールドには、UDCテーブル 40/RA(関連住所番号)にある値を入力する必要があります。</p>
請求住所タイプ	VOBADT	文字	1	<p>指定した住所を販売先、出荷先、またはその両方の住所として使用するよう指示するコード。有効値は以下のとおりです。</p> <p>X: 請求先住所と出荷先住所を指定します。</p> <p>S: 出荷先住所のみを指定します。</p> <p>B: 請求先住所のみを指定します。</p> <p>このフィールドに入力する値は、UDCテーブル H42/BA(請求先住所タイプ)に存在している必要があります。</p>
顧客価格グループ	VOCPGP	文字	8	<p>顧客のグループを識別するコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 40/PC(顧客価格グループ)に存在している必要があります。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
オーダーテンプレート	VOORTP	文字	8	最も頻繁に注文する品目のリストを示すコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 40/OT (オーダーテンプレート) に存在している必要があります。
取引値引	VOTRDC	数字	7	システムが各品目に適用する値引率のパーセント値。値引には、このパーセントだけが適用されます。価格を入力すると、値引率を上書きすることができます。値引率は、整数(5%であれば5)で指定します。
印刷メッセージ	VOINMG	文字	10	購買オーダーに印刷されるメッセージに割り当てられるコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 40/PM (印刷メッセージ) に存在している必要があります。
与信チェックの免除	VOEXHD	文字	1	顧客が、受注オーダー処理サイクルで与信チェックの免除対象となるかどうかを示すコード。有効値は以下のとおりです。 Y:この顧客の与信チェックを実施しない。 N:この顧客の与信チェックを実施する。受注オーダー入力の処理オプションで与信チェックをオンにすると、顧客がその限度を超えた時点で、オーダーが保留になります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
保留オーダーコード	VOHOLD	文字	2	オーダーが保留された理由を示すコード。このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 42/HC (コード保留) に存在している必要があります。
経路コード	VOROUT	文字	3	<p>顧客の配送経路を示すコード。このフィールドは、オーダーにかかる輸送費の計算時に運賃集計機能で使用されるフィールドの1つです。</p> <p>ピッキングの場合は、配送経路/中継点コードおよび区域コードを使用して、特定経路の配送車両に積載する品目を分類します。</p> <p>このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 42/RT (経路コード) に存在している必要があります。</p> <p>このフィールドのデフォルトは、[顧客請求指示] フォームで設定します。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
中継点コード	VOSTOP	文字	3	<p>配送経路上の中継点を示すコード。このフィールドは、オーダーにかかる輸送費の計算時に運賃集計機能で使用されるフィールドの1つです。</p> <p>ピッキングの場合は、中継点コードと配送経路/区域コードを使用して、特定経路の配送車両に積載する品目を分類します。</p> <p>このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 42/SP(中継点コード)に存在する必要があります。</p> <p>このフィールドのデフォルトは、[顧客請求指示]フォームで設定します。</p>
配送区域番号	VOZON	文字	3	<p>顧客の配送区域を示すコード。このフィールドは、オーダーにかかる輸送費の計算時に、運賃集計機能で使用されるフィールドの1つです。</p> <p>ピッキングの場合は、区域コードと配送経路/中継点コードを使用して、特定経路の配送車両に積載する品目を分類します。</p> <p>このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 40/ZN(配送区域番号)に存在する必要があります。</p> <p>このフィールドのデフォルトは、[顧客請求指示]フォームで設定します。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
運送業者番号	VOCARS	数字	8	運送業者の住所番号を表す値。 このフィールドには、F0101テーブルにある値を入力してください。
配送指示行 1	VODEL1	文字	30	このフィールドを使用して、配送指示を入力します。
配送指示行 2	VODEL2	文字	30	このフィールドを使用して、配送指示を入力します。
輸送日数	VOLTDT	数字	5	商品の配送にかかる日数を表す値。このフィールドに値を入力すると、受注オーダー明細プログラム (P4210) では、約束配送日付からこの値を減算して、ピッキングリリース日付を計算します。
貨物取扱コード	VOFRTH	文字	5	顧客の入荷方法を指定するコード。このコードで、運賃の責任者を指定することができます。このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 42/FR (貨物取扱コード) に存在している必要があります。
運賃の適用	VOAFT	文字	1	システムが処理中に運賃計算を実行するかどうかを示すコード。有効値は以下のとおりです。 Y:処理中に運賃計算を実行する。 N:処理中に運賃計算を実行しない。 このフィールドをブランクにすると、レコードを処理した時点で、Yに更新されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
部分オーダー出荷可 (Y/N)	VOAPTS	文字	1	<p>顧客が行全体の一括出荷を要求しているか、複数の部分出荷を認めているかを指定するコード。有効値は以下のとおりです。</p> <p>Y: 顧客が一括出荷を要求している。</p> <p>N: 部分出荷を許可している。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、レコードを処理した時点で、Yに更新されます。</p>
代替品許可 (Y/N)	VOSBAL	文字	1	<p>顧客が代替品を許可しているかどうかを示すコード。有効値は以下のとおりです。</p> <p>Y: 顧客が代替品を許可している。</p> <p>N: 顧客が代替品を許可していない。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、レコードを処理した時点で、Yに更新されます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
バックオーダー許可 (Y/N)	VOBACK	文字	1	<p>顧客が、特定の品目のバックオーダーを認めるかどうかを示すコード。バックオーダーの許可は、品目マスタープログラム (P4101) または事業所品目プログラム (P41012) を使用して品目別に設定するか、顧客請求指示プログラム (P03013) を使用して顧客別に設定するか、または事業所固定情報プログラム (P41001) を使用して事業所別に設定できます。有効値は以下のとおりです。</p> <p>Y: この品目のバックオーダーを認める。</p> <p>N: 顧客に割り当てられたバックオーダーコードにかかわらず、この品目のバックオーダーを認めない。</p>
顧客購買オーダー必須 (Y/N)	VOPORQ	文字	1	<p>顧客に購買オーダーが必要かどうかを示すコード。有効値は以下のとおりです。</p> <p>Y: 顧客の購買オーダー番号が必要。</p> <p>N: 顧客の購買オーダー番号は必須ではない。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
優先順位処理	VOPRIO	文字	1	<p>顧客のオーダーの優先順位を示すコード。この値によってピッキングリスト印刷の優先順序が決定されます。また、バックオーダーレポート(R42118)で、このコードにより、優先順位の高いオーダーから順にリリースするように指定することもできます。</p> <p>このフィールドに入力する値は、UDCテーブル H40/PR(優先順位処理コード)に存在している必要があります。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
与信チェックレベル	VOARTO	文字	1	<p>与信チェックの実行方法を制御するコード。有効値は以下のとおりです。</p> <p>P: 顧客の親番号に基づいて与信チェックを実行します。</p> <p>C: 顧客の番号だけに基づいて与信チェックを実行します。</p> <p>S: 顧客の番号だけに基づいて与信チェックを実行します。</p> <p>Pの実行方法を使用すると、親子の未決済の売掛金と受注オーダーの合計と親番号の与信限度額を照合します。たとえば、複数の事業所を持つ顧客の指示で、個別の与信チェックを全て1つの勘定科目にまとめる場合に使用します。</p> <p>注: 親番号、または顧客番号のレベルで与信チェックが実行可能な場合でも、顧客売上更新プログラム (R42800) の実行時に売掛金勘定トランザクションは全て [顧客 No.] フィールド (SDAN8) に転記されます。</p>
請求書コピー枚数	VOINVC	数字	2	印刷する請求書コピーの部数。
集計請求書	VOICON	文字	1	<p>顧客の請求書を集計するかどうか示すコード。有効値は以下のとおりです。</p> <p>Y: 複数の受注オーダーから単一の請求書を生成</p> <p>ブランク: レコードを処理した時点でNに更新</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
請求頻度	BOBLFR	文字	1	請求書を発行する間隔を決めるときに、請求書の処理頻度を定義するコード。有効値は以下のとおりです。 M:毎月 W:週次 D:日次 このフィールドに入力する値は、UDCテーブル H42/BL (請求頻度) に存在している必要があります。ただし、システムでは上記の値だけが認識されます。
次の請求書日付	VONIVD	日付	6	顧客の請求書を次回印刷する日付。データベースで使用可能な形式で指定します。例については、データ項目 VODLC を参照してください。 このフィールドと VOBLFR フィールドを組み合わせて、請求書の印刷頻度と印刷日が決まります。
ライセンス失効日	VOLEDJ	日付	6	ライセンスが失効する日付。
ピックアップリストの印刷 (Y/N)	VOPLST	文字	1	顧客のピックアップリスト、購買オーダー、または受注オーダーに価格情報を表示するかどうかを示すコード。このフィールドをブランクにすると、レコードを処理した時点で、Y に更新されます。
オーダーのマージ (Y/N)	VOMORD	文字	1	倉庫管理システムによる顧客オーダーの一括出荷とマージを防止するコード。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
パレットコントロール	VOPALC	文字	1	パレットの出荷を認めている顧客を識別するコード。有効値は以下のとおりです。 Yまたは1:顧客がパレットの出荷を許可している。 Nまたは0:顧客がパレットの出荷を許可していない。
容量表示単位	VOVUMD	文字	2	オーダーの数量を表す計量単位を示すコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル00/UM(計量単位)に存在している必要があります。このフィールドをblankにすると、在庫固定情報テーブル(F41001)に入力された値に更新されます。
重量表示単位	VOWUMD	文字	2	オーダーの重量を表す計量単位を表すコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル00/UM(計量単位)に存在している必要があります。このフィールドをblankにすると、F41001テーブルの値に更新されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
バッチ処理モード	VOEDPM	文字	1	<p>顧客のレコードについて、バッチ処理の禁止、またはテストモード/最終モードでの実行を示すコード。有効値は以下のとおりです。</p> <p>I: 禁止。顧客のバッチ処理は実行できません。</p> <p>T: テストモード。レコードの処理時にレポートのみ作成します。</p> <p>P: 最終モード。レコードの処理時にレポートの作成とオーダーの処理を実行します。</p>
品目タイプ ID	VOEDII	文字	1	<p>電子データ交換 (EDI) トランザクション用に転送する品目番号のタイプを指定するコード (たとえば UPC コードや仕入先部品番号など)。このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 40/II (品目タイプ ID) に存在している必要があります。</p>
顧客 ID	VOEDCI	文字	1	<p>EDI トランザクション用に転送する番号のタイプを指定するコード (たとえば DUNS 番号や電話番号など)。このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 40/CI (顧客タイプ ID) に存在している必要があります。</p>
数量の表示小数点以下桁数	VOEDQD	数字	1	<p>この顧客の EDI トランザクションの全ての数量フィールドに適用する表示小数点以下桁数。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
金額の表示小数点 以下桁数	VOEDAD	数字	1	この顧客の EDIトランザクションの全ての金額フィールドに適用する表示小数点以下桁数。
配送票	VOEDF1	文字	1	顧客の配送票を印刷するかどうかを指定するコード。このフィールドをブランクにすると、レコードを処理した時点で、Nに更新されます。
品目制約	VOEDF2	文字	2	仕入先に品目を発注するときに特定の制約を適用するかどうかを指定するコード。有効値は以下のとおりです。 I:[品目制約]フォームで設定されている場合にのみ、品目を購入できます。 E:[品目制約]フォームで設定されている場合は、品目を購入できません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
部分オーダー出荷可 (Y/N)	VOSI01	文字	1	<p>顧客がオーダー全体の一括出荷を要求しているか、複数の部分出荷を認めているかを指定するコード。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、レコードを処理した時点で、Yに更新されます。</p> <p>注: 部分出荷機能は、引当可能数量チェックをオンに設定している受注オーダー入力プログラムでオーダーを入力した場合にのみ有効に設定されます。これは、複数の明細行を1つのオーダーで処理できるのがこのプログラムにしかないためです。ピッキングリストや出荷確認で引当可能数量チェックを実行しても、オーダーの全ての行が処理されるかは保証されません。</p>
分析証明書の印刷	VOSI02	文字	1	分析証明を指定するコード。
特殊指示 03	VOSI03	文字	10	将来使用のために予約されています。
特殊指示 04	VOSI04	文字	10	将来使用のために予約されています。
特殊指示 05	VOSI05	文字	10	将来使用のために予約されています。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
販売価格基準日	VOCP01	文字	1	受注見出し (F4201) と受注明細 (F4211) で価格有効日付を決定する方法を指定する値。受注管理システムでは、[価格有効日付] フィールド (PEFJ) を使用して、品目基本価格 (F4106) テーブルから基本価格、また価格調整明細 (F4072) テーブルから調整価格を取得します。
価格および調整スケジュール	VOASN	文字	8	<p>価格調整スケジュールを表すコード。価格調整スケジュールには、顧客または品目に該当する調整タイプが1つまたは複数含まれます。調整は、スケジュールで指定された順序に従って実行されず。顧客と価格調整スケジュールの関連付けには、顧客請求指示を使用します。受注オーダーを入力すると、オーダー見出しの販売先住所に関連付けられたスケジュールがコピーされます。スケジュールは、明細行レベルで上書きすることができます。</p> <p>契約管理の場合、これは契約ペナルティスケジュールとして使用されます。契約ペナルティスケジュールの情報により、ペナルティの条件適用基準が規定されます。</p> <p>このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 40/AS (価格調整スケジュール) に存在している必要があります。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
請求書の価格調整 (Y/N)	VODSPA	文字	1	請求書に価格調整 明細を印刷するかど うかを指定するコード。 上級価格調整システム を使用している場合 にのみ、このフィー ルドが有効になりま す。
出荷ラベル印刷プロ グラム	VOSLPG	文字	10	顧客宛ての出荷ラ ベルを印刷するときに 使用するプログラムの 名前。
出荷ラベル印刷プロ グラムのバージョン	VOSLDW	文字	10	顧客宛ての出荷ラ ベルを印刷するときに 使用するプログラムの バージョン。
ピッキング/梱包コン フィギュレーション	VOCFPP	文字	18	顧客から指示され たデフォルトのピッキ ング/梱包コンフィグ レーション。
標準カートン梱包コ ンフィギュレーション	VOCFSP	文字	18	顧客から指示され たデフォルトの標準 カートン梱包コンフィ ギュレーション。
デフォルトコンフィ ギュレーション	VOCDFD	文字	1	顧客から指示され たデフォルトのカート ン梱包コンフィギュレ ーション。有効値は以 下のとおりです。 1: ピッキング/梱包コ ンフィギュレーション 2: 標準カートンコ ンフィギュレーション ブランク: この顧客に は UCC128 処理は実 行されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
梱包コード必須	VORQ01	文字	1	顧客に梱包コードが必要かどうかを示す値。有効値は以下のとおりです。 1: 顧客に梱包コードが必要 ブランク: 梱包コードは不要
重量コード必須	VORQ02	文字	1	顧客に重量コードが必要かどうかを示す値。有効値は以下のとおりです。 1: 顧客に重量コードが必要 ブランク: 重量コードは不要
識別コード 1 必須	VORQ03	文字	1	顧客に ID コードが必要かどうかを示す値。有効値は以下のとおりです。 1: 顧客に ID コードが必要。このフィールドに「1」を入力する場合は、CODR03 フィールドにも値を入力する必要があります。 ブランク: ID コードは不要
識別コード 2 必須	VORQ04	文字	1	顧客に ID コードが必要かどうかを示す値。有効値は以下のとおりです。 1: 顧客に ID コードが必要。このフィールドに「1」を入力する場合は、CODR04 フィールドにも値を入力する必要があります。 ブランク: ID コードは不要

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
輸送方法必須	VORQ05	文字	1	顧客に輸送方法が必要かどうかを示す値。有効値は以下のとおりです。 1: 顧客に輸送方法が必要 空白: 輸送方法は不要
配送経路必須	VORQ06	文字	1	顧客に配送経路の記述が必要かどうかを示す値。有効値は以下のとおりです。 1: 顧客に経路の記述が必要 空白: 経路コードの記述は不要
設備必須	VORQ07	文字	1	顧客に設備コードが必要かどうかを示す値。有効値は以下のとおりです。 1: 顧客に設備コードが必要 空白: 設備コードは不要
参照番号 1 必須	VORQ08	文字	1	顧客に参照番号が必要かどうかを示す値。有効値は以下のとおりです。 1: 顧客に参照番号が必要。このフィールドに「1」を入力する場合は、VODR08 フィールドにも値を入力する必要があります。 空白: 参照番号は不要

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
参照番号 2 必須	VORQ09	文字	1	顧客に参照番号が必要かどうかを示す値。有効値は以下のとおりです。 1: 顧客に参照番号が必要。このフィールドに「1」を入力する場合は、VODR09 フィールドにも値を入力する必要があります。 ブランク: 参照番号は不要
デフォルト識別コード修飾子 1	VODR03	文字	2	この顧客に使用するデフォルトの ID コード修飾子の値。このコードは在庫管理システムで使用されません。このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 41/X6 (X12 参照番号修飾子) に存在している必要があります。
デフォルト識別コード修飾子 2	VODR04	文字	2	この顧客に使用するデフォルトの ID コード修飾子の値。このコードは在庫管理システムで使用されません。このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 41/X6 (X12 参照番号修飾子) に存在している必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
デフォルト参照番号 修飾子 1	VODR08	文字	2	この顧客に使用するデフォルト参照番号修飾子の値。このコードは在庫管理システムで使用されず。このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 41/X6(X12 参照番号修飾子)に存在している必要があります。
デフォルト参照番号 修飾子 2	VODR09	文字	2	この顧客に使用するデフォルト参照番号修飾子の値。このコードは在庫管理システムで使用されず。このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 41/X6(X12 参照番号修飾子)に存在している必要があります。

無視されるフィールド

以下の表は、F03012Z1 テーブルで無視されるフィールドの一覧です。これらのフィールドは空白にします。これらのフィールドの値は使用されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
トランザクション入力者	VOTORG	文字	10
ユーザー ID	VOUSER	文字	10
プログラム ID	VOPID	文字	10
ワークステーション ID	VOJOBN	文字	10
最終更新時刻	VOUPMT	数値	6
更新日付	VOUPMJ	日付	6
時刻	VOTDAY	日付	6
EDI - 伝票タイプ	VOEDCT	文字	2
EDI - 変換フォーマット	VOEDFT	文字	10
EDI - 送信日付	VOEDDT	日付	6
元帳照会順序	VOSQNL	文字	1

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
自動入金アルゴリズム	VOALGM	文字	2
繰越残高/未決済売掛金	VOBO	文字	1
与信チェック処理コード	VOCKHC	文字	1
売掛金回収平均日数	VODSO	数値	5
督促状番号	VODLQT	数値	3
最終催促日	VODLQJ	日付	6
延滞通知内容	VONBRR	文字	1
延滞通知送付回数-1	VONBR1	数値	3
延滞通知送付回数-2	VONBR2	数値	3
延滞通知送付回数-3	VONBR3	数値	3
延滞金計算猶予日数	VOFD	数値	3
延滞利息自動入力 (Y/N)	VOCFCE	文字	1
入金保留	VOAB2	文字	1
財務諸表受領日	VOFNDJ	日付	6
売上未回収平均日数	VOAVD	数値	3
最高残高	VOAHB	数値	15
送付方法	VOCRMD	文字	1
最高残高	VOAHB	数値	15
管理用与信限度	VOAMCR	数値	15

CRM 用の追加フィールド

以下の表は、CRM システムで使用される追加フィールドの一覧です。CRM を使用している場合、これらのフィールドに値をロードできます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
階層 1	VOTIER1	文字列	45	ユーザー定義コードテーブル 01/T1 の値を入力して、顧客に関連付けられた階層数を指定します。この数は、顧客価値について主観的なランクを示したものです。
販売チーム割当ての一時変更	VOSTOF	文字	1	産業グループとテリトリに基づいて販売チームを顧客に対して自動的に割り当てない場合、このオプションを選択します。選択した場合は、顧客に対して販売チームメンバーを個別に割り当てる必要があります。選択しない場合は、顧客レコードの追加または変更時に、顧客に関連付けられているテリトリおよび産業グループの両方でアクティブとなっている販売チームメンバー全員が割り当てられます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
テリトリID	VOTERRID	数字	15	顧客の所在地の地域を入力します。システムは、このフィールドと[顧客産業グループ]フィールドを使用して、顧客の担当販売チームメンバーを決定します。販売チームメンバーを自動的に顧客に割り当てるには、顧客に関連付けられたテリトリおよび産業グループの両方でその販売チームメンバーがアクティブになっている必要があります。[販売チーム割当ての一時変更]オプションを選択した場合、このフィールドは参照用となり、顧客への販売チームメンバー割り当てには使用されません。
顧客産業グループ	VOCIG	数字	15	顧客が関連する産業を入力します。システムは、このフィールドと[テリトリID]フィールドを使用して、顧客の担当販売チームメンバーを決定します。販売チームメンバーを自動的に顧客に割り当てるには、顧客に関連付けられたテリトリおよび産業グループの両方でその販売チームメンバーがアクティブになっている必要があります。[販売チーム割当ての一時変更]オプションを選択した場合、このフィールドは参照用となります。

ユーザー予約フィールド

以下の表は、F03012Z1 テーブルでユーザー使用のため予約されているフィールドの一覧です。これらのフィールドは、EnterpriseOne プログラムでは更新されません。また、住所録システム、売掛管理、受注管理の各システムのフォームにもこれらのフィールドは表示されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
金額 - 住所録	VOABAM	数値	15	ユーザー定義の金額フィールド。データベースで使用可能な形式で指定します。
金額 - 住所録	VOABA1	数値	15	ユーザー定義の金額フィールド。データベースで使用可能な形式で指定します。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
ユーザー予約コード	VOURCD	文字	3	ユーザー定義のコード。3文字以内の英数字を使用できません。
ユーザー予約日付	VOURDT	日付	6	日付を示す値。データベースで使用可能な形式で指定します。 詳細については、データ項目 VOEBDT を参照してください。
ユーザー予約金額	VOURAT	数値	15	ユーザー定義の金額フィールド。データベースで使用可能な形式で指定します。
ユーザー予約番号	VOURAB	数値	8	8桁までのユーザー定義の番号フィールド。
ユーザー予約参照	VOURRF	文字	15	15桁までのユーザー定義の英数字フィールド。

仕入先マスター - バッチ アップロード テーブル (F0401Z1) のフィールドのマッピング

このセクションでは、F0401Z1 テーブルのフィールドの一覧を記載します。一部のフィールドは、仕入先マスター バッチ アップロード プログラム (R04010Z) の実行において必須フィールドとなります。その他は必須ではありません。全てのフィールドが住所録、買掛管理、調達管理のシステムで表示されたり、使用されるわけではありません。

必須フィールド

以下の表では、F0401Z1 テーブルの必須フィールドの一覧を記載しています。フィールドによっては、空白が有効値となります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-ユーザーID	VOEDUS	文字	10	ユーザー定義のID番号。仕入先マスターバッチアップロードプログラムの実行者のユーザーID、またはワークフローメッセージの受信者のユーザーIDを入力します。このフィールドと、VOEDTNおよびVOEDBTの各フィールドを組み合わせることにより、トランザクションが個別に識別されます。
EDI-バッチ番号	VOEDBT	文字	15	仕入先マスターバッチアップロードプログラムの実行者が各バッチに割り当てる番号。このフィールドが変更されるたびに、新しいバッチ番号が割り当てられます。処理する各トランザクショングループに1つのバッチ番号を割り当てることで、パフォーマンスを大幅に向上することができます。
EDI-トランザクション番号	VOEDTN	文字	22	各トランザクションを識別する番号。トランザクション番号ごとに、異なる住所録レコードを示します。1つのバッチに番号の重複したトランザクションが存在することはできません。通常このフィールドには、送信者がトランザクションを簡単に識別できるようにソースシステムの伝票番号が含まれます。
EDI-行番号	VOEDLN	数値	7	トランザクションを一意に識別する番号。トランザクションには、連続する複数の行を含めることができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-処理済み	VOEDSP	文字	1	<p>トランザクションが正常に処理されたかどうかを示す値。このフィールドはブランクにしてください。“N”は、トランザクションが処理されずにエラーが発生したことを示します。</p> <p>トランザクションが正常に終了すると、値がYに変わります。</p>
アクションコード	VOTNAC	文字	2	<p>新規のトランザクションを処理する場合は、このフィールドに「A」と入力します。既存レコードの変更を処理する場合は、「C」と入力します。既存レコードの削除を処理する場合は、「D」と入力します。レコードの変更と削除は全て、追加処理後に行われます。</p> <p>送信処理の場合、このフィールドは変更後トランザクション(UA)または変更前トランザクション(UB)のいずれかに更新されます。仕入先マスター MBF (P00400047) の処理オプションがオンになっている場合にのみ、UBに更新されます。</p> <p>送信処理では、追加には「A」を、削除には「D」を入力することもできます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
住所番号	VOAN8	数値	8	仕入先を一意に識別する番号。このフィールドに入力する値は、F0101テーブルに存在している必要があります。テーブルに存在しない場合は、レコードは処理されません。
通貨コード - 住所録金額	VOCRCA	文字	3	<p>このフィールドは、多通貨機能がオンになっている場合限り、表示されます。</p> <p>住所録の通貨を示す文字コード。このフィールドに入力する値は、VOAYPDとOAPPDフィールドの通貨を示します。このフィールドに入力する値は、通貨コードテーブル (F0013) に存在している必要があります。</p> <p>このフィールドをblankにすると、仕入先マスタープログラム (P04012) の処理オプションで入力した値が使用されます。処理オプションがblankの場合は、このフィールドは、F0101テーブルのビジネスユニットの会社に対応する通貨コードで更新されます。</p>

買掛管理システムで使用される任意フィールド

以下の表は、買掛管理システムで使用される F0401Z1 の任意フィールドの一覧です。これらのフィールドを使用して、トランザクションに関する追加情報を提供できます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
トランザクションタイプ	VOTYTN	文字	2	トランザクションのタイプを識別する値。このフィールドを空白にすると、仕入先マスター MBF (P0400047) のトランザクションタイプの処理オプションの値が使用されます。 送信処理を使用する場合の必須フィールドです。
送受信インジケータ	VODRIN	文字	1	トランザクションが受信と送信のどちらであるかを指定する値。有効値は以下のとおりです。 空白: 受信 2: 送信
EDI - 処理済み明細行数	VOEDDL	数値	5	特定のトランザクションに含まれる明細行数の数。これは参照用のフィールドです。
取引先 ID	VOPNID	文字	15	電子データ交換 (EDI) で、取引先を識別するために使用する値。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
元帳クラス	VOAPC	文字	4	<p>会社番号と組み合わせることにより、トランザクションを転記する先の買掛金勘定を指定する値。AAI 項目 PCxxxx (xxxx は元帳クラスフィールドの値) で設定した勘定科目が、転記処理で使用されます。AAI は会社別に、またはデフォルトの会社 00000 に対して設定できます。</p> <p>このフィールドの値は、仕入先に対して入力する全ての買掛伝票のデフォルトとなります。</p> <p>AAI 項目 PC で指定した以外の相殺勘定科目を使用する場合を除いては、このフィールドに値は入力しないでください。</p>
ビジネスユニット - 買掛デフォルト値	VOMCUP	文字	12	<p>VOOBAP および VOAIDP フィールドと組み合わせることにより、伝票の入力時に自動的に [勘定科目情報] フォームに表示されるデフォルトの経費勘定を指定する値。</p> <p>モデル仕訳のフィールド (VOCKOP、VODCAP、VODTAP) に値を入力する場合は、デフォルトの費用勘定は指定しないでください。モデル仕訳を入力すると、デフォルトの費用勘定はモデル仕訳で上書きされます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
主科目 - デフォルト 買掛金	VOOBAP	文字	6	<p>VOMCUP および VOAIDP フィールドと 組み合わせること により、伝票の入力時 に自動的に[勘定科 目情報]フォームに 表示されるデフォ ルトの経費勘定を指 定する値。</p> <p>モデル仕訳のフィー ルド (VOCKOP、 VODCAP、VODTAP) に値を入力する場 合は、デフォルトの費 用勘定は指定しな いでください。モデ ル仕訳を入力する と、デフォルトの 費用勘定はモデ ル仕訳で上書き されます。</p>
補助科目 - 買掛デ フォルト値	VOAIDP	文字	8	<p>VOMCUP および VOOBAP フィールド と組み合わせること により、伝票の入 力時に自動的に[勘 定科目情報]フォー ムに表示されるデ フォルトの経費勘 定を指定する値。</p> <p>モデル仕訳のフィー ルド (VOCKOP、 VODCAP、VODTAP) に値を入力する場 合は、デフォルトの費 用勘定は指定しな いでください。モデ ル仕訳を入力する と、デフォルトの 費用勘定はモデ ル仕訳で上書き されます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
伝票会社 - 買掛モデル	VOKCOP	文字	5	<p>VODCAP および VODTAP フィールドと組み合わせることにより、取引明細テーブル (F0911) のモデル仕訳を指定する値。この値は検証されません。</p> <p>有効なモデル仕訳を入力すると、伝票を入力する際に [勘定科目情報] フォームでこの勘定が使用されます。</p> <p>デフォルトの費用勘定のフィールド (VOMCUP、VOOBAP、VOAIDP) に値を入力するときは、モデル仕訳のフィールドは指定しないでください。モデル仕訳を入力すると、デフォルトの費用勘定はモデル仕訳で上書きされます。</p>
伝票番号 - 買掛モデル	VODCAP	数値	8	<p>VOKCOP および VODTAP フィールドと組み合わせることにより、F0911 テーブルのモデル仕訳を指定する値。有効なモデル仕訳を入力すると、伝票を入力する際に [勘定科目情報] フォームでこの勘定が使用されます。</p> <p>デフォルトの費用勘定のフィールド (VOMCUP、VOOBAP、VOAIDP) に値を入力するときは、モデル仕訳のフィールドは指定しないでください。モデル仕訳を入力すると、デフォルトの費用勘定はモデル仕訳で上書きされます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
伝票タイプ-買掛モデル	VODTAP	文字	2	<p>VOKCOP および VODCAP フィールドと組み合わせることにより、F0911 テーブルのモデル仕訳を指定する値。値の検証は行われません。</p> <p>有効なモデル仕訳を入力すると、伝票を入力する際に[勘定科目情報]フォームでこの勘定が使用されます。</p> <p>デフォルトの費用勘定のフィールド (VOMCUP、VOOBAP、VOAIDP) に値を入力するときは、モデル仕訳のフィールドは指定しないでください。モデル仕訳を入力すると、デフォルトの費用勘定はモデル仕訳で上書きされます。</p>
通貨コード	VOCRRP	文字	3	<p>このフィールドは、多通貨機能がオンになっている場合限り、表示されます。</p> <p>この仕入先の伝票を入力する際に使用される通貨を表すコード。通貨コードテーブル (F0013) にある値を入力してください。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、買掛伝票に入力された会社に対応する通貨が使用されます。</p>
税率/税域	VOTXA2	文字	10	<p>この仕入先の伝票に使用する納税先を識別するコード。税率/税域テーブル (F4008) にある値を入力してください。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
税目コード	VOEXR2	文字	2	この仕入先の伝票に使用する税金のタイプを識別するコード。このフィールドには、UDC テーブル 00/EX (税目コード)にある値を入力してください。
支払保留コード	VOHDPY	文字	1	この仕入先に対する買掛伝票と支払を入力可能かどうかを指定するコード。有効値は以下のとおりです。 1またはY: 未処理の買掛伝票の支払を保留し、新しい買掛伝票の入力を不可とする。 2: 未処理の買掛伝票の支払を保留し、新しい買掛伝票の入力は許可する。 N: 買掛伝票と支払の入力を許可する。 空白の場合、N が使用されます。
税域 - 源泉徴収	VOTXA2	文字	10	仕入先の源泉徴収税に使用する納税先を識別するコード。このフィールドの値は、仕入先マスター (F0401) に書き込まれます。 このフィールドは、買掛管理システムでは表示されません。
税目コード - 源泉徴収	VOEXR3	文字	2	仕入先に使用される源泉徴収税のタイプを表す値。このフィールドに入力する値はいずれも、F0401 テーブルに書き込まれます。 このフィールドは、買掛管理システムでは表示されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
納税先	VOTAWH	数値	8	仕入先の源泉徴収税の納税先を指定する番号。このフィールドには、F0101テーブルにある値を入力してください。
源泉徴収税率	VOPCWH	数値	5	仕入先への支払から留保する源泉徴収税の比率を指定する数値。この値は、小数点以下桁数を使って表します。たとえば、20%は"0.20"と表されます。
支払条件	VOTRAP	文字	3	仕入先に適用可能な割引の期日と金額を指定するコード。 このフィールドの値は、仕入先の全ての伝票に入力されます。このフィールドに入力する値は、支払条件テーブル(F0014)に存在している必要があります。
複数支払	VOSCK	文字	1	買掛伝票の支払項目ごとに個別の小切手を発行するかどうかを指定するコード。有効値は以下のとおりです。 Y: 買掛伝票の支払項目ごとに個別の小切手を発行します。 N: 支払項目の数に関係なく、この買掛伝票に対して1枚の小切手を発行します。 C: 契約ごとに1つの小切手を作成し、契約または作業番号順に並べ替えます。 このフィールドをブランクにすると、Nが使用されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
支払手段	VOPYIN	文字	1	仕入先への支払形式を指定するコード。UDCテーブル 00/PY (支払手段)に設定されている値を入力してください。
承認者番号	VOSNTO	数値	8	仮伝票を使って記録された伝票の承認担当者を識別する番号。このフィールドには、F0101テーブルにある値を入力してください。
事前通知コード	VOAB1	文字	1	仕入先の電子資金決済 (EFT) 処理のステータスがセットアップ中かどうかを示すコード。有効値は以下のとおりです。 P: 事前通知状況。仕入先に対して小切手を発行し、検証用の銀行テーブルへの入力を行います。この状況コードでは、資金の電子決済は行われません。 N: 銀行が仕入先の口座情報を受け取り、検証を完了しました。この仕入先の今後の支払は、EFTを使って行われます。 このフィールドをブランクにすると、最初の支払の処理時に P が割り当てられます。
支払浮動日数	VOFLD	数値	3	支払の支払日付に追加される日数を表す数値。この数値によって、自動支払が実行される際に買掛金照合伝票明細 (F0414) の決済日付 (RMVLDLT) が更新されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
年累計請求金額	VOAYPD	数値	15	<p>現行年度中に作成された買掛伝票の金額を表す値。データベースによって、小数を入力できる場合とできない場合があります。</p> <p>多通貨機能を使用する場合は、VOCRCAフィールドに入力した通貨で入力する必要があります。</p> <p>このフィールドの更新には、年累計伝票金額の更新プログラム(R04820A)を使用します。</p>
前年度支払金額	VOAPPD	数値	15	<p>前年度中に入力された伝票の金額を表す値。この値は年累計伝票金額の更新プログラムを実行すると更新されます。</p>

調達管理システムで使用される任意フィールド

以下の表は、調達管理システムで使用される F0401Z1 の任意フィールドの一覧です。これらのフィールドを使用して、トランザクションに関する追加情報を提供することができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
ピッキングリストに価格を印刷(Y、N、2)	VOPLST	文字	1	<p>購買オーダーに正味価格情報を記載するかどうかを示すコード。有効値は以下のとおりです。</p> <p>Y: 正味価格を印刷する。</p> <p>N: 印刷しない。</p> <p>2: 基本価格調整と正味価格を印刷する。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
受注残額	VOAPRC	数値	15	仕入先のオーダーの発注残の合計金額を表す値。値引テーブルまたは一時変更価格によって品目保管場所 (F41021) の表示価格を調整します。
最小オーダー値	VOMINO	数値	15	オーダーに入力できる最小金額を示す値。オーダーの金額がこのフィールドの値を下回ると、エラーが返されます。
最大オーダー値	VOMAXO	数値	15	オーダーに入力できる最大金額を示す値。オーダーの金額がこのフィールドの値を上回ると、エラーが返されます。
関連住所番号	VOAN8R	数値	8	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。
請求住所タイプ	VOBADT	数値	8	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。
顧客価格グループ	VOCPGP	数値	8	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。
オーダーテンプレート	VOORTP	文字	8	頻繁に注文する品目のリストを示すコード。このフィールドに入力する値は、UDC テーブル 40/OT (オーダーテンプレート) に存在する必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
印刷メッセージ	VOINMG	文字	10	購買オーダーに出力されるメッセージを示すコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 40/PM (印刷メッセージ) に存在する必要があります。
保留オーダーコード	VOHOLD	文字	2	オーダーが保留された理由を示すコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 42/HC (コード保留) に存在する必要があります。
経路コード	VOROUT	文字	3	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。
中継点コード	VOSTOP	文字	3	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。
配送区域番号	VOZON	文字	3	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。
運送業者番号	VOCARS	数値	8	顧客または自社が指定した運送業者の住所番号を示す値。このフィールドを使用して、経路や特別取扱の要件を指定します。このフィールドには、F0101 テーブルにある値を入力してください。
配送指示行 1	VODEL1	文字	30	配送指示を入力する情報フィールド。
配送指示行 2	VODEL2	文字	30	配送指示を入力する情報フィールド。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
輸送日数	VOLTDT	数値	5	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。
貨物/運賃取扱コード	VOFRTH	文字	5	仕入先への貨物の配送に使用する方法、または運賃の負担者を示すコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 42/FR(貨物取扱コード)に存在している必要があります。
購買オーダー等のコピー枚数	VOINVC	数値	2	この仕入先に対して印刷する購買オーダーの数を指定する値。
重量表示単位	VOWUMD	文字	2	オーダーの重量を表す計量単位を指定するコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 00/UM(計量単位)に存在している必要があります。このフィールドをブランクにすると、在庫固定情報テーブル(F41001)に入力された値に更新されます。
容量表示単位	VOVUMD	文字	2	オーダーの数量を表す計量単位を示すコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 00/UM(計量単位)に存在している必要があります。このフィールドをブランクにすると、F41001テーブルに入力された値に更新されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
陸揚費用規則	VOPRP5	文字	3	業者手数料やコミッションなど、品目の価格以外の金額を示すコード。陸揚費用規則は、陸揚費用の改訂プログラム(P41291)で設定します。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 41/P5(陸揚費用規則)に存在している必要があります。
バッチ処理モード	VOEDPM	文字	1	仕入先レコードについて、バッチ処理の禁止、またはテストモード/最終モードでの実行を示すコード。有効値は以下のとおりです。 I: 禁止。仕入先をバッチ処理の対象にしません。 T: テストモード。レコードの処理時にレポートのみ作成します。 P: 最終モード。レコードの処理時にレポートの作成とオーダーの処理を実行します。
仕入先タイプ ID	VOEDCI	文字	1	DUNS 番号や電話番号など、EDIトランザクション用に転送する番号のタイプを指定するコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 40/CI(顧客タイプ ID)に存在している必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
品目タイプ ID	VOEDII	文字	1	UPCコードや仕入先部品番号など、EDIトランザクションで転送する品目番号のタイプを指定するコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 40/II(品目タイプ ID)に存在する必要があります。
数量の表示小数点以下桁数	VOEDQD	数値	1	この仕入先の EDIトランザクションの全ての数量フィールドに適用する表示小数点以下桁数を指定する値。
金額の表示小数点以下桁数	VOEDAD	数値	1	この仕入先の EDIトランザクションで使用の全ての金額フィールドに適用する表示小数点以下桁数を指定する値。
配送票	VOEDF1	文字	1	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。
品目制約	VOEDF2	文字	2	仕入先に品目を発注するときに特定の制約を適用するかどうかを指定するコード。有効値は以下のとおりです。 ブランク: 制約なし I: [品目制約]フォームで設定されている場合にのみ購入できます。 E: 品目が、[品目制約]フォームで設定されている場合は、購入できません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
仕入先/親リポートレベル	VOVI01	文字	1	リポートシステムの基準である組織レベルを示すコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 43/RL (リポートレベル) に存在している必要があります。
仕入先リポートコード	VOVI02	文字	1	この支払先でリポートが有効であるかどうかを指定するコード。このフィールドに入力する値は、UDCテーブル 43/RA (仕入先リポートコード) に存在している必要があります。
特殊指示 3	VOVI03	文字	1	将来使用のために予約されています。
特殊指示 4	VOVI04	文字	1	将来使用のために予約されています。
特殊指示 5	VOVI05	文字	1	将来使用のために予約されています。
小切手最小金額コード	VOMNSC	文字	1	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。
住所タイプコード 5	VOATO	文字	1	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。
収益正味計算 (Y/N)	VORVNT	文字	1	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。
価格および調整スケジュール	VOASN	文字	8	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
送付方法	VOGRMD	文字	1	このフィールドは調達管理システムでは使用されないため、いずれのフォームにも表示されません。
入荷基準決済	VOAVCH	文字	1	<p>入荷品目に基づいて伝票を送信するという合意が仕入先との間にあるかどうかを示すコード。仕入先が請求書を送信しない場合、支払入力(伝票突合せあり)プログラムを省略できます。代わりに、評価済み入荷決済プログラム(R43800)が使われます。有効値は以下のとおりです。</p> <p>N: 入荷基準決済を適用できません。</p> <p>Y: 入荷基準決済を適用可能です。</p> <p>T: 入荷基準決済を適用可能ですが、入荷処理中に許容エラーが生じました。</p> <p>R: 入荷基準決済を適用可能ですが、現在入荷工程処理中です。</p> <p>V: 入荷基準決済処理を使用して、入荷トランザクションの伝票が処理されました。</p>

無視されるフィールド

以下の表は、F0401Z1 テーブルで無視されるフィールドの一覧です。これらのフィールドは空白にします。これらのフィールドの値は使用されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
トランザクション入力者	VOTORG	文字	10
ユーザー ID	VOUSER	文字	10
プログラム ID	VOPID	文字	10

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
ワークステーション ID	VOJOBN	文字	10
更新日付	VOUPMJ	日付	6
最終更新時刻	VOUPMT	数値	6
時刻	VOTDAY	日付	6
EDI-伝票タイプ	VOEDCT	文字	2
EDI-変換フォーマット	VOEDFT	文字	10
EDI-送信日付	VOEDDT	日付	6

ユーザー予約フィールド

以下の表は、F0401Z1 テーブルでユーザー使用のため予約されているフィールドの一覧です。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
金額-住所録	VOABAM	数値	15	金額を表すユーザー定義の数値。データベースで使用可能な形式で指定します。
金額-住所録	VOABA1	数値	15	金額を表すユーザー定義の数値。データベースで使用可能な形式で指定します。
ユーザー予約コード	VOURCD	文字	3	3文字以内の英数字からなるユーザー定義のコード。
ユーザー予約日付	VOURDT	日付	6	日付を表すユーザー定義の値。データベースで使用可能な形式で指定します。 詳細については、データ項目 VOEBDT を参照してください。
ユーザー予約金額	VOURAT	数値	15	金額を表すユーザー定義の値。データベースで使用可能な形式で指定します。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
ユーザー予約番号	VOURAB	数値	8	8桁までのユーザー定義の番号。
ユーザー予約参照	VOURRF	文字	15	15文字以内の英数字からなるユーザー定義の値。

バッチ - 人名録情報テーブル (F0111Z1) のフィールドのマッピング

このセクションでは、F0111Z1 テーブルのフィールドの一覧を記載します。一部のフィールドは、人名録情報バッチのアップロードプログラム (R011110Z) の実行において必須フィールドとなります。その他は必須ではありません。全てのフィールドが住所録フォームで表示されたり、住所録システムで使用されるわけではありません。

必須フィールド

以下の表では、F0111Z1 テーブルの必須フィールドの一覧を記載しています。フィールドによっては、ブランクが有効値となります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-ユーザーID	CBEDUS	文字	10	ユーザーを識別する番号。プロセスの実行者またはワークフローメッセージの受信者のユーザーIDを入力します。このフィールドと、CBEDTN および CBEDBT の各フィールドを組み合わせることにより、トランザクションが個別に識別されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-バッチ番号	CBEDBT	文字	15	<p>データの特定のバッチを識別する番号。このフィールドと、CBEDTN および CBEDUS の各フィールドを組み合わせることにより、特定のバッチにあるトランザクションが一意に識別されます。</p> <p>このフィールドはレベル区切りとしても使用され、この値が変わるごとにバッチ番号が新しく割り当てられます。F01151Z1 (EBEDBT)、F01161Z1 (LBEDBT)、または F01112Z1 (PBEDBT) の [EDI-バッチ番号] フィールドとの整合性を保つため、処理する新規トランザクションごとに一意のバッチ番号を割り当てる必要があります。</p>
EDI-トランザクション番号	CBEDTN	文字	22	<p>各トランザクションを識別する番号。トランザクション番号ごとに、異なる住所録レコードを示します。1つのバッチに、番号の重複したトランザクションが存在することはできません。通常このフィールドには、送信者がトランザクションを簡単に識別できるようにソースシステムの伝票番号が含まれます。</p>
EDI-行番号	CBEDLN	数値	7	<p>レコードを個別に識別する番号。各トランザクションには、連続する複数の行番号を含めることができます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-処理済み	CBEDSP	文字	1	<p>トランザクションが正常に処理されたかどうかを示す値。このフィールドはブランクにしてください。値 N は、トランザクションが処理されずにエラーが発生したことを示します。</p> <p>トランザクションが正常に終了すると、値が Y に変わります。</p>
アクションコード	CBTNAC	文字	2	<p>実行するトランザクションの処理を示す値。A は新規トランザクションを示します。C は既存の伝票の変更を意味します。D は既存のレコードの削除を意味します。変更および削除の処理は、追加処理後に行う必要があります。</p> <p>送信処理の場合、このフィールドは UA (変更後トランザクション) または UB (変更前トランザクション) に自動的に更新されます。住所録 MBF (P0100041) の処理オプションがオンになっている場合にのみ、このフィールドに UB が使用されます。</p> <p>送信処理では、追加には「A」を、削除には「D」を入力することもできます。</p>
名前	CBALPH	文字	40	<p>検索機能を最適化するため通常は姓、名の形式で入力する名称。住所録の検索プログラム (P01BDWRD) では、このフィールドが使用されます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
住所番号	CBAN8	数値	8	顧客を一意に識別する値。 このフィールドに入力する値は、住所録マスター (F0101) に存在している必要があります。テーブルに存在しない場合は、レコードは処理されません。
人名録行	CBIDLN	数値	5	人名録項目を住所録番号に関連付ける値。
郵送宛名	CBMLNM	文字	40	通信文の送付先の会社または個人の名前を表す英数値。

任意フィールド

以下の表は、F0111Z1 テーブルの任意フィールドの一覧です。これらのフィールドを使用して、トランザクションに関する追加情報を提供することができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
トランザクションタイプ	CBTYTN	文字	8	トランザクションのタイプを識別する値。このフィールドをblankにすると、人名録MBF (P0100087) のトランザクションタイプの処理オプションの値が使用されます。 送信処理を使用する場合の必須フィールドです。
送受信インジケータ	CBDRIN	文字	1	トランザクションが受信と送信のどちらであるかを指定する値。受信トランザクションの場合は、このフィールドをblankにします。送信トランザクションの場合は「2」を入力します。
EDI-処理済み明細行数	CBEDDL	数値	5	特定のトランザクションに含まれる明細行数。これは参照用のフィールドです。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
取引先 ID	CBPNID	文字	15	電子データ交換 (EDI) で、取引先を識別するために使用する値。
表示順序	CBDSS5	数値	5	レコードのグループの表示順序を指定するコード。連絡先の各入力項目の表示順序を指定できます。
コンタクトタイトル	CBATTL	文字	40	連絡先の役職を示す値。
備考	CBREM1	文字	40	注記、説明、名前などを記述する情報フィールド。このフィールドは住所録システムのフォームには表示されません。
敬称	CBSLNM	文字	40	名字の前に使用する敬称を表す情報コード。通常、通信文の冒頭部分に使用します。
第 2 名称 (フリガナ)	CBALP1	文字	30	宛名のフリガナ用フィールド。
名前	CBGNM	文字	25	個人の名。これは、参照用のフィールドです。
ミドルネーム	CBMDNM	文字	25	個人のミドルネーム。これは、参照用のフィールドです。
名字	CBSRNM	文字	25	個人の名。これは参照用のフィールドです。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
タイプコード	CBTYC	文字	1	<p>連絡先(人名録)の入力項目のタイプを指定するユーザー定義コード。タイプコードの例は、次のとおりです。</p> <p>A: 宛名 B: 請求先 C: 連絡先 E: 緊急連絡先 O: その他 T: 1099 用会社名(米国)</p> <p>このフィールドには、UDC テーブル 01/WO (タイプコード) で定義されている値を入力する必要があります。</p>
ニックネーム	CBNICK	文字	40	<p>個人のニックネームに使用する参照用情報フィールド。ニックネームは、住所番号の人名録行に関連付けられます。</p>
性別	CBGEND	文字	1	<p>個人の性別を示すコード。有効値は以下のとおりです。</p> <p>M: 男性 F: 女性</p>
住所有効日付	CBEFTW	日付	8	<p>代替住所テーブル (F01161) の住所が有効となる日付。</p> <p>有効日付を入力する場合は、住所録固定情報の [有効日付別住所の設定] オプションをオンに設定する必要があります。</p>
生年月日 - 日	CBDDATE	数値	2	<p>生年月日の日を示す数字。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
生年月日 - 月	CBDMON	数値	2	生年月日の月を示す数字。
生年月日 - 年	CBDYR	数値	4	生年月日の年を示す数字。
人名録情報カテゴリコード 01 - 10	CBW001 - CBW010	文字	3	カテゴリコード。カテゴリコードフィールドには、対応するUDCテーブル 01/W0 - 01/WT で定義されている値を入力する必要があります。
人名録カテゴリコード 01 - 10	CBWN001 - CBWN010	文字	3	カテゴリコード。カテゴリコードフィールドには、対応するUDCテーブル 01/N1 - 01/NA で定義されている値を入力する必要があります。
指定連絡方法	CBPCM	文字	10	連絡先の希望の連絡方法を定義するユーザー定義コード (01/CQ)。
主連絡先	CBPCF	文字	1	住所録の主連絡先を指定するために使用するコード。主連絡先は、連絡先タイプあたり1件のみです。主連絡先としてレコードを指定するには、「1」を入力します。
インジケータフラグ	CBACTIN	文字	1	このフィールドは、将来使用のために予約されています。
固有識別子	CBCFRGUID	文字	36	このフィールドは、Domino または Exchange との同期の際に、人名録レコードを識別するのに使用されます。
職務コード	CBFUCO	文字	10	会社での連絡先の職務を示すユーザー定義コード。ユーザー定義コード (01/FC) から値を入力してください。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
参照名	CBREFNAME	文字	40	このフィールドは、Domino および Exchange との同期化に使用されず。Domino または Exchange にある会社名を入力してください。この値は重複入力の検出に使用されます。
子(正常処理済み)	CBCHPROC	文字	1	F0111Z1 レコードの子レコードが正常に処理されたかどうか指定するコード。子レコードには、以下のテーブルのレコードがあります。 F01161Z1 F0115Z1 F01151Z1 F01112Z1 子レコードは、EDI-ユーザー ID、EDI-バッチ番号、および EDI-トランザクション番号を使用して、親 F0111Z1 フィールドに関連付けられます。

無視されるフィールド

以下の表は、F0111Z1 テーブルで無視されるフィールドの一覧です。これらのフィールドの値は使用されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
EDI-伝票タイプ	CBEDCT	文字	2
EDI-変換フォーマット	CBEDFT	文字	10
EDI-送信日付	CBEDDT	日付	6
圧縮記述	CBDC	文字	40
トランザクション入力者	CBTORG	文字	10
ユーザー ID	CBUSER	文字	10

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
プログラム ID	CBPID (DominoまたはExchangeからEnterpriseOneに送信されたレコードでは、このフィールドの値がPIMSYNCHになります。これは送信済みのレコードがもとのDominoまたはExchangeに戻されないようにするためです。) 参照: EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: System Administration	文字	10
ワークステーション ID	CBJOBN	文字	10
更新日付	CBUPMJ	日付	6
時刻	CBTDAY	日付	6
最終更新時刻	CBUPMT	数値	6

ユーザー予約フィールド

以下の表は、F0111Z1 テーブルでユーザー使用のため予約されているフィールドの一覧です。これらのフィールドの値は使用されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
第2 郵送宛名	CBMLN1	文字	1	宛名のフリガナ用フィールド。
検索タイプ	CBAT1	文字	3	レコードの分類を示す値。仕入先、顧客、従業員、会社などの分類項目があります。このフィールドには、UDC テーブル 01/ST (検索タイプ) で定義されている値を入力する必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
アクティブ/非アクティブフラグ	CBCCAI	文字	1	通貨の関係がアクティブか、非アクティブかを指定するインジケータ。
連絡先タイプ	CBNTYP	文字	3	影響者、競争相手など、連絡先の役割を示すユーザー定義の値。このフィールドには、UDCテーブル01/CT(連絡先タイプ)で定義されている値を入力する必要があります。

バッチ - 関連先テーブル (F01112Z1) のフィールドのマッピング

このセクションでは、F01112Z1 テーブルのフィールドの一覧を記載します。一部のフィールドは、人名録情報バッチのアップロードプログラム (R011110Z) の実行において必須フィールドとなります。その他は必須ではありません。全てのフィールドが住所録フォームで表示されたり、住所録システムで使用されるわけではありません。

必須フィールド

以下は、F01112Z1 テーブルの必須フィールドの一覧です。フィールドによっては、ブランクが有効値となります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-ユーザーID	PBEDUS	文字	10	プロセスを実行しているユーザー、またはワークフローメッセージの受信対象ユーザーを識別する番号。このフィールドと、PBEDTN および PBEDBT フィールドを組み合わせることで、特定のバッチにあるトランザクションが個別に識別されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-バッチ番号	PBEDBT	文字	15	バッチを識別する値。このフィールドと、PBEDUSおよびPBEDTNの各フィールドを組み合わせることで、特定のバッチにあるトランザクションが個別に識別されます。この値が変更されるたびに、新しいバッチ番号が割り当てられます。各トランザクショングループに1つのバッチ番号を割り当てることで、パフォーマンスを大幅に向上することができます。
EDI-トランザクション番号	PBEDTN	文字	22	各トランザクションを識別する値。新しいトランザクション番号はそれぞれ、新しい関連先レコードを示します。1つのバッチに、番号の重複するトランザクションを複数含むことはできません。通常このフィールドには、レコードを簡単に識別できるようにソースシステムの伝票番号が含まれます。
EDI-行番号	PBEDLN	数値	7	レコードを個別に識別する番号。各トランザクションには、連続する複数の行番号を含めることができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-処理済み	PBEDSP	文字	1	<p>トランザクションが正常に処理されたかどうかを示すシステム提供値。有効値は以下のとおりです。</p> <p>N:トランザクションが処理されなかった、またはエラーが発生。</p> <p>Y:正常に処理が完了。</p> <p>送信処理の場合、この値はNに更新されます。</p>
アクションコード	PBTNAC	文字	2	<p>受信処理の場合、トランザクションのタイプを指定する値。有効値は以下のとおりです。</p> <p>A:新規レコード</p> <p>C:既存の伝票の変更レコード。追加を処理した後で、変更が処理されます。</p> <p>D:既存の伝票の削除レコード。追加を処理した後で、削除が処理されます。</p> <p>送信処理の場合、有効値は次のとおりです。</p> <p>UA:変更後トランザクション</p> <p>UB:変更前トランザクション</p> <p>人名録 MBF (P0100087) の処理オプションがオンになっている場合にのみ、UBに更新されます。</p> <p>送信処理では、追加には「A」を、削除には「D」を入力することもできます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
住所番号	PBAN8	数値	8	関連先を固有の住所録レコードに関連付ける値。このフィールドに入力する値は、住所録マスター (F0101) に存在している必要があります。テーブルに存在しない場合は、レコードは処理されません。
人名録行	PBIDLN	数値	5	人名録項目を住所録レコードに関連付ける値。
関連先	PBRALP	文字	40	関連先項目を住所録レコードに関連付ける値。

任意フィールド

以下の表は、F01112Z1 テーブルの任意フィールドの一覧です。これらのフィールドを使用して、トランザクションに関する追加情報を提供することができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
トランザクションタイプ	PBTYTN	文字	8	処理されるトランザクションのタイプを識別する値。 このフィールドをブランクにすると、人名録 MBF (P0100087) のトランザクションタイプの処理オプションの値が使用されます。 送信処理を使用しているときは、必ずこのフィールドに値を入力してください。
送受信インジケータ	PBDRIN	文字	1	トランザクションが受信と送信のどちらであるかを示す値。有効値は以下のとおりです。 ブランク: 受信 2: 送信

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-処理済み明細行数	PBEDDL	数値	5	電子データ交換(EDI)で、特定のトランザクションに含まれる明細行数を指定するために使用する値。これは参照用のフィールドです。
取引先 ID	PBPNIID	文字	15	電子データ交換(EDI)で、取引先を識別するために使用する値。
関連先 ID	PBCNLN	数値	5	人名録または連絡先のレコードを関連先に関連付ける値。各関連先レコードに対して固有の値を入力します。 レコードの変更または削除を実行する場合、このフィールドは必須です。
関連タイプ	PBRELY	文字	5	連絡先と関連先の間関係を識別する値。このフィールドには、UDCテーブル01/RTで定義されている値を入力する必要があります。
生年月日-日	PBDDATE	数値	2	関連先の生年月日の日を示す数字。
生年月日-月	PBDMON	数値	2	関連先の生年月日の月を示す数字。
生年月日-年	PBDYR	数値	4	関連先の生年月日の年を示す数字。
関連先カテゴリコード01-10	PBCP001 - PBCP005	文字	3	住所録システムで定義され、関連先に関するレポート用に使用されるカテゴリコード。 このフィールドには、対応するUDCテーブル01/CP001-01/CP005で定義されている値を入力する必要があります。

無視されるフィールド

以下の表は、F01112Z1 テーブルで無視されるフィールドの一覧です。これらのフィールドの値は使用されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
EDI-伝票タイプ	PBEDCT	文字	2
EDI-変換フォーマット	PBEDFT	文字	10
EDI-送信日付	PBEDDT	日付	6
トランザクション入力者	PBTORG	文字	10
ユーザー ID	PBUSER	文字	10
プログラム ID	PBPID	文字	10
ワークステーション ID	PBJOBN	文字	10
更新日付	PBUPMJ	日付	6
時刻	PBTDAY	日付	6
最終更新時刻	PBUPMT	数値	6

電話番号 - インタオペラビリティ テーブル (F0115Z1) のフィールドのマッピング

このセクションでは、F0115Z1 のフィールドの一覧を記載します。一部のフィールドは、人名録バッチのアップロード プログラム (R011110Z) の実行において必須フィールドとなります。その他は必須ではありません。

必須フィールド

以下は、F01151Z1 テーブルの必須フィールドの一覧です。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-ユーザーID	PIEDUS	文字	10	<p>ユーザー定義のID番号。プロセスの実行者またはワークフローメッセージの受信者のユーザーIDを入力します。このフィールドと、PIEDTN および PIEDBT の各フィールドを組み合わせることにより、トランザクションが個別に識別されます。</p> <p>人名録レコードの電話番号をアップロードする場合は、人名録レコードのアップロードに使用する値を入力します。</p>
EDI-バッチ番号	PIEDBT	文字	15	<p>PIEDTN および PIEDUS フィールドと組み合わせることにより、指定したバッチ内のトランザクションを個別に特定するコード。</p> <p>このフィールドはレベル区切りとしても使用され、この値が変わるごとにバッチ番号が新しく割り当てられます。各トランザクショングループに1つのバッチ番号を割り当てることで、パフォーマンスを大幅に向上することができます。</p> <p>人名録レコードの電話番号をアップロードする場合は、人名録レコードのアップロードに使用する値を入力します。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-トランザクション番号	PIEDTN	文字	22	<p>各トランザクションを識別するコード。トランザクション番号ごとに、異なる人名録レコードを示します。1つのバッチには、番号の重複したトランザクションが存在することはできません。通常このフィールドには、トランザクションを簡単に識別できるようにソースシステムの伝票番号が含まれます。</p> <p>人名録レコードの電話番号をアップロードする場合は、人名録レコードに使用する値を入力します。</p>
EDI-行番号	PIEDLN	数値	7	<p>レコードを個別に識別する番号。各トランザクションには、連続する複数の行番号を含めることができます。</p> <p>人名録レコードの電話番号をアップロードする場合は、「0」を入力します。関連先レコードの電話番号をアップロードする場合は、関連先レコードのアップロードに使用した EDLN 番号フィールドの値を入力します。</p>
EDI-トランザクション番号	PIEDTL	文字列	20	<p>電話番号レコードを識別する番号。電話番号レコードごとに固有の番号を入力します。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
アクションコード	PITNAC	文字	1	実行するトランザクションの処理を示す値。Aは新規トランザクションを示します。Cは既存の伝票の変更を意味します。Dは既存のレコードの削除を意味します。変更および削除の処理は、追加処理後に行う必要があります。
処理済み	PIEDSP	文字	1	トランザクションが正常に処理されたかどうかを示す値。このフィールドはブランクにしてください。Nは、トランザクションが処理されずにエラーが発生したことを示します。 トランザクションが正常に終了すると、値がYに変わります。
住所番号	PIAN8	数値	8	仕入先、顧客、従業員などを識別する固有の値。 電話番号情報のアップロード対象となる顧客または仕入先の住所録番号を入力します。
電話番号	PIPH1	数値	20	電話番号情報のアップロード対象となる担当者の電話番号。

任意フィールド

以下は、F0115Z1 テーブルの任意フィールドの一覧です。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
トランザクションタイプ	PITYTN	文字	8	トランザクションのタイプを識別する値。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
送受信インジケータ	PIDRIN	文字	1	トランザクションが受信と送信のどちらであるかを指定する値。有効値は以下のとおりです。 ブランク: 受信 1: 送信 電話番号の送信処理はサポートされていません。
処理された明細行数	PIEDDL	数値	5	特定のトランザクションに含まれる明細行数。これは参照用のフィールドです。
取引先 ID	PIPNIID	文字	15	電子データ交換 (EDI) で、取引先を識別するために使用する値。
人名録行番号 - ID	PIIDLN	数値	5	人名録レコードの行 ID 番号の識別に使用されるコード。
行番号 ID - 5.0	PIRCK7	数値	5	ファイルで個別のキーを作成するのに使用される番号。レコード順序の並べ替えができるプログラムを使用している場合は、データ辞書項目 DSS5、DSS7、DSS9 のいずれかの使用をお勧めします。
関連先 ID	PICNLN	数値	5	関連先レコードを識別する番号。このフィールドは、関連先レコードを変更または削除する際に使用されます。変更または削除の対象となる関連先の行番号を入力します。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
電話番号タイプ	PIPHTP	文字	4	電話番号の場所または電話番号のタイプのいずれかを示すコード。ユーザー定義コード(01/PH)から有効なコードを入力してください。
市外局番	PIAR1	文字	6	電話番号の先頭部分の番号。米国の場合は3桁のエリアコードを使用します。
汎用数字 1	PICFN01	数値	8	このフィールドは、将来使用するために予約されています。
一般情報 1	PIGEN1	文字	10	このフィールドは、将来使用するために予約されています。
将来使用フラグ	PIFALGE	文字	1	このフィールドは、将来使用するために予約されています。

無視されるフィールド

次の表に示す F0115Z1 テーブルのフィールドは無視されます。これらのフィールドの値は使用されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
EDI-変換フォーマット	PIEDFT	文字	10
EDI-送信日付	PIEDDT	日付	6
EDI-伝票タイプ	PIEDCT	文字	2
ユーザー ID	PIUSER	文字	10
プログラム ID	PIPID	文字	10
ワークステーション ID	PIJOBN	文字	10
更新日付	PIUPMJ	日付	6
最終更新時刻	PIUPMT	数値	6

バッチ - 電子メール アドレス テーブル (F01151Z1) のフィールドのマッピング

このセクションでは、F01151Z1 テーブルのフィールドの一覧を記載します。一部のフィールドは、人名録バッチのアップロード プログラム (R011110Z) の実行において必須フィールドとなります。その他は必須ではありません。全てのフィールドが住所録フォームで表示されたり、住所録システムで使用されるわけではありません。

必須フィールド

以下は、F01151Z1 テーブルの必須フィールドの一覧です。フィールドによっては、ブランクが有効値となります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-ユーザー ID	EBEDUS	文字	10	ユーザー定義の ID 番号。プロセスの実行者またはワークフローメッセージの受信者のユーザー ID を入力します。このフィールドと、EBEDTN および EBEDBT の各フィールドを組み合わせることにより、トランザクションが個別に識別されます。
EDI-バッチ番号	EBEDBT	文字	15	EBEDTN および EBEDUS フィールドと組み合わせることにより、指定したバッチ内のトランザクションを個別に特定するコード。 このフィールドはレベル区切りとしても使用され、この値が変わるごとにバッチ番号が新しく割り当てられます。各トランザクショングループに 1 つのバッチ番号を割り当てることで、パフォーマンスを大幅に向上することができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-トランザクション番号	EBEDTN	文字	22	各トランザクションを識別するコード。トランザクション番号ごとに、異なる住所録レコードを示します。1つのバッチには、番号の重複したトランザクションが存在することはできません。通常このフィールドには、トランザクションを簡単に識別できるようにソースシステムの伝票番号が含まれます。
EDI-行番号	EBEDLN	数値	7	レコードを個別に識別する番号。各トランザクションには、連続する複数の行番号を含めることができます。
EDI-処理済み	EBEDSP	文字	1	トランザクションが正常に処理されたかどうかを示す値。Nは、トランザクションが処理されずにエラーが発生したことを示します。トランザクションが正常に終了すると、値がYに変わります。 送信処理の場合、この値はNに更新されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
アクションコード	EBTNAC	文字	2	<p>トランザクションの処理を識別する値。新規追加の場合は、このフィールドに「A」と入力します。既存伝票の変更を処理する場合は、「C」と入力します。変更処理は全て、追加処理が終了してから行う必要があります。</p> <p>送信処理の場合、このフィールドはUA(変更後トランザクション)またはUB(変更前トランザクション)のいずれかに更新されます。人名録 MBF (P0100087) の処理オプションがオンになっている場合にのみ、UBに更新されます。</p> <p>送信処理では、削除用に「D」を、追加用に「A」を入力することもできます。</p>
住所番号	EBAN8	数値	8	<p>関連先の連絡先(人名録)が関連付けられる会社、顧客、仕入先などを固有に識別する値。このフィールドに入力する値は、住所録マスター(F0101)に存在している必要があります。テーブルに存在しない場合は、レコードは処理されません。</p>
人名録行	EBIDLN	数値	5	<p>EBAN8 フィールドに入力した住所番号の特定の人名録項目に電子メールアドレスを関連付ける値。</p>

任意フィールド

以下の表は、F01151Z1 テーブルの任意フィールドの一覧です。これらのフィールドを使用して、トランザクションに関する追加情報を提供することができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
トランザクションタイプ	EBTYTN	文字	8	トランザクションが変更後のみか、あるいは変更前と変更後の両方かを識別する値。このフィールドがブランクで、人名録 MBF (P0100087) のトランザクションタイプの処理オプションが設定されている場合は、このフィールドは処理オプションの値で更新されます。 送信処理を使用しているときは、必ずこのフィールドに値を入力してください。
送受信インジケータ	EBDRIN	文字	1	トランザクションが受信と送信のどちらであるかを指定する値。有効値は以下のとおりです。 ブランク:受信 2: 送信
EDI - 処理済み明細行数	EBEDDL	数値	5	特定のトランザクションに含まれる明細行数を示す値。これは、参照用のフィールドです。
取引先 ID	EBPNID	文字	15	電子データ交換 (EDI) で、取引先を識別するために使用する値。
行番号 ID - 5.0	EBRCK7	数値	5	固有のキーフィールドを示す値。連絡先、または人名録の入力項目に対して複数の電子メールアドレスがある場合は、このフィールドを使用して、入力項目の順序を決めることができます。
電子メールアドレスタイプ	EBETP	文字	4	電子メールアドレスかインターネットアドレスかを示す値。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
電子メールアドレス	EBEMAL	文字	256	連絡先または人名録の担当者の電子メールアドレス、またはインターネットアドレス。
メッセージ処理インジケータ	EBEHIER	数値	2	電子メールアドレスの処理方法を決定するためにワークフローで使用するメッセージインジケータ。指定した電子メールアドレスに電子メールを送信しない場合は、「00」を入力します。指定した電子メールアドレスに電子メールを送信する場合は、「01」を入力します。
電子メールフォーマット	EBEFOR	文字	15	電子メールアドレスの形式を入力します。たとえば、以下のような値を入力します。 HTML Text RTF
汎用番号 1	EBCFN01	数値	8	このフィールドは、将来使用するために予約されています。
一般情報 1	EBGEN1	文字	10	このフィールドは、将来使用するために予約されています。
将来使用フラグ	EBFALGE	文字	1	このフィールドは、将来使用するために予約されています。
電子メール分類	EBCLASS	文字	3	将来使用するために予約されています。

無視されるフィールド

以下の表は、F01151Z1 テーブルで無視されるフィールドの一覧です。これらのフィールドの値は使用されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
EDI-伝票タイプ	EBEDCT	文字	2
EDI-変換フォーマット	EBEDFT	文字	10
EDI-送信日付	EBEDDT	日付	6
トランザクション入力者	EBTORG	文字	10
ユーザー ID	EBUSER	文字	10
プログラム ID	EBPID	文字	10
ワークステーション ID	EBJOBN	文字	10
更新日付	EBUPMJ	日付	6
時刻	EBTDAY	日付	6
最終更新時刻	EBUPMT	数値	6

バッチ - 代替住所テーブル (F01161Z1) のフィールドのマッピング

このセクションでは、F01161Z1 テーブルのフィールドの一覧を記載します。一部のフィールドは、人名録情報バッチのアップロード プログラム (R011110Z) の実行において必須フィールドとなります。その他は必須ではありません。全てのフィールドが住所録フォームで表示されたり、住所録システムで使用されるわけではありません。

必須フィールド

以下は、F01161Z1 テーブルの必須フィールドの一覧です。フィールドによっては、空白が有効値となります。次のフィールドに入力された値は、代替住所テーブル (F01161) に取り込まれます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-ユーザーID	LBEDUS	文字	10	ユーザー定義のID番号。人名録バッチのアップロードプログラムの実行者のユーザーID、またはワークフローメッセージの受信者のユーザーIDを入力します。このフィールドと、LBEDTN および LBEDBT の各フィールドを組み合わせることにより、トランザクションが個別に識別されます。
EDI-バッチ番号	LBEDBT	文字	15	人名録バッチのアップロードプログラムの実行者が各バッチに割り当てる番号。このフィールドが変更されるたびに、新しいバッチ番号が割り当てられます。処理する各トランザクショングループに1つのバッチ番号を割り当てることで、パフォーマンスを大幅に向上することができます。
EDI-トランザクション番号	LBEDTN	文字	22	各トランザクションを識別する番号。トランザクション番号ごとに、異なる代替住所レコードを示します。1つのバッチには、番号の重複したトランザクションが存在することはできません。通常このフィールドには、送信者がトランザクションを簡単に識別できるようにソースシステムの伝票番号が含まれます。
EDI-行番号	LBEDLN	数値	7	レコードを個別に識別する番号。各トランザクションには、連続する複数の行番号を含めることができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
EDI-処理済み	LBEDSP	文字	1	<p>トランザクションが正常に処理されたかどうかを示す値。このフィールドは空白にしてください。Nは、トランザクションが処理されずにエラーが発生したことを示します。</p> <p>トランザクションが正常に終了すると、値がYに変わります。</p>
アクションコード	LBTNAC	文字	2	<p>実行するトランザクションの処理を示す値。Aは新規トランザクションを示します。Cは既存の伝票の変更を示します。Dは既存のレコードの削除を意味します。変更および削除の処理は、追加処理後に行う必要があります。</p> <p>送信処理の場合、このフィールドは変更後トランザクション(UA)または変更前トランザクション(UB)のいずれかに更新されます。連絡先情報MBFPOの処理オプションがオンになっている場合にのみ、このフィールドにUBが使用されます。</p> <p>送信処理では、追加には「A」を、削除には「D」を入力することもできます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
住所番号	LBAN8	数値	8	<p>仕入先、顧客、従業員、会社などを識別する固有の値。</p> <p>このフィールドをblankにすると、住所録システムの自動採番テーブル (F0002) を基に自動的に番号が割り当てられます。</p> <p>このフィールドに値を入力する場合、SZTNACフィールドの値がC (既存レコードの変更) に指定されている場合を除き、住所録マスター (F0101) にある値は使用できません。住所録マスターに値が存在する場合は、トランザクションが重複しているとみなされ、処理は実行されません。</p>
タイプ-住所番号	LBATYPE	文字	5	<p>自宅や会社の住所など住所のタイプを表すコード。このフィールドには、UDCテーブル 01/AT (住所タイプ) で定義されている値を入力する必要があります。</p>
人名録行	LBIDLN	数値	5	<p>代替住所レコードに関連付ける人名録項目を指定する値。</p>

任意フィールド

以下の表は、F01161Z1 の任意フィールドの一覧です。これらのフィールドを使用して、トランザクションに関する追加情報を提供することができます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
トランザクションタイプ	LBTYTN	文字	8	トランザクションのタイプを識別する値。このフィールドがblankで、人名録 MBF (P0100087) のトランザクションタイプの処理オプションが設定されている場合は、このフィールドは処理オプションの値で更新されます。 送信処理を使用する場合の必須フィールドです。
送受信インジケータ	LBDRIN	文字	1	トランザクションが受信と送信のどちらであるかを指定する値。有効値は以下のとおりです。 blank: 受信 2: 送信
EDI- 処理済み明細行数	LBEDDL	数値	5	特定のトランザクションに含まれる明細行数。これは参照用のフィールドです。
取引先 ID	LBPnid	文字	15	電子データ交換 (EDI) で、取引先を識別するために使用する値。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
開始有効日	LBEFTB	日付	6	<p>代替住所レコードが始めて有効になる日付。データベースで使用可能な形式で指定します。データベースによっては、グレゴリオ暦の日付形式 (mmddyy または yymmdd) が入力できる場合と、ユリウス暦の日付形式で入力する必要がある場合があります。</p> <p>ユリウス暦の日付は、cyyddd (c は世紀数下 1 桁) という形式で表します。21 世紀のトランザクションには「1」を入力します。たとえば、6/1/2005 (2005 年 6 月 1 日) はユリウス暦では 105152 になります。6/1/04 (2004 年 6 月 1 日) は 104153 になります (2000 年は 2 月 29 日があるうるう年のためです)。</p>
住所行 1、住所行 2、住所行 3、住所行 4	LBADD1 LBADD2 LBADD3 LBADD4	文字	40	代替住所レコードの郵送先住所を識別する英数字の値。
郵便番号	LBADDZ	文字	12	郵便物の配達用に各国の郵便機関によって住所に関連して割り当てられたコード。
市町村	LBCTY1	文字	25	代替住所に使用する市。
郡	LBCOUN	文字	25	郵便物の配達または税務上の目的で住所の表記に使用する群、地域、行政上の特別区。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	説明
都道府県(州)	LBADDS	文字	3	住所に使用する都道府県。このフィールドには、UDCテーブル 00/S(都道府県)で定義されている値を入力する必要があります。
国	LBCTR	文字	3	住所に使用する国。このフィールドには、UDCテーブル 00/CN(国コード)で定義されている値を入力する必要があります。
有効日付フラグ	LBEFTF	文字	1	住所に有効日付が設定されているかどうかを示すコード。
主住所フラグ	LBMAINA	文字	1	この住所が基本住所であることを示すコード。

無視されるフィールド

以下の表は、F01161Z1 テーブルで無視されるフィールドの一覧です。これらのフィールドの値は使用されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
EDI-伝票タイプ	LBEDCT	文字	2
EDI-変換フォーマット	LBEDFT	文字	10
EDI-送信日付	LBEDDT	日付	6
トランザクション入力者	LBTORG	文字	10
ユーザーID	LBUSER	文字	10
プログラムID	LBPID	文字	10
ワークステーションID	LBJOBN	文字	10
更新日付	LBUPMJ	日付	6
時刻	LBTDAY	日付	6
最終更新時刻	LBUPMT	数値	6

関連項目:

EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook:Foundation

付録 B

住所録システムで使用するテーブル

住所録システムには、住所録情報用のテーブルとバッチ処理用のテーブルがあります。

住所録テーブル

以下の表は、住所録システムで使用するテーブルの一覧です。

テーブル	説明
住所録マスター (F0101)	住所番号が割り当てられた個人または会社の、名前、住所番号、検索タイプ、および住所録カテゴリコードを保存します。
住所録 - 人名録 (F0111)	特定の住所番号に関連付けられた個人の、名前、住所録情報、および人名録カテゴリコード情報を保存します。
関連先 (F01112)	人名録に関連付けられた個人の、名前、個人情報、および関連先カテゴリコード情報を保存します。
住所録 - 連絡先電話番号 (F0115)	市外局番、電話番号および電話のタイプを保存します。
電子メール/インターネットアドレス (F01151)	人名録に関連付けられた電子メールおよび URL アドレスを保存します。
日付別住所 (F0116)	住所番号に関する、住所、住所行、郵便番号、有効日付を保存します。
郵便番号 (F0117)	入力した郵便番号に対応する市、都道府県(州)、国のほか、オプションで第2郵便番号、料金別納郵便センター、配送経路を保存します。
代替住所 (F01161)	人名録レコードと連絡先レコードの、住所、住所行、郵便番号、および有効日付を保存します。
住所組織構造マスター (F0150)	親番号、子番号、住所番号、および構造タイプを保存します。
親/子関係(上級) (F01501)	親番号と人名録の子番号を保存します。

テーブル	説明
国別固定情報マスターファイル (F0070)	国外の宛名ラベル用の国別の住所フォーマットを保存します。
住所録検索マスター (F01815)	名前の検索時に参照される語句を保存します。
補足データベース-コア (F01090) 補足データベース-コード (F01092) 補足データベース-説明 (F01093)	テキストおよび統計情報など、ユーザー定義情報を保存します。
住所録マスター監査ログ (F0101A)	既存の住所録レコードに対する変更の記録と、入力された新規住所録レコードの記録を保存します。
住所録データ許可リスト定義 (F01138)	住所録データのプライバシー保護のために使用される許可リストの定義を保存します。保存される情報には、データのプライバシーのため保護すべきフィールドが含まれます。
郵便番号別住所 (F0118)	特定の郵便番号に関連付けられた住所を保存します。
アクティビティマスター (F01301)	基本設定カレンダー モジュールで使用するアクティビティとタスクを保存します。
アクティビティマスターワークテーブル (F01301W)	アクティビティとタスクのレコードを保存します。アクティビティの照会時に生成される定期処理レコードも保存対象に含まれます。
アクティビティ-同期用削除 ID (F01302)	接続解除モードで削除されたレコードを保存します。
カレンダー マスター (F01311)	基本設定カレンダー モジュールで作成された全てのカレンダーについて、カレンダーレコードおよび関連プロパティを保存します。
定期マスター (F01321)	アクティビティとタスクの定期処理パターンを保存します。
定期除外 (F01331)	アクティビティまたはタスクで指定した定期処理の除外設定を保存します。
アクションプラン (F01401)	アクティビティテンプレートのグループ (擬似グループ) を保存します。後に実際のアクティビティを作成する際に使用されます。
アクションプラン アクティビティ (F01411)	アクションプランとの関連付けに使用可能なアクティビティテンプレートを保存します。
連絡先サブスクリプションテーブル (F011901)	EnterpriseOne サーバーとPIMの同期対象として指定された連絡先を保存します。

テーブル	説明
仕入先マスター (F0401)	仕入先固有の情報を保存します。
業種別顧客マスター (F03012)	顧客固有の情報を保存します。

バッチ処理用の住所録テーブル

以下の表は、住所録システムでバッチ処理に使用するテーブルの一覧です。

テーブル	説明
住所録 - インタオペラビリティ (F0101Z2)	EnterpriseOne の住所録マスターにアップロードするために外部ソース (サードパーティ) から読み込んだ住所録レコードを保存します。
業種別顧客マスター - バッチ テーブル (F03012Z1)	EnterpriseOne の顧客マスターレコードにアップロードするために外部ソース (サードパーティ) から読み込んだレコードを保存します。
仕入先マスター - バッチ アップロード (F0401Z1)	EnterpriseOne の仕入先マスターレコードにアップロードするために外部ソース (サードパーティ) から読み込んだレコードを保存します。
バッチ - 人名録情報 (F0111Z1)	EnterpriseOne の人名録テーブルにアップロードするために外部ソース (サードパーティ) から読み込んだ人名録レコードを保存します。
バッチ - 関連先 (F01112Z1)	EnterpriseOne の関連先情報テーブルにアップロードするために外部ソース (サードパーティ) から読み込んだ関連先情報レコードを保存します。
電話番号 - インタオペラビリティ (F0115Z1)	連絡先の電話番号情報を保存します。
バッチ - 電子メール アドレス (F01151Z1)	EnterpriseOne の電子メール アドレスレコードにアップロードするために外部ソース (サードパーティ) から読み込んだ電子メールおよび URL レコードを保存します。
バッチ - 代替住所 (F01161Z1)	EnterpriseOne の代替住所レコードにアップロードするために外部ソース (サードパーティ) から読み込んだ代替住所レコードを保存します。

関連項目:

第 5 章、「住所録レコードの入力」、「住所録レコードの追加」、48ページ

付録 C

EnterpriseOne 住所録の標準ワークフロー

この付録では、EnterpriseOne 住所録の標準ワークフローについて説明します。

関連項目:

PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Workflow Tools

EnterpriseOne 住所録の標準ワークフロー

このセクションでは、EnterpriseOne 住所録の標準ワークフローについて説明します。

アクティビティ/タスクの通知

このセクションでは、アクティビティ/タスクの通知ワークフローについて説明します。

説明

ワークフローの概要	基本設定カレンダーシステムのアクティビティ/タスクの作成者と割り当て先に対して、ワークフロー処理が開始されます。ワークフロー処理は、アクティビティ/タスクに対して指定されたリードタイムに達するまで、“スリープ状態”になります。リードタイムに達すると、作成者と割り当て先に対してワークフローメッセージが送信されます。
ワークフロートリガ	アクティビティ/タスクを入力または更新して、通知オプションにリードタイムとリードユニットを選択すると、ワークフロー処理が開始されます。
ワークフローアクション	アクティビティ/タスクの作成者と割り当て先が、通知メッセージを受信します。メッセージに含まれる内容は、住所番号フィールド1、住所録1の連絡先、住所番号フィールド2、住所録2の連絡先、アクティビティやタスクの説明、アクティビティタイプ、開始日と開始時間、および終了日と終了時間です。

ワークフロー オブジェクト

システム	01
ワークフローオブジェクト名	K0130040
オブジェクトID	N0130040
イベント記述/関数名	ActivityStartReminder
順序/行番号	19

付録 D

住所録レポート

この付録では、住所録レポートの概要と、各種レポートの用途について説明します。

- レポートの一覧表
- 主なレポートの詳細

住所録レポート

住所録レポートでは、処理オプションは基本的に使用しません。その代わりに、各レポートは 1 つのバージョンであり、独自のメニューが提供されています。住所録レポートでは、以下のテーブルの情報が使用されます。

- 住所録マスター (F0101)
- 住所録 - 人名録 (F0111)
- 日付別住所 (F0116)

各種レポートを出力することにより、住所録情報が正確かどうかを確認したり、変更状況を追跡することができます。レポートによっては、住所に割り当てた連絡先名の数により、1 つの住所が何度も出力されることがあります。

住所録レコードとして設定されている個人や会社宛に郵便物を送付する場合、住所録システムを使用して宛名ラベルを印刷することができます。Cheshire ラベルまたは標準宛名ラベルのいずれかを使用して、宛名ラベルを印刷できます。ラベルは、国別に指定したフォーマットで印刷されます。国別固定情報テーブル (F0070) に設定されていない国の場合は、デフォルトの国のフォーマットでラベルが印刷されます。

有効日付を使用する場合は、有効住所更新プログラム (R01840) を実行して、住所録レポートと宛名ラベルに最新の住所が出力されるようにします。

参照: [第 5 章、「住所録レコードの入力」、41 ページ](#)

住所録情報が正確であるかどうかを確認するには、コード付き詳細住所レポート (R01403) を印刷します。

住所録レポート(ID 順)

以下の表に、レポート ID の ID 順に住所録レポートを示します。

レポート ID/レポート名	記述	ナビゲーション
R01050 [カテゴリコードから顧客マスターへのコピー]	住所録のカテゴリコードを変更したとき、顧客マスターレコードのカテゴリコードをその値に更新する場合には、このプログラムを使用します。	[住所録上級/技術的操作](G0131)、 [カテゴリコードから顧客マスターへのコピー]
R01401 [宛名ラベルの印刷]	Cheshire マシンを使用したり、宛名ラベルを外注する場合には、このプログラムを使用します。	[定期処理](G0121)、[宛名ラベルの印刷]
R01401A [標準宛名ラベル]	自分で郵送作業を行い標準ラベル用紙を使用する場合には、このプログラムを使用します。	[定期処理](G0121)、[標準宛名ラベル]
R014021 [住所別レポート]	このレポートには、全ての住所の一覧が出力されます。住所番号ごとに詳細情報が 1 行出力されます。	[定期処理](G0121)、[住所別レポート]
R01402W [人名録別レポート]	このレポートには、人名録の全住所の一覧が出力されます。住所番号に関連付けられた人名録レコードごとに詳細情報が 1 行出力されます。	[定期処理](G0121)、[人名録別レポート]
R01403 [コード付き詳細住所]	このレポートには、全ての住所番号について、郵送先住所とカテゴリコードの一覧が出力されます。	[定期処理](G0121)、[コード付き詳細住所]
R01403W [コード付き詳細住所(人名録)]	このレポートには、全ての住所番号について、人名録の名前、郵送先住所、カテゴリコードの一覧が出力されます。	[定期処理](G0121)、[コード付き詳細住所(人名録)]
R014032A [税 ID 付き住所録レポート]	このレポートには、全ての仕入先の一覧とその税 ID 番号が出力されます。また、このレポートには各仕入先の個人/法人コードの値も出力されます。 参照: PeopleSoft EnterpriseOne 8.11 1099 Processing for 2004 PeopleBook	[年次処理](G0422)、[税 ID 付き住所録レポート]

主な住所録レポートの詳細説明

一部のレポートについて、処理オプションの情報などをより詳細に説明します。この付録では、レポート ID の ID 順に説明します。

R01050 - カテゴリ コードから顧客マスターへのコピー

住所録カテゴリ コードを変更した場合に、カテゴリ コードから顧客マスターへのコピー レポートを使用して、顧客マスターのカテゴリ コードと同期をとります。これにより、住所録カテゴリ コードの値が顧客マスター レコードの対応するカテゴリ コードにコピーされます。業種別処理を使用している場合は、データ選択で会社を指定しない限り、全ての会社の全顧客マスター レコードにカテゴリ コードがコピーされます。

カテゴリ コードから顧客マスターへのコピーの処理オプション

処理オプションで、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

カテゴリ コード 01-15

カテゴリ コード 01 からカテゴリ コード 15 からカテゴリ コード 15 へ更新するカテゴリ コードのフィールドに「1」を入力します。

カテゴリ コード 16-30

カテゴリ コード 16 からカテゴリ コード 30 からカテゴリ コード 30 へ更新するカテゴリ コードのフィールドに「1」を入力します。

R01401 - 宛名ラベルの印刷

Cheshire マシンを使用したり、宛名ラベルを外注する場合に、宛名ラベルの印刷プログラム (R01401) を使用します。

接着剤の付いていない白の用紙にラベルを印刷します。宛名ラベルの印刷プログラムでは、横 3.2 インチ、縦 0.9 インチのラベルが横 4 列に印刷されます。1 枚の Cheshire ラベルには、住所行 4 行を含めて最大 6 行まで印刷できます。Cheshire ラベルの用紙のサイズは、横 14 7/8 インチ、縦 12 インチです。Cheshire マシンを使ってラベル用紙を個々のラベルにカットできます。カットしたラベルを郵便物に貼ります。

宛名ラベルの印刷 (R01401) の処理オプション

処理オプションで、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

印刷

1. ラベル タイプ
 - 印刷するラベルのタイプを指定します。有効値は以下のとおりです。
 - 1: Cheshire ラベル
 - 2: Dun/Bradstreet ラベル (将来使用)
2. Cheshire ラベル フォーマット
 - Cheshire ラベル フォーマットを指定します。有効値は以下のとおりです。
 - 1: 標準フォーマット
 - 2: 住所番号を含める
 - 3: 電話番号を含める
3. Dun/Bradstreet ラベル フォーマット (将来使用)
 - 将来使用の処理オプションです。
 - Dun/Bradstreet ラベル フォーマットを指定します。有効値は以下のとおりです。

- 1: 標準フォーマット
- 2: 住所番号を含める
- 3: 電話番号を含める

R01401A - 標準宛名ラベル

自分で郵送作業を行い標準ラベル用紙を使用する場合に、標準宛名ラベル プログラム (R01401A) を使用して、宛名ラベルを印刷します。レーザー プリンタまたはドット マトリックス プリンタを以下の設定で使用できます。

- レーザー プリンタの場合は、Avery Laser Printer Label #5260 (1 インチ × 2 5/8 インチ) を使用し、用紙は縦に印刷します。
- ドット マトリックス プリンタの場合は、Avery Pin Fed Label #4062 (3 1/2 インチ × 1 7/16 インチ) を使用します。

ドット マトリックス プリンタの場合は、10 文字/インチ、または 15 文字/インチの印字密度を選択できます。10 文字/インチを選択すると、ラベルには 32 文字印刷されます。15 文字/インチを選択すると、40 文字印刷されます。

ドット マトリックス プリンタによっては、1 インチに 15 文字を印刷できない場合があるため、ラベルをフルセット印刷する前に、少数のラベルを (たとえば 4 ラベル程度) 使用してプリンタのテストを行ってください。ドット マトリックス プリンタで 15 文字/インチを印刷できない場合は、1 セット印刷後に改ページされます。テストを実行してラベルを 1 セット印刷した後に改ページされない場合は、1 インチあたり 15 文字を印刷できるプリンタです。

全てのラベルには名前と住所の情報が含まれており、必要に応じて住所番号、電話番号、または住所および電話番号を含めることができます。ラベルは、国別に指定したフォーマットで印刷されます。国別固定情報テーブル (F0070) に設定されていない国の場合は、デフォルトの国のフォーマットでラベルが印刷されます。

標準宛名ラベル (R01401A) の処理オプション

処理オプションで、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

表示

1. 印刷フォーマット
標準宛名ラベルに印刷する情報を指定します。有効値は以下のとおりです。
 - 1: 宛名ラベル。郵送宛名と郵送先住所を印刷します。
 - 2: 宛名ラベル (住所番号と電話番号付き)。郵送宛名、郵送先住所、住所番号、電話番号を印刷します。
 - 3: 宛名ラベル (住所番号付き)。郵送宛名、郵送先住所、住所番号を印刷します。
 - 4: 宛名ラベル (電話番号付き)。郵送宛名、郵送先住所、電話番号を印刷します。郵送先住所の行 1 から 4 がラベルに印刷されます。

EnterpriseOne 用語集

DNT - 変換なし	BLOB データの制約のため、iSeries サーバーに必要なデータソースのタイプです。
EnterpriseOne オブジェクト	アプリケーションのビルドに使用される再利用可能なコードです。オブジェクトタイプには、テーブル、フォーム、ビジネス関数、データ辞書項目、バッチ処理、ビジネスビュー、イベントルール、バージョン、データ構造体、メディアオブジェクトなどがあります。
EnterpriseOne プロセス	EnterpriseOne クライアントと EnterpriseOne サーバーでのプロセスリクエストの処理とトランザクションの実行のためのソフトウェア プロセスです。クライアントでは 1 つのプロセスが実行され、サーバーでは 1 つのプロセスの複数のインスタンスを処理することができます。EnterpriseOne プロセスをワークフロー メッセージやデータレプリケーションなどの特定のタスク専用指定することで、サーバーが大量のタスクを処理する場合でも重要なプロセスの実行を確保することができます。
FTP サーバー	ファイル転送プロトコルを通じてファイルへのリクエストに応答するサーバーです。
IServer サービス	JD Edwards 独自のサービスです。このインターネット サーバー サービスは Web サーバーに常駐し、データベースからクライアントへの Java クラスのファイル配信を高速化するために使用されます。
Java アプリケーション サーバー	サーバー中心のアーキテクチャの中間層に置かれるコンポーネントベースのサーバーです。このサーバーは、データアクセスや永続性と共に、セキュリティとステータスの管理を行うためのミドルウェア サービスを提供します。
JDBNET	異種サーバー間でのデータアクセスを行うためのデータベースドライバです。
JDEBASE データベースミドルウェア	クライアント/サーバー間のアクセスとプラットフォーム非依存型の API を提供する JD Edwards 独自のデータベースミドルウェアパッケージです。
JDECallObject	ビジネス関数から他のビジネス関数を呼び出すための API です。
JD Edwards EnterpriseOne データベース	“JDEBASE データベースミドルウェア”を参照してください。
jde.ini	EnterpriseOne の初期設定に必要なランタイム設定を提供する JD Edwards EnterpriseOne のファイル (または iSeries 用のメンバー) です。EnterpriseOne を実行する各マシンには、ファイルまたはメンバーの特定バージョンを常駐させる必要があります。これには、ワークステーションとサーバーが含まれます。
JDEIPC	サーバーコードによって使用される通信プログラミングツールであり、マルチプロセス環境における同一データへのアクセス制限、プロセス間の通信と調整、新規プロセスの作成を行います。
jde.log	EnterpriseOne の主要な診断ログ ファイルです。このファイルは常に主ドライブのルートディレクトリに置かれ、EnterpriseOne の起動時からの状況とエラー メッセージが書き込まれます。
JDENET	JD Edwards 独自の通信ミドルウェアパッケージです。このパッケージは、ピアツーピア、メッセージベース、ソケットベースのマルチプロセス通信用ミドルウェアソリューションです。EnterpriseOne の全てのサポート対象プラットフォームでクライアント/サーバー間、サーバー/サーバー間の通信を処理します。
Nota Fiscal	ブラジルでは、税務処理のために全ての商取引についてこの書式を作成し、税法で指定された情報を含めることが義務付けられています。
Nota Fiscal Factura	ブラジルで使用する書式です。伝票情報を伴う “Nota Fiscal” です。

	Nota Fiscal の説明も参照してください。
QBE	Query by Example (例示照会) の略語です。EnterpriseOne では、QBE 行は、詳細グリッドの最上段にあり、データのフィルタリングに使用されます。
wchar_t	ワイド文字の内部タイプです。国際市場向けの移植可能プログラムの記述に使用します。
Web アプリケーション サーバー	Web アプリケーションと、バックエンドシステムおよび電子商取引に使用されているデータベースとの間のデータ交換を可能にする Web サーバーです。
Web サーバー	ブラウザから送信されたリクエストに応じて、TCP/IP プロトコルを使用して情報を送信するサーバーです。Web サーバーでは、ブラウザからのリクエストへの対応以外にも、アプリケーションやデータの格納など、通常のサーバーが行うあらゆるタスクを処理することができます。どのようなコンピュータでも、サーバーソフトウェアをインストールし、インターネットに接続すれば、Web サーバーとして使用できます。
Windows ターミナル サーバー	マルチユーザー機能を持つサーバーであり、このサーバーに接続することで、それ自体では Windows ソフトウェアを実行できない端末や最小限構成のコンピュータでも Windows アプリケーションを使用することができます。全てのクライアント処理は、Windows ターミナル サーバーで集中的に実行され、画面表示、キー入力、およびマウス操作のコマンドのみがネットワーク経由でクライアントの端末機器とターミナル サーバー間で転送されます。
XAPI イベント	システム呼び出しを使用して EnterpriseOne のトランザクションを発生時に取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムを呼び出すサービスです。
XML CallObject	ビジネス関数の呼び出しを行うためのインタオペラビリティ機能です。
XML サービス	EnterpriseOne システムからイベントをリクエストし、別の EnterpriseOne システムから応答を受信することを可能にするインタオペラビリティ機能です。
XML ディスパッチ	EnterpriseOne で受信する全ての XML ドキュメントへの応答のための、単一のエン트리ポイントを提供するインタオペラビリティ機能です。
XML トランザクション	事前定義済みのトランザクションタイプを使用して EnterpriseOne にデータをリクエストしたり、EnterpriseOne からデータを受信することを可能にするインタオペラビリティ機能です。XML トランザクションではインターフェイステーブル機能が使用されます。
XML トランザクション サービス (XTS)	EnterpriseOne のフォーマットではない XML ドキュメントを EnterpriseOne で処理可能なフォーマットに変換するサービスです。このサービスでは、応答時に、変換されたドキュメントが元の (発信側の) XML フォーマットに戻されます。
XML リスト	EnterpriseOne データベース情報のチャンク単位でのリクエスト/受信を可能にするインタオペラビリティ機能です。
Z イベント	インターフェイステーブル機能を使用して EnterpriseOne トランザクションを取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムに通知を提供するサービスです。
Z テーブル	EnterpriseOne 以外のデータを保存し、EnterpriseOne 用に変換することができるワークテーブルです。EnterpriseOne データの取得にも Z テーブルを使用できます。Z テーブルはインターフェイステーブルとも呼ばれます。
Z トランザクション	EnterpriseOne データベースへの更新のためにインターフェイステーブルで正しくフォーマットされたサードパーティのデータです。
アクティビティルール	フロー内でオブジェクトがあるポイントから次のポイントに進むための条件です。

アプリケーション一時変更	代替的なデータ辞書項目の記述であり、現在のオブジェクトのシステムコードに基づいて EnterpriseOne や World で表示されます。
アプリケーション サーバー	ネットワーククライアントに共有されるアプリケーションを含む、ローカル エリア ネットワーク内のサーバーです。
イベントルール	フォームの入力や、フィールド間の移動など、特定のアプリケーションで実行される操作に基づく処理(複数可)の実行をシステムに指示する論理ステートメントです。
イベントルールビジネス関数 (NER)	C 言語ではなく、イベントルールを使用して作成され、カプセル化された再利用可能なビジネスロジックです。イベントルールビジネス関数は、“NER” とも呼ばれます。NER は、複数のプログラムの複数の場所で再利用することができます。このモジュラー性の高さによって、コードの合理性や再利用性が高まり、必要な作業がより少なくなります。
インターフェイステーブル	“Z テーブル” を参照してください。
インタオペラビリティモデル	サードパーティシステムから EnterpriseOne への接続やアクセスを行うための機能です。
インテグレーション サーバー	コンピュータが内部および外部のネットワークで接続されたシステム環境で、各種のオペレーティングシステムやアプリケーション間でのデータの交換を行うための機能を提供するサーバーです。
埋め込みイベントルール	特定のテーブルやアプリケーションのためのイベントルールです。たとえば、フォーム間の呼び出し、処理オプションの値に基づくフィールドの非表示化、ビジネス関数の呼び出しなどが含まれます。“イベントルールビジネス関数”とは機能的に対照を成すルールです。
エスカレーション モニター	処理待ちのリクエストや活動を監視し、それらが非アクティブの状態のまま指定した時間が経過すると、再実行するか、または次のステップやユーザーに処理を進めるバッチプロセスです。
エラー表示の有効化	EnterpriseOne におけるフォームレベルのプロパティであり、有効時にはアプリケーション エラーのエラーメッセージがフォーム上に表示されます。
エンタープライズ サーバー	EnterpriseOne や World のデータベースとロジックを格納するサーバーです。
オープン データ アクセス (ODA)	データの集計とレポートの作成のために、SQL ステートメントを使用して EnterpriseOne のデータを抽出することができるインタオペラビリティモデルです。
オブジェクト構成マネージャ (OCM)	EnterpriseOne では、ランタイム環境のオブジェクトリクエストブローカーおよび制御センターとして機能します。OCM によって、ビジネス関数、データ、バッチアプリケーションのランタイム ロケーションを追跡します。これらのオブジェクトのいずれかが呼び出されると、OCM では、指定された環境/ユーザーのデフォルト値と一時変更情報に基づいて、そのオブジェクトにアクセス先が指定されます。
オブジェクトライブラリアン	アプリケーションのビルドに再利用可能な全てのバージョン、アプリケーション、ビジネス関数のリポジトリです。オブジェクトライブラリアンによって、開発者にチェックアウト機能とチェックイン機能が提供されます。また、EnterpriseOne オブジェクトの作成、変更、使用の制御も行われます。オブジェクトライブラリアンは複数の環境(生産環境や開発環境など)に対応しているため、異なる環境間でオブジェクトを簡単に移動することができます。
オブジェクトライブラリアン マージ	前のリリースでオブジェクトライブラリアンに加えられた全ての変更を新規リリースのオブジェクトライブラリアンに統合するプロセスです。
オフライン機能	サーバーと接続されていないユーザーがトランザクションを入力し、後にサーバーに接続してそれらのトランザクションをアップロードすることができる処理モードです。

拡張プランニング エージェント (APAg)	業務データの抽出、加工、読み込みに使用できる EnterpriseOne のツールです。APAg は、リレーショナル データベース、フラットファイル フォーマットおよび XML のような他のデータまたはメッセージ エンコーディング形式によるデータソースへのアクセスをサポートしています。
活動	EnterpriseOne の Form Design Aid で使用される、スケジュール機能をもつエンティティであり、カレンダー上で指定した時間の量を表します。
仮定処理	取引に実際に使用されている通貨とは異なる通貨で入力されたように、取引の金額を表示することができる処理です。
環境ワークベンチ	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、各環境の環境情報とオブジェクト構成マネージャテーブルを、プランナ データソースからシステム リリース番号のデータソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、環境プラン詳細レコードも更新されます。
期間パターン	標準の会計処理と 52 期間会計で、会計年度の開始日とその会計年度内の各期間の終了日を表すカレンダーです。
基準日処理	ある時点を指定して、その日付までの取引を集計する処理です。たとえば、日付を指定して EnterpriseOne の各種のレポートを実行し、その時点での勘定科目やビジネスユニットなどの残高や金額を確認することができます。
計画ファミリ	設計と製造に類似点があるため、まとめて計画することが合理的である複数の最終品目をグループ化する手段です。
原価要素	EnterpriseOne 製造管理において、特定の品目 (資材費、人件費、間接費など) の原価の一要素を表します。
コスト割当	EnterpriseOne 収益性分析のプロセスであり、リソースのトレースや、活動やコストオブジェクトへの配賦に使用されます。
コネクタ	EnterpriseOne とサードパーティアプリケーションの間でのロジックとデータの共有を可能にするコンポーネントベースのインタオペラビリティ (相互運用) モデルです。EnterpriseOne コネクタアーキテクチャには Java コネクタと COM コネクタが含まれています。
コントロールテーブル マージ	顧客が変更したコントロールテーブルを新規リリースのデータに統合するプロセスです。
コントロールテーブルワークベンチ	インストール ワークベンチの処理中に、プランで指定したデータ辞書、ユーザー定義コード、メニュー、ユーザー時変更テーブルを更新するバッチアプリケーションを実行するアプリケーションです。
サーバーワークベンチ	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、サーバー設定ファイルを、プランナ データソースからシステム リリース番号データソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、サーバープラン詳細レコードも更新されます。
差異	<p>キャピタルアセット マネジメントでは、1つの設備で発生した収益と、その設備に関連して発生した原価の差を意味します。</p> <p>JD Edwards EnterpriseOne プロジェクト原価管理と JD Edwards EnterpriseOne 製造管理では、同じ品目に対する2つの原価計算方式の間に生じる差異を意味します。たとえば、凍結標準原価と現行原価の差は設計差異です。凍結標準原価は原価要素テーブルから取得され、現行原価は資材、工程、間接費の各レートを使用して計算されます。</p>
最終モード	データレコードの更新や作成を行うプログラムの処理モードのレポート処理モードの1つです。
作業日カレンダー	JD Edwards EnterpriseOne 製造管理で、計画の作成に使用されるカレンダーです。稼働可能な日数に基づいて構成品と作業指示のスケジュールを設定

	できるように、このカレンダーには作業日のみが連続的に表示されます。作業日カレンダーは、計画カレンダー、製造カレンダー、または製造現場カレンダーと呼ばれる場合もあります。
差し込み印刷ワークベンチ	業務文書を自動的に印刷するために、Microsoft Word 6.0(またはそれ以上のバージョン)の文書とEnterpriseOneのレコードをマージするアプリケーションです。雇用の証明に関する書式などの文書の印刷に、差し込み印刷ワークベンチを使用することができます。
サブスクリバテーブル	F98DRSUB テーブルを指しています。このテーブルは F98DRPUB テーブルと共にパブリッシャサーバーに置かれ、各パブリッシュ済みテーブルの全てのサブスクリバマシンの識別に使用されます。
3方向伝票突合せ	EnterpriseOne 調達管理および外注管理で、入荷情報と仕入先の請求書を比較して伝票を作成するプロセスです。3方向突合せでは、入荷レコードを使用して伝票を作成します。
施設	原価のトラッキング対象となる業務の単位の1つです。たとえば、倉庫所在地、ジョブ、プロジェクト、ワークセンター、事業所などがあります。施設は、ビジネスユニットと呼ばれる場合もあります。
指定通貨	会社の財務レポートで基準として使用される通貨です。
従業員ワークセンター	発信側のアプリケーションやユーザーに関係なく、システム生成メッセージとユーザー作成メッセージを含む全ての EnterpriseOne メッセージを送受信するための中心のロケーションです。各ユーザーには、アクティブメッセージなど、ワークフローやその他のメッセージを含むメールボックスが割り当てられます。
出力ストリーム アクセス (OSA)	EnterpriseOne のインターフェイスを設定し、別のソフトウェアパッケージ (Microsoft Excel など) にデータを渡して処理を実行することができるインタオペラビリティモデルです。
処理オプション	このデータ構造によって、ユーザーはバッチプログラムやレポートの実行を制御するパラメータを指定することができます。たとえば、処理オプションを使用して、特定のフィールドのデフォルト値の指定、情報の表示および印刷の方法、日付範囲の指定、プログラムの実行を制御するランタイム値の入力などがあります。
スペック	EnterpriseOne オブジェクトの完全な説明です。各オブジェクトには固有の仕様またはアプリケーションのビルドに使用される名称があります。
スペックテーブル マージ ワークベンチ	インストールワークベンチプロセスの実行時に、スペックテーブルを更新するバッチアプリケーションを実行するアプリケーションです。
スペック マージ	オブジェクトライブラリアン マージ、バージョンリスト マージ、およびセントラルオブジェクト マージで構成されるマージ機能です。この機能を使用して、顧客が変更したデータを新規リリースのデータに統合することができます。
スポットレート	トランザクションレベルで入力される為替レートです。このレートは、2つの通貨の間に設定されている為替レートより優先されます。
3ステップ処理	EnterpriseOne でのバッチトランザクションの入力、検討と承認、転記のタスクを指します。
整合性テスト	社内の貸借一致手順を補足するために使用するプロセスであり、問題のある残高情報やデータ不整合の特定とレポート作成を行うことができます。
セグメント間編集	コンフィギュレーション品目セグメント間の関係を設定する論理ステートメントです。セグメント間編集を使用して、製造不可能のコンフィギュレーションのオーダーを防ぐことができます。
選択	メニューに表示される選択項目は、メニューからアクセスできる各機能を表します。選択するには、関連する番号を選択フィールドに入力して Enter キーを押します。

セントラルオブジェクト マージ	現行のリリースで顧客がオブジェクトに加えた変更を、次の(新規の)リリースのオブジェクトに統合する処理です。
セントラル サーバー	クライアントマシンに配布されるソフトウェアの、最初にインストールされたバージョン(セントラルオブジェクト)の格納用に指定されたサーバーです。EnterpriseOne の典型的なインストールでは、ソフトウェアは1つのマシン(セントラルサーバー)にロードされます。次に、セントラルサーバーにつながっている各種のワークステーションに向けてソフトウェアのコピーがプッシュアウトされます(またはワークステーションからダウンロードされます)。このような構成にすることで、ワークステーション上での使用によってソフトウェアが変更されたり、破損した場合には、常にセントラルサーバー上にある変更前のオブジェクトのセット(セントラルオブジェクト)にアクセスすることができます。
相殺/仮勘定	EnterpriseOne Financial Management の一般会計勘定科目であり、仕訳入力 of 相殺(貸借一致)処理に使用されます。たとえば、相殺/仮勘定を使用して、EnterpriseOne 一般会計の配賦によって作成された会計入力の貸借一致を行うことができます。
即時バッチオブワン	処理をクライアントワークステーション上で実行してから、後続の処理のために全てを一度にサーバーアプリケーションに投入するトランザクションの方式です。バッチ処理はサーバー上で実行されるため、クライアントアプリケーションは引き続き他のタスクを実行できます。 “ダイレクト接続”と“オフライン処理”も参照してください。
ターミナルサーバー	このサーバーを使用して、端末、マイクロコンピュータ、その他の機器を、ネットワーク、ホストコンピュータ、または特定のコンピュータに取り付けられたデバイスに接続することができます。
代替通貨	取引通貨(国内のみの取引の場合は国内通貨)として指定した通貨と異なる通貨です。 EnterpriseOne Financial Management では、代替通貨を使用して、領収書や支払の入力を発行時と異なる通貨で行うことができます。
ダイレクト接続	クライアントアプリケーションとサーバーアプリケーションが対話形式で直接通信するトランザクション方式です。 “即時バッチオブワン”、“オフライン処理”の説明も参照してください。
チャート	EnterpriseOne の情報の表形式の表示であり、ソフトウェアのフォームに表示されます。
追加モード	ユーザーによるデータの入力可能なフォームの状態です。
通貨再換算	通貨を別の通貨に換算するプロセスであり、一般的にはレポートに使用されます。たとえば、通貨再換算のプロセスを使用して、さまざまな通貨を単一の通貨に換算する必要がある連結レポートの作成に対応することができます。
突き合わせ伝票	取引を完了または変更するために、当初伝票と関連付けられる伝票です。たとえば、EnterpriseOne Financial Management では、入金請求書の突き合わせ伝票であり、支払が支払伝票の突き合わせ伝票です。
データソースワークベンチ	インストールワークベンチの処理中に、インストールプランに定義された全てのデータソースを、プランナのデータソースに含まれるデータソースマスターとテーブル/データソースサイジングテーブルから、システムのリリース番号のデータソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、データソースプラン詳細レコードも更新されます。
データベースサーバー	データベースの管理やクライアントマシンの検索を実行するローカルエリアネットワーク内のサーバーです。

テーブルアクセス管理 (TAM)	ユーザー定義データの保存と取得を処理する EnterpriseOne コンポーネントです。TAMには、データ辞書定義、アプリケーション/レポートスペック、イベントルール、テーブル定義、ビジネス関数入力パラメータ、ライブラリ情報などの情報と、アプリケーション、レポート、ビジネス関数を実行するためのデータ構造体の定義が保存されます。
テーブルイベントルール	データベーストリガに添付されるロジックであり、トリガに指定されたアクションがテーブルに対して発生した場合に起動します。EnterpriseOne では、イベントルールをアプリケーションイベントに添付できますが、この機能はアプリケーション固有です。テーブルイベントルールでは、テーブルレベルでの埋め込みロジックを提供します。
テーブル変換	EnterpriseOne と、EnterpriseOne 以外のテーブルを使用するサードパーティシステムとの間でデータ交換を行うためのインタオペラビリティモデルです。
テーブル変換ワークベンチ	EnterpriseOne と、EnterpriseOne 以外のテーブルを使用するサードパーティシステムとの間でデータ交換を行うためのインタオペラビリティモデルです。
デプロイメントサーバー	複数のエンタープライズサーバーとクライアントマシンへのソフトウェアのインストールや、それらのソフトウェアの管理、配布に使用されるサーバーです。
電子データ交換 (EDI)	EnterpriseOne システムとサードパーティシステムの間で、コンピュータ間の業務トランザクションデータの交換をペーパーレスに行うことを可能にするインタオペラビリティモデルです。EDIを使用する会社は、EDI標準フォーマットからその会社のシステムで使用されているフォーマットにデータを変換するためのソフトウェアを備えている必要があります。
トランザクション処理 (TP) モニター	ローカル端末およびリモート端末と、それらを設定したアプリケーションの間でのデータ交換を制御するモニター機能です。また、TPモニターによって、分散環境でのデータの整合性が守られます。TPモニターには、データの検証と端末画面のフォーマットのプログラムが含まれる場合もあります。
トランザクションセット	複数のセグメントで構成されている電子的ビジネストランザクション(電子データ交換標準ドキュメント)です。
トリガ	データ辞書項目に固有の複数のイベントの1つです。イベントの発生時にシステム内で自動的に処理されるデータ辞書項目にロジックを添付することができます。
トリガイベント	特殊なアクションが必須であるか、または結果アクションが定義済みの、特定のワークフローイベントです。
2重価格設定	商品やサービスに2つの通貨で価格を設定するプロセスです。
2方向伝票突合せ	EnterpriseOne 調達管理および外注管理で、購買明細行と仕入先の請求書を比較して伝票を作成するプロセスです。入荷情報は記録しません。
バックツールバックプロセス	EnterpriseOne ワークフロー管理で使用されるプロセスであり、別のプロセスで使用されるキーと同じキーが含まれています。
パッケージ	EnterpriseOne オブジェクトは、デプロイメントサーバーからのパッケージとしてワークステーションにインストールされます。パッケージは、部品表やキットに例えることができ、ワークステーションに必要なオブジェクトと、インストールプログラムがそれらのオブジェクトを検出できるようにデプロイメントサーバー上の位置情報を含んでいます。パッケージは、デプロイメントサーバー上のセントラルオブジェクトの特定時点のスナップショットでもあります。
パッケージビルド	ソフトウェアの変更や新規アプリケーションの既存ユーザーへの反映を容易に行うことができるソフトウェアアプリケーションです。また、EnterpriseOne では、パッケージビルドとは、ソフトウェアのコンパイル済みバージョンを指す場合もあります。たとえば、使用中のERPソフトウェアのアップグレード時に、パッケージビルドの実行を指示されたとします。

“パッケージビルド”という用語について、以下のコンテキストを検討してください。“パッケージビルド時に実行されるビジネス関数のグローバルビルドでは新規の関数が自動的に含まれるため、配布の準備が整うまでビジネス関数を本稼働用パスコードに転送しないでください。”このように、パッケージビルドを作成するプロセスが“パッケージビルド”と呼ばれる場合もあります。

パッケージロケーション

パッケージとそのパッケージのレプリケート(複製)オブジェクトのセットが格納されるディレクトリ構造上の位置です。通常は、`¥deployment server¥release¥path_code¥package¥package name`に置かれます。このパスの下のサブディレクトリに、パッケージ用のレプリケートオブジェクトが格納されます。パッケージがビルドまたは格納される場所を指す場合もあります。

パッケージワークベンチ

インストールワークベンチプロセスの実行時に、パッケージ情報テーブルを、プランナデータソースからシステムリリース番号データソースに転送するアプリケーションです。処理の結果を反映するため、パッケージプラン詳細レコードも更新されます。

バッチサーバー

バッチ処理リクエストの実行用に指定されたサーバーです。通常、バッチサーバーにデータベースは格納されず、対話型アプリケーションも実行されません。

バッチ処理

サードパーティシステムから EnterpriseOne にレコードを転送する処理です。

EnterpriseOne Financial Management では、バッチ処理を使用して、EnterpriseOne 以外のシステムで入力された請求書や伝票のデータを EnterpriseOne 売掛管理や EnterpriseOne 買掛管理のシステムに転送することができます。また、顧客レコードや仕入先レコードを含む住所録情報を EnterpriseOne に転送することも可能です。

パブリッシャ

パブリッシュされたテーブルを受け持つサーバーです。F98DRPUB テーブルでは、企業内の全てのパブリッシュ済みテーブルとそれらに関連付けられたパブリッシャの識別が行われます。

パブリッシュされたテーブル

マスターテーブルとも呼ばれ、他のマシンにレプリケートされる元のテーブルです。パブリッシャマシンに格納される F98DRPUB テーブルにより、企業内の全てのパブリッシュされたテーブルとそれらに関連付けられたパブリッシャが識別されます。

バージョンリストマージ

バージョンリストマージを実行すると、新規リリースにおいて有効なオブジェクトとそれらの処理オプションデータの、非 XJDE および非 ZJDE バージョンの仕様が維持されます。

ビジネス関数

ユーザーによって作成される命名済みの再利用可能なビジネスルールとログのセットであり、イベントルールを通じて呼び出すことができます。ビジネス関数では、トランザクションやそのサブセット(在庫チェック、作業オーダーの発行など)を実行することができます。また、ビジネス関数には API も含まれているため、フォーム、データベーストリガ、または EnterpriseOne 以外のアプリケーションからも呼び出すことができます。ビジネス関数は、他のビジネス関数、フォーム、イベントルール、その他の構成要素と組み合わせてアプリケーションを構成することができます。ビジネス関数の作成には、イベントルール、または C などの第 3 世代言語を使用します。ビジネス関数の例としては、Credit Check (与信チェック) や Item Availability (在庫照会) が挙げられます。

ビジネスビュー

アプリケーションやレポートでデータが使用されている複数の EnterpriseOne テーブルから特定の列を選択するための手段として使用される機能です。ビジネスビュー自体には特定の行を選択する機能はありません。また、ビジネスビューには実際のデータは含まれていません。ビジネスビューは、情報の表示専用の機能であり、このビューを介してデータを操作することができます。

ビジュアルアシスト

ユーザーがコントロールに属するデータを判別できるように、コントロールからトリガーを介して起動できるフォームです。

ファイル サーバー	ネットワーク上で他のコンピュータからアクセスされるファイルを保存するサーバーです。ユーザーにはリモート ディスクドライブとして表示されるディスクサーバーと異なり、ファイル サーバーには、単にファイルを保存するだけでなく、保存しているファイルを管理し、要求をユーザー リクエスト ファイルとして維持して、それらのファイルの更新も行う高度な機能が備えられています。
プリステイン環境	EnterpriseOne のデモ データを使用した未変更オブジェクトのテストに使用する EnterpriseOne 環境です。研修環境にも使用されます。変更したオブジェクトと変更前のオブジェクトを比較するには、この環境が必要です。
プリント サーバー	ネットワークとプリンタの間のインターフェイスであり、ネットワーククライアントはこれを利用してプリンタに接続し、印刷ジョブを送信することができます。コンピュータ、独立したハードウェア デバイス、またはプリンタ内部のハードウェアでもプリンタサーバーとして使用することができます。
プルレプリケーション	データを個別のワークステーションにレプリケートする方法の1つです。プルレプリケーションのレプリケーション先のマシンは、EnterpriseOne のデータレプリケーション ツールを使用して、プル サブスクライバとしてセットアップされます。プル サブスクライバに変更、更新、削除が通知されるのは、その情報を要求した場合のみです。要求は、通常は起動時に、プル サブスクライバから F98DRPCN テーブルが置かれているサーバーにメッセージの形式で送信されます。
プロキシサーバー	企業などがセキュリティ管理、管理統制、サービスのキャッシュ化を確実に行うことができるように、ワークステーションとインターネットの間で防壁として機能するサーバーです。
プログラム一時修正 (PTF)	磁気テープやディスクで提供される、JD Edwards ソフトウェアの変更です。
プロジェクト	EnterpriseOne で使用される、オブジェクト管理ワークベンチで開発されたオブジェクトのための仮想コンテナです。
プロモーション パス	ワークフロー内でオブジェクトやプロジェクトが進む、指定された工程です。標準的なプロモーション サイクル (パス) は以下のとおりです。 11>21>26>28>38>01 このパスでは、11 は検討待ちの新規プロジェクト、21 はプログラミング、26 は品質管理テスト/検討、28 は品質管理テスト/検討の完了、38 は本稼働、01 はサイクルの完了を表します。標準的なプロジェクト プロモーション サイクルの工程内で、開発者は、開発パスコードからオブジェクトをチェックアウトし、チェックインしてから、それらのオブジェクトをプロトタイプ パスコードにプロモートします。次に、オブジェクトは、工程の完了の前に、本稼働用のパスコードに移されます。
編集コード	レポートやフォームの特定の値がどのように表示/フォーマットされるかを示すコードです。レポートに属するデフォルトの編集コードは大量の情報に関連しているため、使用時には注意が必要です。
編集モード	ユーザーによるデータの変更が可能なフォームの状態です。
編集ルール	ユーザー入力を事前に定義されたルールやルールのセットに照合して、フォーマットや検証を行うための方法です。
補足データ	マスターで管理されない全ての情報のタイプを指す用語です。補足データは、通常、従業員、応募者、購買要求、作業 (従業員の技能、取得学位、語学力など) に関する追加情報です。補足データを使用して、組織が要求するあらゆる情報を追跡管理することができます。 たとえば、標準のマスター (住所録マスター、顧客マスター、仕入先マスター) とは別に、それらのテーブルでは管理されない情報を汎用データベースで管理することができます。このような汎用データベースを使用すると、EnterpriseOne システム全体にわたって、標準的な方法で補足データの入力と管理を行うことができます。
本稼働用環境	ユーザーが EnterpriseOne ソフトウェアを実務使用する EnterpriseOne 環境です。

本稼働レベルファイル サーバー	通常はユーザー サポート サービスと共に提供される、品質保証付きの商品化されたファイル サーバーです。
マスターテーブル	“パブリッシュされたテーブル”を参照してください。
マスタービジネス関数 (MBF)	データベース内の情報の追加、変更、更新のための中心のロケーションとして機能する対話型のマスターファイルです。マスタービジネス関数によって、データ入力フォームとテーブル間でのデータの交換が行われます。マスター関数によって、全ての必要なデフォルト値と編集ルールを含む関数の共通セットが、関連するプログラムに提供されます。MBFには、データベースの情報の追加、更新、削除の整合性を確保するロジックが含まれています。
見出し情報	テーブルやフォームの先頭に表示される情報です。見出し情報を使用して、後続のレコードグループの制御情報が識別または提供されます。
見積オーダー	EnterpriseOne 調達管理および外注管理では、仕入先からの品目情報と価格情報のリクエストであり、そこから購買オーダーを作成できます。 EnterpriseOne 受注管理では、受注オーダーに対してまだ引当を行っていない顧客の品目情報と価格情報を指します。
明細情報	たとえば、伝票支払品目や受注オーダー明細行など、EnterpriseOne のトランザクションの個別の行に関連する情報です。
メッセージアダプタ	サードパーティシステムから EnterpriseOne に接続し、メッセージング キューを使用したデータの交換を行うためのインタオペラビリティモデルです。
メッセージセンター	発信側のアプリケーションやユーザーに関係なく、システム生成メッセージとユーザー作成メッセージを含む全ての EnterpriseOne メッセージを送受信するための中心のロケーションです。
メッセージング サーバー	メッセージング APIを使用して、他のプログラムで使用するために送信されるメッセージを処理するサーバーです。メッセージング サーバーには、通常、関数を実行するためにミドルウェアプログラムが配備されます。
メディアストレージオブジェクト	テーブルフォーマットにまとめられていない、Gxxx、xxxGT、または GTxxx のいずれかの命名規則を使用するファイルです。
ユーザー一時変更のマージ	新規のユーザー一時変更レコードを顧客のユーザー一事変更テーブルに追加するプロセスです。
優先プロファイル	品目、品目グループ、顧客、および顧客グループについて、ユーザー定義の階層(順序)に基づいて指定したフィールドのデフォルト値を定義する機能です。
用語一時変更	特定の EnterpriseOne または World のフォームやレポートに表示される、データ辞書項目の代替的な説明です。
リアルタイム イベント	システム呼び出しを使用して EnterpriseOne のトランザクションを発生時に取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムに通知を提供するサービスです。
リフレッシュ	EnterpriseOne ソフトウェアまたはそのサブセット(テーブルや業務データなど)を、新規リリースや PTF/Cum アップデートリリース(B73.2 や B73.2.1 など)に正しく対応させるための変更機能です。
略式コマンド	特定のコマンドを使用することで、メニューやアプリケーション間を迅速に移動できるコマンドプロンプト機能です。
レプリケーション サーバー	セントラル オブジェクトのクライアントマシンへのレプリケーションを受け持つサーバーです。

ロケーションワークベンチ	インストールワークベンチプロセスの実行時に、インストールプランに定義された全てのロケーションを、プランナデータソースの保管場所マスターからシステムデータソースにコピーするアプリケーションです。
ロジックサーバー	アプリケーションプログラムにビジネスロジックを提供する、分散ネットワーク内のサーバーです。典型的なコンフィギュレーションでは、プリスティンオブジェクトは、セントラルサーバーからロジックサーバーに複製されます。EnterpriseOneやWorldソフトウェアの実行時に、ロジックサーバーでは、ワークステーションと連動して、必要な処理が実際に実行されます。
ワークグループサーバー	マスターネットワークサーバーからレプリケートされたデータのサブセットが通常置かれるサーバーです。ワークグループサーバーでは、アプリケーションやバッチ処理は実行されません。
ワークフロー	ビジネスプロセスの一部または全体の自動化を意味する用語です。自動化されたプロセス(ワークフロー)の実行時には、ドキュメント、情報、タスクは、手順規則に従ってユーザーからユーザーへ渡されます。
ワークベンチ	関連のあるプログラムのグループに対する1つのエン트리ポイントからのアクセスを可能にするプログラムです。通常、ワークベンチからアクセスするプログラムは、大規模な業務プロセスに使用されています。たとえば、JD Edwards EnterpriseOne 支払サイクルワークベンチ(P07210)を使用して、給与計算、支払レポートの印刷、給与レポートの作成、仕訳入力の作成、給与履歴の更新に使用される全てのプログラムにアクセスすることができます。EnterpriseOneには、サービス管理ワークベンチ(P90CD020)、ラインスケジューリングワークベンチ(P3153)、計画ワークベンチ(P13700)、監査人ワークベンチ(P09E115)、支払サイクルワークベンチなどが用意されています。

索引

- Address Book Colombian Additional Information program (P76C0101), processing options 75
- Address Book Localization Data program (P74R0102) (RUS) 82
- address book records
 - entering additional information for
 - Brazil 63
 - Chile 72
 - Colombia 74
 - Ecuador 77
 - Peru 78
 - Poland 81
 - Russia 82
 - Venezuela 84
 - purging Brazil tag files 120
 - validating N.I.T numbers (PER) 78
 - validating R.U.T numbers (CHL) 72
- Address Book Regional Information – CHI – 01(P76H101), processing options 73
- Address Book Tag File table (F741001T) 81
- batch processing
 - Chile 123
 - Peru 123
- Brazil
 - entering address book records 63
 - purging tag files 120
- category code name/code user-defined code (76/CN) 65
- Chile
 - Address Book Regional Information – CHI – 01(P76H101), processing options 73
 - entering address book information 72
- Code – Taxpayer user-defined code (76/CC) 64
- Colombia
 - entering address book records 74
 - setting processing options for Address Book Colombian Additional Information (P76C0101) 75
- Customer Connection Web サイト xii
- Ecuador, entering address book records 77
- entering address book records
 - Brazil 63
 - Chile 72
 - Colombia 74
 - Ecuador 77
 - Peru 78
 - Poland 81
 - Russia 82
 - Venezuela 84
- F0017 テーブル 24
- F0070 テーブル 15
- F0101 テーブル 42
- F01112Z1 テーブル 228
- F01112 テーブル 56
- F0111Z1 テーブル 128, 219
- F0111 テーブル 55
- F0112Z1 テーブル 129
- F01151Z1 テーブル 129, 239
- F01151 テーブル 56
- F0115Z1 テーブル 129, 233
- F0115 テーブル 42, 56
- F01161Z1 テーブル 129, 244
- F01161 テーブル 56
- F0116 テーブル 14
- F01501 テーブル 39
- F01815 テーブル 87
- F03012Z1 テーブル 153
- F0401Z1 テーブル 198
- F741001T table 81
- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 xi
- MMA Partners xii
- N.I.T numbers (PER) 78
- P0000 プログラム 13
- P0100041 プログラム 44
- P01012 プログラム 42
- P0117 プログラム 24
- P01301 プログラム 92
- P01311 プログラム 90
- P01401 プログラム 102
- P0150 プログラム 33
- P01BDWRD プログラム 87
- P74R0102 program (RUS) 82
- PeopleBook
 - 注文 xii

- PeopleCode の表記規則 xiv
- Peru
- Address Book Regional Information
 - PER - 01 program (P76P101), processing options 79
 - batch processing 123
 - entering address book records 78
 - validating N.I.T numbers 78
 - Poland, entering address book records 81
 - processing options
 - Address Book Colombian Additional Information (P76C0101) 75
 - Address Book Regional Information - CHI - 01(P76H101) (CHL) 73
 - Address Book Regional Information - PER - 01 (P76P101) 79
 - Purge Brazilian Address Book Tag Files (R76011P) 120
 - Purge Brazilian Address Book Tag Files program (R76011P) 120
 - Purge Brazilian Address Book Tag Files program (R76011P), processing options 120
 - purging
 - R76011P (Purge Brazilian Address Book Tag Files) 120
 - R0101Z1P プログラム 134
 - R01050 レポート 260, 261
 - R011110Z プログラム 128
 - R01401A レポート 260, 262
 - R01401 レポート 260, 261
 - R014021 レポート 260
 - R01402W レポート 260
 - R014032A レポート 260
 - R01403W レポート 260
 - R01403 レポート 260
 - R01800P プログラム 115
 - R01840 プログラム 115
 - R03010Z プログラム 126
 - R04010Z プログラム 127
 - Russia, entering address book records 82
 - state tax ID, validating 63
 - system setup
 - person corporation code (H00/TA) 65
 - taxes, validating state tax ID 63
 - user-defined code list
 - category code name/code (76/CN) 65
 - code - taxpayer (76/CC) 64
 - Venezuela, entering address book records 84
- あ**
- アクション プラン プログラム (P01401) 102
 - アクティビティビュー (P01301) の処理オプション 95
 - アクティビティビュー プログラム (P01301) 92
 - 宛名ラベルの印刷 (R01401) 260, 261
 - 宛名ラベルの印刷 (R01401)、処理オプションの設定 261
 - アプリケーションの基礎 xi
- い**
- 印刷・製本されたドキュメンテーション xii
- お**
- 親/子関係
 - 階層の設定 37
 - 階層を使用した組織構造の作成 38
 - 概要 33
 - 確認 36
 - 作成 33
 - 上級 39
 - 親/子関係 (上級) テーブル (F01501) 39
- か**
- カテゴリ コード
 - 更新 116
 - 設定 12
 - カテゴリ コード一括更新 (R01490) 処理オプション 116
 - カテゴリ コードから顧客マスターへのコピー、処理オプションの設定 261
 - カテゴリ コードから顧客マスターへのコピーレポート (R01050) 260, 261
 - カレンダー管理プログラム (P01311) 90
 - カレンダー管理プログラム (P01311) の処理オプション 90
 - 監査ログの設定 22
 - 関連ドキュメンテーション xii
- き**
- 基本設定カレンダー
 - アクション プラン 102
 - アクティビティ 92

- アクティビティとタスク
 - 検索 101
 - 追加 97
 - 概要 89
 - カレンダーの作成 90
 - システム セットアップ 27
 - タスク 92
 - 通知 92
 - 定期アクティビティとタスク 93
 - ユーザー定義コード 29
 - 割り当て 92
- 業種別顧客マスター - バッチ テーブル (F03012Z1) 153
- 共通フィールド xvi
- 国別固定情報マスター ファイル (F0070) 15
- 警告 xv
- ご意見 xvi
 - 構造の改訂プログラム (P0150) 33
 - 構造の改訂プログラム (P0150)、処理オプション 34
 - 構造の照会プログラム (P02150)、処理オプション 34
 - 顧客マスター バッチ アップロード プログラム (R03010Z) 126
 - 顧客マスター バッチのアップロード (R03010Z) の処理オプション 127
 - 個人データ セキュリティ 15
 - ご要望 xvi
 - コード付き詳細住所 (R01403) 260
 - コード付き詳細住所 (人名録) (R01403W) 260
- 仕入先マスター バッチ アップロード (R04010Z) の処理オプション 128
 - 仕入先マスター バッチ アップロード プログラム (R04010Z) 127
 - 仕入先マスター - バッチ テーブル (F0401Z1) 198
 - システム セットアップ
 - 概要 5
 - カテゴリ コード 12
 - 国別固定情報 15
 - 固定情報 13
 - 自動採番 23
 - 補足データ 25
 - 郵便番号 24
 - ユーザー定義コード 6
 - 住所別レポート (R014021) 260
 - 住所録 MBF プログラム (P0100041)、処理オプション 44
 - 住所録の改訂プログラム (P01012) 42
 - 住所録検索
 - 概要 87
 - 住所録検索の使い方 88
 - 住所録検索マスター (F01815) 87
 - 住所録固定情報プログラム (P0000) 13
 - 住所録情報
 - 概要 41
 - 使用されるテーブル 41
 - 変換 121
 - 住所録情報の変換 121
 - 住所録 - 人名録テーブル (F0111) 55
 - 住所録で使用するテーブル 253
 - 住所録の改訂プログラム (P01012)、処理オプション 45
 - 住所録バッチ アップロード プログラム (R01010Z) 125
 - 住所録バッチ アップロード プログラム (R01010Z) の処理オプション 125
 - 住所録バッチ除去 (R0101Z1P) の処理オプション 134
 - 住所録バッチ除去プログラム (R0101Z1P) 134
 - 住所録マスター (F0101) 42
 - 住所録レコード
 - 検索 43
 - 新規追加 48
 - 人名録情報の追加 55
 - 重複 43
 - 入力 42
 - モバイル セールスの利用 43
 - 住所録レコードの除去 (R01800P) 処理オプション 118
 - 住所録レコードの除去プログラム (R01800P) 115, 118
 - 住所録レコードへの人名録情報の追加 55
 - 住所録レポート 259
 - 住所録 - 連絡先電話番号テーブル (F0115) 42, 56
 - 除去

住所録 118
 バッチ 133
 メッセージ ログ 118
 処理オプション
 アクティビティ ビュー (P01301) 95
 宛名ラベルの印刷 (R01401) 261
 カテゴリコード一括更新 (R01490) 116
 カテゴリコードから顧客マスターへの
 コピー 261
 カレンダー管理プログラム
 (P01311) 90
 構造の改訂プログラム (P0150) 34
 構造の照会 (P02150) 34
 顧客マスター バッチ アップロード
 (R03010Z) 127
 仕入先マスター バッチ アップロード
 (R04010Z) 128
 住所録 MBF プログラム
 (P0100041) 44
 住所録検索テーブルの作成
 (R01BDWRD) 87
 住所録 - 重複チェック (R014052) 86
 住所録の改訂プログラム (P01012) 45
 住所録バッチ アップロード
 (R01010Z) 125
 住所録バッチ除去 (R0101Z1P) 134
 住所録レコードの除去 (R01800P) 118
 人名録 MBF PO (P0100087) 57
 人名録バッチのアップロード
 (R011110Z) 129
 標準宛名ラベル レポート
 (R01401A) 262
 メッセージ ログの除去 (R01131P) 119
 人名録 MBF PO (P0100087) の処理オプ
 ション 57
 人名録バッチのアップロード
 (R011110Z) 128
 人名録バッチのアップロード (R011110Z)
 の処理オプション 129
 人名録別レポート (R01402W) 260

せ

税 ID 付き住所録レポート
 (R014032A) 260
 前提知識 xi

そ

相互参照 xv
 組織構造

階層記述の入力 39
 組織構造のルート親の指定 (有効日
 付指定) 38

た

代替住所テーブル (F01161) 56

ち

注 xiv
 注意事項 xiv

つ

追加ドキュメンテーション xii

て

電子メール/インターネット アドレス テー
 ブル (F01151) 56
 電話番号
 関連先レコードへの追加 56
 住所録レコードへの追加 54
 人名録レコードへの追加 60

と

ドキュメンテーション
 印刷・製本 xii
 関連 xii

は

バッチ処理
 概要 121
 顧客マスター情報 126
 仕入先マスター情報 127
 処理済みバッチの改訂 132
 人名録情報 128
 バッチ レコードの追加 123
 フィールドのマッピング 137
 F0101Z2 137
 F0111Z1 228
 F0111Z1 219
 F01151Z1 239
 F0115Z1 233
 F01161Z1 244
 F0301Z1 153
 F0401Z1 198
 未処理バッチの改訂 130
 レコードのアップロード 125
 バッチ - 人名録情報テーブル
 (F0111Z1) 128, 219

バッチ - 代替住所テーブル
(F01161Z1) 244

有効住所更新 115
連絡先 xvi
関連先テーブル (F01112) 56

ひ

日付別住所テーブル (F0116) 14
表記規則 xiv
標準宛名ラベルレポート (R01401A) 260,
262
標準宛名ラベル レポート (R01401A)、処
理オプションの設定 262

め

名称の検索プログラム (P01BDWRD) 87
メッセージ ログの除去 (R01131P) 処理オ
プション 119

も

モバイル セールス、住所録レコード 43

ゆ

有効住所更新プログラム (R01840) 115
郵便番号テーブル (F0017) 24
郵便番号プログラム (P0117) 24

れ

レポート

宛名ラベルの印刷 (R01401) 260, 261
カテゴリ コード一括更新 116
カテゴリ コードから顧客マスターへの
コピー (R01050) 260, 261
顧客マスター バッチ アップロー
ド 126, 153
コード付き詳細住所 (R01403) 260
コード付き詳細住所 (人名録)
(R01403W) 260
仕入先マスター バッチ アップロー
ド 127, 198
住所別レポート (R014021) 260
住所録バッチ アップロード 125
住所録バッチ除去 133
住所録レコードの除去 115
人名録別レポート (R01402W) 260
人名録バッチのアップロード 128, 219
税 ID 付き住所録レポート
(R014032A) 260
重複チェック 85
標準宛名ラベル (R01401A) 262
標準宛名ラベル レポート
(R01401A) 260

